アセスメントデータ BOOK 2023

－各種調査・アンケート回答結果－

東 京 女 子 体 育 大 学

東京女子体育短期大学

目　次

【Ⅰ】アセスメント報告

1.　学習成果の測定・評価方法

1）アセスメント・ポリシー …… 1

2）学習成果の測定・評価指標…… 2

3）アセスメントマップ…… 3

4）アセスメント年次進行表(R2～R6)…… 4

2.　令和５年度アセスメント報告

1）入学試験におけるアセスメントチェック …… 5

2）退学率・休学率・学位授与数・成績評価・GPA・卒業研究 ……10

3）進路状況・卒業生アンケート・就職先……21

4）教職センターアセスメント ……49

5）入学者アンケート ……57

6）スターターズプログラム ……79

7）授業評価アンケート……103

8）体力テストアセスメント報告 ……108

9）学習成果測定アンケート ……115

【Ⅱ】各種調査・アンケート集計結果

1.　学習成果測定アンケート

1）集計結果……121

2）設問内容……127

3）参考資料……136

2.　大学の生活と学びに関するアンケート

1）集計結果……142

2）設問内容……152

3）参考資料……164

【Ⅰ】アセスメント報告

1.　学習成果の測定・評価方法

1）アセスメント・ポリシー

東京女子体育大学、東京女子体育短期大学では「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）、「入学者受け入れの方針」（アドミッション・ポリシー）に基づき「学習成果を評価するための評価方針」を策定しています。この方針に沿って、機関（大学・短期大学全体）、教育課程（学科）、授業科目の３段階のレベルで学習成果と教育効果に関する測定・評価を以下のとおり行います。

＜学習成果を評価するための評価方針＞

学習成果を評価するための評価方針

1. 学習成果の評価基準

本学における学習成果は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、求める各能力の修得状況について、達成すべき資質・能力を以下の観点から評価します。なお、具体的な評価要件は下記に示すとおりです。

① 人間形成・知識・技能・理解力・指導力
② 実践的に必要な思考力・判断力・表現力
③ 社会との関わり・関心・意欲

2. 学習成果の評価方法

1．機関レベル※

学生の就職率、卒業年次に実施する学習成果測定アンケート（卒業時アンケート）、就職先インタビュー、卒業生調査等によって、達成すべき資質・能力の修得状況を評価します。

2．教育課程レベル（学科レベル）

卒業・進級要件の達成状況（単位修得状況・GPA）、学部・学科の所定の教育課程における資格・免許の取得状況、学習成果測定アンケート等によって、達成すべき資質・能力の修得状況を評価します。

3．授業科目レベル

シラバスで提示された成績評価基準等に基づいて、達成すべき資質・能力の修得状況を評価します。

※機関レベルには、大学及び短期大学が含まれる

3. アセスメントの活用

1．教育課程の編成
2. FD活動の推進
3. 自己点検・評価活動
4. 学生支援
5. その他（教育研究活動等）

運用は、内部質保証システムによる。

2）学習成果の測定・評価指標

◆東京女子体育大学の学習成果の測定・評価指標

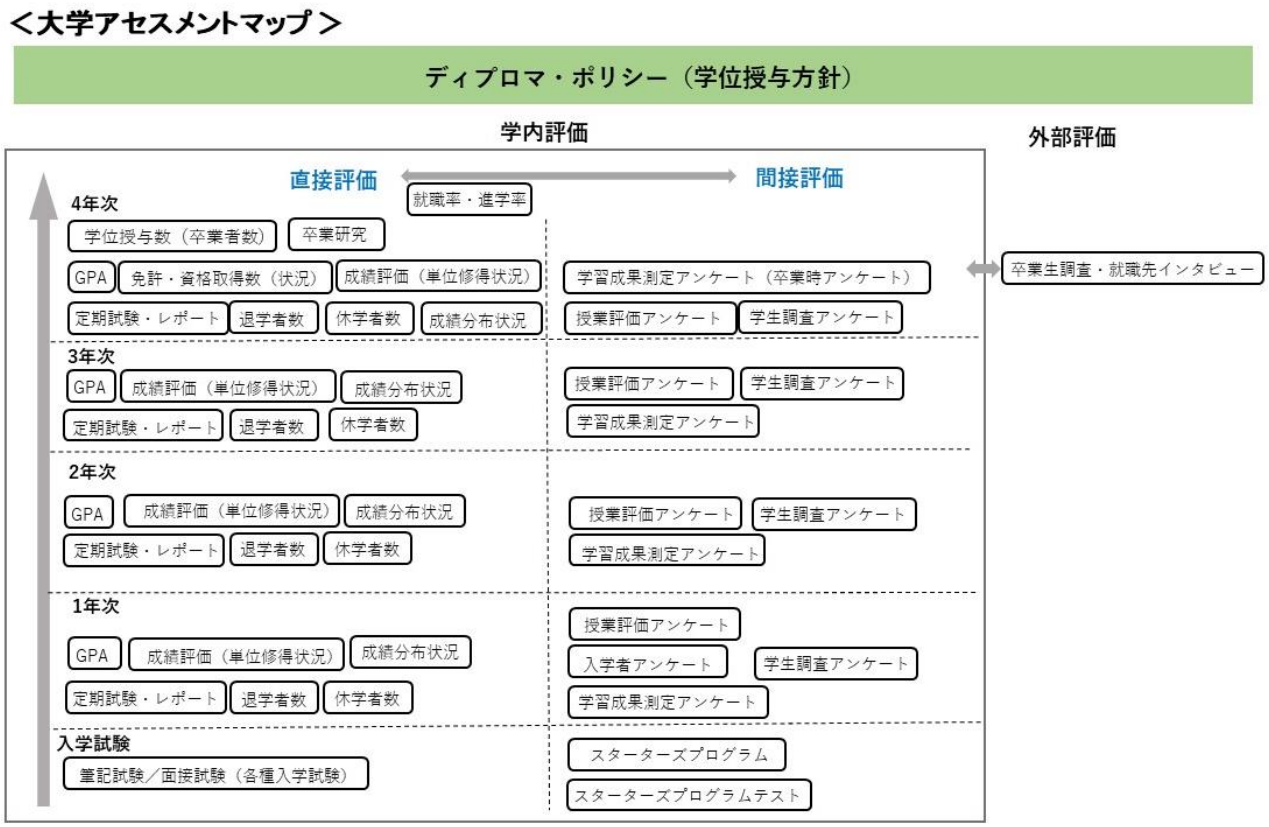
	入学前・入学時	在学中	卒業時・卒業後
機関レベル （大学全体レベル）	・各種入学試験	・退学者数 ・休学者数 ・学生調査アンケート	・学位授与数（卒業者数） ・就職率、進学率 ・免許・資格取得数（状況） ・学習成果測定アンケート（卒業時アンケート） ・卒業生調査 ・就職先インタビュー
教育課程レベル （学科レベル）	・スターターズプログラム ・入学者アンケート	・成績評価（単位修得状況） ・GPA ・学習成果測定アンケート ・スターターズプログラムテスト	・卒業研究
授業科目レベル		・定期試験・レポート ・成績分布状況 ・授業評価アンケート	

◆東京女子体育短期大学の学習成果の測定・評価指標

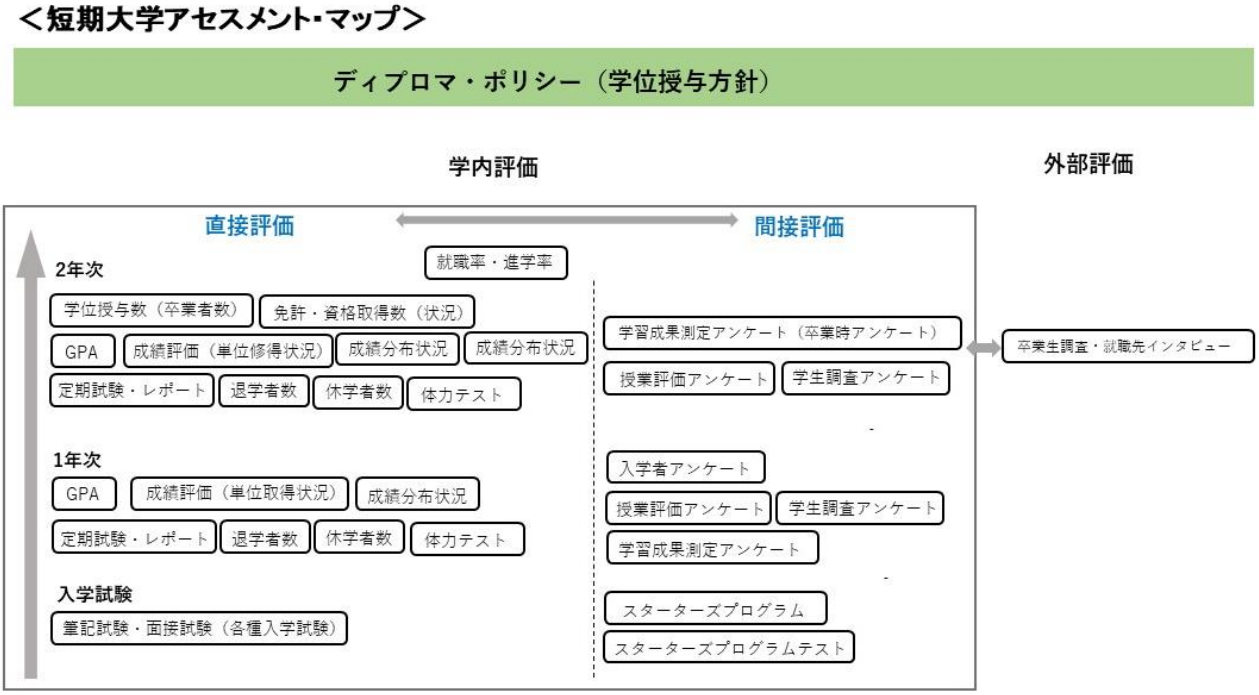
	入学前・入学時	在学中	卒業時・卒業後
機関レベル （短大全体レベル）	・各種入学試験	・退学者数 ・休学者数 ・学生調査アンケート	・学位授与数（卒業者数） ・就職率、進学率 ・免許・資格取得数（状況） ・学習成果測定アンケート（卒業時アンケート） ・卒業生調査 ・就職先インタビュー
教育課程レベル （学科レベル）	・スターターズプログラム ・入学者アンケート	・成績評価（単位修得状況） ・GPA ・学習成果測定アンケート ・スターターズプログラムテスト ・体力テスト	
授業科目レベル		・定期試験・レポート ・成績分布状況 ・授業評価アンケート	

3）アセスメントマップ

◆東京女子体育大学アセスメントマップ



◆東京女子体育短期大学アセスメントマップ



4）アセスメント年次進行表（令和2年～令和6年）

アセスメント年次進行予定表（R2～R6）

レベル	評価指標	関連部署	令和4年度												令和5年度												令和6年度												卒業後
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
機関レベル	入学試験	入試	●	●◆	◆	■		★	★	★	★	★	★	★	●	●◆	◆	■		★	★	★	★	★	★	★	●	●◆	◆	■		★	★	★	★	★	★	★	◆
	退学率	教務・学生・入試		★●	◆	■											★●	◆■											★●	◆■									
	休学率	教務・学生・入試		★●	◆	■											★●	◆■											★●	◆■									
	学生調査ｱﾝｹｰﾄ	企画						★			●	◆		■						★			●	◆		■						★			●	◆		■	
	学位授与数	教務・学生・入試			◆	■								★●		★●	◆■											★●	◆■										
	就職率・進学率	キャリア	●	◆	■			◆		■				★			●◆■									★			●◆■									★	
	免許・資格取得状況	教職・キャリア	●	◆	■			◆		■				★			●◆■									★			●◆■									★	
	学習成果測定ｱﾝｹｰﾄ（卒業時）	企画	●	■		◆							■	★	●	◆	■									★	●	◆	■									★	
	卒業生調査	キャリア		★	●	◆	⇦	■									★	●		◆		■						★	●		◆		■						★●◆
	就職先ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ	キャリア	●		■ ⇨	◆				■								★		●◆		■							★		●◆		■						★●◆
学科レベル	ｽﾀｰﾀｰｽﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	FD・総務	●		■ ⇨	◆			■					★		●	■	◆			■						★		●	■	◆			■				★	
	入学者ｱﾝｹｰﾄ	広報	★●		■ ⇨										★●			■										★●			■								
	体力テスト（短大のみ）	女子研	★			●				◆		■			★			●				◆		■			★			●				◆		■			
	成績評価（単位取得状況）	教務		◆■	⇨				★●		◆■			★●		★●	◆■											★●	◆■									◆
	GPA	教務		◆■	⇨				★●		◆■			★●			★●	◆■											★●	◆■									◆
	学習成果測定ｱﾝｹｰﾄ	企画	●	■		◆							■	★	●	◆	■									★	●	◆	■									★	
	日本語基礎力ﾃｽﾄ	企画	★●	■		◆							■		実施しない																								
	ｽﾀｰﾀｰｽﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾃｽﾄ	企画													★	●	■	◆							■		★	●	■	◆							■		
	卒業研究	教務		◆■	⇨						★●					★●	◆■							★●	◆■											★●	◆■		
授業科目レベル	定期試験・レポート	教務		◆■	⇨		★	●					★●			◆■			★	●					★●			◆■			★	●					★●		
	成績分布状況	教務		●	◆■				★●					★			★●	◆■											★●	◆■									
	授業評価アンケート	FD・企画	●	◆	■ ⇨	★			●	◆	■		★		●	◆	■				●	◆	■		★		●	◆	■				●	◆	■		★		
	シラバス	シラバス部会・教務		■					◆			★		●		■					◆			★		●		■					◆			★		●	

【PDCA】

★　実施（D）

●　部署・委員会　検証（C）（各部署において改善課題の抽出）

■　教育の質保証委員会の検証（C）

◆　各部署で改善（案）構築・策定（A.P）

■　教育の質保証委員会で改善策の決定➡教育の質保証委員会において各部署へ改善措置を指示⇒教授会・理事会提案➡ 次年度の計画へ反映、改善

2.　令和 5 年度アセスメント報告

1）入学試験におけるアセスメントチェック

入学試験におけるアセスメントチェック結果概要

1　目　的

入試要綱と入学試験の整合性の確認

アドミッションポリシーに沿った入試要綱の作成の基礎資料

2　点検･評価･分析方法

「日本語基礎力テスト」結果による理解レベル、入学後の成績調査

入学試験区分(総合型:116 人、学校推薦型:247 人、一般･共通ﾃｽﾄ利用:15 人)ごとの成績との比較

3　調査対象

2022 年度入学生(学部 324 名、保体 12 名、児教(こども)42 名　合計 378 名)

4　概 要

【日本語基礎力テスト】

・新入生の「日本語基礎力テスト」の結果(4 月実施)から見る日本語基礎力は、高校 1 年レベル(C)が最も多い。

・入試区分別（総合型・学校推薦型・一般･共通ﾃｽﾄ利用）の成績と照らし合わせると、一般･共通ﾃｽﾄ利用により入学をしている者の約 13%(←前年 18%)が高校 2.3 年レベル(B)以上のテスト結果を残している。総合型は 3%(←前年 3%)、学校推薦型は 2%(←前年 4%)。

【学業成績】

・入学後の成績(GPA)　学部 2.62(←前年 2.44)　保体 2.70(←前年 2.51)　児教 2.61(←前年 2.68)

・入試区分別 GPA　　一般･共ﾃ利:2.67(←2.79)、学校推薦型:2.64(←2.55)、総合型:2.57(←2.27)

○ 筆記試験をともなう受験による入学生は、「日本語基礎力テスト」結果が良い傾向にある。

○ 筆記試験をともなう受験による入学生の GPA は、若干高い傾向にある。

○ 経年変化については、今後実施をする予定。

5　結　論

○ 「日本語基礎力テスト」の結果や入学後の GPA からみると、一般選抜･共通テスト利用選抜で入学した学生の成績が高い。学力の高い入学生を確保する目的である一般選抜･共通テスト利用選抜の実施結果としては、一定の成果を挙げていると言える。

○「日本語基礎力テスト」の得点を目安として、入学後の学業指導･学生対応を充実させる必要がある。

入学試験におけるアセスメントチェックの実施結果について

1．目 的

入学試験要綱に沿った入学試験の実施

アドミッションポリシーに沿った入学試験要綱の作成

2．点検・評価・分析の方法　（入試課長→企画調査室提出）

① 日本語基礎力テストの結果を活用

② 入学後の成績、学籍状況を活用

3．基本情報

2022 年度入学者数

体育学科 324 名，保健体育学科 12 名，児童教育学科 42 名　　計 378 名

4．結 果

① 日本語基礎力テスト

実施日：2022 年 4 月 5 日（火）[大学] ／ 4 月 6 日（水）[短大]

問題数：90 問，試験時間：40 分，解答選択方式

〔受験者数〕

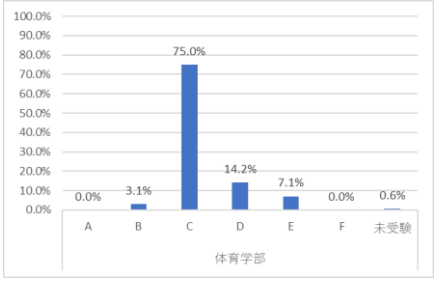
	学生数	受験者数	受験率
体育学科	324	322	99.4%
保健体育学科	12	12	100.0%
児童教育学科	42	42	100.0%

〔参考：レベル一覧表〕

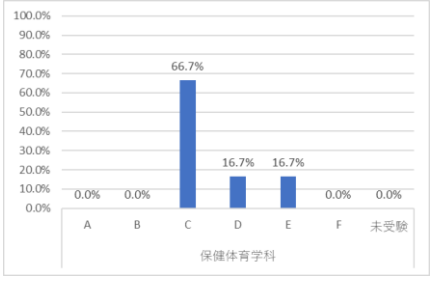
評価	得点	レベル
A	641～800点	高校3年レベル
B	568～640点	高校2年レベル
C	341～567点	高校1年レベル
D	286～340点	中学3年レベル
E	170～285点	中学2年レベル
F	0～169点	中学1年レベル

〔学科別結果〕

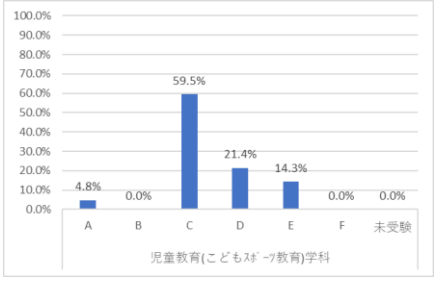
	結果（レベル）	人数	割合
体育学部	A	0	0.0%
	B	10	3.1%
	C	243	75.0%
	D	46	14.2%
	E	23	7.1%
	F	0	0.0%
	未受験	2	0.6%



	結果（レベル）	人数	割合
保健体育学科	A	0	0.0%
	B	0	0.0%
	C	8	66.7%
	D	2	16.7%
	E	2	16.7%
	F	0	0.0%
	未受験	0	0.0%



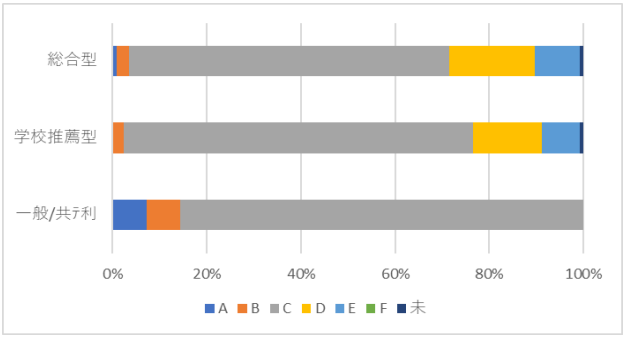
	結果（レベル）	人数	割合
児童教育（こどもｽﾎﾟｰﾂ教育）学科	A	2	4.8%
	B	0	0.0%
	C	25	59.5%
	D	9	21.4%
	E	6	14.3%
	F	0	0.0%
	未受験	0	0.0%



〔入試区分別結果〕

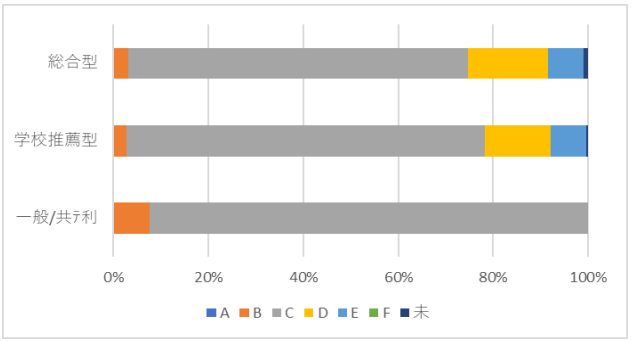
全体

	A	B	C	D	E	F	未	計	平均点
総合型	1	3	79	21	11	0	1	116	397.6
学校推薦型	0	6	184	36	20	0	1	247	397.0
一般/共ﾃ利	1	1	13	0	0	0	0	15	490.7
								378	400.9



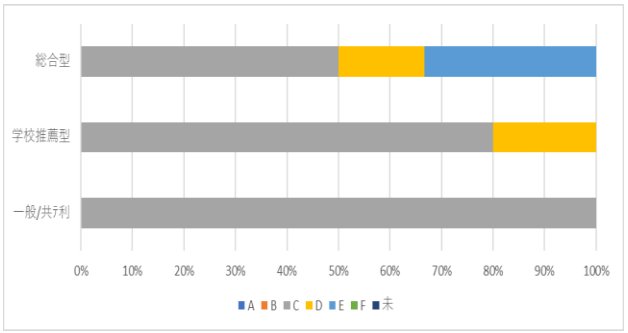
大学

	A	B	C	D	E	F	未	計	平均点
総合型	0	3	68	16	7	0	1	95	403.3
学校推薦型	0	6	163	30	16	0	1	216	402.7
一般/共ﾃ利	0	1	12	0	0	0	0	13	474.8
								324	405.8



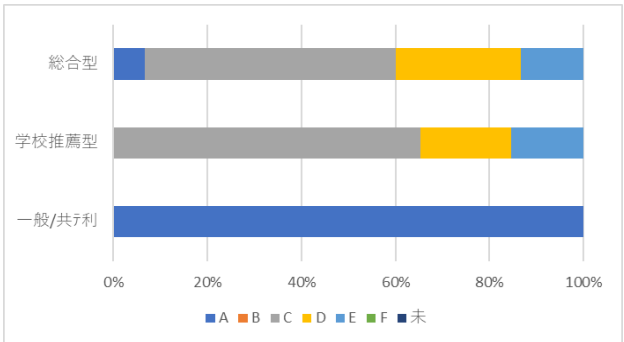
保体

	A	B	C	D	E	F	未	計	平均点
総合型	0	0	3	1	2	0	0	6	339.7
学校推薦型	0	0	4	1	0	0	0	5	381.2
一般/共ﾃ利	0	0	1	0	0	0	0	1	534.0
								12	373.2



児教（こスポ）

	A	B	C	D	E	F	未	計	平均点
総合型	1	0	8	4	2	0	0	15	384.9
学校推薦型	0	0	17	5	4	0	0	26	353.3
一般/共ﾃ利	1	0	0	0	0	0	0	1	653.0
								42	371.7



②-1 入学後の成績

〔学科別 GPA〕

	学生数	最低	最高	GPA平均
体育学部体育学科	324	0.00	3.95	2.62
保健体育学科	12	1.76	3.50	2.70
児童教育学科 (こどもｽﾎﾟｰﾂ教育学科)	42	0.15	3.86	2.61

GPA平均 (前年)	GPA平均 (前々年)
2.44	2.50
2.51	2.23
2.68	2.49

〔入試区分別 GPA〕

全体

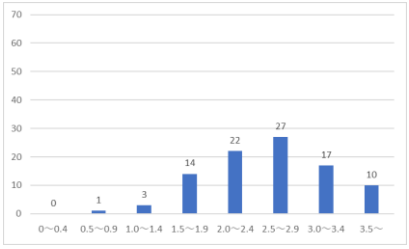
	学生数	最低	最高	GPA平均
総合型	116	0.15	3.93	2.57
学校推薦型	247	0.00	3.81	2.64
一般･共ﾃ利	15	0.70	3.95	2.67

GPA平均 (前年)	GPA平均 (前々年)
2.27	2.37
2.55	2.58
2.79	2.68

体育学科

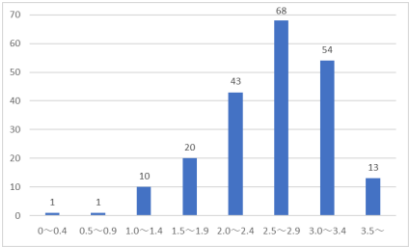
	GPA	人数	割合
総合型	0～0.4	0	0.0%
	0.5～0.9	1	1.1%
	1.0～1.4	3	3.2%
	1.5～1.9	14	14.9%
	2.0～2.4	22	23.4%
	2.5～2.9	27	28.7%
	3.0～3.4	17	18.1%
	3.5～	10	10.6%

GPA 平均：2.60　(←前年 2.23←前々年 2.40)



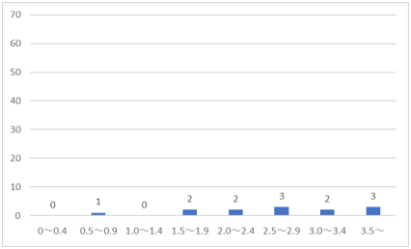
	GPA	人数	割合
学校 推薦型	0～0.4	1	0.5%
	0.5～0.9	1	0.5%
	1.0～1.4	10	4.8%
	1.5～1.9	20	9.5%
	2.0～2.4	43	20.5%
	2.5～2.9	68	32.4%
	3.0～3.4	54	25.7%
	3.5～	13	6.2%

GPA 平均：2.63　(←前年 2.51←前々年 2.60)



	GPA	人数	割合
一般 共ﾃ利	0～0.4	0	0.0%
	0.5～0.9	1	7.7%
	1.0～1.4	0	0.0%
	1.5～1.9	2	15.4%
	2.0～2.4	2	15.4%
	2.5～2.9	3	23.1%
	3.0～3.4	2	15.4%
	3.5～	3	23.1%

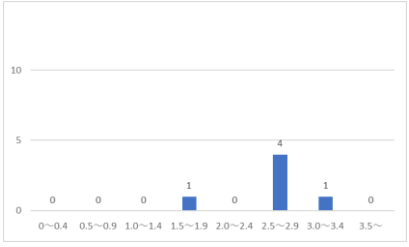
GPA 平均：2.65　(←前年 2.95←前々年 2.63)



保健体育学科

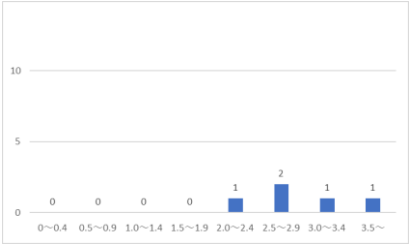
	GPA	人数	割合
総合型	0～0.4	0	0.0%
	0.5～0.9	0	0.0%
	1.0～1.4	0	0.0%
	1.5～1.9	1	16.7%
	2.0～2.4	0	0.0%
	2.5～2.9	4	66.7%
	3.0～3.4	1	16.7%
	3.5～	0	0.0%

GPA 平均：2.73　(←前年 2.39←前々年 2.17)



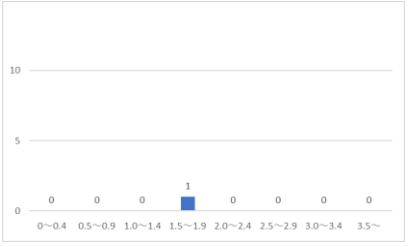
	GPA	人数	割合
学校 推薦型	0～0.4	0	0.0%
	0.5～0.9	0	0.0%
	1.0～1.4	0	0.0%
	1.5～1.9	0	0.0%
	2.0～2.4	1	5.9%
	2.5～2.9	2	11.8%
	3.0～3.4	1	5.9%
	3.5～	1	5.9%

GPA 平均：2.84　(←前年 2.55←前々年 2.29)



	GPA	人数	割合
一般	0～0.4	0	0.0%
	0.5～0.9	0	0.0%
	1.0～1.4	0	0.0%
	1.5～1.9	1	100.0%
	2.0～2.4	0	0.0%
	2.5～2.9	0	0.0%
	3.0～3.4	0	0.0%
	3.5～	0	0.0%

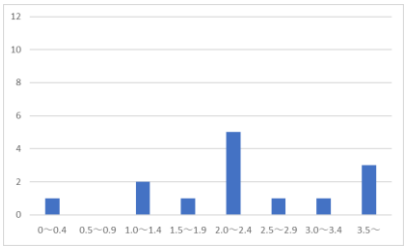
GPA 平均：1.78　(←前年 3.00←前々年該当なし)



児童教育学科（こどもスポーツ教育学科）

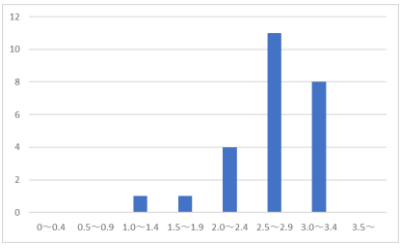
	GPA	人数	割合
総合型	0～0.4	1	9.1%
	0.5～0.9	0	0.0%
	1.0～1.4	2	18.2%
	1.5～1.9	1	9.1%
	2.0～2.4	5	45.5%
	2.5～2.9	1	9.1%
	3.0～3.4	1	9.1%
	3.5～	3	27.3%

GPA 平均：2.30　（←前年 2.53←前々年 2.29）



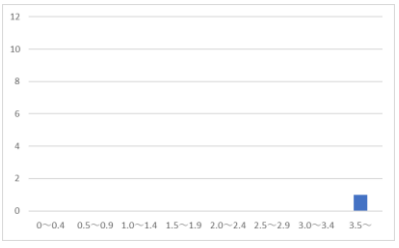
	GPA	人数	割合
学校推薦型	0～0.4	0	0.0%
	0.5～0.9	0	0.0%
	1.0～1.4	1	3.2%
	1.5～1.9	1	3.2%
	2.0～2.4	4	12.9%
	2.5～2.9	11	35.5%
	3.0～3.4	8	25.8%
	3.5～	0	0.0%

GPA 平均：2.73　（←前年 2.81←前々年 2.57）



	GPA	人数	割合
一般	0～0.4	0	0.0%
	0.5～0.9	0	0.0%
	1.0～1.4	0	0.0%
	1.5～1.9	0	0.0%
	2.0～2.4	0	0.0%
	2.5～2.9	0	0.0%
	3.0～3.4	0	0.0%
	3.5～	1	100.0%

GPA 平均：3.86　（←前年 1.53←前々年 3.36）



②-2 学籍状況

〔入試区分別学籍異動〕

総合型Ⅰ期	大学	退学	1 名（9/30 付=1）
	児教	退学	1 名（3/31 付=1）
学校推薦型	大学	退学	6 名（9/30 付=4、3/1 付=1、3/31 付=1）
	児教	休学	1 名

2）退学率・休学率・学位授与数・成績評価

GPA・卒業研究

退学者の推移（平成28年度～令和4年度）

令和5年7月19日
教育の質保証委員会

【年度別】

①平成28年度

学科	学生数（学校基本調査）	退学者数（含除籍者）	退学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		H28入学	H27入学	H26入学	H25入学（過年）	
体育学部	1564	43	2.7%	12	12	6	13（9）	H24(8) H22(1)
保健体育学科	111	7	6.3%	4	3			
児童教育学科	154	8	5.2%	4	4			
	1829	58		20	19	6	13	

②平成29年度

学科	学生数（学校基本調査）	退学者数（含除籍者）	退学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		H29入学	H28入学	H27入学	H26入学（過年）	
体育学部	1548	32	2.1%	7	13	3	9（5）	H25(4) H27編(1)
保健体育学科	90	1	1.1%	0	1			H27(1)
児童教育学科	140	5	3.6%	2	3			H27(1)
	1778	38		9	17	3	9	

③平成30年度

学科	学生数（学校基本調査）	退学者数（含除籍者）	退学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		H30入学	H29入学	H28入学	H27入学（過年）	
体育学部	1528	36	2.4%	9	10	8	9（5）	H26(2) H25(3)
保健体育学科	69	1	1.4%	0	1			
児童教育学科	137	6	4.4%	3	3			H28(1)
	1734	43		12	14	8	9	

④令和元年度

学科	学生数（学校基本調査）	退学者数（含除籍者）	退学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		R元入学	H30入学	H29入学	H28入学（過年）	
体育学部	1495	39	2.6%	10	13	13	3（1）	H27(1)
保健体育学科	77	1	1.3%	0	1			
児童教育学科	150	6	4.0%	3	3			
	1722	46		13	17	13	3	

⑤令和2年度

学科	学生数（学校基本調査）	退学者数（含除籍者）	退学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		R2入学	R元入学	H30入学	H29入学（過年）	
体育学部	1458	31	2.1%	10	5	4	12（5）	H28(2) R28編(1) H27(2)
保健体育学科	68	2	2.9%	1	1			
児童教育学科	140	5	3.6%	3	2			
	1666	38		14	8	4	12	

⑥令和3年度

学科	学生数（学校基本調査）	退学者数（含除籍者）	退学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		R3入学	R2入学	R元入学	H30入学（過年）	
体育学部	1403	43	3.1%	11	13	7	12（6）	H29(5) R28(1)
保健体育学科	56	1	1.8%	1	0			
児童教育学科	107	4	3.7%	1	3			
	1566	48		13	16	7	12	

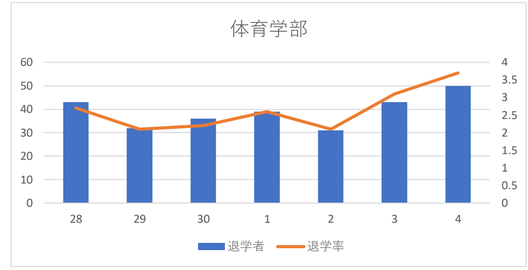
⑦令和4年度

学科	学生数（学校基本調査）	退学者数（含除籍者）	退学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		R4入学	R3入学	R2入学	R元入学（過年）	
体育学部	1337	50	3.7%	11	15	11	13（6）	H30(4) R29(1) R28(1)
保健体育学科	46	2	4.3%	0	1	1		
児童教育学科	107	3	2.8%	1	2			
	1490	55		12	18	12	13	

【学科別】

体育学部

年度	28	29	30	1	2	3	4
退学者	43	32	36	39	31	43	50
退学率	2.7	2.1	2.2	2.6	2.1	3.1	3.7



保健体育学科

年度	28	29	30	1	2	3	4
退学者	7	1	1	1	2	1	2
退学率	6.3	1.1	1.4	1.3	2.9	1.8	4.3

児童教育学科

年度	28	29	30	1	2	3	4
退学者	8	5	6	6	5	4	3
退学率	5.2	3.6	3.7	4	3.6	3.7	2.8

休学者の推移（平成28年度～令和4年度）

令和5年7月19日
教育の質保証委員会

【年度別】

①平成28年度

学科	学生数（学校基本調査）	休学者数	休学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		H28入学	H27入学	H26入学	H25入学（過年）	
体育学部	1564	18	1.2%	1	3	6	8（4）	H24(4)
保健体育学科	111	1	0.9%	1	0			
児童教育学科	154	1	0.6%	0	1			
	1829	20		2	4	6	8	

②平成29年度

学科	学生数（学校基本調査）	休学者数	休学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		H29入学	H28入学	H27入学	H26入学（過年）	
体育学部	1548	12	0.8%	4	3	1	4（3）	H25(3)
保健体育学科	90	1	1.1%	1	0			
児童教育学科	140	1	0.7%	0	1			
	1778	14		5	4	1	4	

③平成30年度

学科	学生数（学校基本調査）	休学者数	休学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		H30入学	H29入学	H28入学	H27入学（過年）	
体育学部	1528	11	0.7%	3	4	1	3（2）	H26(1) R25(1)
保健体育学科	69	0	0.0%	0	0			
児童教育学科	137	2	1.5%	2	0			
	1734	13		5	4	1	3	

④令和元年度

学科	学生数（学校基本調査）	休学者数	休学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		R元入学	H30入学	H29入学	H28入学（過年）	
体育学部	1495	19	1.3%	3	3	9	4（3）	H27(3)
保健体育学科	77	1	1.3%	0	1			
児童教育学科	150	3	2.0%	1	2			
	1722	23		4	6	9	4	

⑤令和2年度

学科	学生数（学校基本調査）	休学者数	休学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		R2入学	R元入学	H30入学	H29入学（過年）	
体育学部	1458	10	0.7%	0	2	2	6（2）	H28(1) H27(1)
保健体育学科	68	1	1.5%	0	0	1		
児童教育学科	140	0	0.0%	0	0			
	1666	11		0	2	3	6	

⑥令和3年度

学科	学生数（学校基本調査）	休学者数	休学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		R3入学	R2入学	R元入学	H30入学（過年）	
体育学部	1403	23	1.6%	3	3	6	11（6）	H29(5) R28(1)
保健体育学科	56	1	1.8%	0	0	1		
児童教育学科	107	1	0.9%	1	0			
	1566	25		4	3	7	11	

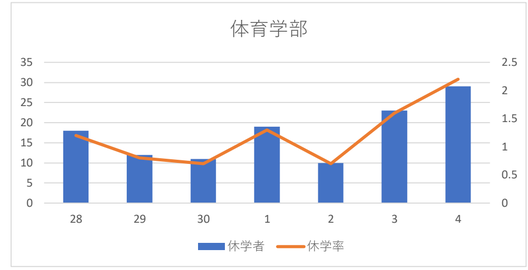
⑦令和4年度

学科	学生数（学校基本調査）	休学者数	休学率	学年				備考
				1年	2年	3年	4年	
	5月1日現在	3月31日まで		R4入学	R3入学	R2入学	R元入学（過年）	
体育学部	1337	29	2.2%	4	4	6	15（8）	H30(5) R29(2) R28(1)
保健体育学科	46	0	0.0%	0	0			
児童教育学科	107	4	3.7%	3	1			
	1490	33		7	5	6	15	

【学科別】

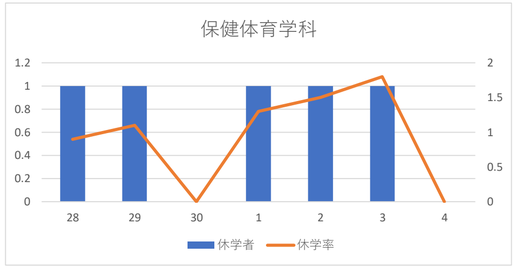
体育学部

年度	28	29	30	1	2	3	4
休学者	18	12	11	19	10	23	29
休学率	1.2	0.8	0.7	1.3	0.7	1.6	2.2



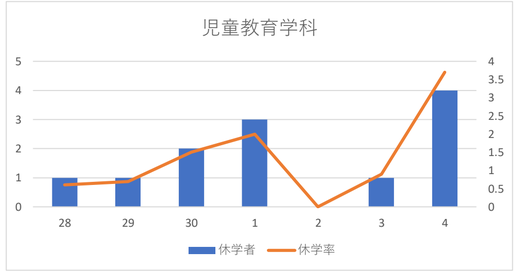
保健体育学科

年度	28	29	30	1	2	3	4
休学者	1	1	0	1	1	1	0
休学率	0.9	1.1	0	1.3	1.5	1.8	0



児童教育学科

年度	28	29	30	1	2	3	4
休学者	1	1	2	3	0	1	4
休学率	0.6	0.7	1.5	2	0	0.9	3.7



令和5年7月19日
教育の質保証委員会

令和４年度　学位授与率について

卒業状況（学位授与率）

学科	卒業対象者数 (9月卒業予定)	9月30日卒業	3月20日卒業	卒業者数	学位授与率 (%)	卒業不可者	卒業不可者内訳		
							留年		退学 除籍
							最低在学年以下 (休学等による) /編入	在学年数以上	
	5月1日現在								
体育学部	360（12）	7	326	333	92.5%	32	9	12	11
保健体育学科	34（3）	3	25	28	82.4%	6	0	3	3
児童教育学科	42（0）	0	40	40	95.2%	2	0	1	1
全体	436（15）	10	391	401	92.0%	40	9	16	15

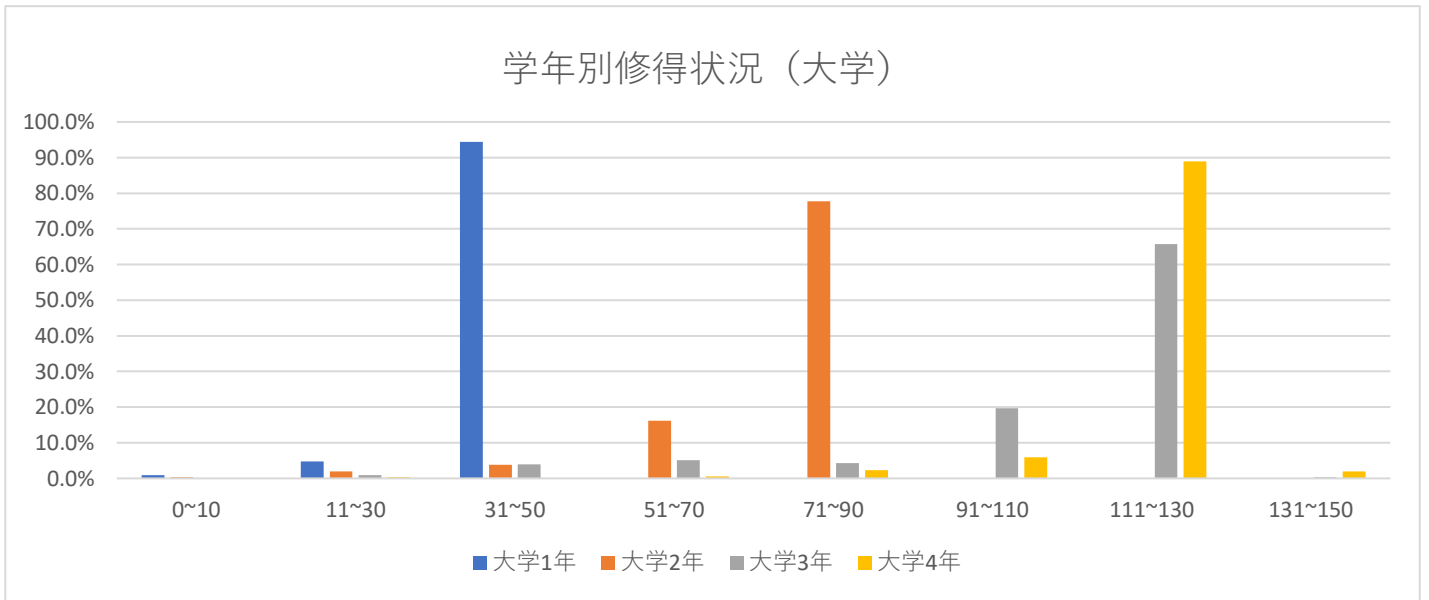
※6月教授会に提示した卒業予定者数

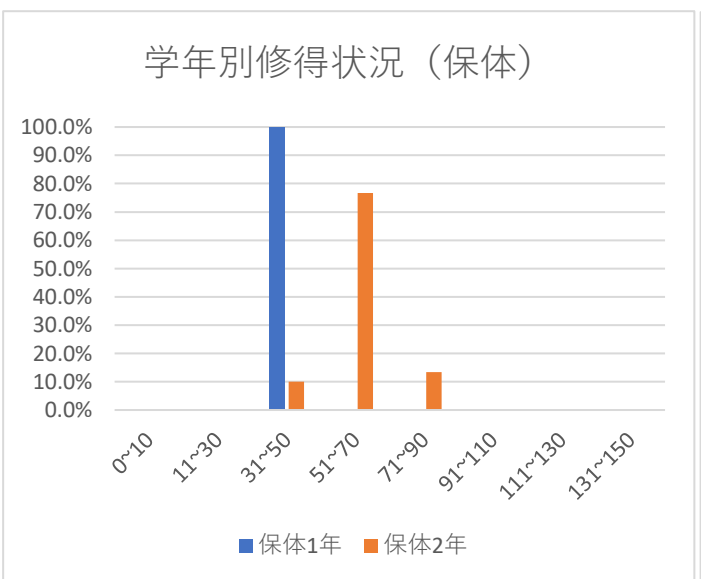
※6月教授会に提示した卒業判定対象外の学生を含む

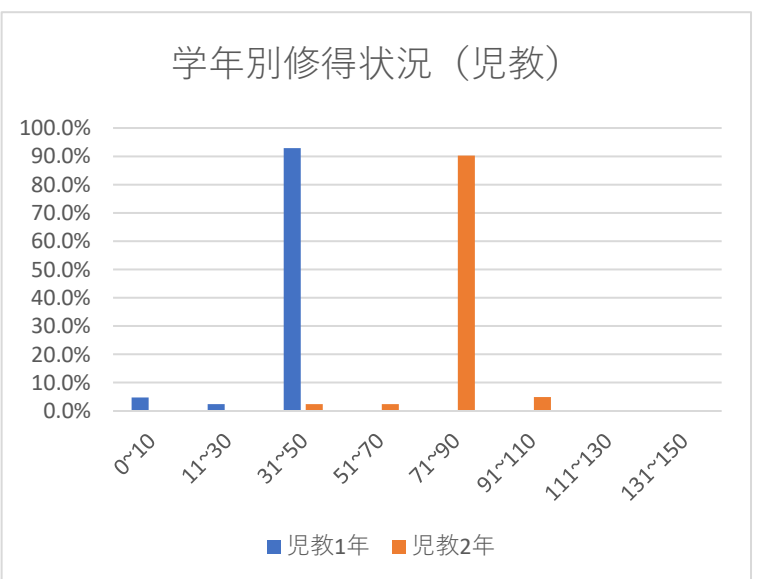
令和4年度学年別単位修得状況

単位	大学1年	大学2年	大学3年	大学4年	保体1年	保体2年	児教1年	児教2年
0	1	1	0	0	0	0	1	0
1~10	2	0	0	0	0	0	1	0
11~20	2	2	1	1	0	0	0	0
21~30	13	4	2	0	0	0	1	0
31~40	106	4	1	0	1	3	33	1
41~50	195	8	12	0	11	0	6	0
51~60	0	15	9	0	0	6	0	0
61~70	0	35	8	2	0	17	0	1
71~80	0	123	7	6	0	4	0	11
81~90	0	118	7	2	0	0	0	26
91~100	0	0	15	6	0	0	0	2
101~110	0	0	50	15	0	0	0	0
111~120	0	0	201	10	0	0	0	0
121~130	0	0	16	305	0	0	0	0
131~140	0	0	1	7	0	0	0	0
141~150	0	0	0	0	0	0	0	0
学生数(人)	319	310	330	354	12	30	42	41

単位	大学1年	大学2年	大学3年	大学4年	保体1年	保体2年	児教1年	児教2年
0~10	0.9%	0.3%					4.8%	
11~30	4.7%	1.9%	0.9%	0.3%			2.4%	
31~50	94.4%	3.9%	3.9%		100.0%	10.0%	92.9%	2.4%
51~70		16.1%	5.2%	0.6%		76.7%		2.4%
71~90		77.7%	4.2%	2.3%		13.3%		90.2%
91~110			19.7%	5.9%				4.9%
111~130			65.8%	89.0%				
131~150			0.3%	2.0%				
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



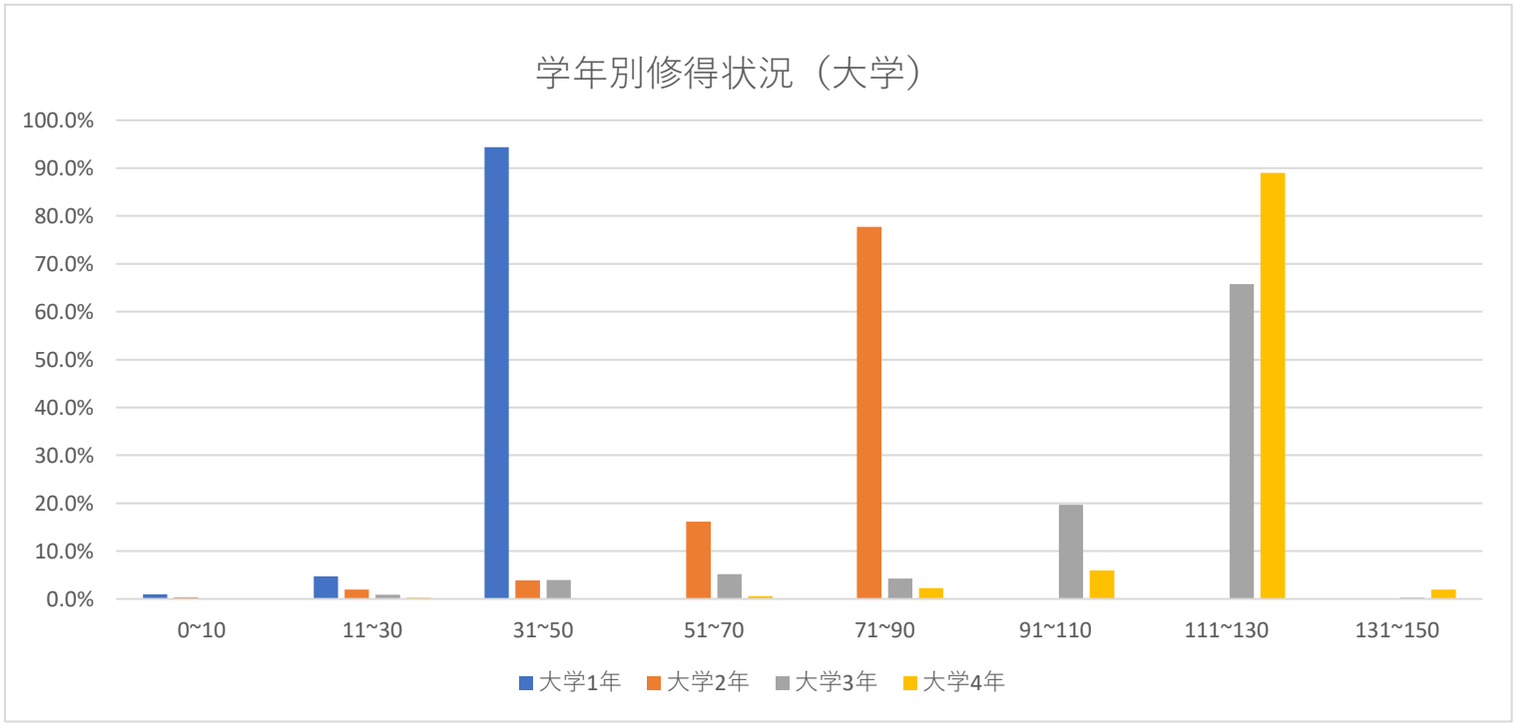




令和4年度　学年別単位修得状況

①体育学部体育学科

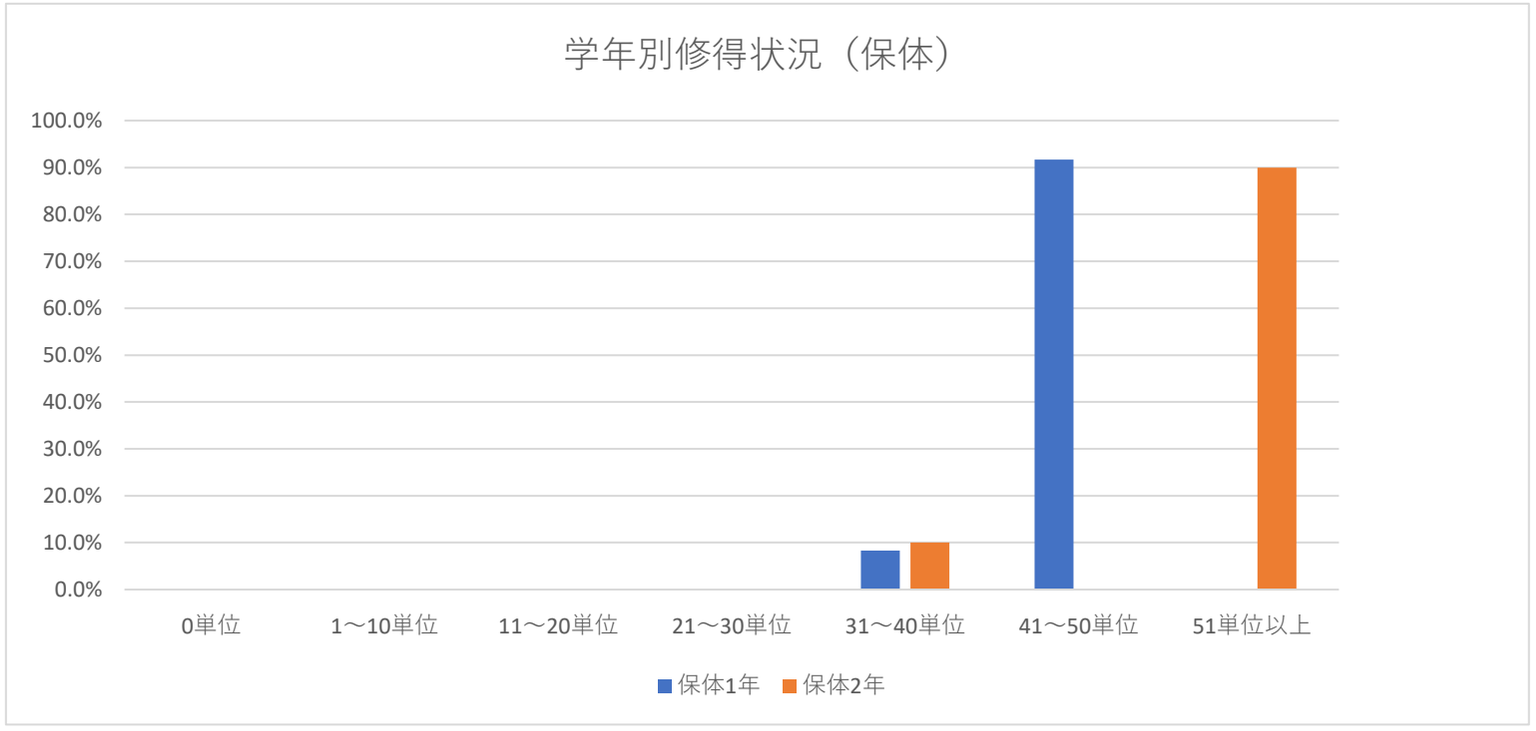
学部	学年	令和5年3月31日時点の在籍者人数	0～10単位		11～30単位		31～50単位		51～70単位		71～90単位		91～110単位		111～130単位		131～150単位	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
体育学部	1年	319	3	0.9%	15	4.7%	301	94.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2年	310	1	0.3%	6	1.9%	12	3.9%	50	16.1%	241	77.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	3年	330	0	0.0%	3	0.9%	13	3.9%	17	5.2%	14	4.2%	65	19.7%	217	65.8%	1	0.3%
	4年	354	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	2	0.6%	8	2.3%	21	5.9%	315	89.0%	7	2.0%
体育学科　計		1313																



令和4年度　学年別単位修得状況

②保健体育学科

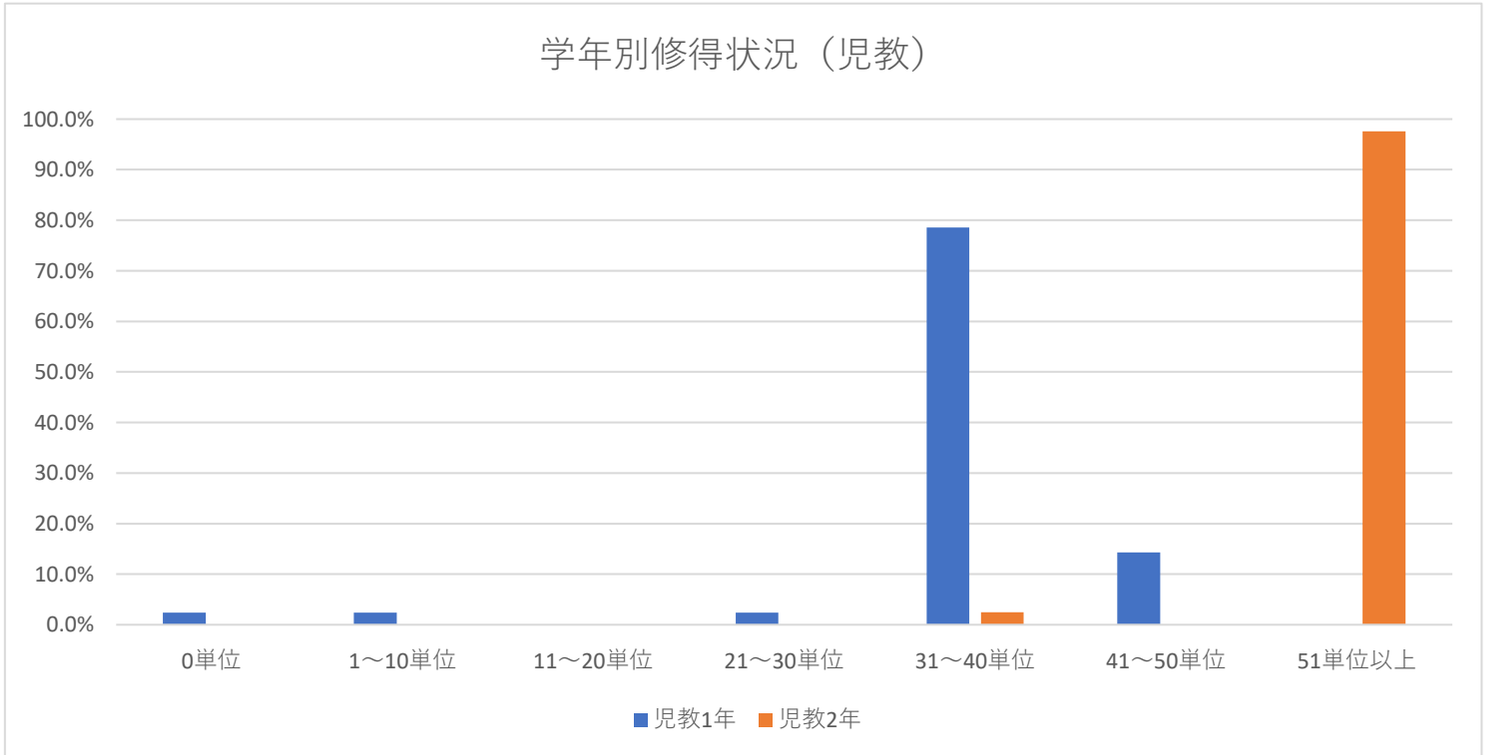
学部	学年	令和5年3月31日時点の在籍者人数	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
保健体育学科	1年	12	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	11	91.7%	0	0.0%
	2年	30	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	10.0%	0	0.0%	27	90.0%
保健体育学科　計		42														



令和4年度　学年別単位修得状況

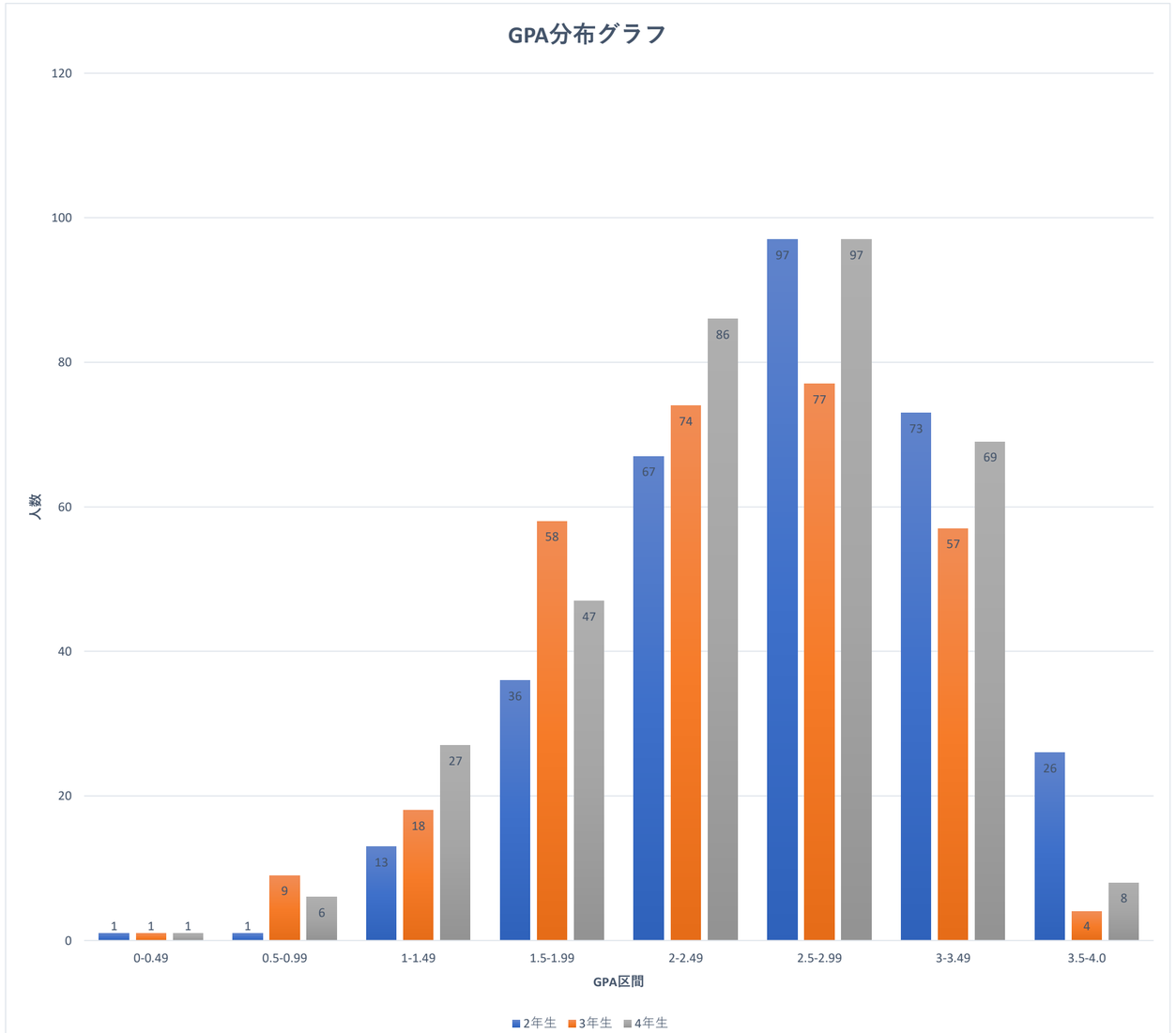
③児童教育学科

学部	学年	令和5年3月31日時点の在籍者人数	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
児童教育学科	1年	42	1	2.4%	1	2.4%	0	0.0%	1	2.4%	33	78.6%	6	14.3%	0	0.0%
	2年	41	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	40	97.6%
児童教育学科　計		83														



令和５年度学年別成績分布　（東京女子体育大学　GPA）

令和5年5月1日

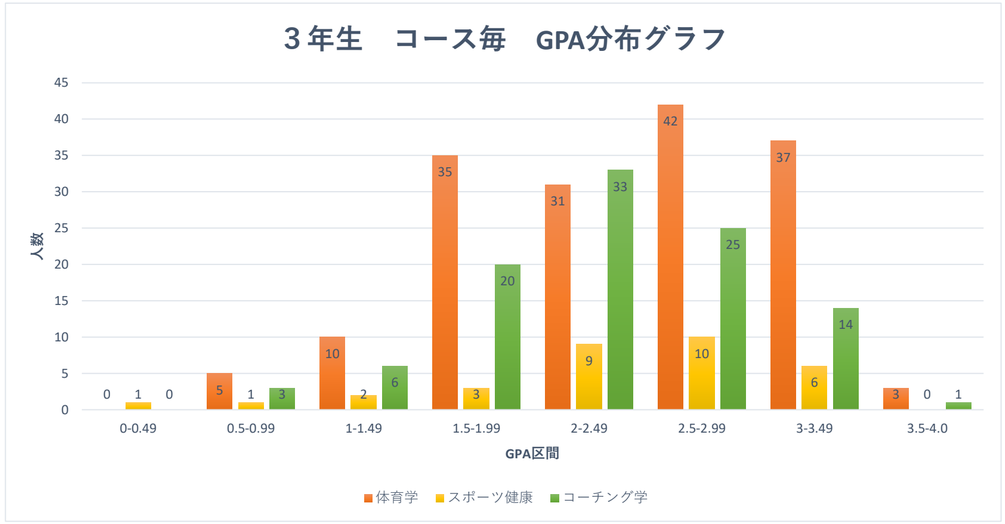


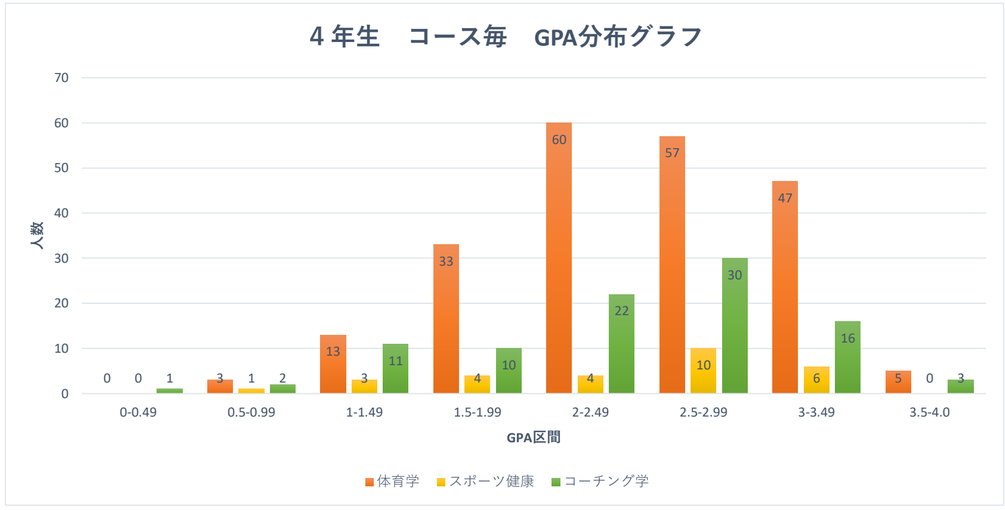
区間	0-0.49	0.5-0.99	1-1.49	1.5-1.99	2-2.49	2.5-2.99	3-3.49	3.5-4.0	合計
2年生	1	1	13	36	67	97	73	26	314
3年生	1	9	18	58	74	77	57	4	298
4年生	1	6	27	47	86	97	69	8	341

区間　以上-以下

令和５年度３・４年コース別成績分布　（東京女子体育大学　GPA）

令和5年5月1日



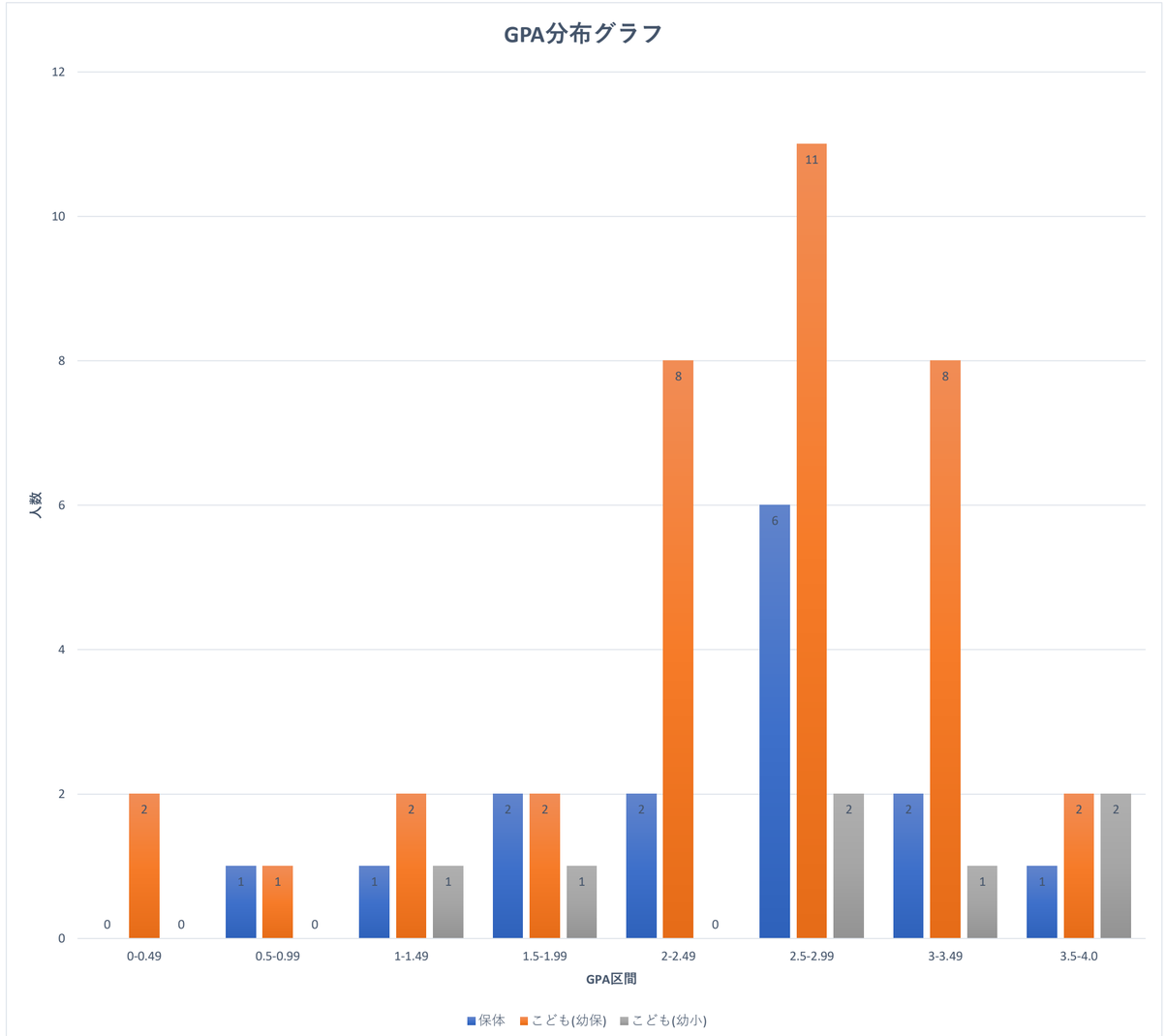


	区間	0-0.49	0.5-0.99	1-1.49	1.5-1.99	2-2.49	2.5-2.99	3-3.49	3.5-4.0	合計
3年	体育学	0	5	10	35	31	42	37	3	163
3年	スポーツ健康	1	1	2	3	9	10	6	0	32
3年	コーチング学	0	3	6	20	33	25	14	1	102
4年	体育学	0	3	13	33	60	57	47	5	218
4年	スポーツ健康	0	1	3	4	4	10	6	0	28
4年	コーチング学	1	2	11	10	22	30	16	3	95

区間　以上-以下

令和５年度学年別成績分布　（東京女子体育短期大学　GPA）

令和5年5月1日



区間	0-0.49	0.5-0.99	1-1.49	1.5-1.99	2-2.49	2.5-2.99	3-3.49	3.5-4.0	合計
保体	0	1	1	2	2	6	2	1	15
こども(幼保)	2	1	2	2	8	11	8	2	36
こども(幼小)	0	0	1	1	0	2	1	2	7

区間　以上-以下

卒業研究提出状況等について

2023/5/15

年度	卒業対象者数	卒業研究 受講者数	卒業研究 受講率	提出者数	卒業研究 単位取得率	内　訳		
						体育・スポーツ ゼミナール	教育学 ゼミナール	教養教育 ゼミナール
平成29年度	424	414	97.6%	406	98.1%			
平成30年度	393	321	81.7%	317	98.8%	281	27	9
令和元年度	373	307	82.3%	307	100.0%	256	38	13
令和2年度	400	304	76.0%	294	96.7%	235	43	16
令和3年度	399	280	70.2%	272	97.1%	205	50	17
令和4年度	360	271	75.3%	267	98.5%	208	44	15

3）進路状況・卒業生アンケート・就職先インタビュー

資料　No.1
教育の質保証委員会　令和５年７月 19 日
キャリア支援委員会　令和５年６月 28 日

令和４年度 卒業生進路状況について

■就職状況

○大学

・教員　小学校 31 名（正規 11 名）　昨年 31 名（正規 5 名）
　　中高(中等教育含む)37 名（正規 2 名）　昨年 40 名（正規 7 名）
　　特支　 9 名（正規 2 名）　昨年　5 名（全員非正規）

・公務員　21 名(実数)
市役所：1 名、警察官：10 名、消防官：1 名、防衛省：8 名、法務省：1 名

参考：昨年度
公務員試験　27 名（延べ）最終合格。
（市役所：4 名、警察官：8 名、消防官：2 名、防衛省：12 名、法務省：1 名）
＊会計年度採用者含む

※聴覚障害学生（2 名）就職先：太平産業株式会社、株式会社博報堂 DY アイ・オー

○保体

中学校 1 名(非正規)、フィットネス、幼児体育、介護等幅。

○児教

幼稚園：16 名、保育士：6 名（幼児体育関連企業で保育士採用 2 名含む)、小学校：1 名

■進学状況

○大学

大学院進学 11 名（昨年 8 名）（上越教育大学大学院、順天堂大学大学院、
東海大学大学院、弘前大学大学院）
短期大学　 1 名（昨年 0 名）（帝京短期大学）
その他の学校 6 名（昨年 13 名）（English Path Dubai　イングリッシュパス　ドバイ校、
社会医学技術学院、東京女子医科大学看護専門学校、
西鉄国際ビジネスカレッジ、徳島医療福祉専門学校、
大阪ダンス・俳優&舞台芸術専門学校）

○保体　大学編入 6 名（昨年 4 名）
専門学校 1 名　（横浜ビューティーブライダル専門学校）

○児教　大学編入 5 名（昨年 16 名)、他大学 1 名（文京学院大学)。

■令和４年度　就職活動・就職状況 改善に向けた取り組み報告

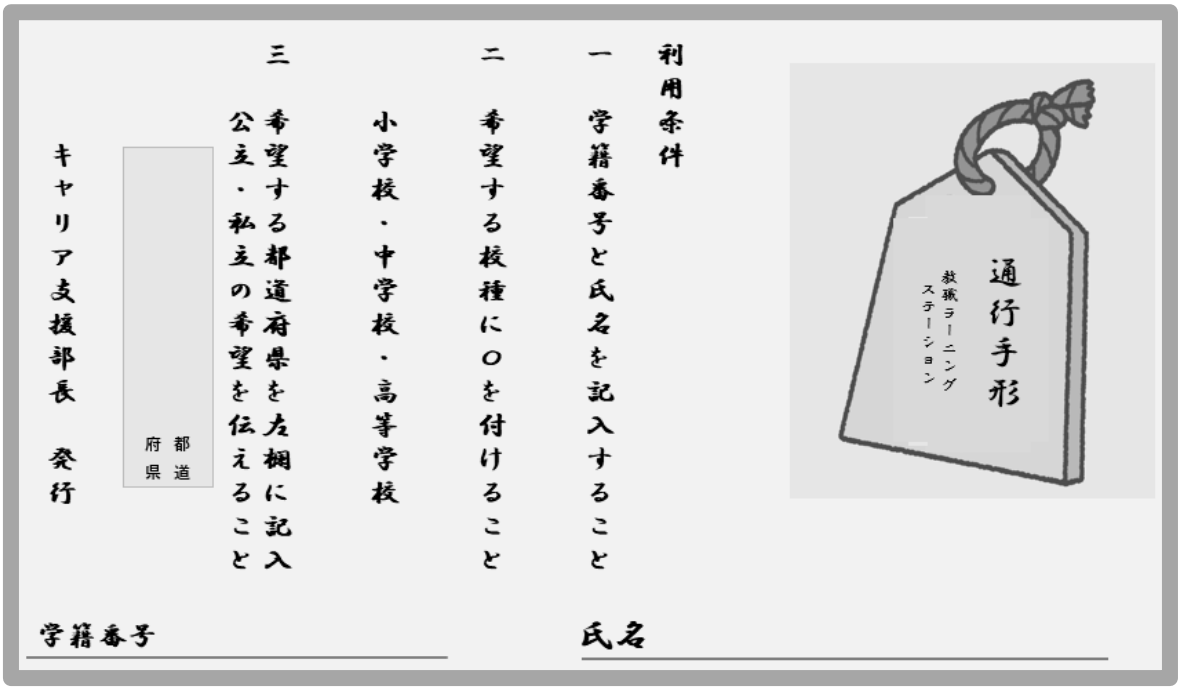
・個別面談

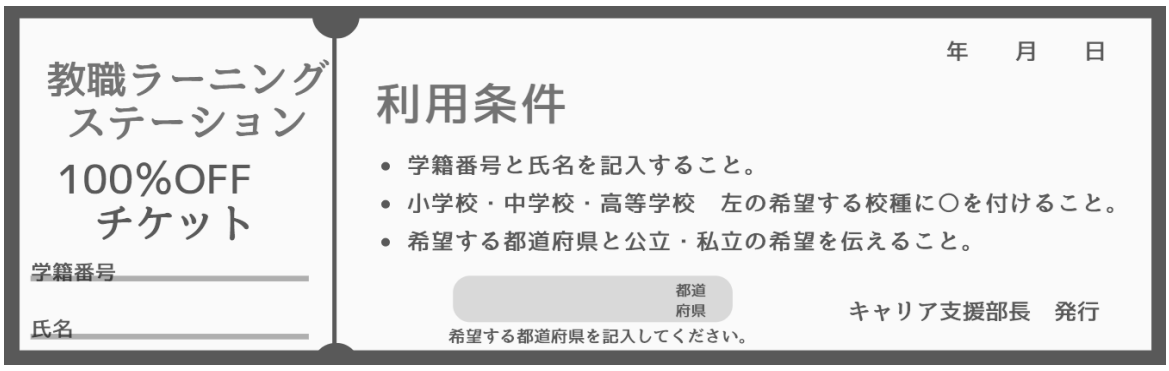
令和３年度より実施している個別面談を令和４年度も継続し、大学２年～4 年、短大２年を対象に個別面談を実施、就職活動における不明点･不安点等を確認し解消に向け対応した。

内容はキャリア支援委員会にて共有し、その後の学生対応に活かした。

・通行手形

教員志望学生には「教職ラーニングステーション」に行くよう案内し、行きづらいと不安を抱える学生にはキャリア支援部長が発行する「通行手形」を記入させ、行きやすいよう配慮した。





・ゼミ対象：大学３年生向け就職ガイダンスについて

令和５年２月の教授会において、大学３年生向け就職ガイダンスで使用するパワーポイントを資料配付し、ゼミ対象で個別説明することを教員へ周知。希望ゼミに説明した。

■令和５年度　就職活動・就職状況 改善に向けた取り組み

◎継続

・東女体大就活支援ナビ 利用改善
　キャリアカウンセリング予約・求人（インターンシップ）検索等
・企業情報発信強化
　学内企業説明会開催、就職対策講座内講演企業見直し、来校・メール等で入手情報の発信等
・インターンシップ授業
　大学２年次に授業を履修するよう誘導している。今後も継続し、誘導を強化し、インターンシップへの参加を促す。また、企業講話の業界を検討する。
・一般企業就職希望者への取り組み
　ビジネスマナー研修、ビジネス向け資格取得サポート等
・大学４年、短大２年　卒業後進路調査　（ゼミ依頼）
　依頼時期の変更（秋～冬　目安：7～8 割 進路確定時期に実施）
・短大向け　公務員受験誘導強化
　行政事務、公立保育士等 受験誘導・学習指導

◎新規

・就活お悩み相談室の開催（新規）
　定期的昼休みに開催し、昼食を取りながら相談しやすく、気軽に立ち寄れるものににし、最終的には、キャリア支援課の利用率をあげることに繋げたい。

・「就活支援ガイド」のホームページ掲載（新規／最終調整中）
　例年、大学３年生向けに製本して配付していた「就活支援ガイド」を印刷せず、HP に掲載し、HP から必要な時にアクセスしやすいよう調整している。学生がアクセスしやすいよう、OR コードを示したポスターや手持ちできる簡易版の作成も検討する。

■課題

・カウンセリング前の情報提供
　履歴書やエントリーシートの添削、面接練習等の専門的なカウンセリング（担当：キャリアカウンセラー）を受ける前段階として、自己分析や業界研究、インターンシップ等、就職活動前の事前知識について指導する時間を確保することが重要と考える。
　（就活お悩み相談室やガイダンス、ゼミ単位での説明等を検討したい）

・内定辞退（承諾書提出後辞退）者への指導強化
　内定承諾書等提出後に辞退をする学生が多く指導強化が必要と感じる。
　特に**内定承諾書提出**について慎重に行うよう指導を強化する。
　万一、辞退の場合はキャリア支援課にて事前に相談する流れを構築する。
　その際、辞退理由・状況・意識確認する。辞退確定後、必要に応じ企業同行も行う。

・就職活動開始時期の改善　（教育実習との関係）

教育実習参加の学生が多く、採用面接日・公務員試験日等と実習期間が重なり受験できない現状がある。

教育実習参加時期の検討・免許取得の必要性を確認する必要があると感じる。
個別面談を実施することで、就職活動時期の確認・活動内容の提案・学生の疑問解消などが行えることで、学生の希望も早めに把握することが出来るようになり、改善もできつつある。
また、非常勤・臨時採用を具体的にイメージできる資料も作成し学生に提供する。
（教務課教職係・教職ラーニングステーションと打ち合わせし作成することとする）

教育の質保証委員会　R5.7.19

キャリアセンター資料　No.1
教 授 会　R5.6. 7
キャリア支援委員会　R5.5.17

差し替え

令 和 4 年 度 卒 業 生 の 進 路 状 況

◆卒業生の進路状況

		大学		短期大学			
		体育学部	%	保健体育学科	%	児童教育学科	%
就職者	正社員･正規職員等	203	61.0%	10	35.7%	26	65.0%
	非正規･契約社員等	77	23.1%	2	7.1%	1	2.5%
	就職者　小計	280	84.1%	12	42.9%	27	67.5%
アルバイト･パートタイム等		12	3.6%	3	10.7%	1	2.5%
進学者	大学院	11	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
	大学	0	0.0%	6	21.4%	6	15.0%
	短期大学	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
	その他学校	6	1.8%	1	3.6%	0	0.0%
	進学者　小計	18	5.4%	7	25.0%	6	15.0%
科目等履修生･研究生		4	1.2%	3	10.7%	4	10.0%
上記以外	就職活動中	8	2.4%	0	0.0%	1	2.5%
	就職準備･待機中	2	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
	その他の活動	9	2.7%	3	10.7%	1	2.5%
進路先不明者		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計　＝　卒業者数		333	100.0%	28	100.0%	40	100.0%

※令和4年9月卒業含む。

◆就職率

	体育学部	保健体育学科	児童教育学科
就職希望者　（就職者+就活中）	**288**	**12**	**28**
就 職 率　（就職者/就職希望者）	97.2%	100.0%	96.4%

◆就職者の就職先内訳

			体育学部		保健体育学科		児童教育学科	
			正規･専任	非正規･臨時	正規･専任	非正規･臨時	正規･専任	非正規･臨時
学校	教員	幼稚園	2	0	0	0	17	0
		小学校	11	20	0	0	0	1
		中学校	1	14	0	1	0	0
		中等教育	0	7	0	0	0	0
		高等学校	1	14	0	0	0	0
		特別支援	2	7	0	0	0	0
		大学･短期大学	0	0	0	0	0	0
		その他の学校(専門学校等)	0	0	0	0	0	0
	職員	学校職員等	0	5	0	0	0	0
	学 校 等 計（就職者全体に対する割合）		**17** (6.1%)	**67** (23.9%)	**0** (0.0%)	**1** (8.3%)	**17** (63.0%)	**1** (3.7%)
	保育所(園)（就職者全体に対する割合）		**1** (0.4%)	**0** (0.0%)	**0** (0.0%)	**0** (0.0%)	**5** (18.5%)	**0** (0.0%)
官公庁	一般行政		2	0	0	0	0	0
	公安(警察･消防･自衛官等)		19	0	0	0	0	0
	協会･事業団体･公営体育施設等		1	1	0	0	0	0
	官 公 庁　計（就職者全体に対する割合）		**22** (7.9%)	**1** (0.4%)	**0** (0.0%)	**0** (0.0%)	**0** (0.0%)	**0** (0.0%)
その他	体育関連	ﾌﾟﾛ選手･実業団等	12	1	0	0	0	0
		体育指導･体育施設･ﾌｨｯﾄﾈｽ等	38	4	3	1	1	0
		ｽﾎﾟｰﾂﾒｰｶｰ･ｽﾎﾟｰﾂｼｮｯﾌﾟ等	1	1	1	0	0	0
	医療、介護福祉関連企業･団体		18	0	1	0	0	0
	児童福祉関連企業･団体		5	0	0	0	0	0
	一般企業(事務･営業等)		89	3	5	0	3	0
	一般企業　計（就職者全体に対する割合）		**163** (58.2%)	**9** (3.2%)	**10** (83.3%)	**1** (8.3%)	**4** (14.8%)	**0** (0.0%)
就 職 者　総計（就職者全体に対する割合）			**203** (72.5%)	**77** (27.5%)	**10** (83.3%)	**2** (16.7%)	**26** (96.3%)	**1** (3.7%)
			280		**12**		**27**	

大学／体育学部体育学科ページのイメージ(https://www.twcpe.ac.jp/employment/situation_taiku.html)

就職率
(就職者数/就職希望者数)

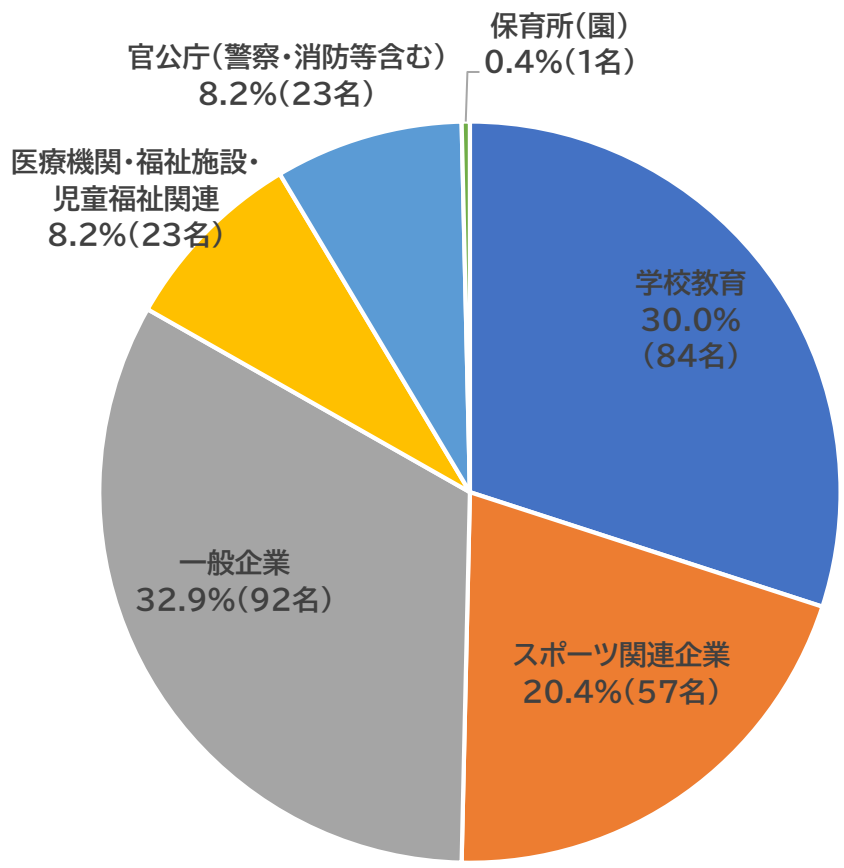
97.2%

2022年就職率 98.7%　2021年就職率 97.8%

進学者数
(大学院など)

18名

2022年進学者数 21名　2021年進学者数 13名



2023年3月 体育学部体育学科 卒業生
(※2022年9月卒業生含む)

主な就職先一覧(2023年3月卒業生実績)

	小学校	
学校教育	**東京都**	**神奈川県**
	大田区立大森第一小学校	秦野市立堀川小学校
	八王子市立陶鎔小学校	大井町立相和小学校
	練馬区立開進第四小学校	**栃木県**
	新宿区立戸塚第二小学校	宇都宮市立細谷小学校
	江戸川区立第六葛西小学校	下野市立祇園小学校
	足立区立渕江第一小学校	**群馬県**
	国立市立国立第二小学校	桐生市南小学校
	調布市立多摩川小学校	**茨城県**
	埼玉県	水戸市立五軒小学校
	鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校	**山梨県**
	蕨市立南小学校	韮崎市立韮崎北東小学校
	深谷市立藤沢小学校	**青森県**
	八潮市立大瀬小学校	大間町立大間小学校
	さいたま市立大谷場小学校	**福島県**
	朝霞市立朝霞第二小学校	本宮市立岩根小学校
	飯能市立富士見小学校	**愛知県**
	さいたま市立田島小学校	半田市立亀崎小学校
	千葉県	**高知県**
	流山市立流山小学校	高知市立布師田小学校
	船橋市立三咲小学校	**宮崎県**
		宮崎市立宮崎港小学校

大学／体育学部体育学科ページのイメージ(https://www.twcpe.ac.jp/employment/situation_taiku.html)

学校教育	**中学校・中等教育学校**	
	東京都	**神奈川県**
	調布市立第三中学校	愛川町立愛川東中学校
	目黒区立大鳥中学校	大和市立上和田中学校
	福生市立福生第二中学校	**千葉県**
	足立区立入谷南中学校	市原市立南総中学校
	足立区立第十二中学校	**兵庫県**
	国立市立第二中学校	姫路市立網干中学校
	大田区立六郷中学校	
	埼玉県	
	日高市立高萩北中学校	
	熊谷市立大麻生中学校	
	埼玉県小川町立欅台中学校	
	熊谷市立三尻中学校	
	高等学校	
	東京都	**埼玉県**
	学校法人科学技術学園　科学技術学園高等学校	星槎国際高等学校　川口学習センター
	学校法人拓殖大学　拓殖大学第一高等学校	**岩手県**
	学校法人明泉学園　鶴川高等学校	岩手県立大船渡高等学校
	学校法人郁文館夢学園　　郁文館高等学校	**岡山県**
	学校法人ＮＨＫ学園　　ＮＨＫ学園高等学校	岡山県立岡山朝日高等学校
	東京都立新宿高等学校	**静岡県**
	神奈川県	学校法人倉橋学園　　キラリ高等学校
	学校法人開桜学院　日々輝学園高等学校	
	星槎国際高等学校	
	学校法人横浜清風学園　横浜清風高等学校	
	学校法人横須賀学院	
	特別支援学校	
	東京都	**埼玉県**
	東京都立八王子西特別支援学校	埼玉県立川越特別支援学校
	東京都立板橋特別支援学校	埼玉県立和光特別支援学校
	東京都立清瀬特別支援学校	埼玉県立越谷西特別支援学校
	東京都立練馬特別支援学校	
	東京都立久我山青光学園	
	東京都立八王子盲学校	
	大学職員	
	東京女子体育大学	
公務員	警視庁	防衛省(自衛官)
	秋田県警察本部	南砺市役所
	岩手県警察	埼玉県警察　埼玉県警察学校
	群馬県警察	河内長野市消防本部
	静岡県警察本部	
実業団	**ハンドボール**	**ソフトボール**
	オムロンリレーアンドデバイス株式会社	医療法人社団東光会　戸田中央総合病院
	株式会社香川銀行	トヨタ自動車株式会社
	バレーボール	**ソフトテニス**
	トヨタ車体株式会社	ヨネックス株式会社
	株式会社姫路ヴィクトリーナ	**バスケットボール**
	陸上競技	ウツミ工業株式会社
	株式会社ベアーズ	
製造業	日本カーボン株式会社	株式会社エイ・ビー・エム
	株式会社アルプスツール	株式会社青木固研究所
	株式会社高見沢サイバネティックス	株式会社出雲村田製作所
	チャコット株式会社	人の森株式会社

大学／体育学部体育学科ページのイメージ(https://www.twcpe.ac.jp/employment/situation_taiku.html)

卸・小売業	丸西産業株式会社	イオン九州株式会社
	ハニューフーズ株式会社	株式会社ヤオコー
	株式会社ナイキジャパン	イオンリテール株式会社
	株式会社ヴィクトリア	株式会社ステディエイチ
	株式会社アダストリア	株式会社クスリのアオキ
	ブリヂストンリテールジャパン株式会社	株式会社カトー
	株式会社Ｇ－７ホールディングス	コストコホールセールジャパン株式会社
	チェッカーモータース株式会社	株式会社花門フラワーゲート
建設業	住友林業株式会社	株式会社アルプスサイン
	株式会社東栄住宅	太平電業株式会社
	レボティメットホーム株式会社	新舘建設株式会社
	ビジョンズ株式会社	有限会社小池組
情報通信業	アドバンサー株式会社	株式会社日本通信サービス
	株式会社Ｉ・ＴＥＣソリューションズ	株式会社ＢｕｙＳｅｌｌ　Ｔｅｃｈｎｏｌｏｇｉｅｓ
	株式会社プレイト	株式会社メンバーズ
金融・保険	株式会社鹿児島銀行	大樹生命保険株式会社
	株式会社香川銀行	
建築・不動産/賃貸・管理業	ケイアイスター不動産株式会社	株式会社ボルテックス
	創建ホームズ株式会社	株式会社オリバー
	住友不動産販売株式会社	日本テンポラリーハウス株式会社
飲食・宿泊業	株式会社ニュー・オータニ	株式会社グランベルホテル
	住友不動産ヴィラフォンテーヌ株式会社	株式会社イワイ

大学／体育学部体育学科ページのイメージ(https://www.twcpe.ac.jp/employment/situation_taiku.html)

学習支援	公益財団法人習志野市スポーツ振興協会	株式会社総合体育研究所茨城
	公益財団法人宇都宮市スポーツ振興財団	幼児活動研究会株式会社・コスモスポーツクラブ
	町田市新体操連盟	株式会社国大グループホールディングス
	ヨーケンスポーツクラブ　　株式会社ヨーケン社	株式会社BSC　バディスポーツクラブ
	株式会社ＣＡＲＴＷＨＥＥＬ	株式会社ジャクパ
	株式会社BSC　バディスポーツクラブ	キッズモブ株式会社
	株式会社ＭＰａｎｄＣ	株式会社ボディアシストスポーツひろばプレイス
	株式会社Ｂｉｒｔｈ４７	株式会社アイフォースコンサルティング
	株式会社スポーツストーリーズ	株式会社パピエ
	株式会社イナホスポーツ	
サービス	**スポーツ関連企業**	
	株式会社東京ドームスポーツ	株式会社ＬＡＶＡ　Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ
	スポーツコミュニティ株式会社	株式会社ｎｏｂｉｔｅｌ
	一般社団法人ふくしまスポーツプロモーション	株式会社東京アスレティッククラブ
	株式会社ブレイン＆アーティスト（リトルジャンボスポーツクラブ）	ＪＲ東日本スポーツ株式会社
	その他企業等	
	株式会社ウィルオブ・コンストラクション	株式会社キャリアデザインセンター
	日研トータルソーシング株式会社	株式会社ワールドインテック
	クロノデザイン株式会社	株式会社 LIFE CREATE
	Ｍ＆Ｆ株式会社	合同会社ユー・エス・ジェイ
	株式会社アートブレーンカンパニー	ベストリハ株式会社
	富士観光開発株式会社	株式会社オン・ザ・プラネット
	有限会社ダイビングチームうなりざき	株式会社シー・エム・シー
	ＴＢＣグループ株式会社（エステティックＴＢＣ）	株式会社ＭＥＤＩＣＡＬ　ＣＯＬＯＲ
	株式会社リラックス	株式会社Ｎプランニング
	株式会社ファクトリージャパングループ	株式会社ＢＰ
	株式会社ＡＳＡＫＡ	ラッシュジャパン合同会社
	株式会社ウィルウェイ	株式会社博報堂ＤＹアイ・オー
	アプコグループジャパン株式会社	山梨県信用農業協同組合連合会
	鈴鹿農業協同組合	佐賀県農業協同組合
病院・医療施設・福祉業	医療法人社団櫻雅会	株式会社エンジョイ
	医療法人博仁会　第一病院	次世代ＩＭＥ福祉サービス株式会社
	社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団	株式会社ベストライフ
	社会福祉法人フラット	株式会社クラーチ
	社会福祉法人諸岳会	株式会社アズパートナーズ
	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会	株式会社オーカ
	社会福祉法人景行会	株式会社キーホームズ
	特定非営利活動法人保育サービスぽてと	株式会社サンケイビルウェルケア
	特定非営利活動法人西東京自立支援センター	株式会社ＲｅｄＢｅａｒ
	株式会社ＷＩＴＨ	工藤建設株式会社（介護事業部・フローレンスケア）
	株式会社日本保育サービス（ＪＰホールディングスグループ）	株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ
	株式会社アニスピホールディングス	アサヒサンクリーン株式会社

短期大学／保健体育学科ページのイメージ(https://www.twcpe.ac.jp/employment/situation_hoken.html)

就職率
(就職者数/就職希望者数)

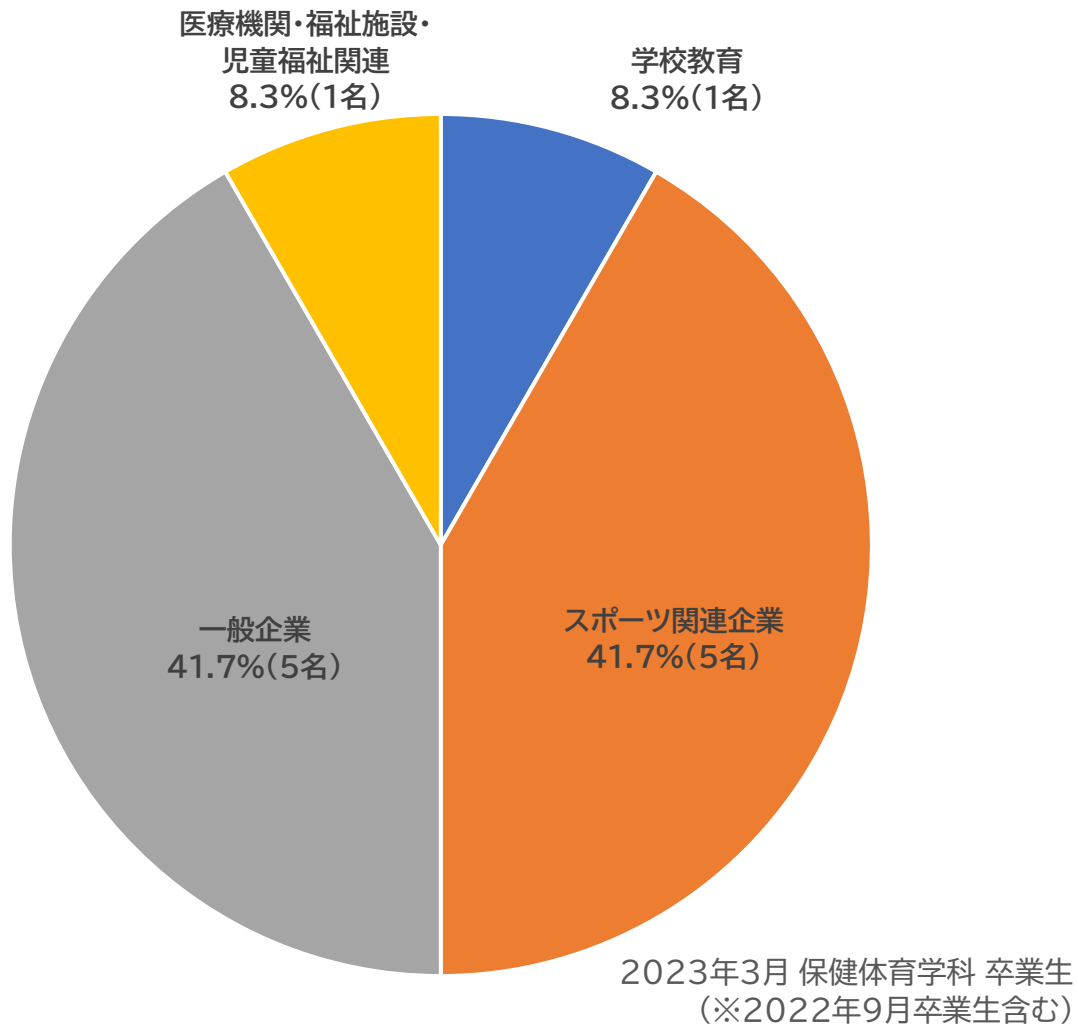
100%

2022年就職率　100%　2021年就職率　96.4%

進学者数
(大学など)

7名

2021年進学者数　4名　2020年進学者数　5名



2023年3月 保健体育学科 卒業生
(※2022年9月卒業生含む)

主な就職先一覧(2023年3月卒業生実績)

学校教育	川越市立霞ヶ関中学校	
製造業	株式会社河合楽器製作所	
学習支援	株式会社ブレイン＆アーティスト （リトルジャンボスポーツクラブ）	プラス・スポーツ株式会社
	幼児活動研究会株式会社・コスモスポーツクラブ	
サービス	株式会社ルネサンス	株式会社保健科学研究所
	株式会社ハット・トリック	株式会社Ｈａｐｐｉｎｅｓｓ
病院・医療施設・福祉業	社会福祉法人秀峰会	株式会社明日葉

短期大学／児童教育学科ページのイメージ(https://www.twcpe.ac.jp/employment/situation_jidou.html)

就職率
(就職者数/就職希望者数)

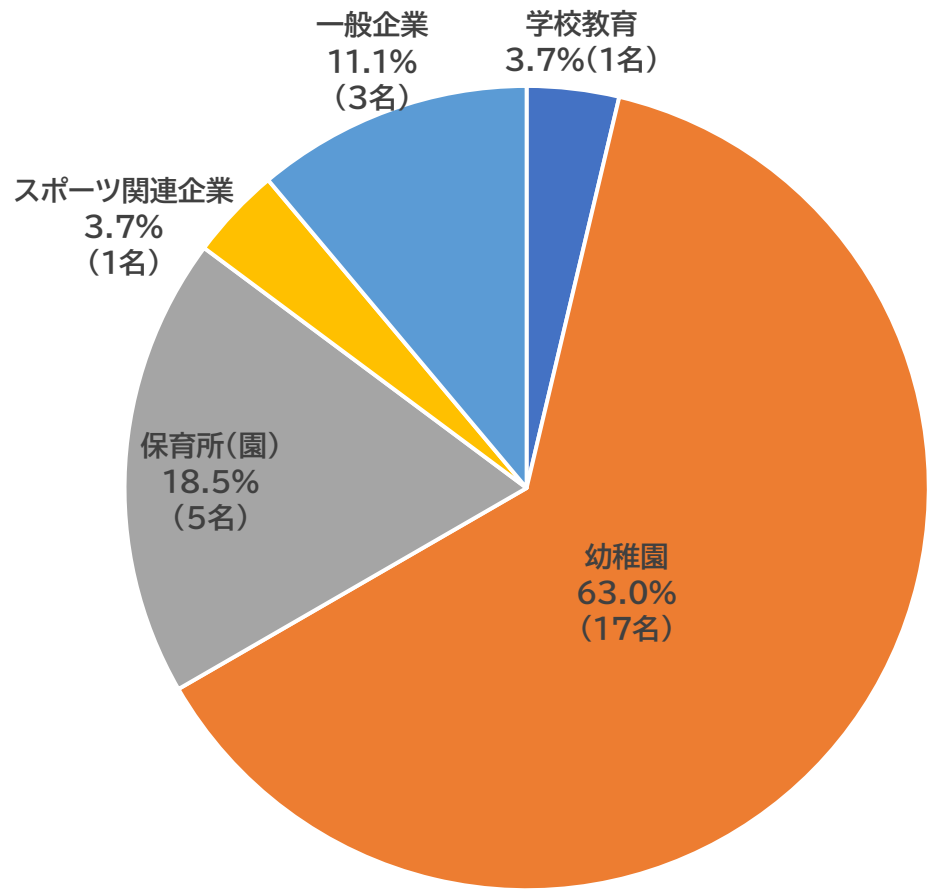
96.4%

2022年就職率　100.0%　2021年就職率　94.2%

進学者数
(大学など)

6名

2022年進学者数　16名　2021年進学者数　19名



2023年3月 児童教育学科 卒業生

主な就職先一覧(2023年3月卒業生実績)

学校教育	小学校	
	八王子市立第三小学校	
	幼稚園	
	学校法人湘南やまゆり学園	学校法人松徳学園
	学校法人みんなのひろば　藤幼稚園	社会福祉法人万里の会
	学校法人須崎学園　立川双葉幼稚園	学校法人光厳学園（みどりの丘こども園）
	学校法人池谷学園　グリーンヒル幼稚園	學校法人鳥沢幼稚園
	学校法人聖マリア学園　さゆり幼稚園	社会福祉法人雲祥会　上の台保育園
	学校法人朋愛学園　朋愛幼稚園	セント・ベル幼稚園
保育所(園)	社会福祉法人自然会	医療法人輝
		株式会社ポピンズエデュケア
学習支援	株式会社ジャクパ	幼児活動研究会株式会社・コスモスポーツクラブ
サービス	株式会社Ｄｏｗｉｎｇ	株式会社エイジェック
	株式会社コヤマドライビングスクール	

令和5年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

■実施報告

対象学生 令和2年度卒業:(大学) 361 名 (保体) 36名 (児教) 74名 合計:471名

実 施 日 令和5年6月20日(火)～6月30日(金)

実施方法 卒業時回収『進路状況報告』記載の個人アドレスへメール配信

実施項目 学生生活振り返り、離職・転職確認と就職支援案内、ディプロマポリシー
社会人基礎力修得状況意識確認、本学に求めること

回 答 数 45名 内訳:(大学)36名(保体)4名(児教)5名

＊令和5年6月30日(金)現在

■アンケート項目

1. あなたは、本学での学生生活を振り返って満足されていますか

■満足している	16名	35.6%
■まあまあ満足している	24名	53.3%
■やや不満である	5名	11.1%
■不満である	0名	0.0%

2. 現在の生活のなかで、大学/短大での学びは役に立っていますか

■役立っている	12名	26.7%
■まあ役立っている	23名	51.1%
■あまり役立っていない	9名	20.0%
■役立っていない	1名	2.2%

令和5年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

3. 大学生活を振り返ってみて、本学の「学び」はいかがでしたか？
それぞれの項目について、あなたの満足度を教えてください。

「カリキュラムについて」

■満足している	13名	28.9%
■まあまあ満足している	28名	62.2%
■やや不満である	4名	8.9%
■不満である	0名	0.0%

「教養科目について」

■満足している	12名	26.7%
■まあまあ満足している	31名	68.9%
■やや不満である	2名	4.4%
■不満である	0名	0.0%

「専門科目について」

■満足している	18名	40.0%
■まあまあ満足している	24名	53.3%
■やや不満である	3名	6.7%
■不満である	0名	0.0%

「資格科目について」

■満足している	13名	28.9%
■まあまあ満足している	24名	53.3%
■やや不満である	6名	13.3%
■不満である	2名	4.4%

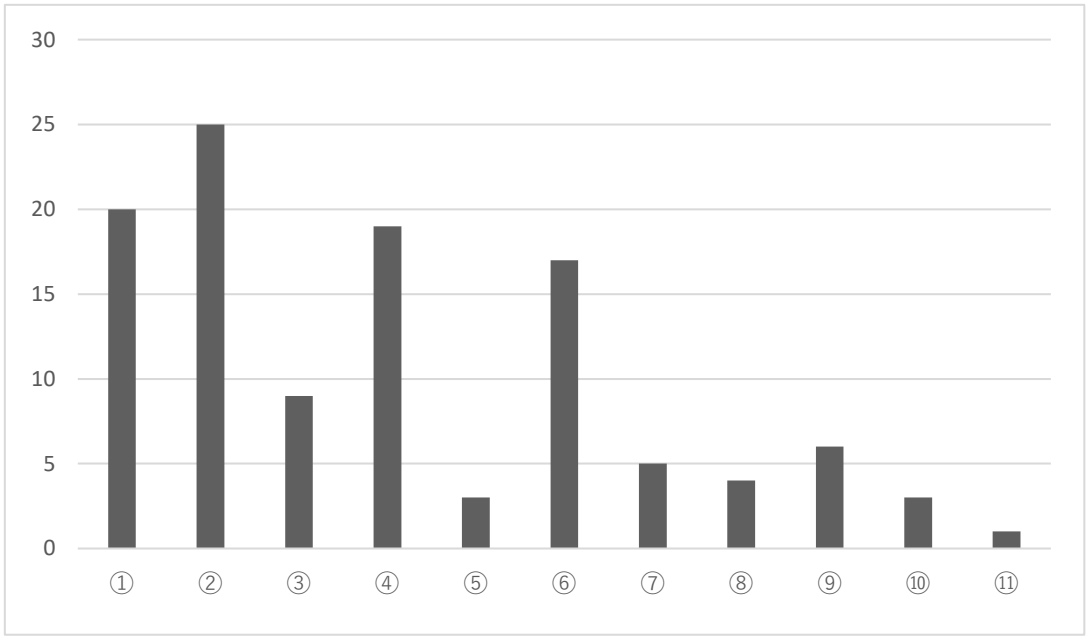
「学習環境について」

■満足している	10名	22.2%
■まあまあ満足している	28名	62.2%
■やや不満である	5名	11.1%
■不満である	2名	4.4%

令和5年度 卒業生アンケート（卒業3年目）について

4. 大学生活を振り返ってみて、あなたが本学の「学び」で身につけることができた・できるようになったと思うものを選んでください（当てはまるもの全て選択してください）

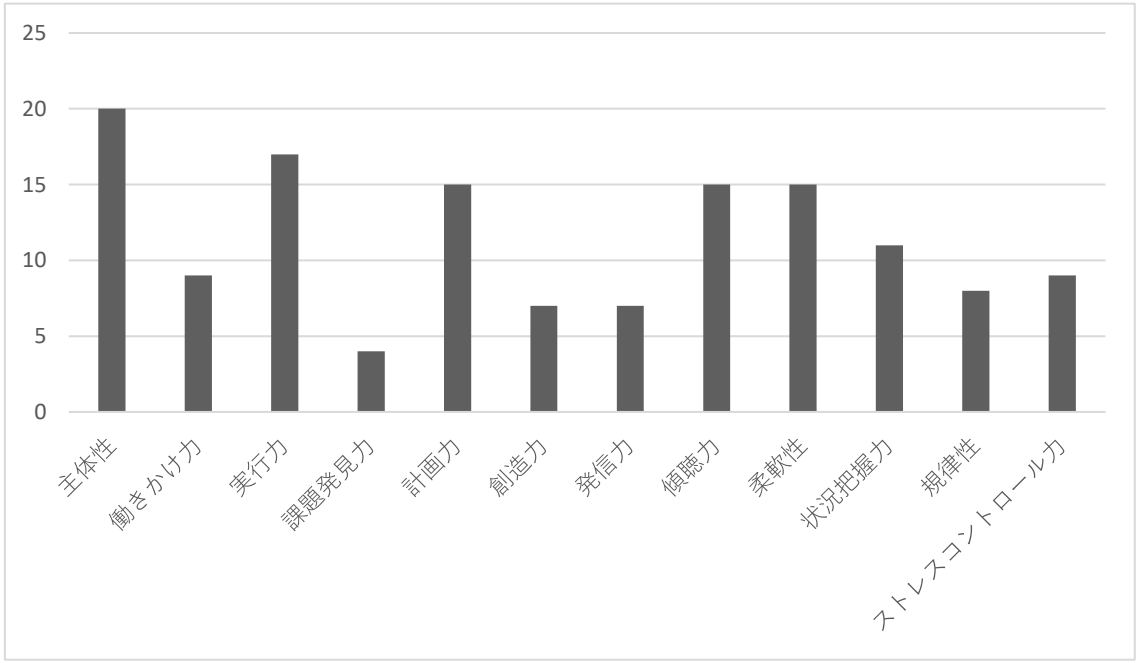
①専門的な知識と技能	20名
②豊かな社会性と人間性	25名
③幅広い教養	9名
④体育学に関する知識と理解	19名
⑤他者の意見を聴き、口頭もしくは文章化する能力	3名
⑥体育に関わる指導力	17名
⑦体育やスポーツに基づいた社会への寄与	5名
⑧「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から	4名
⑨児童教育、幼児教育および保育に関わる指導力	6名
⑩児童教育、幼児教育および保育に基づいた社会への寄与	3名
⑪あてはまるものはない	1名



令和5年度 卒業生アンケート（卒業3年目）について

5．大学生活を振り返ってみて、あなたは本学の「学び」で身につけることができた・できるようになったと思う「社会人基礎力」を選んでください。（当てはまるものを全て選んでください）

■主体性	20名
■働きかけ力	9名
■実行力	17名
■課題発見力	4名
■計画力	15名
■創造力	7名
■発信力	7名
■傾聴力	15名
■柔軟性	15名
■状況把握力	11名
■規律性	8名
■ストレスコントロール力	9名



令和5年度 卒業生アンケート（卒業3年目）について

6．あなたは現在の生活のなかで「スポーツ」を行われていますか？

■週５日以上、何らかのスポーツを行っている	5名	11.1%
■週2～4日程度、何らかのスポーツを行っている	15名	33.3%
■週1日程度、何らかのスポーツを行っている	4名	8.9%
■月2～3回程度、何らかのスポーツを行っている	3名	6.7%
■月1回程度、何らかのスポーツを行っている	4名	8.9%
■スポーツは行っていない	14名	31.1%

7．現在の就業について伺います

■正社員、職員として就業している	39名	86.7%
■有期雇用社員、	2名	4.4%
■就業していない	4名	8.9%

8．現在の就業先について伺います

■大学/短大 卒業時に就職した企業	22名	48.9%
■卒業後1年以内に転職した企業	1名	2.2%
■2年目以降に転職した企業	11名	24.4%
■進学（大学院・専門学校・留学等）	2名	4.4%
■就業していない	0名	0.0%
■その他	9名	20.0%

令和5年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

9. 現在、就業されている職種について伺います(例:教員、販売、営業など.
就業されていない方は「就業していない」と記述してください。

■教員	10名
■販売	5名
■スポーツインストラクター・トレーナー・体操クラブ指導者	6名
■事務職	4名
■営業	3名
■ITエンジニア	2名
■サービス業	2名
■地方公務員	2名
■保育士	2名
■カスタマエンジニア	1名
■クリエイター	1名
■会社員	1名
■看護	1名
■金融	1名
■放課後児童支援員(学童クラブ支援員)	1名
■就業していない	3名

10. 在学中、キャリア支援課(キャリアセンター)を活用されましたか?

■活用した	9名	20.0%
■まあまあ活用した	6名	13.3%
■あまり活用していない	12名	26.7%
■活用していない	18名	40.0%

令和5年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

11. キャリア支援課(キャリアセンター. をどのように活用しましたか？

(当てはまるもの全て選択してください)

■適性相談	5名
■求人票検索	6名
■業界業種研究	1名
■応募書類の書き方、添削	12名
■面接練習	3名
■書籍貸出	0名
■企業説明会、WEB採用試験会場として活用	2名
■活用していない	26名

12. 在学中の就職活動を振り返ってどのように思われますか

■活動した	5名	11.1%
■まあまあ活動した	15名	33.3%
■あまり活動していない	19名	42.2%
■活動しなかった	6名	13.3%

令和5年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

13. あなたが大学を卒業してから現在までの学習状況について、あてはまるものを選んでください。
勤務する企業から受講を促された場合も含みます。教材の有償無償は問いません。
(当てはまるもの全て選択してください)

■大学、大学院などの教育機関が提供する対面教育(単発・短期の集中講座を含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	8名
■大学、大学院などの教育機関が提供するオンライン講座・教材(edXやJMOOC、放送大学などを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	1名
■企業が提供する教育機関の対面教育(英会話スクールやカルチャーセンターなど)を利用して学んでいる・学んだことがある	1名
■企業が提供する教育機関のオンライン講座・教材(アプリやオンライン英会話、通信教育、Udemyなどを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	9名
■あてはまるものはない	28名

14. 最後に本アンケートや本学について意見・ご感想がありましたらご自由にお書きください

・東京女子体育大学に入学して、部活ばかりの毎日でしたが、授業も楽しかったし、たくさんの友達にも出会えて、本当に良い経験ができました。ありがとうございました!!

■今後について

・アンケート項目について検討、改善する
就職に関する質問事項以外の内容を多くする場合は担当部署の見直しも検討する。

・キャリア支援課(カウンセリング・相談・資格取得 等)を多く利用していた卒業生、卒業後も教職ラーニングステーションを継続利用している卒業生、またはクラブ関係を通じ連絡可能な卒業生対象に、SNS等やで卒業後も定期的に「情報交換」を実施する。
「情報交換」が可能となるように、在学中に卒業後も大学と繋がりを持てるようにフリーアドレス(Gmail等)の作成を促す。(例:学生番号twcpe@gmail.com)
対象学生数は20～30名程度からスタートとし増やしていく。これにより卒業後の転職等のサポートも可能となり、また定期的に状況を把握することが可能となるため、アンケートなどで確認していた内容がスムーズにフィードバックできるようになると考える。

・「現在の生活の中で、大学・短大での学びは役に立っているか」という質問について、今後「学び」という聞き方を変更し、大学の専門性と分けて聞くことも検討する。
・卒業生にも対応していることが見えるように出来ると良いか。
・本学学生は体力があるので暑さにも強いところは打ち出せるポイントではないか。
(営業等で出張が多くてもまわる体力がある等)
・現在の就職先についての質問で「2年目以降に転職した企業」へ勤めている卒業生が11名(約25%)いるとの結果であった。大学2・3年生には、インターンシップで企業について自ら学び、企業で働く体験をしておくことの重要性を今以上に伝えるようにしたい。

・令和5年3月卒業生を対象としたアンケートは令和5年9月実施予定(昨年度同様)

令和5年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

■実施報告

対象学生 令和4年度卒業:(大学) 326名 (保体) 25名 (児教) 40名 合計:391名

実 施 日 令和5年9月22日(金)～10月18日(水)

実施方法 大学の個人アドレスへメール配信

実施項目 学生生活振り返り、離職・転職確認と就職支援案内、ディプロマポリシー
社会人基礎力修得状況意識確認、本学に求めること

回 答 数 17名 内訳:(大学) 15名 (保体) 2名 (児教) 0名

＊令和5年10月20日(金) 現在

■アンケート項目

1. あなたは、本学での学生生活を振り返って満足されていますか

■満足している	9名	52.9%
■まあまあ満足している	8名	47.1%
■やや不満である	0名	0.0%
■不満である	0名	0.0%
		100.0%

2. 現在の生活のなかで、大学/短大での学びは役に立っていますか

■役立っている	6名	35.3%
■まあ役立っている	10名	58.8%
■あまり役立っていない	1名	5.9%
■役立っていない	0名	0.0%
		100.0%

令和5年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

3. 大学生活を振り返ってみて、本学の「学び」はいかがでしたか？
それぞれの項目について、あなたの満足度を教えてください。

「カリキュラムについて」

■満足している	4名	23.5%
■まあまあ満足している	13名	76.5%
■やや不満である	0名	0.0%
■不満である	0名	0.0%
		100.0%

「教養科目について」

■満足している	6名	35.3%
■まあまあ満足している	11名	64.7%
■やや不満である	0名	0.0%
■不満である	0名	0.0%
		100.0%

「専門科目について」

■満足している	7名	41.2%
■まあまあ満足している	10名	58.8%
■やや不満である	0名	0.0%
■不満である	0名	0.0%
		100.0%

「資格科目について」

■満足している	6名	35.3%
■まあまあ満足している	10名	58.8%
■やや不満である	1名	5.9%
■不満である	0名	0.0%
		100.0%

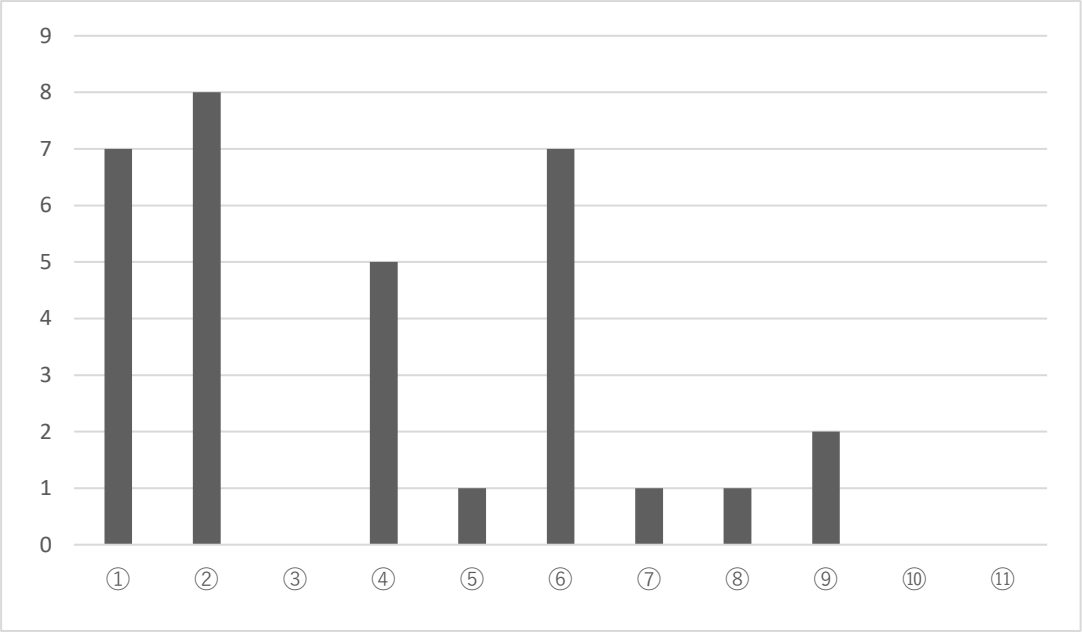
「学習環境について」

■満足している	6名	35.3%
■まあまあ満足している	11名	64.7%
■やや不満である	0名	0.0%
■不満である	0名	0.0%
		100.0%

令和5年度 卒業生アンケート（卒業1年目）について

4. 大学生活を振り返ってみて、あなたが本学の「学び」で身につけることができた・できるようになったと思うものを選んでください（当てはまるもの全て選択してください）

①専門的な知識と技能	7名
②豊かな社会性と人間性	8名
③幅広い教養	0名
④体育学に関する知識と理解	5名
⑤他者の意見を聴き、口頭もしくは文章化する能力	1名
⑥体育に関わる指導力	7名
⑦体育やスポーツに基づいた社会への寄与	1名
⑧「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から	1名
⑨児童教育、幼児教育および保育に関わる指導力	2名
⑩児童教育、幼児教育および保育に基づいた社会への寄与	0名
⑪あてはまるものはない	0名



令和5年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

5. あなたは、本学での学生生活を振り返って何が身についたと思いますか。(自由記述)

■フィットネスではたらいているので解剖学の知識や医学的知識、
トレーニング論が身についたことを実感している。

■自ら取捨選択することの重要性

■人間関係、教育実習等でコミュニケーション能力

■専門的な技術や知識

■部活動で社会性、協調性、競技技術や知識、体力、忍耐力学校生活
で教職についての知識と指導力、専門科目での知識技術

6. あなたは現在の生活のなかで「スポーツ」を行われていますか？

■週5日以上、何らかのスポーツを行っている	2名	11.8%
■週2～4日程度、何らかのスポーツを行っている	3名	17.6%
■週1日程度、何らかのスポーツを行っている	1名	5.9%
■月2～3回程度、何らかのスポーツを行っている	4名	23.5%
■月1回程度、何らかのスポーツを行っている	1名	5.9%
■スポーツは行っていない	6名	35.3%
		100.0%

7. 現在の就業について伺います

■正社員、職員として就業している	14名	82.4%
■有期雇用社員、	3名	17.6%
■就業していない	0名	0.0%
		100.0%

令和5年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

8. 現在、就業されている職種について伺います(例:教員、販売、営業など.
就業されていない方は「就業していない」と記述してください。

■スポーツクラブのフィットネスセクション
■服飾バイヤー
■実業団のマネージャー
■教務補佐
■接骨院での整体師勤務
■コーチ
■放課後デイサービス(障害者 小学生～高校生向け)
■施工管理
■幼児体育
■不動産　用地仕入れ営業、販売営業
■介護
■公務員
■ITエンジニア
■自衛官
■さいたま市の臨時任用
■東京女子体育大学教務補佐
■キャラクター

令和5年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

9. 在学中、キャリア支援課(キャリアセンター)を活用されましたか？

■活用した	4名	23.5%
■まあまあ活用した	4名	23.5%
■あまり活用していない	3名	17.6%
■活用していない	6名	35.3%
		100.0%

10. キャリア支援課(キャリアセンター)をどのように活用しましたか？

(当てはまるもの全て選択してください)

■適性相談	3名
■求人票検索	3名
■業界業種研究	1名
■応募書類の書き方、添削	4名
■面接練習	6名
■書籍貸出	0名
■企業説明会、WEB採用試験会場として活用	1名
■活用していない	8名

11. 在学中の就職活動を振り返ってどのように思われますか

■活動した	4名	23.5%
■まあまあ活動した	5名	29.4%
■あまり活動していない	5名	29.4%
■活動しなかった	3名	17.6%
		100.0%

令和5年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

12.今年度の教職採用試験に受験されましたか？

■受験した	7名	41.2%
■受験しない	1名	5.9%
■教員志望ではない	9名	52.9%
		100.0%

13. あなたが大学を卒業してから現在までの学習状況について、あてはまるものを選んでください。
勤務する企業から受講を促された場合も含みます。教材の有償無償は問いません。

(当てはまるもの全て選択してください)

■大学、大学院などの教育機関が提供する対面教育(単発・短期の集中講座を含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	3名
■大学、大学院などの教育機関が提供するオンライン講座・教材(edXやJMOOC、放送大学などを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	0名
■企業が提供する教育機関の対面教育(英会話スクールやカルチャーセンターなど)を利用して学んでいる・学んだことがある	1名
■企業が提供する教育機関のオンライン講座・教材(アプリやオンライン英会話、通信教育、Udemyなどを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	1名
■あてはまるものはない	12名

■今後について

・アンケート項目について検討、改善する
就職に関する質問事項以外の内容を多くする場合は担当部署の見直しも検討する。

・キャリア支援課(カウンセリング・相談・資格取得 等)を多く利用していた卒業生、卒業後も教職ラーニングステーションを継続利用している卒業生、またはクラブ関係を通じ連絡可能な卒業生対象に、SNS等で卒業後も定期的に「情報交換」を実施する。
「情報交換」が可能となるように、在学中に卒業後も大学と繋がりを持てるようにフリーアドレス(Gmail等)の作成を促す。(例:学生番号twcpe@gmail.com)
対象学生数は20～30名程度からスタートとし増やしていく。これにより卒業後の転職等のサポートも可能となり、また定期的に状況を把握することが可能となるため、アンケートなどで確認していた内容がスムーズにフィードバックできるようになると考える。

・児童教育学科の学生の回答がないが、
Q3本学での学びについての回答は「満足している」「まあまあ満足している」のどちらかの回答であり、満足度が高い状況である。

・Q13の回答より、7名の卒業生が今年度の教職採用試験を受験したことがわかった。
教職ラーニングステーションの利用者はいなかった(教職ラーニングステーション確認済)。

就職先インタビュー報告書（令和 5 年度）

日　　時　令和 6 年 1 月 22 日(月)　11:00～12:10
場　　所　4 号館 2 階会議室
企 業 名　株式会社 nobitel　様
回 答 者　人事部　採用・人事管理　　田吹　優佳　様
対 応 者　キャリアセンター　櫻田所長、キャリア支援課　木村課長
項　　目　① 本学学生が在学中学習した内容が活用できているか
② 社会人として活躍していく「社会人基礎力」が備わっているか
③ 本学学生(内定者)の特徴や期待していること
④ 本学(学生)に対して習得してもらいたい知識・資格
⑤ インターンシップ実施について
⑥ 自己点検評価項目及び内容について

■株式会社 nobitel 様について

- ヘルスケア×スポーツ×IT を3つの柱に、健康やスポーツに関わる分野の事業展開している。(ストレッチ専門店 Dr. stretch、ストレッチピラティス専門「WECLE(ウィークル)」、テニスポータルサイト「tennis365.net」ほか)
- Dr.Stretch では、CBST(コアバランスストレッチトレーナー／約 200 種類のストレッチ技術)資格を社内研修で取得し、個々のお客様にあうストレッチが提供されている。そのため、マニュアルはなく、指名制、個人の実績に基づくインセンティブ制度を設けている。
- クラブチーム(サッカー、社会人野球等)やプロ選手・アーティストに、ストレッチトレーナーとして帯同しているスタッフもいる。

■採用者(本学卒業生)の特徴について

これまでに 14 名が入社している。(2024 卒業生は 2 名内定)
現在は管理職での活躍が多く、人事部 1 名、エリアマネージャー1 名、支店店長 5 名をはじめ、セラピストとしては 3 名が勤務しており、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーション能力が高い卒業生が多い。お客様の評価が高く、支持されているおり、お客さまに寄り添って考えられる能力がある。
本学学生の資質がマッチしていると考えられる。

評価できる力、社会人基礎力

・課題発見力
学生生活での学びを仕事へ転換し、さらに生かしていくため、気付き、考える力はある。
・ストレスコントロール
クラブ経験を積んでいる卒業生が多いこともあり、ストレスに対しては強い印象がある。

■より身につけてほしい知識、力

・計画力

目標を立て、達成のために計画・実行し、身につけていく、考え抜く力があるとより良い。

・発信力（自分の意見を伝える力）

話し合いの経験、ディスカッションできる力がお客様と対面していく業務に役に立つ。

・継続して学ぶ力

努力する過程が重要であると考えているため、継続して学ぶ意欲・力があるとより良い。お客様の体をケアするため、体の仕組みについての勉強ができていると良い。

・コミュニケーション能力

アルバイト、ボランティア等、学校での関わりだけではなく、幅広い世代の方と交流ができる経験は、接客していくなかで役に立つ。

■インターンシップについて

受け入れをしていており、調整が可能（他団体で 8 時間×5 日間 40 時間のプログラム実績あり）。
令和 6 年度インターンシップの授業履修学生のインターンシップ受入を内諾いただいた。

■研修内容

・新人研修（CBST資格を取得するため、1.5～2 ヶ月の研修で学んでいただく）
・通常研修（技術、接客、現場、マナー研修）

■資格について

・健康運動指導士、アスレティックトレーナー、鍼灸師、柔道整復師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、看護師、公認 ATC は資格手当がつく（資格取得のための補助費用や時間等の調整はない）。
・トレーニング資格の手当については検討中。
・秘書検定有資格者の手当はないが、基本マナーが身についていることは安心できる点であり、お客様からの指名に繋がるのではないか。

■令和 3 年度自己点検・評価書について

相違なし。

まとめ

本学学生の強みとして「コミュニケーション能力」「課題発見力」「ストレスコントロール力」等が評価されているとのことであった。これは、スポーツを通じ身に付いた知識・能力であり、お客様と接していくには必要な力であり、発揮することで即戦力・必要な人材となれると確認ができた。

また、自分の意見を伝える力や、課題に対して次へ繋げるための考え抜く力がよりあると良いとのことであった。発信力は強化したい力であり、グループディスカッションは、一般企業等への就職採用試験で用いられることも多いため、キャリアセンターとして、就職対策講座等で学ぶ機会を設定することを検討したい。

以上

4）教職センターアセスメント

教育の質保証委員会　　R5.6.28

教職センター

令和４年度の取組についてのアセスメント（概要）

資料１　令和４年度　教員免許状取得状況　公立学校教育職員採用試験合格状況 資料２　令和４年度　教職センターアセスメント 資料３　令和４年度　教職課程自己点検評価報告書

１　教員免許状取得状況　公立学校教育職員採用試験合格状況　（資料１）

教員免許状取得状況は一定の成果をあげているが、今後の指標としては、公立学校教育職員採用試験の現役合格者を増やすことに主眼をおきたい。特に、小学校教員は社会的状況から合格者数を増やしてきているが、中高体育の現役合格者を増やしていくことが課題である。

〔課題改善に向けた令和５年度からの新たな取組〕　＊一部昨年度からの継続取組も含む

○教職志望学生の早期把握とタイムリーな情報提供（Forms による登録）
○教職志望学生の意欲喚起　・４年生による教員採用試験コーチ会
○教員採用試験の変更に関する説明会の実施
○中高体育教員志望学生のためのグループ学習（学生のニーズに合わせた実施方法の工夫）
○各種対策講座の２年生からの参加
○教師力養成講座（観察実習）の中学校（国立市）のスタート

２　教職センターアセスメント　（資料２）

ここでは、「教職ラーニングステーション」の利用に関するアセスメントを実施した。

教職を目指す学生の約３割が教職ラーニングステーションを利用しているが、５割利用を目指していきたい。利用した学生の声からは満足度の高さが伺えるが、学習支援、学習環境をさらに充実させる必要がある。

〔取組方針〕教職を目指す学生の夢や希望を実現させるべく、学生（含：卒業生）のニーズに合わせた支援を早い時期から行う。 ○教員採用試験（中高体育）における現役合格者を増やす。 ○教員採用試験（小全）における現役合格者を増やす。 ○教員採用試験全体で現役合格者を増やす。（含：特別支援学校、養護教諭、幼稚園）

〔課題改善に向けた令和５年度からの新たな取組〕

１で掲げた新たな取り組みに加えて、

○登録システムを活用した「教職ラーニングステーション」からの情報発信の充実
○「教職ラーニングステーション」の説明会の９月実施（４月のフレッシュウィークに加えて）
○大学２年生対象ラーニング会の実施（９月末）
○「教職ラーニングステーション」の環境を考えるためのより具体的な利用人数把握と学生の声の把握

３　教職課程自己点検評価報告書　（資料３）

「教職課程の自己点検・評価及び全学的に教職課程を実施する組織に関するガイドライン（概要）」（令和 3 年　教職課程の質保証のためのガイドライン検討会議）（資料４）に基づき、本学は令和４年度の自己点検評価より実施。

資料１、２によるアセスメントの結果も含めて、項目に照らして整理しまとめた。今後、ホームページにて公表していくことになる。

R5.6.28　資料1
教育の質保証委員会

令和4年度教員免許状取得状況等について

1. 教育職員免許状取得者数

学部・学科		卒業学生数	免許状種類	取得学生数	取得率
大　学	体育学部 体育学科	326　名 (349) 名	中学校1種・ 高等学校1種	277　名 (299) 名	85.0% (85.7%)
	科目等履修生	1　名 (0) 名	中学校1種・ 高等学校1種	1　名 (0) 名	100% (—)
	大 学 計			278　名 (299) 名	86.3% (85.7%)
短期大学	保健体育学科	25　名 (18) 名	中学校2種	15　名 (6) 名	60.0% (33.3%)
	児童教育学科	【幼保コース】			
		34　名 (46) 名	幼稚園2種・ 保育士資格	27　名 (35) 名	79.4% (76.1%)
			幼稚園2種のみ	1　名 (4) 名	2.9% (8.7%)
			保育士資格のみ	2　名 (4) 名	5.9% (8.7%)
		【幼小コース】			
		6　名 (14) 名	小学校2種・ 幼稚園2種	6　名 (8) 名	100.0% (57.1%)
			小学校2種のみ	0　名 (3) 名	0.0% (21.4%)
			幼稚園2種のみ	0　名 (2) 名	0.0% (14.3%)
	科目等履修生	34　名 (26) 名	小学校2種	34　名 (26) 名	100.0% (100.0%)
	児童教育学科　計			70　名 (82) 名	94.6% (95.3%)

注)大学277名外、2名が個人申請となる。　　(　)内は前年度(令和3年度)

2. 令和4年度実施公立学校教員採用試験二次合格者(現役)一覧

正規合格者			令和4年		令和3年	令和2年	令和元年	平成30年度
学部・学科		区分	実数	延数	実数	実数	実数	実数
大 学	体育学科	中・高校	0名	0名	2名	4名	2名	2名
	体育学科	特別支援	2名	2名	0名	0名	0名	0名
	体育学科/科目等	小学校	17名	21名	5名	11名	5名	1名
短 大	児童教育学科	小学校	0名	0名	0名	1名	2名	0名
科目等履修生	科目等(既卒)	小学校	1名	1名	0名	0名	4名	4名
	合計		20名	24名	7名	16名	13名	7名

期限付き名簿登載者

学部・学科	大学	中・高	2名	2名	3名	0名	1名	0名
大学	体育学科/科目等	小学校	7名	7名	6名	4名	1名	3名
短大	児童教育学科	小学校	0名	0名	1名	2名	0名	0名
	合計		9名	9名	10名	6名	2名	3名

令和４年度　教職センターアセスメント

R5.6.28　資料２
教育の質保証委員会

1. アンケートの目的
本アンケートは、教職ラーニングステーションの活用実態を把握し、今後の支援体制及び教職ラーニングステーション活用改善を目的としている。

2. 実施対象
① 卒業生（令和４年度学習成果測定アンケート・企画調査室）
回答数：大学 234 人/（卒 326 人）　保体：23 人/（卒 25 人）　児教：37 人/（卒 40 人）
② 令和４年度教職ラーニングステーションに関するアンケート　（令和４年 11 月実施）
回答者数　142 人　（＊全学生対象で行ったが回答者が少なく今後の課題とする）

3. アンケート結果①
(1)　【問】:「教職ラーニングステーションを今までに活用したか。」
●大学・短大とも約２割～3 割が活用したと回答。また、昨年度と比較しても同じ割合だった。今後、活用率５割を目指して、学生支援の体制を構築する。今後、2、3 年生の活用を増やしていく。

	大学4年		保体2年		児教2年	
選択肢	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
活用した	74	**31.6%**	**6**	**26.1%**	**8**	**21.6%**
	(108)	(32.8%)	(4)	(26.7%)	(18)	(32.1%)
活用しなかった	160	**68.4%**	**17**	**73.9%**	**29**	**78.4%**
	(221)	(67.2%)	(11)	(73.3%)	(38)	(67.9%)

※表中の（　　）内は昨年度結果

※卒業生（令和４年度学習成果測定アンケート・企画調査室）

(2)　【問】:「本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。
教職ラーニングステーションの満足度を教えて下さい。(活用したと回答した方のみ)」
●満足度として肯定的な割合がとても多い。今後、支援をより充実させる為に学生が求めていること（スペースの狭さ、教職に向けた取組み方の早期理解等）の改善に向けて策を講じていきたい。

	大学4年		保体2年		児教2年	
選択肢	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
とても満足している	**30**	**40.5%**	**3**	**50%**	**2**	**25%**
	(47)	(43.5%)	(3)	(75%)	(6)	(33.3%)
まあまあ満足している	**27**	**36.5%**	**2**	**33.3%**	**6**	**75%**
	(35)	(32.4%)	(0)	(0%)	(10)	(55.6%)
あまり満足していない	**14**	**18.9%**	**1**	**16.7%**	**0**	**0%**
	(19)	(17.6%)	(0)	(0%)	(2)	(11.1%)
まったく満足していない	**3**	**4.1%**	**0**	**0%**	**0**	**0%**
	(7)	(6.5%)	(1)	(25%)	(0)	(0%)

※表中の（　　）内は昨年度結果

※卒業生（令和４年度学習成果測定アンケート・企画調査室）

★令和４年度教職ラーニングステーション利用者数（教職ラーニングステーション調査）

●1 日の平均が 11 人（大学 4 年生 39.6%　大学 3 年生 41.5%）

大学 3 年生の割合が多い理由として、教員採用試験に向けた意識が高くなっている傾向がある。また、今年度に入り利用者数が昨年度よりも増え、活用する学生が増えた。現在、教職アドバイザーが Teams で連絡、資料提供し、希望する学生にオンラインによる対応を実施し、学生のニーズに合わせた支援を心がけている。さらに、公立幼稚園、保育所への進路を考えているこどもスポーツ教育学科の学生にもキャリア支援課と連携しながらラーニングステーションの活用を促していく。

令和４年度学年別利用状況

利用者数		１日平均	利用比率%
大学４年	1,028	4.5	39.6%
大学３年	1,077	4.7	41.5%
大学２年	314	1.4	12.1%
大学１年	3	0.0	0.1%
卒業生	99	0.4	3.8%
短大１年	12	0.1	0.5%
短大２年	65	0.3	2.5%
計	2,598	11.3	

4.　アンケート結果②

教職を目指す学生の状況

●教職を目指す 4 割の学生のうち、7 割が 1 年次から教職を目指している。この結果を踏まえ、大学・短期大学も含め 1 年次から教職ラーニングステーションの活用を促し、勉強の取り組み方への指導や各種対策講座を充実させ、学生が気軽にラーニングステーションを利用できるよう体制を整えたい。

【問】

(1)　教職を目指している学生　**38.7%**　迷っている学生　**8.5%**　　**【別紙：表 1】**

(2)　大学 1 年次から教職を真剣に考えている学生　**68.7%**　　**【別紙：表 2】**

(3)　教職を目指している学生のうち目標を立てて採用試験の勉強に取り組んでいる学生　**53.7%**　　**【別紙：表 3】**

(4)　教員採用試験の勉強に取り組みたいがどう取り組んだらよいかわからない学生　**31.3%**　　**【別紙：表 4】**

(5)　教職ラーニングステーションを利用した学生のうち、アドバイスは適切だった **61.2%**。　　**【別紙：表 5】**

※令和４年度教職ラーニングステーションに関するアンケートから（R4.11 実施　教職課）

教職ラーニングステーションの学習環境

●ラーニングステーションの学習環境（施設）については、利用者の満足度は高い。しかし、令和 3 年度のアンケートの記述では、次のような課題があることが分かっている。

・混雑時は利用を控える　・上級生が多いと利用に躊躇する。

・中高体育志望と小学校志望で分かれていた方がよい。・個別のブースがもう少しほしい。

改善は近々で解決できる状況にない為、ラーニングステーション及び教職センターの効果的な活用に向け、SNS を活用した学習支援なども実施していく。図書館の 2 階も教職に向けての環境を整えてくださっているので利用を促す。（＊ここにはアドバイザーがいないことが課題となる）

今後も教職に関する意欲のある学生がラーニングステーションに関われるよう働きかけを行う。

【問】

(1)　学習環境について

適している　**41.8%**　あまり適していない　**10.4%**　　**【別紙：表 6】**

(2)　教職ラーニングステーションの総合的な利用満足度

満足している **34.3%**、まあまま満足している **59.7%**　　**【別紙：表 7】**

※令和 4 年度教職ラーニングステーションに関するアンケートから（R4.11 実施　教職課）

5.　まとめ

毎年卒業学年に実施しているアンケート調査では、教職を目指す学生の約 3 割が教職ラーニングステーションを利用したことがあると回答している。また、利用した学生の声としては肯定的な回答が多く、満足度が高いことが分かった。教職ラーニングステーションをさらに活性化させる為には利用率を全体の 5 割とすることを一つの目標とし、教職ラーニングステーションだけでなく教職センターも含めた学習支援、学習環境を充実させる必要がある。また、教職ラーニングステーション及び教職センターの効果的な活用に向け、SNS を活用した学習支援体制を構築し学生に対しタイムリーな情報を配信することで、教職ラーニングステーションの存在を全面に周知できると考える。

令和 4 年度においても、教員採用試験現役合格者を増やす対策として各種対策講座を実施し、一般教養・教職教養・専門教養講座を開講、2 次試験対策として論作文・面接指導・模擬授業対策の個別対応と集団面接の対策など、教員採用試験に向けた有効な学生支援を年間を通して実施した。また、中学・高等学校保健体育及び小学校全科の教員を目指す学生に対し、教職員採用試験に向けた基礎学力の向上を図るための支援も実施した。特に中学・高等学校教員志望者については、部活動等、学生の個別の状況を把握し、それに見合った支援を行うようにした。

令和 5 年度から一部の自治体が教員採用試験の受験資格を大学 3 年生に引き下げるとともに、文科省が大学 3 年生向けの採用試験作問の支援を行い、令和 5 年度後半に希望する自治体で大学 3 年生対象の採用試験を実施する方向で検討を進めている。また、令和 6 年度以降、教員採用試験の実施時期を 1 ヶ月早める動きもある。今後状況に合わせて学生への説明会を実施する他、教員採用試験対策講座等を 2 年生から行い、特に一般教養・教職教養・専門教養を重点的に強化して行く。

令和 4 年度の外部評価では、「教職ラーニングステーションの効果的な活用方法、サポート体制及び環境の充実（質保証）に向けて、PDCA サイクルが回る仕組みを構築した方が良い。」との提言があったことから現在の課題に対して改善策を検討し PDCA サイクルの仕組みを整えたい。

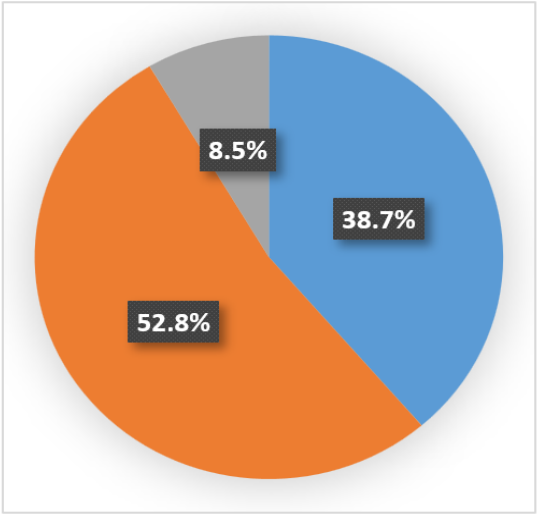
今後、教員採用試験の現役合格者数を増やすべく、学生が求めている支援を随時把握し、柔軟な学習支援の構築、充実した各種対策講座、教職への意欲付けとなる取組を充実させたい。

【別紙】　※令和4年度教職ラーニングステーションに関するアンケート（令和４年 11 月実施）より

【表・グラフ 1】

教職を目指していますか

①目指している	55	38.7%
②目指していない	75	52.8%
③迷っている	12	8.5%
計	142	

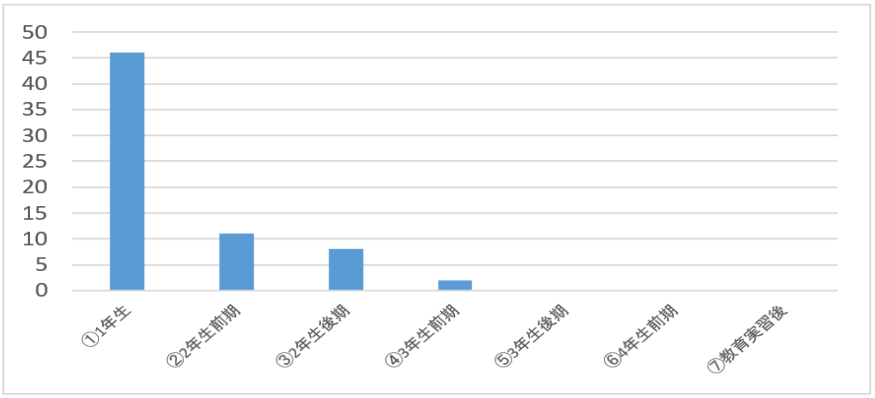


※下記、【表・グラフ２～７】は、教職を目指している学生、迷っている学生が回答）

【表・グラフ 2】

将来教職に就きたいと考えたのはいつ頃ですか

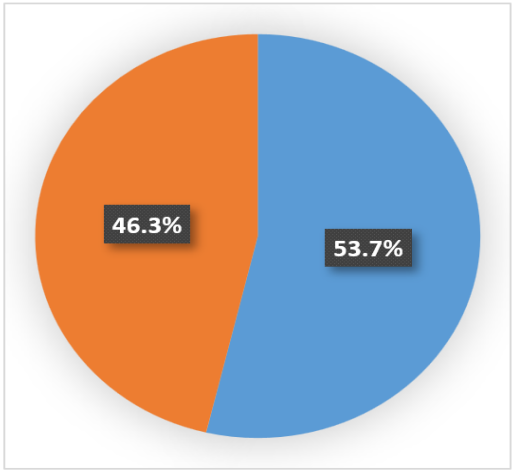
①1年生	46	68.7%
②2年生前期	11	16.4%
③2年生後期	8	11.9%
④3年生前期	2	3.0%
⑤3年生後期	0	0.0%
⑥4年生前期	0	0.0%
⑦教育実習後	0	0.0%
計	67	



【表・グラフ 3】

現在目標を立て、教員採用試験の勉強に取り組んでいますか

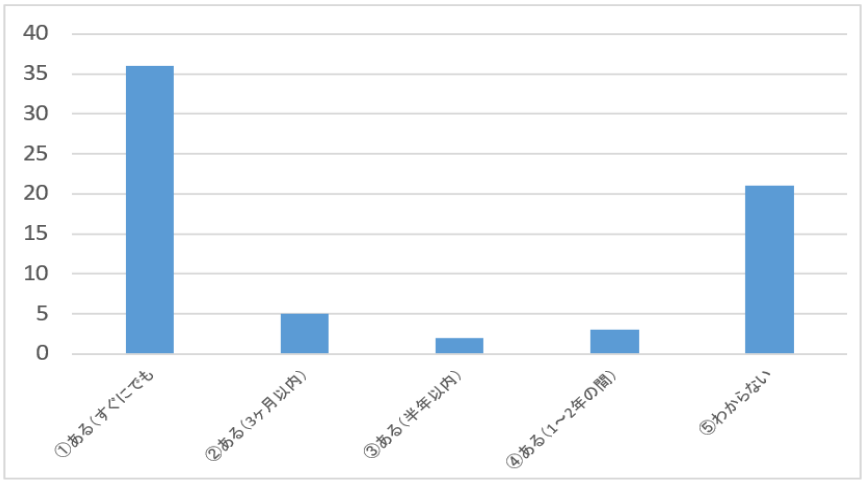
①取り組んでいる	36	53.7%
②取り組んでいない	31	46.3%
計	67	



【表・グラフ 4】

教員採用試験の勉強に取り組む予定はありますか

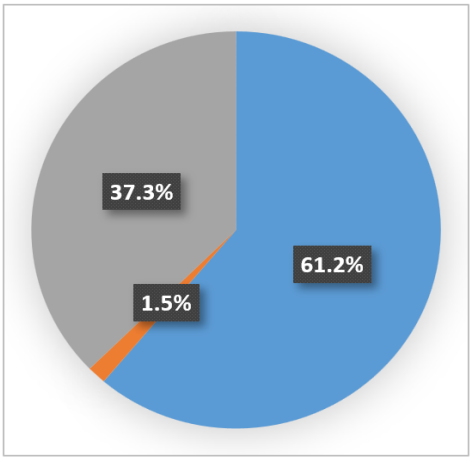
①ある（すぐにでも	36	53.7%
②ある（3ヶ月以内）	5	7.5%
③ある（半年以内）	2	3.0%
④ある（1～2年の間）	3	4.5%
⑤わからない	21	31.3%
計	67	



【表・グラフ 5】

教職ラーニングステーションでのアドバイスは適切だと感じましたか

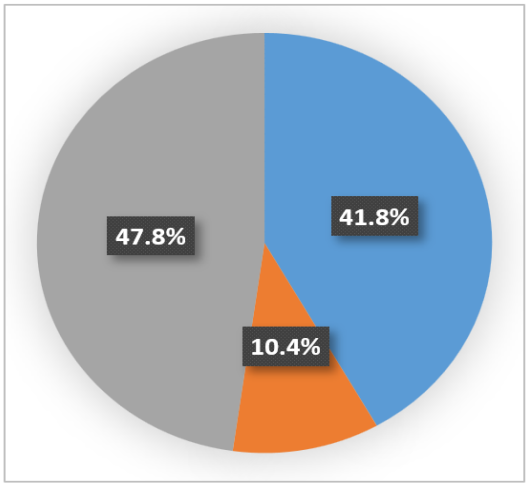
①適切だった	41	61.2%
②あまり適切ではなかった	1	1.5%
③相談していないのでわからない	25	37.3%
計	67	



【表・グラフ 6】（教職を目指している人、迷っている人が回答）

教職ラーニングステーションでの学習環境はあなたに適していますか

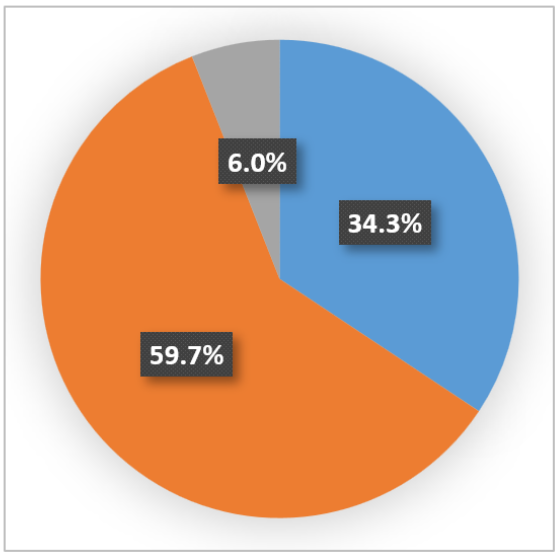
①適している	28	41.8%
②あまり適していない	7	10.4%
③わからない	32	47.8%
計	67	



【表・グラフ 7】

教職ラーニングステーションの利用について総合的にどのように感じていますか

①大いに満足している	23	34.3%
②まあまあ満足している	40	59.7%
③やや不満がある	4	6.0%
④不満がある	0	0.0%
計	67	



5）入学者アンケート

2023 年 新入生アンケートのまとめ

■アンケート実施に関して

1 年生を対象に、入学前・入学後・将来ビジョンに関するアンケートを実施した。これらの得られたデータは、広報部広報課による戦略的広報活動や資料作成に生かすとともに、学内で共有し学生生活の充実、入学試験の改善等、本学の魅力開発および発展を図りたい。

■実 施 日：2023 年 4 月のフレッシュウィーク期間にて実施した（4 月 4 日～6 日）

■対 象 者：1 年生（大学（体育学部）・短大（保健体育学科・こどもスポーツ教育学科））

■方　　法：Forms を利用しアンケートを実施。設問項目は 33 項目。
結果・考察については主に昨年度の結果と比較し作成した。なお統計的な比較検討は実施していない。

■回収状況：大学（体育学部）　253/263 名（回収率 96.1%）
短大・保健体育学科 15 名（回収率 100%）重複回答者 2 名
短大・こどもスポーツ教育学科 37 名（回収率 100%）重複回答者 1 名

■結果・考察：

設問 1　あなたは本学を何で知りましたか。

- 昨年同様、大学（体育学部）で最も多い回答は、「高校の先生」（2023 年 60.1%、2022 年 54.6%）であったが、次が「クラブ関係」（2023 年 31.6%、2022 年 30.0%）、「先輩」（2023 年 30.4%、2022 年 33.9%）となり、2 位、3 位が逆転した。
- 「高校の先生」は昨年以上に割合が増加している。高校生が本学を知る過程で高校教員が大きな役割を果たしていることが明らかであるため、高校の教員に対してどのように本学の広報を行っていくかが引き続き重要な課題である。
- 大学（体育学部）においては、「クラブ活動」を通じて本学を知る高校生が多い。指導者を通じての関わりや、高校の部活動との交流を積極的に行っていくことに効果があると言える。
- 「大学関係者」「進学説明会」の割合が微増している。
- 「先輩」の影響が大きいため、在学生の大学生活に対する満足度を上げ、本学で得た経験を後輩や母校へ発信してもらえるよう努めることが求められる。
- こどもスポーツ教育学科においても、大学同様「高校の先生」が多い。また「保護者」と答えた割合が多いのはこどもスポーツ教育学科の特徴と言える。
- 情報ツールを使ったものについては、外部の情報サイトや情報誌よりも、本学のホームページや資料請求によるものが圧倒的に多い。大学案内やホームページのコンテンツを充実させ、高校生が知りたいと思う情報が得られるようにすることが早急に必要と言える。SNS 等での発信効果はまだ弱い。

設問 2　本学の受験を決めたのはいつごろですか。

・ 昨年同様に大半が高校 3 年生になってから決めており、夏休み以降（夏休みを含む）に決めた割合が大学（体育学部）では 5 割以上、短大（両学科ともに）では 6 割以上に及ぶ。**高校での進路指導の時期に即した広報や、部活を引退してから進路を決める学生に向けて、適切な時期に他大学との差異やタイムリーな情報を発信することが求められる。**
またこの回答結果により、8 月までの高校訪問やオープンキャンパスでの広報が非常に重要であることが読み取れる。

・ **一方、全体の 1 割程が高校 2 年生までに本学を受験することを決めている（2023 年 24 件）。本学を選ぶ明確な理由があると考えられるため、詳細な検討を要する。**

設問 3　本学を選んだ理由は何ですか。

・ 昨年同様に、小中高教員免許、幼稚園教諭免許、保育士資格の取得が本学選択の理由として多く挙げられている。これらの資格取得に対する本学の教育・支援体制の充実と、その効果的な広報が求められる。

・ 大学（体育学部）では、「興味関心のあるクラブがある」（2022 年 38.3%→2023 年 39.9%）という回答が増加している。また短大においても同様の傾向がみられる。これらのことからクラブ活動の充実やその広報を積極的に行う必要があると言える。

・ 短大（両学科）においては、「指定校であること」という回答も増加している（保健体育学科＋25.0%、こどもスポーツ教育学科＋10.8%）指定校への十分な説明と周知を引き続き行うことが重要である。

・ 大学、短大ともに、昨年に引き続き「オープンキャンパスや進学説明会に参加して魅力を感じた」という回答も全体の 2 割～3 割に及び、かつ昨年に比べ増加している。これらのイベントへの集客力を高める工夫を検討したい。

・ 大学、短大ともに、昨年に引き続き**「高校の先生の勧め」と回答した割合が減少している。前項（本学を知った理由）で「高校の先生」と回答した割合が多く、他項目でも高校の先生の勧めとの回答率が高いため、高校教員に対する販促・関係強化の取り組みが重要であり、高校生が本学を知るきっかけとなるだけでなく、本学を選ぶ決め手になると考える。**高校教員の信頼を得るために、引き続き本学の特徴についてアピールしていく必要がある。

設問 4. あなたが本学を受験し、入学した方法を選択して下さい。

・ 昨年度同様、「学校推薦型選抜」、「総合型選抜Ⅰ期」が多いため、これを踏まえた広報等の対策が必要となる。

設問 5～15. 入試関連について。

【受験区分（入試の種類）と傾向】

・ 昨年度同様、総合型選抜は受験理由として「試験内容（面接のみで学力試験がない）などが大きな要因と考えられる。今年度の入学生では「保護者や高校教員からの勧め」が大きく上昇している点（2022 年 28.4%→2023 年 42.3%）は注目すべきである。
・ 昨年度同様、学校推薦型（スポーツ）選抜は、受験理由として自分自身の長所（スポーツにおける競技成績や学業成績）などが大きな要因として考えられる。本学教員からのスカウト、指定校推薦では、面接のみで学力試験がないことも大きな要因である。
学校推薦型（指定校：藤村含む）選抜は、試験内容（面接のみで学力試験がない）などが大きな要因と考えられる。
・ 一般選抜は、受験理由として他大学との併願、学力に自信がある、スカラシップ制度など様々な理由に分かれる。解答数が少ないため、今後の情報収集、蓄積が必要である。
・ 共通テスト利用選抜は、受験理由として他大学（国公立含む）との併願やスカラシップ制度を希望していたことが要因と考えられる。

【試験時期と傾向】

・ 全体的な傾向は、昨年度とほぼ同様と思われる。比較的早い時期に行われる総合型選抜Ⅰ期、推薦型選抜、総合型選抜Ⅱ期については、受験での試験内容（面接中心）や、教員・指導者・保護者などの周囲の人間の影響、そしてオープンキャンパス等の影響が見られやすい。
・ これに対して遅い時期に当たる一般選抜、共通テスト利用選抜、総合型選抜Ⅲ期については、他大学との併願（すべり止め）としての受験や、学力の高さ（筆記試験）に自信のある傾向が見受けられる。またスカラシップなどで受験を検討している入学生（受験生）がいる点は注意すべき点である。

【Web 面接について】

・ 肯定的な意見が多い。
・ 本学の入試手順（案内や操作方法マニュアル）の改善の影響や、受験生および社会的な Web 面接への周知や理解が進んだ影響などが考えられる。新型コロナ対応として始まった Web 面接だが、今後の在り方（継続）についても議論が必要と思われる

設問 16,17：ポリシーについて

・ 入学前に 3 つのポリシーを読んだことのある学生は、昨年度と比較し、今年度は若干減少している。引き続き、受験生が読みやすいような情報提示・発信が求められる。
・ 専門分野（体育・スポーツ/保育・幼児・児童教育）の実技能力と、それらに関心を持ち社会に貢献する力を備えていると捉えている学生が多い一方、物事を多面的・多角的に観察し、論理的に考察する力を備えていると捉えている学生は少ないため、これらの実態に即した教育・支援が必要といえる。

設問 18～22：オープンキャンパスについて

・　大学、短大ともに、高校３年生での参加率が増加している。コロナ禍の影響もあり、早い時期に多くの大学に出向くというよりは、受験する可能性が高い大学に絞って参加している傾向が伺える。**ただし、他大学・専門学校等の状況を確認すると低学年の参加者が増えており、本学の告知・誘導が弱く、結果高校３年生が参加している可能性も感じており、今後の販促等について、改善を検討していきたい。**

・　実施月が異なるため、単純に比較はできないが、夏休み中の参加（もしくは印象深い）が多い傾向は変わらない。８月のオープンキャンパスが４割を占めている（昨年度実施なし）
・　オープンキャンパスの主な情報源はホームページであることから、SNS も含め、ホームページを見てもらうための広報活動とともに、より魅力的で充実したホームページの作成が求められる。
・　オープンキャンパスへの参加により、「(やや) 進学したくなった」と感じた学生は、例年通り、非常に多く、オープンキャンパスに足を運んでもらえるような働きかけを積極的に行うことは有効だと考えられる。
・　オープンキャンパスに参加した際の学生や教職員との関わりや、部活の体験・参加することがよい印象につながる傾向がみられる。そのため、引き続きその意義と成果を周知し、学生や教職員が意欲的・積極的に関われるような働きかけが必要といえる。

設問 23～27：ホームページについて

・　昨年度から引き続き、ホームページと入学後のイメージとの違いについて「かなりある」「ややある」「どちらともいえない」と感じている学生の割合が全体の４割以上で「想像と違った」と感じている学生が多いという結果となっている。**本学のイメージやコンセプト等について統一感のある発信ができるよう工夫が求められる。**
・　ホームページで知りたかった情報は昨年に引き続き「学部・学科」「クラブ紹介」の割合が多い。わかりやすく、また高校生にとって魅力的な情報を発信していくことがホームページへのアクセスにつながると考えられる。

設問 28・29：情報収集時に使用する媒体

・　ホームページと回答している学生が圧倒的に多く（大学 87.4%、保健体育学科 53.3%、こどもスポーツ教育 75.7%）、次いで Instagram（大学 35.2%、保健体育学科 40.0%、こどもスポーツ教育 40.5%）、となっている。Instagram では前項で回答の多かった項目「学部・学科」「クラブ活動」や“こんなキャンパスで大学生活を送ってみたい”と思ってもらえるように大学の雰囲気・日常が良くわかる情報を日々発信していくことで大学への興味、関心が高まると考えられる。

設問 30　入学後、本学で何を学びたいと思いますか。

・　「授業を通して得る専門知識」、次いで「クラブ活動等を通して得る専門知識」が多い。ただし、他のどの項目もある程度の回答数があり、学生が様々な学びを期待し、力をつけたいと思っていることが窺える。こうした期待に応えるカリキュラムや課外活動等を提供するとともに、学生の学びの到達度についての客観的評価及び自己評価を継続的に行う必要がある。

設問 31　本学で取得したい資格は何ですか。

・　昨年同様に教員免許（中高）、幼稚園教諭、保育士資格の取得を目指している学生が多い。短大ではフィットネス資格（ジュニアスポーツ指導員）とスポーツ指導基礎資格（コーチングアシスタント）が昨年に比べ大きく増加している。今後キャリアデザインの授業を通じ、資格の魅力や取得のメリット等を伝えることで、卒業時の資格取得者を増やし、学生や保護者への満足度向上に繋げたい。
・　他の資格については、各課が連携してその取得方法等を丁寧に説明し、継続的に支援していくことが求められる。

設問 32　卒業後の希望の進路を教えてください。

・　昨年同様、大学は「学校教育」、保健体育学科は「体育関連」、こどもスポーツ教育学科は「幼稚園・保育所」を希望する割合が多い。これらの進路実現のための支援に力を入れることが求められる。一方で、全体の 2 割以上の学生が「まだ考えていない」と回答している。そのため**大学生活の中で自らの将来について模索し、新しい可能性を見出すことができるようにすることが必要である。具体的には教職ラーニングステーションの紹介・誘導強化、キャリア支援課の個別面談が有効と言える。また、出口（就職）を意識した専攻コース選択をすることで、ミスマッチのない進路を実現させていく。**

設問 33　あなたにとって、東京女子体育大学・東京女子体育短期大学の魅力は何ですか。

・　大学（体育学部）では、大学の雰囲気（明るい・元気・楽しそう・人間関係が良いなど）回答（91 件）、クラブ・スポーツ・部活関係回答（56 件）、施設・環境関係回答（39 件）、カリキュラム・教員・専門知識を学ぶことができる回答（30 件）、免許・資格関係回答（26 件）、就職率の高さ（6 件）。短大では、保健体育学科において、主に大学の雰囲気回答（5 件）、クラブ・スポーツ・部活関係回答（4 件）。こどもスポーツ教育学科において、主に大学の雰囲気回答（13 件）、クラブ・スポーツ・部活関係回答（4 件）、カリキュラム・教員・専門知識を学ぶことができる回答（9 件）、免許・資格関係回答（7 件）であった。

　これらのことから本学（大学・短大）は、上記のような一般的な魅力増大と共に、独自の魅力開発を早急に行う必要性があると考えられる。またそれらの魅力を社会、高校、学生へ発信、伝達もより必要であると言える。

以上

2023年度　新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	253	313	15	12	37	37

※2022：児童教育学科

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

＊パーセンテージ母数は回答者数

＊上位項目（黄色網掛け）

＊昨年より増加している場合（緑網掛け）

問	項目	大学(人)		大学（%）		短・保(人)		短・保（%）		短・こ(人)		短・こ（%）	
1	あなたは本学を何で知りましたか（複数回答あり）	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	本学のホームページ	43	63	17.0	20.1	2	2	13.3	16.7	6	7	16.2	18.9
	資料請求	24	47	9.5	15.0	1	4	6.7	33.3	0	3	0.0	8.1
	高校の先生	152	171	60.1	54.6	4	6	26.7	50.0	17	15	45.9	40.5
	先輩	77	106	30.4	33.9	4	5	26.7	41.7	7	14	18.9	37.8
	友人	16	24	6.3	7.7	1	0	6.7	0.0	2	6	5.4	16.2
	進学情報サイト（スタディサプリ（リクルート））	2	6	0.8	1.9	0	1	0.0	8.3	1	3	2.7	8.1
	進学情報サイト（Benesseマナビジョン（進研アド））	2	5	0.8	1.6	0	0	0.0	0.0	1	1	2.7	2.7
	進学情報サイト（パスナビ（旺文社））	0	2	0.0	0.6	0	0	0.0	0.0	1	0	2.7	0.0
	進学情報サイト（進路ナビ（ライセンスアカデミー））	1	1	0.4	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	クラブ活動	80	94	31.6	30.0	3	1	20.0	8.3	5	7	13.5	18.9
	保護者	20	26	7.9	8.3	2	1	13.3	8.3	9	10	24.3	27.0
	進学情報誌（リクルート）	1	1	0.4	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	進学情報誌（進研アド）	1	1	0.4	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	進学情報誌（さんぽう）	0	2	0.0	0.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	大学関係者	8	8	3.2	2.6	0	0	0.0	0.0	1	2	2.7	5.4
	進学説明会	9	7	3.6	2.2	1	1	6.7	8.3	1	0	2.7	0.0
	新聞	0	1	0.0	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	高校の進路相談室等にあった資料やポスター	8	11	3.2	3.5	0	1	0.0	8.3	3	1	8.1	2.7
	駅等の大学の看板	0	1	0.0	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	競技大会等のプログラム広告	4	6	1.6	1.9	0	1	0.0	8.3	1	0	2.7	0.0
	公式LINE	1		0.4		0		0.0		0		0.0	
	公式Instagram	3		1.2		0		0.0		1		2.7	
	公式Twitter	1		0.4		0		0.0		0		0.0	
	その他（卒業生、部顧問の先生、中学時の先生、姉、身内）	5	11	2.0	3.5	0	1	0.0	8.3	1	0	2.7	0.0
2	本学の受験を決めたのはいつごろですか。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	中学生のとき	4	9	1.6	2.9	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	高校1年生	3	11	1.2	3.5	0	1	0.0	8.3	2	1	5.4	2.7
	高校2年生	24	37	9.5	11.8	1	0	6.7	0.0	7	5	18.9	13.5
	高校3年生の夏休み前まで	88	94	34.8	30.0	3	7	20.0	58.3	4	18	10.8	48.6
	高校3年生の夏休み以降（夏休みを含む）	133	161	52.6	51.4	10	4	66.7	33.3	24	13	64.9	35.1
	その他（高校卒業後など）	1	1	0.4	0.3	1	0	6.7	0.0	0	0	0.0	0.0
3	本学を選んだ理由は何ですか（複数回答あり）	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	建学の精神・大学の特色・校風が良い	27	45	10.7	14.4	3	1	20.0	8.3	3	2	8.1	5.4
	魅力ある教員がいる	18	22	7.1	7.0	1	0	6.7	0.0	1	1	2.7	2.7
	自身の興味・関心がある競技又はクラブがある	101	120	39.9	38.3	4	4	26.7	33.3	11	8	29.7	21.6
	高校の先生の勧め	89	113	35.2	36.1	2	5	13.3	41.7	10	13	27.0	35.1
	高校の先輩の勧め	23	30	9.1	9.6	1	0	6.7	0.0	0	6	0.0	16.2
	家族の勧め	18	25	7.1	8.0	1	1	6.7	8.3	5	8	13.5	21.6
	教員免許（小学校、中学校、高等学校）が取得できる	128	186	50.6	59.4	2	8	13.3	66.7	6	8	16.2	21.6
	幼稚園教諭、保育士資格が取得できる	2	1	0.8	0.3	1	0	6.7	0.0	31	30	83.8	81.1
	就職率が高い（教員）	46	68	18.2	21.7	0	1	0.0	8.3	5	1	13.5	2.7
	就職率が高い（一般企業）	16	20	6.3	6.4	2	1	13.3	8.3	3	1	8.1	2.7
	本学からの教育実習生を見て	10	14	4.0	4.5	0	1	0.0	8.3	1	0	2.7	0.0
	施設・設備等が優れている	38	45	15.0	14.4	0	3	0.0	25.0	7	2	18.9	5.4
	自宅から通学できる	34	42	13.4	13.4	2	2	13.3	16.7	12	8	32.4	21.6
	オープンキャンパスや進学説明会に参加して魅力を感じた	51	58	20.2	18.5	5	4	33.3	33.3	13	8	35.1	21.6
	学納金が安い	3	3	1.2	1.0	0	1	0.0	8.3	0	1	0.0	2.7
	寮がある	17	16	6.7	5.1	1	1	6.7	8.3	4	6	10.8	16.2
	指定校だった	59	81	23.3	25.9	5	1	33.3	8.3	12	8	32.4	21.6
	その他（部活の雰囲気が良かった等）	2	7	0.8	2.2	0	1	0.0	8.3	3	0	8.1	0.0

2023年度　新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	253	313	15	12	37	37

※2022：児童教育学科

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

＊パーセンテージ母数は回答者数

＊上位項目（黄色網掛け）

＊昨年より増加している場合（緑網掛け）

【入試について】

問	項目	大学(人)		大学（%）		短・保(人)		短・保（%）		短・こ(人)		短・こ（%）	
4	あなたが本学を受験し、入学した方法を選択して下さい	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	総合型選抜Ⅰ期	52	74	20.6	23.6	3	6	20.0	50.0	5	11	13.5	29.7
	総合型選抜Ⅱ期	16	13	6.3	4.2	1	0	6.7	0.0	2	0	5.4	0.0
	総合型選抜Ⅲ期	4	1	1.6	0.3	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	2.7
	学校推薦型選抜（スポーツ）	72	62	28.5	19.8	2	0	13.3	0.0	8	7	21.6	18.9
	学校推薦型選抜（指定校：藤村含む）	95	144	37.5	46.0	8	5	53.3	41.7	19	17	51.4	45.9
	学校推薦型選抜（公募）	5	6	2.0	1.9	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	一般選抜	5	7	2.0	2.2	1	1	6.7	8.3	3	1	8.1	2.7
	一般選抜Ⅱ期					0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	共通テスト利用選抜Ⅰ期	3	5	1.2	1.6								
	共通テスト利用選抜Ⅱ期	1	1	0.4	0.3								

＊入学方法の回答数に対する%

5	総合型選抜Ⅰ期で受験した理由を1つお答え下さい	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	学力試験がなく、受験しやすいと思ったため	8	18	15.4	24.3	2	2	66.7	33.3	2	1	40.0	9.1
	面接のみの試験で、自分に適していたため	16	21	30.8	28.4	1	2	33.3	33.3	0	3	0.0	27.3
	保護者や高校の先生などに勧められたため	22	21	42.3	28.4	0	1	0.0	16.7	0	5	0.0	45.5
	学校説明会やオープンキャンパスで、総合型選抜を勧められたため	5	8	9.6	10.8	0	1	0.0	16.7	0	1	0.0	9.1
	その他（スポーツ推薦のため）	1	6	1.9	8.1	0	0	0.0	0.0	3	1	60.0	9.1
	計	52	74	100.0	100.0	3	6	100.0	100.0	5	11	100.0	100.0
6	総合型選抜Ⅱ期で受験した理由を1つお答え下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	学力試験がなく、受験しやすいと思ったため	2	2	12.5	15.4	0	0	0.0	−	0	0	0.0	−
	面接のみの試験で、自分に適していたため	7	5	43.8	38.5	0	0	0.0	−	2	0	100.0	−
	保護者や高校の先生などに勧められたため	3	5	18.8	38.5	0	0	0.0	−	0	0	0.0	−
	学校説明会やオープンキャンパスで、総合型選抜を勧められたため	1	0	6.3	0.0	0	0	0.0	−	0	0	0.0	−
	その他（受験対策の時間が足りなかったため、第二志望だったため等）	3	1	18.8	7.7	1	0	100.0	−	0	0	0.0	−
	計	16	13	100.0	100.0	1	0	100.0	−	2	0	100.0	−
7	総合型選抜Ⅲ期で受験した理由を1つお答え下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	学力試験がなく、受験しやすいと思ったため	1	0	25.0	0.0	0	0	−	−	0	0	−	0.0
	面接のみの試験で、自分に適していたため	1	0	25.0	0.0	0	0	−	−	0	1	−	100.0
	保護者や高校の先生などに勧められたため	2	0	50.0	0.0	0	0	−	−	0	0	−	0.0
	学校説明会やオープンキャンパスで、総合型選抜を勧められたため	0	0	0.0	0.0	0	0	−	−	0	0	−	0.0
	その他	0	1	0.0	100.0	0	0	−	−	0	0	−	0.0
	計	4	1	100.0	100.0	0	0	−	−	0	1	−	100.0
8	学校推薦型選抜（スポーツ）選抜で受験した理由を1つお答え下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	全国的な大会に出場するなどの競技実績を生かしたいため	26	17	36.1	27.4	1	0	50.0	−	2	3	25.0	42.9
	希望する運動部に確実に入れるため	7	7	9.7	11.3	0	0	0.0	−	0	2	0.0	28.6
	保護者や高校の部活動の先生に勧められたため	19	21	26.4	33.9	1	0	50.0	−	3	1	37.5	14.3
	大学の部活動の先生にスカウトされたため	20	17	27.8	27.4	0	0	0.0	−	3	1	37.5	14.3
	その他	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	−	0	0	0.0	0.0
	計	72	62	100.0	100.0	2	0	100.0	0.0	8	7	100.0	100.0
9	学校推薦型選抜（指定校：藤村含む）選抜で受験した理由を1つお答え下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	高校の学習成績の状況が良いことを生かしたいため	47	78	49.5	54.2	3	3	37.5	60.0	11	8	57.9	47.1
	面接のみで合否が決まるため	32	48	33.7	33.3	4	2	50.0	40.0	7	7	36.8	41.2
	本学の指定校推薦の希望者が他にいなかったため	11	15	11.6	10.4	1	0	12.5	0.0	0	1	0.0	5.9
	その他（部活、高校の先生の母校、新体操をするため等）	5	3	5.3	2.1	0	0	0.0	0.0	1	1	5.3	5.9
	計	95	144	100.0	100.0	8	5	100.0	100.0	19	17	100.0	100.0
10	学校推薦型選抜（公募）で受験した理由を1つお答え下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	高校の学習成績の状況の制限がなく出願できるため	5	4	100.0	66.7	0	0	−	−	0	0	−	−
	運動競技歴に自信があったため	0	1	0.0	16.7	0	0	−	−	0	0	−	−
	論文に自信があったため	0	0	0.0	0.0	0	0	−	−	0	0	−	−
	その他	0	1	0.0	16.7	0	0	−	−	0	0	−	−
	計	5	6	2123.0	2122.0	0	0	−	−	0	0	−	−
11	一般選抜Ⅰ期で受験した理由を1つお答え下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	本学を第一志望としていたため	0	1	0.0	14.3	0	0	0.0	0.0	1	1	33.3	100.0
	学力（筆記試験）に自信があったため	1	1	20.0	14.3	1	0	100.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	スカラシップ（奨学金）を希望していたため	1	1	20.0	14.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	他大学と併願していたため	3	3	60.0	42.9	0	0	0.0	0.0	2	0	66.7	0.0
	その他	0	1	0.0	14.3	0	1	0.0	100.0	0	0	0.0	0.0
	計	5	7	100.0	100.0	1	1	100.0	100.0	3	1	100.0	100.0

2023年度　新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	253	313	15	12	37	37

※2022：児童教育学科

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

＊パーセンテージ母数は回答者数

＊上位項目（黄色網掛け）

＊昨年より増加している場合（緑網掛け）

問	項目	大学(人)		大学（%）		短・保(人)		短・保（%）		短・こ(人)		短・こ（%）	
12	一般選抜Ⅱ期で受験した理由を1つお答え下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	本学を第一志望としていたため	0	0	－	－	0	0	－	－	0	0	－	－
	他大学入試（国公立含む）のために共通テストを受験していたため	0	0	－	－	0	0	－	－	0	0	－	－
	個別試験がない（書類出願のみの）ため	0	0	－	－	0	0	－	－	0	0	－	－
	受験料が安いため	0	0	－	－	0	0	－	－	0	0	－	－
	スカラシップ(奨学金)を希望していたため	0	0	－	－	0	0	－	－	0	0	－	－
	その他	0	0	－	－	0	0	－	－	0	0	－	－
	計	0	0	－	－	0	0	－	－	0	0	－	－
13	共通テスト利用選抜Ⅰ期で受験した理由を1つお答え下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	本学を第一志望としていたため	0	0	0.0	0.0								
	他大学入試（国公立含む）のために共通テストを受験していたため	2	4	66.7	80.0								
	個別試験がない（書類出願のみの）ため	0	1	0.0	20.0								
	受験料が安いため	0	0	0.0	0.0								
	スカラシップ(奨学金)を希望していたため	1	0	33.3	0.0								
	その他	0	0	0.0	0.0								
	計	3	5	100.0	100.0								
14	共通テスト利用選抜Ⅱ期で受験した理由を1つお答え下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	本学を第一志望としていたため	0	0	0.0	0.0								
	他大学入試（国公立含む）のために共通テストを受験していたため	1	1	100.0	100.0								
	個別試験がない（書類出願のみの）ため	0	0	0.0	0.0								
	受験料が安いため	0	0	0.0	0.0								
	スカラシップ(奨学金)を希望していたため	0	0	0.0	0.0								
	その他	0	0	0.0	0.0								
	計	1	1	100.0	100.0								
15	Web面接を受けた方に伺います。Web面接の印象をお答え下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	取り組みやすかった	159	195	65.2	65.0	5	5	35.7	45.5	19	22	55.9	61.1
	やや取り組みやすかった	61	74	25.0	24.7	8	4	57.1	36.4	12	7	35.3	19.4
	どちらともいえない	18	23	7.4	7.7	1	2	7.1	18.2	2	4	5.9	11.1
	やや取り組みにくかった	5	7	2.0	2.3	0	0	0.0	0.0	1	2	2.9	5.6
	取り組みにくかった	1	1	0.4	0.3	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	2.8
	計	244	300	100.0	100.0	14	11	100.0	100.0	34	36	100.0	100.0
16	入学前に本学の3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）をHPまたは、大学案内等で読んだことがありますか。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	ある	217	278	85.8	88.8	9	11	60.0	91.7	33	33	89.2	89.2
	ない	36	35	14.2	11.2	6	1	40.0	8.3	4	4	10.8	10.8
17	あなたは、どの能力を持って受験したと思いますか。（複数回答あり）	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
大学	高等学校での履修内容を理解し高等学校卒業相当の知識力	47	62	18.6	19.8								
	体育・スポーツに関して、修学に必要な実技能力	155	176	61.3	56.2								
	物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察する力	20	33	7.9	10.5								
	自分の考えをまとめて的確に表現する力	36	47	14.2	15.0								
	体育・スポーツに関わる諸問題に深い関心を持ち、社会に貢献する力	113	140	44.7	44.7								
	多様な人々とのコミュニケーションを図り相互理解に努めようとする力	70	104	27.7	33.2								
保体	高等学校での履修内容を理解し高等学校卒業相当の知識力					2	1	13.3	8.3				
	保健体育に関して、修学に必要な実技能力					7	5	46.7	41.7				
	物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察する力					1	1	6.7	8.3				
	自分の考えをまとめて的確に表現する力					2	2	13.3	16.7				
	保健体育およびスポーツに関わる諸問題に深い関心を持ち、社会に貢献する力					8	7	53.3	58.3				
	多様な人々とのコミュニケーションを図り相互理解に努めようとする力					4	2	26.7	16.7				
児教	高等学校での履修内容を理解し高等学校卒業相当の知識力									7	8	18.9	21.6
	音楽、図画工作、体育に関して、修学に必要な実技能力									12	11	32.4	29.7
	物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察する力									4	2	10.8	5.4
	自分の考えをまとめて的確に表現する力									6	7	16.2	18.9
	“スポーツを愛し、子どもを愛せる人”で、保育・幼児教育および児童教育に関わる諸問題に深い関心を持ち、社会に貢献する力									33	27	89.2	73.0
	多様な人々とのコミュニケーションを図り相互理解に努めようとする力									12	8	32.4	21.6

2023年度　新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	253	313	15	12	37	37

※2022：児童教育学科

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

＊パーセンテージ母数は回答者数

＊上位項目（黄色網掛け）

＊昨年より増加している場合（緑網掛け）

【オープンキャンパスについて】

問	項目	大学(人)		大学（%）		短・保(人)		短・保（%）		短・こ(人)		短・こ（%）	
18	あなたは本学を受験にあたり、本学のオープンキャンパスに参加しましたか。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	1年の時に参加	4	6	1.6	3.1	0	0	0.0	0.0	1	2	2.7	5.4
	2年の時に参加	17	24	6.7	13.9	2	0	13.3	24.0	3	4	8.1	10.8
	3年の時に参加	155	188	61.3	51.4	8	9	53.3	52.0	27	19	73.0	51.4
	参加していない	77	95	30.4	31.6	5	3	33.3	24.0	6	12	16.2	32.4

＊回答者数に対する%

19	いつ開催されたオープンキャンパスに参加しましたか。複数回参加した人は、一番印象に残っている回を選んで下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	3月13日（日） ※2021　3月	7	11	4.0	5.0	1	0	10.0	0.0	0	2	0.0	8.0
	5月29日（日） ※2021　5月	9	15	5.1	6.9	0	0	0.0	0.0	2	0	6.5	0.0
	6月19日（日） ※2021　6月	15	22	8.5	10.1	0	1	0.0	11.1	2	5	6.5	20.0
	7月17日（日） ※2021　7月	33	84	18.8	38.5	0	3	0.0	33.3	5	10	16.1	40.0
	8月03日（水） ※2021実施無し	40		22.7		3		30.0		9		29.0	0.0
	8月28日（日） ※2021実施無し	44		25.0		6		60.0		7		22.6	0.0
	9月11日（日） ※2021　9月	28	66	15.9	30.3	0	4	0.0	44.4	5	5	16.1	20.0
	2022年実施無し　※2021　11月		20	0.0	9.2		1	0.0	11.1		3	0.0	12.0
	その他									1	0	3.2	0.0
	計	176	218	100.0	100.0	10	9	100.0	100.0	31	25	100.0	100.0
20	オープンキャンパスの情報は何から知りましたか。1つ選んで下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	本学のホームページ	126	138	71.6	63.3	6	5	60.0	55.6	26	17	83.9	68.0
	資料請求	14	25	8.0	11.5	2	2	20.0	22.2	1	1	3.2	4.0
	高校の先生	14	20	8.0	9.2	0	1	0.0	11.1	2	1	6.5	4.0
	先輩	2	7	1.1	3.2	0	0	0.0	0.0	0	3	0.0	12.0
	友人	5	7	2.8	3.2	0	0	0.0	0.0	0	2	0.0	8.0
	進学情報サイト	1	1	0.6	0.5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	クラブ活動	1	4	0.6	1.8	1	0	10.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	保護者	4	12	2.3	5.5	0	0	0.0	0.0	2	1	6.5	4.0
	進学雑誌	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	11.1	0	0	0.0	0.0
	大学関係者	3	1	1.7	0.5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	進学説明会	1	2	0.6	0.9	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	新聞	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	公式LINE	4		2.3		1		10.0		0		0.0	
	公式Instagram	0		0.0		0		0.0		0		0.0	
	公式Twitter	1		0.6		0		0.0		0		0.0	
	その他	0	1	0.0	0.5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	計	176	218	100.0	100.0	10	9	100.0	100.0	31	25	100.0	100.0
21	オープンキャンパスに参加したことで、本学に進学したくなりましたか。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	進学したくなった	133	158	75.6	72.5	6	4	60.0	44.4	24	20	77.4	80.0
	やや進学したくなった	32	43	18.2	19.7	4	5	40.0	55.6	5	3	16.1	12.0
	どちらともいえない	9	11	5.1	5.0	0	0	0.0	0.0	1	2	3.2	8.0
	やや進学したくなくなった	0	4	0.0	1.8	0	0	0.0	0.0	1	0	3.2	0.0
	進学したくなくなった	2	2	1.1	0.9	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	計	176	218	100.0	100.0	10	9	100.0	100.0	31	25	100.0	100.0
22	本学のオープンキャンパスに参加して、感じたことを1つ選んで下さい。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	全体会の入試方法の説明が理解しやすかった	15	25	8.5	11.5	0	1	0.0	11.1	2	3	6.5	12.0
	入試の個別相談が良かった	14	19	8.0	8.7	1	2	10.0	22.2	2	1	6.5	4.0
	教員や学生が親切だった	44	51	25.0	23.4	1	1	10.0	11.1	12	10	38.7	40.0
	入試以外の個別相談が良かった	1	1	0.6	0.5	0	0	0.0	0.0	1	1	3.2	4.0
	学内の施設見学が良かった	22	21	12.5	9.6	2	3	20.0	33.3	3	1	9.7	4.0
	部活動の体験や見学が良かった	25	41	14.2	18.8	1	1	10.0	11.1	4	1	12.9	4.0
	キャンパスグッズ（Tシャツ・トートバッグ・ペンなど）がもらえて良かった	6	6	3.4	2.8	2	1	20.0	11.1	0	1	0.0	4.0
	本学運動部の実演（新体操・ダンス等）が良かった	9	5	5.1	2.3	1	0	10.0	0.0	2	0	6.5	0.0
	明るい学校だと思った	40	49	22.7	22.5	2	0	20.0	0.0	5	7	16.1	28.0
	その他	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	計	176	218	100.0	100.0	10	9	100.0	100.0	31	25	100.0	100.0

2023年度　新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	253	313	15	12	37	37

※2022：児童教育学科

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

＊パーセンテージ母数は回答者数
＊上位項目（黄色網掛け）
＊昨年より増加している場合（緑網掛け）

【HP・情報収集方法について】

問	項目	大学(人)		大学（%）		短・保(人)		短・保（%）		短・こ(人)		短・こ（%）	
23	入学前、本学のホームページ（以下HP）を初めて見たのはいつですか。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	中学生のころ	3	14	1.2	4.5	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	2.7
	高校1年生のころ	20	31	7.9	9.9	0	0	0.0	0.0	3	4	8.1	10.8
	高校2年生のころ	58	70	22.9	22.4	4	2	26.7	16.7	10	12	27.0	32.4
	高校3年生のころ	140	178	55.3	56.9	9	9	60.0	75.0	21	17	56.8	45.9
	おぼえていない	28	20	11.1	6.4	2	1	13.3	8.3	2	3	5.4	8.1
	見たことがなかった	4	0	1.6	0.0	0	0	0.0	0.0	1	0	2.7	0.0
24	HPと入学後のイメージに違いがありましたか。（問23で「見たことがなかった」以外を回答した学生のみ）	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	かなりある	9	4	3.6	1.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	ややある	25	30	10.0	9.6	1	2	6.7	16.7	8	4	22.2	10.8
	どちらともいえない	84	95	33.7	30.4	5	4	33.3	33.3	7	16	19.4	43.2
	ややない	55	65	22.1	20.8	6	2	40.0	16.7	6	6	16.7	16.2
	ない	76	119	30.5	38.0	3	4	20.0	33.3	15	11	41.7	29.7
	計	249	313	100.0	100.0	15	12	100.0	100.0	36	37	100.0	100.0
25	HPで自分の興味のある情報をわかりやすく調べることができましたか。（問23で「見たことがなかった」以外を回答した学生のみ）	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	はい	236	291	94.8	93.0	14	11	93.3	91.7	32	36	88.9	97.3
	いいえ	13	22	5.2	7.0	1	1	6.7	8.3	4	1	11.1	2.7
	計	249	313	100.0	100.0	15	12	100.0	100.0	36	37	100.0	100.0
26	問25で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたの知りたかった情報は何ですか。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	学部・学科	42	95	40.4	32.6	2	0	14.3	0.0	17	0	53.1	0.0
	クラブ紹介	22	115	21.2	39.5	7	1	50.0	16.7	4	4	12.5	20.0
	交通・アクセス	0	3	0.0	1.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	5.0
	入試・入学	11	27	10.6	9.3	0	0	0.0	0.0	4	4	12.5	20.0
	オープンキャンパス・説明会	8	6	7.7	2.1	1	1	7.1	16.7	3	1	9.4	5.0
	就職	1	12	1.0	4.1	2	1	14.3	16.7	0	3	0.0	15.0
	資格	9	27	8.7	9.3	1	2	7.1	33.3	3	4	9.4	20.0
	ふじ寮	10	6	9.6	2.1	1	1	7.1	16.7	1	3	3.1	15.0
	その他	1	0	1.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	（※質問項目不備あり。回答者は104名のみ）　計	104	291	100.0	100.0	14	6	100.0	100.0	32	20	100.0	100.0
27	問25で「いいえ」と答えた方にお聞きします。あなたの知りたかった情報は何ですか。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	学部・学科	1	5	7.7	22.7	0	0	0.0	0.0	1	0	25.0	0.0
	クラブ紹介	3	6	23.1	27.3	1	0	100.0	0.0	1	0	25.0	0.0
	交通・アクセス	1	0	7.7	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	入試・入学	3	1	23.1	4.5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	オープンキャンパス・説明会	0	2	0.0	9.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	就職	1	1	7.7	4.5	0	1	0.0	100.0	0	1	0.0	100.0
	資格	2	3	15.4	13.6	0	0	0.0	0.0	1	0	25.0	0.0
	ふじ寮	2	3	15.4	13.6	0	0	0.0	0.0	1	0	25.0	0.0
	その他	0	1	0.0	4.5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	計	13	22	100.0	100.0	1	1	100.0	100.0	4	1	100.0	100.0
28	大学等の情報を集める際に、何を使用しますか。（複数回答あり）	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	ホームページ	221		87.4		8		53.3		28		75.7	
	LINE	21		8.3		2		13.3		2		5.4	
	Instagram	89		35.2		6		40.0		15		40.5	
	Twitter	19		7.5		0		0.0		4		10.8	
	Facebook	0		0.0		0		0.0		0		0.0	
	TikTok	6		2.4		1		6.7		1		2.7	
	その他	1		0.4		0		0.0		1		2.7	
	回答無し（※質問項目不備により）	17		6.7		0		0.0		0		0.0	
29	大学等の情報を集める際に、一番使用するものは何ですか。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	ホームページ	209		82.6		10		66.7		28		75.7	
	LINE	2		0.8		0		0.0		0		0.0	
	Instagram	21		8.3		4		26.7		2		5.4	
	Twitter	1		0.4		0		0.0		0		0.0	
	Facebook	0		0.0		0		0.0		0		0.0	
	TikTok	1		0.4		1		6.7		0		0.0	
	その他	2		0.8		0		0.0		1		2.7	
	回答無し（※質問項目不備により）	17		6.7		0		0.0		0		0.0	

2023年度　新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	253	313	15	12	37	37

※2022：児童教育学科

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

＊パーセンテージ母数は回答者数

＊上位項目（黄色網掛け）

＊昨年より増加している場合（緑網掛け）

【入学後について】

問	項目	大学(人)		大学（%）		短・保(人)		短・保（%）		短・こ(人)		短・こ（%）	
30	入学後、本学で何を学びたいと思いますか。（複数回答あり）	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	授業を通して得る専門知識	159	211	62.8	67.4	4	9	26.7	75.0	25	19	67.6	51.4
	クラブ活動等を通して得る専門知識	140	146	55.3	46.6	6	4	40.0	33.3	8	7	21.6	18.9
	授業を通して得る専門技術	120	151	47.4	48.2	2	3	13.3	25.0	16	17	43.2	45.9
	資格を取得する専門知識	100	165	39.5	52.7	4	8	26.7	66.7	28	22	75.7	59.5
	コミュニケーション能力	80	107	31.6	34.2	6	3	40.0	25.0	21	11	56.8	29.7
	先生、先輩、後輩といった世代を超えた人間関係	60	61	23.7	19.5	3	4	20.0	33.3	7	4	18.9	10.8
	クラブ活動での実績等	40	81	15.8	25.9	3	2	20.0	16.7	9	5	24.3	13.5
	その他	20	0	7.9	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	2.7
31	本学で取得したい資格は何ですか。（複数回答あり）	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
	高等学校教諭一種免許状	201	223	79.4	71.2								
	中学校教諭一種免許状	145	162	57.3	51.8								
	中学校教諭二種免許状					8	12	53.3	100.0				
	小学校教諭二種免許状	39	24	15.4	7.7					4	6	10.8	16.2
	幼稚園教諭二種免許状	8	7	3.2	2.2					30	29	81.1	78.4
	スポーツ指導基礎資格（コーチングアシスタント）	82	89	32.4	28.4	5	6	33.3	50.0	9	4	24.3	10.8
	フィットネス資格（スポーツプログラマー）	27	45	10.7	14.4	3	4	20.0	33.3	2	0	5.4	0.0
	フィットネス資格（ジュニアスポーツ指導員）	26	42	10.3	13.4	4	1	26.7	8.3	11	1	29.7	2.7
	健康運動実践指導者	19	36	7.5	11.5	6	2	40.0	16.7	1	0	2.7	0.0
	健康運動指導士	33	48	13.0	15.3					1	0	2.7	0.0
	障がい者スポーツ指導員（初級）	13	26	5.1	8.3	0	1	0.0	8.3	1	2	2.7	5.4
	保育士資格									32	30	86.5	81.1
32	卒業後の希望の進路を教えてください。	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	81.081
	学校教育	123	149	48.6	52.6								
	学校教育（小学校）									1	0	2.7	0.0
	保育所（園）	2	1	0.8	0.3					13	10	35.1	27.0
	体育関連（体育施設、体育指導、選手等）	40	41	15.8	13.9	8	5	53.3	52.0	0	0	0.0	0.0
	一般企業	9	20	3.6	6.5	2	1	13.3	8.0	2	3	5.4	8.1
	医療機関、福祉施設、児童福祉関連	2	3	0.8	1.5					0	1	0.0	2.7
	官公庁（警察、消防等含む）	15	12	5.9	3.7	1	2	6.7	8.0	0	0	0.0	0.0
	進学	1	0	0.4	0.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	大学へ編入					0	0	0.0	8.0	5	4	13.5	10.8
	まだ考えていない	61	81	24.1	18.9	4	4	26.7	20.0	7	9	18.9	24.3
	幼稚園、認定こども園									9	9	24.3	24.3
	その他	0	6	0.0	1.9	0	0	0.0	4.0	0	1	0.0	2.7

33　あなたにとって、東京女子体育大学・東京女子短期大学の魅力は何ですか。（別シートに詳細）

主な回答	大学（人）	短・保（人）	短・こ（人）
大学の雰囲気（明るい・元気・楽しそう）	61	5	8
大学の雰囲気（人間関係が良い）	19		3
大学の雰囲気	11		2
クラブ・スポーツ・部活関係	56	4	4
施設・環境が良い	39	1	2
カリキュラム・教員・専門知識関係	30	1	9
免許・資格関係	26	2	7
就職率の高さ	6		
その他	5	2	2
計	253	15	37

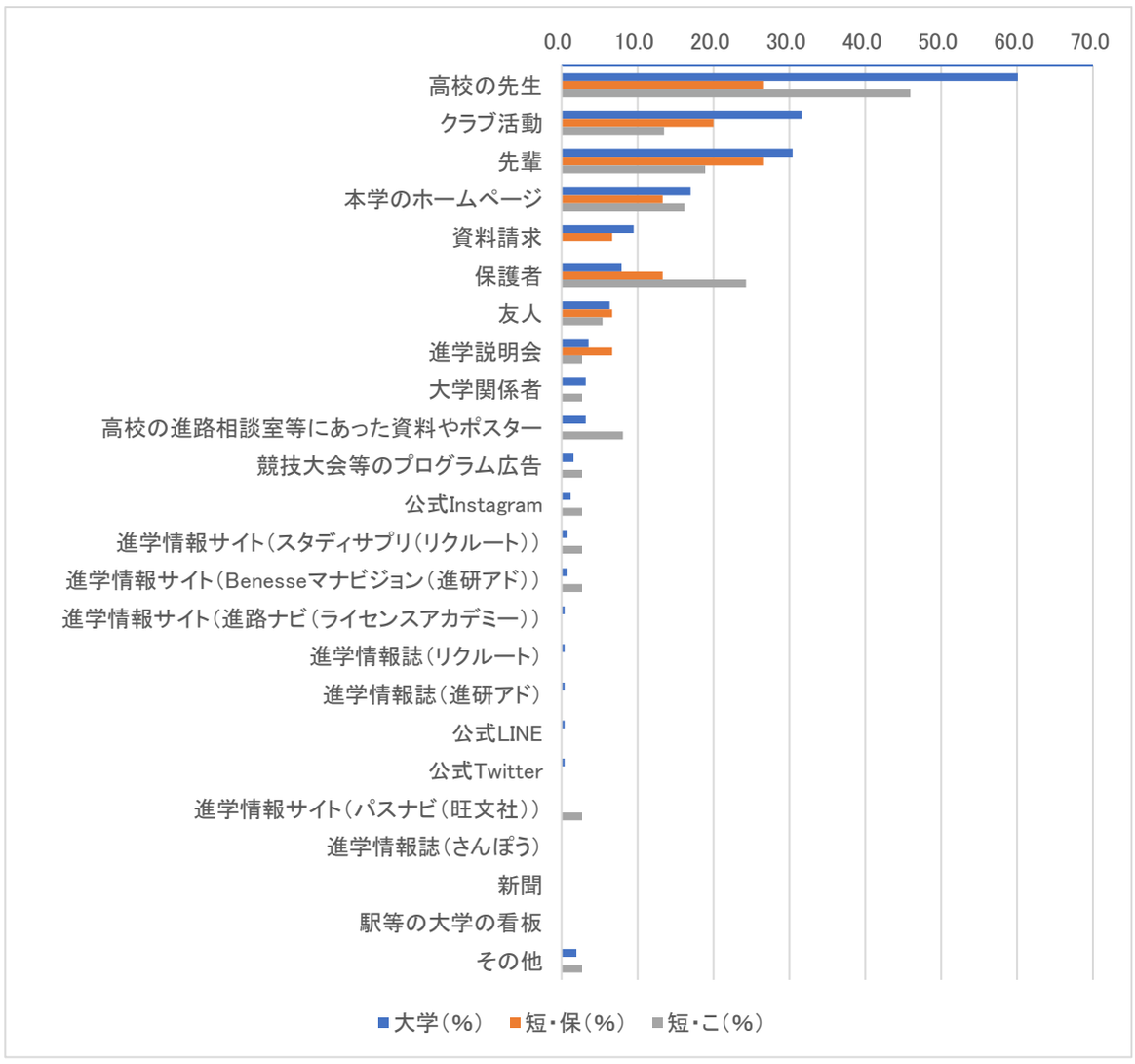
以上

2023/4/19集計

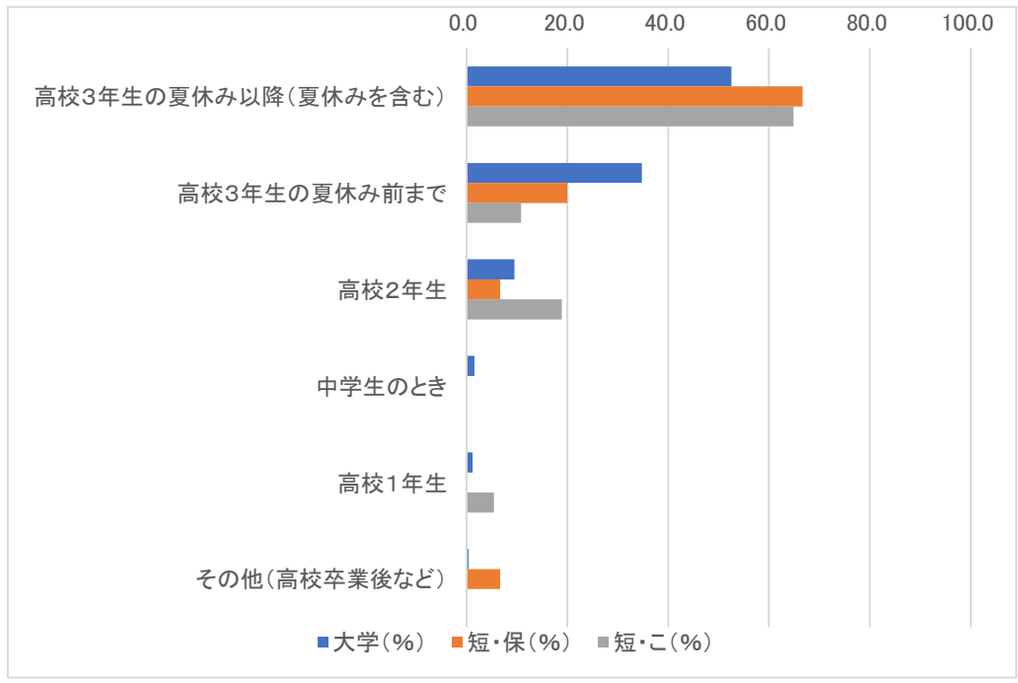
2023年度　新入生アンケートについて

問

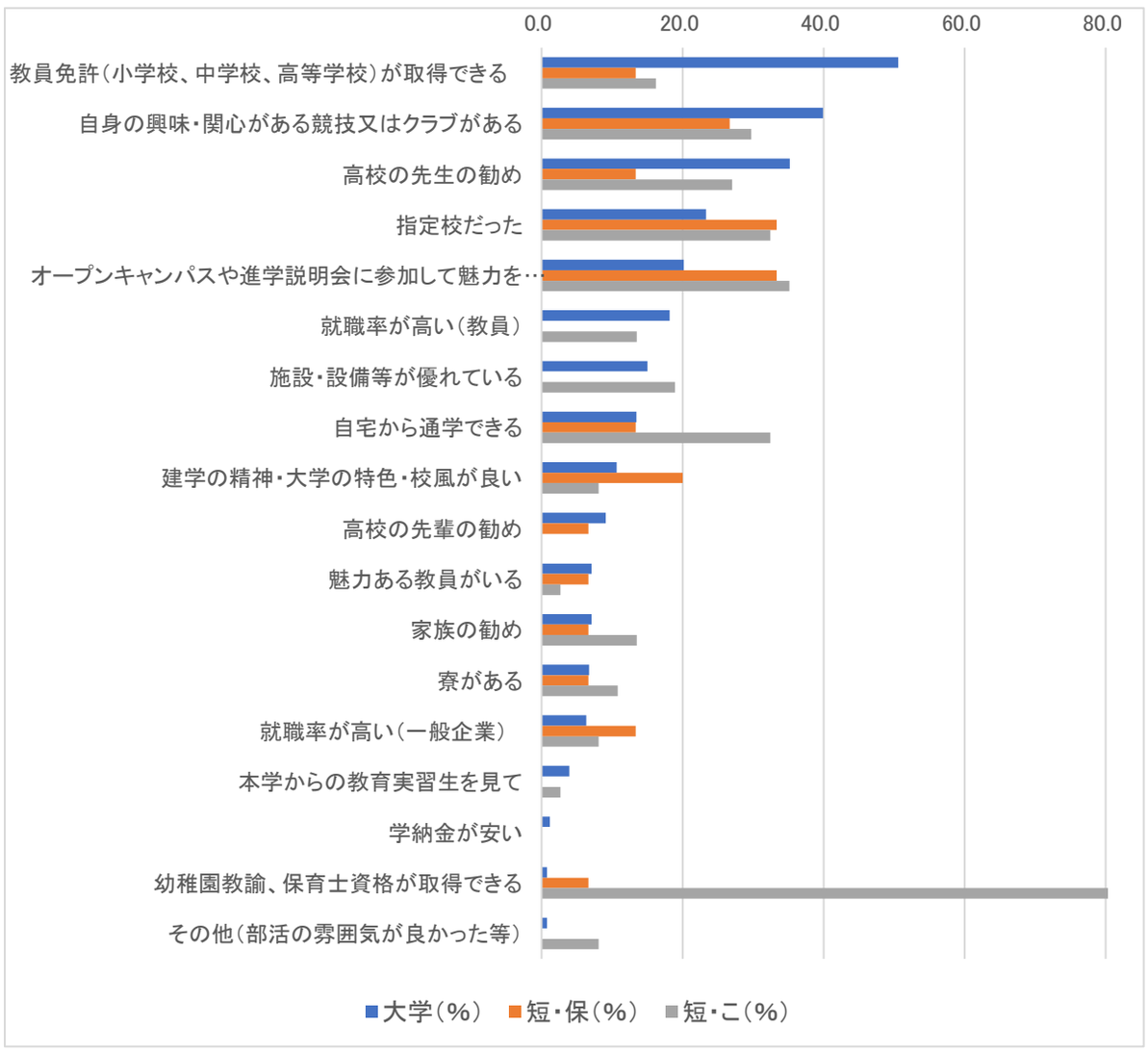
1　あなたは本学を何で知りましたか（複数回答あり）



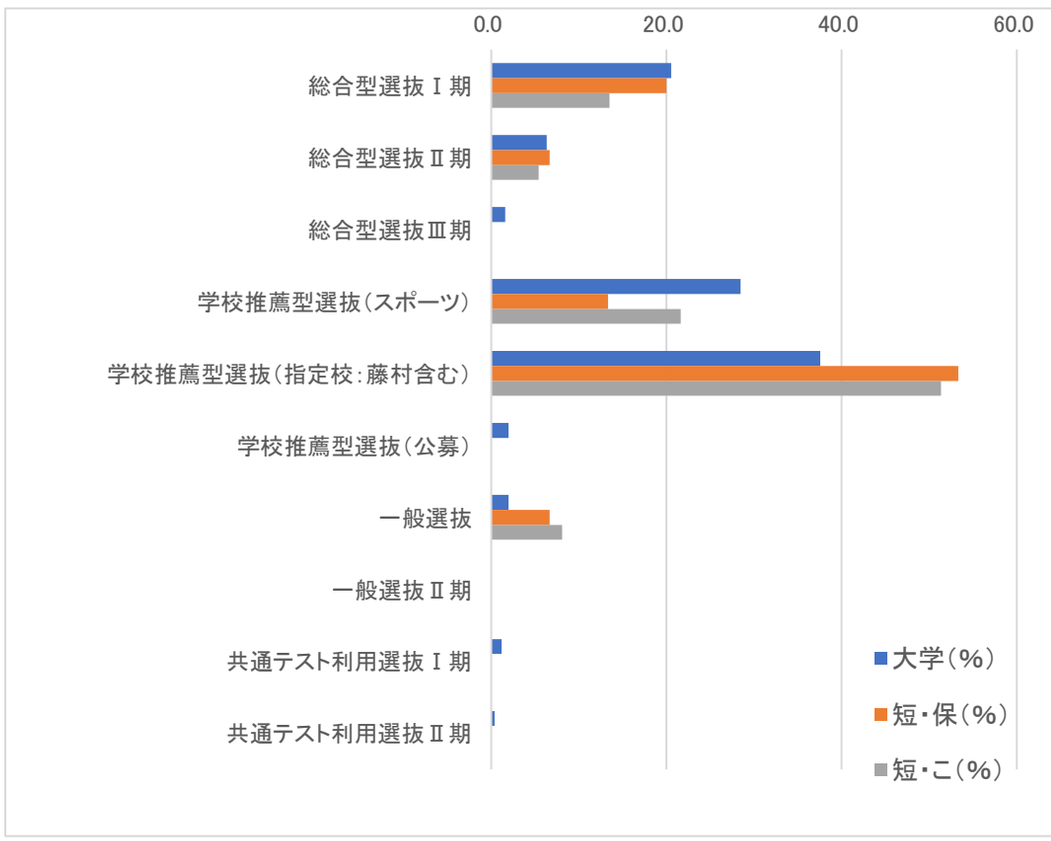
2　本学の受験を決めたのはいつごろですか。



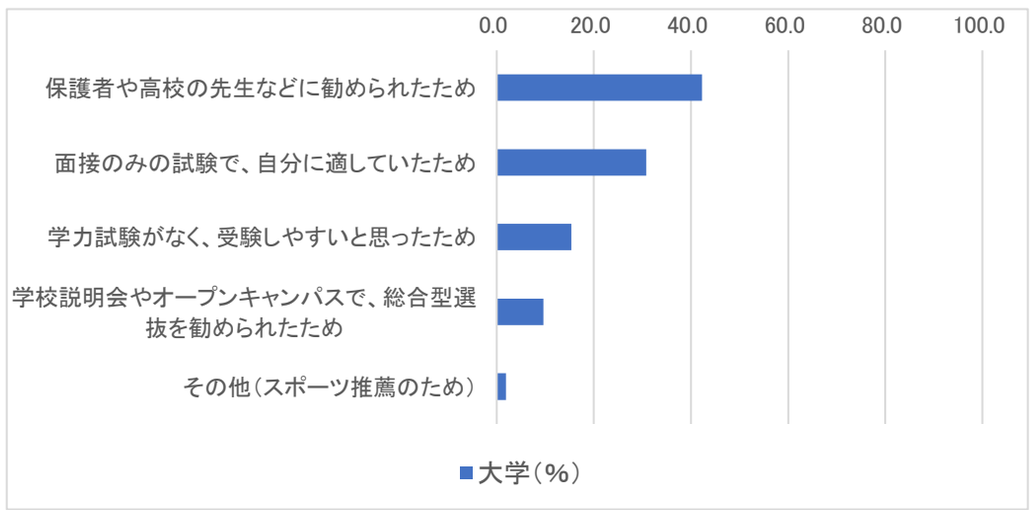
3　本学を選んだ理由は何ですか（複数回答あり）



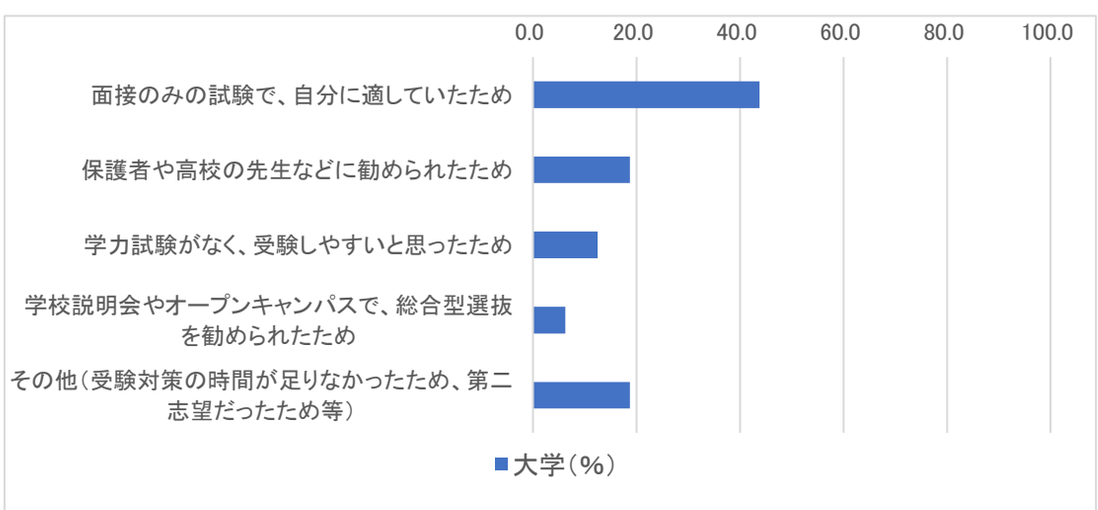
4　あなたが本学を受験し、入学した方法を選択して下さい



5　総合型選抜Ⅰ期で受験した理由を1つお答えください



6　総合型選抜Ⅱ期で受験した理由を1つお答えください

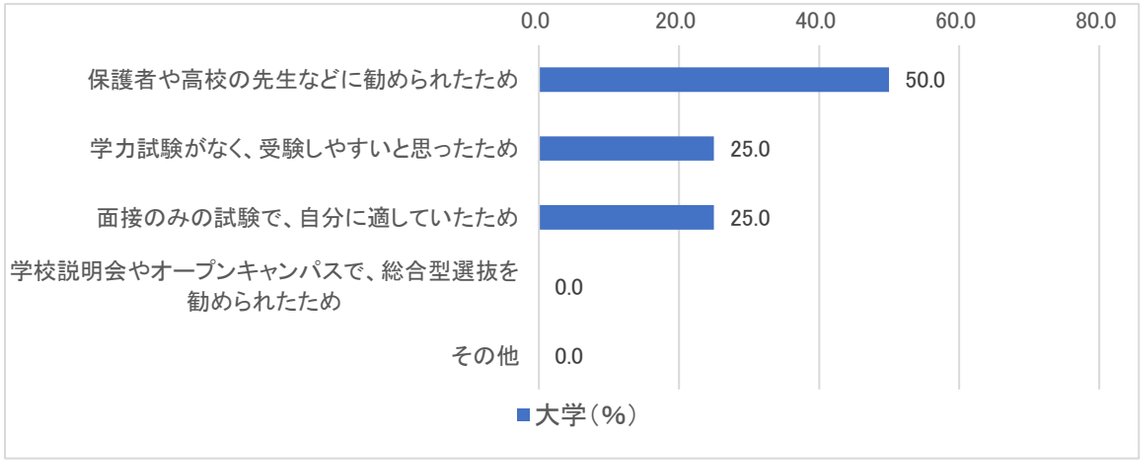


2023/4/19集計

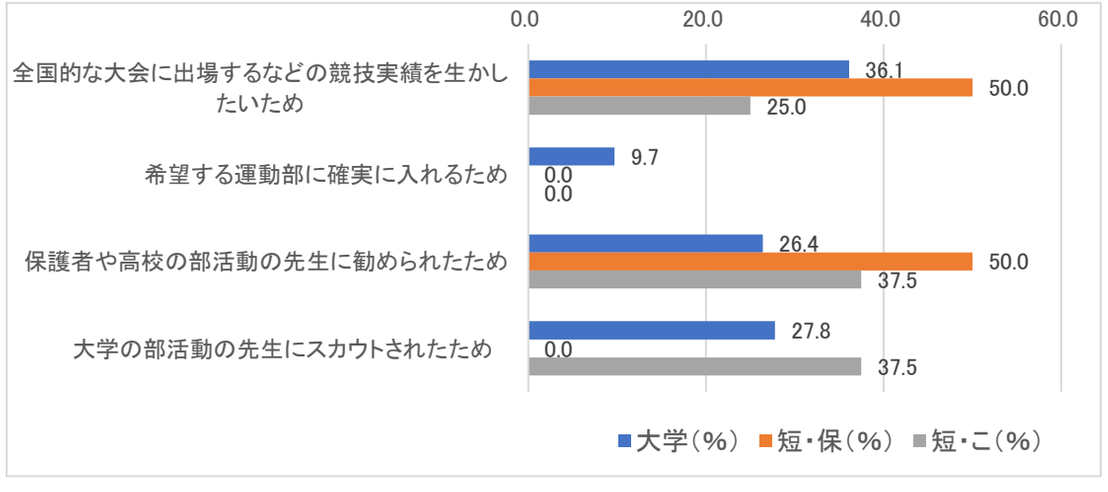
2023年度　新入生アンケートについて

問

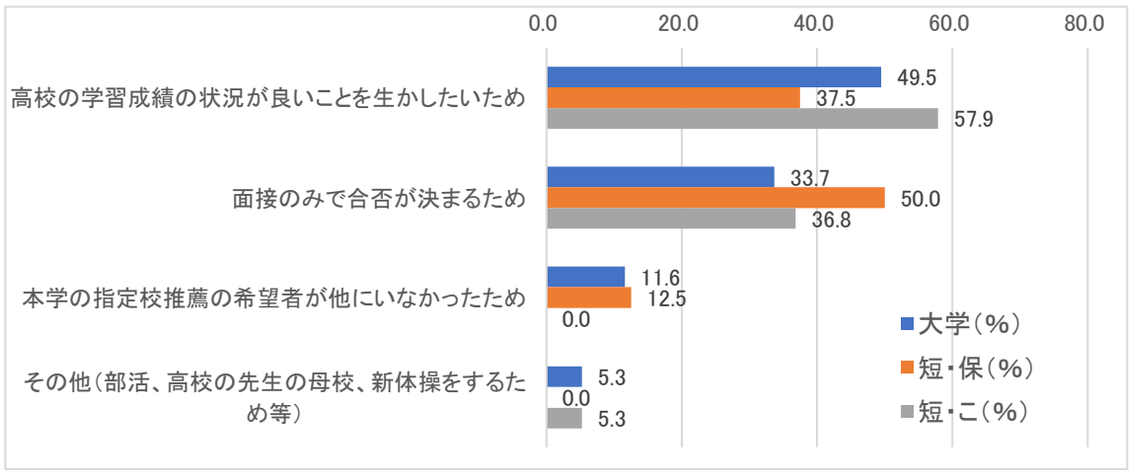
7　学校推薦型選抜（スポーツ）選抜で受験した理由を1つお答え下さい。



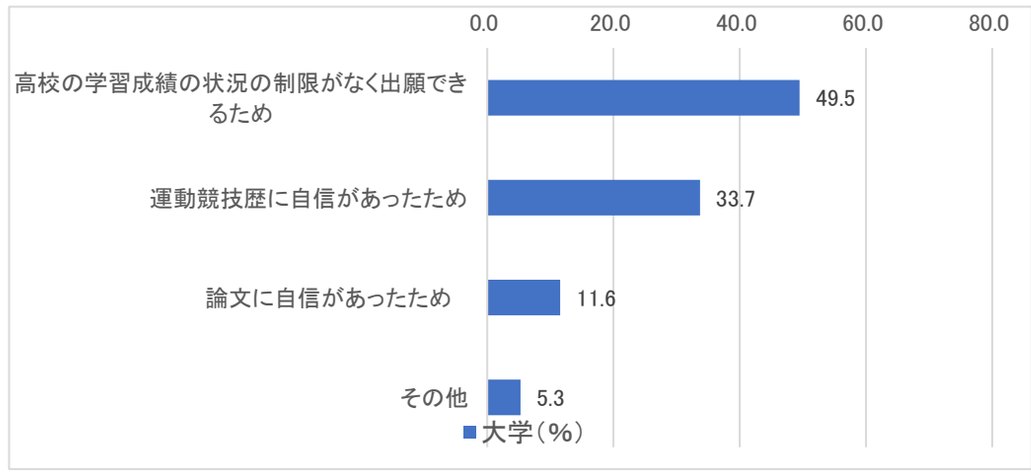
8　総合型選抜Ⅲ期で受験した理由を1つお答え下さい。



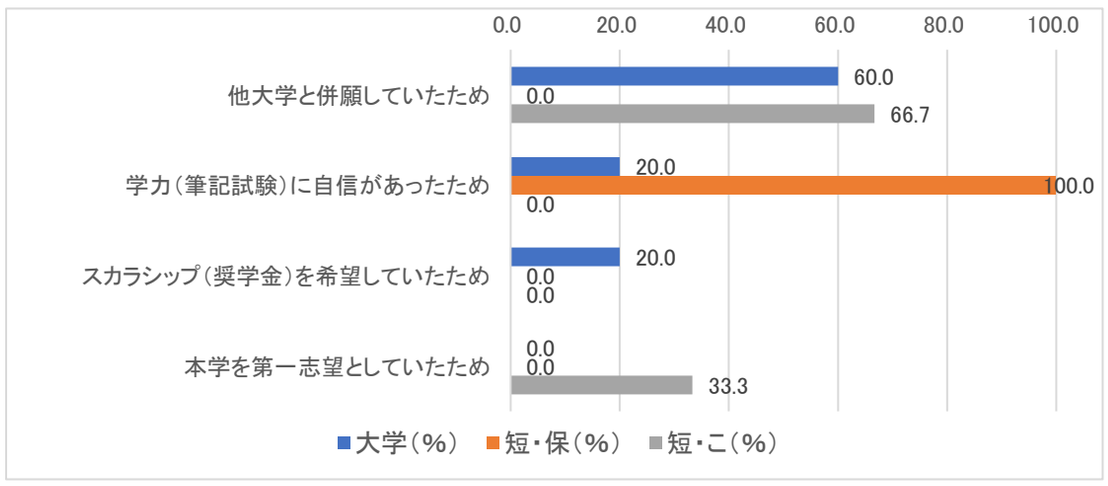
9　学校推薦型選抜（指定校：藤村含む）選抜で受験した理由を1つお答え下さい。



10　学校推薦型選抜（公募）で受験した理由を1つお答え下さい。



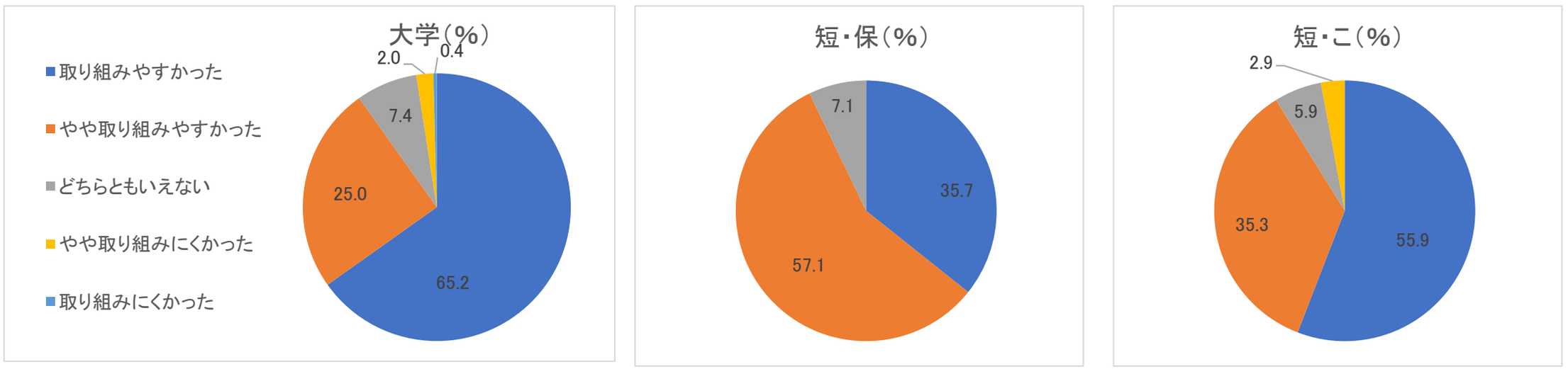
11　一般選抜Ⅰ期で受験した理由を1つお答え下さい。



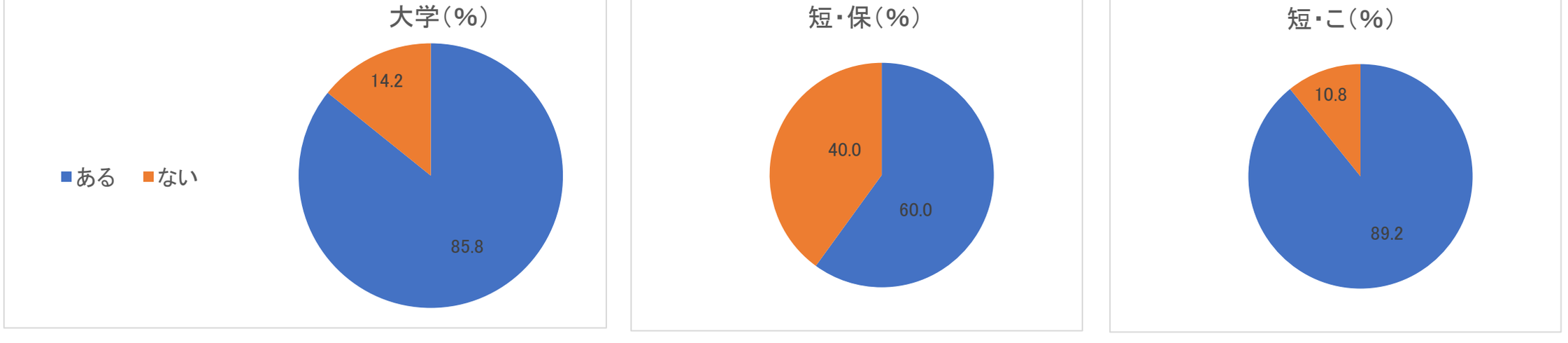
※グラフ省略

12 一般選抜Ⅱ期で受験した理由を1つお答え下さい。
13 共通テスト利用選抜Ⅰ期で受験した理由を1つお答え下さい。
14 共通テスト利用選抜Ⅱ期で受験した理由を1つお答え下さい。

15　Web面接を受けた方に伺います。Web面接の印象をお答え下さい。

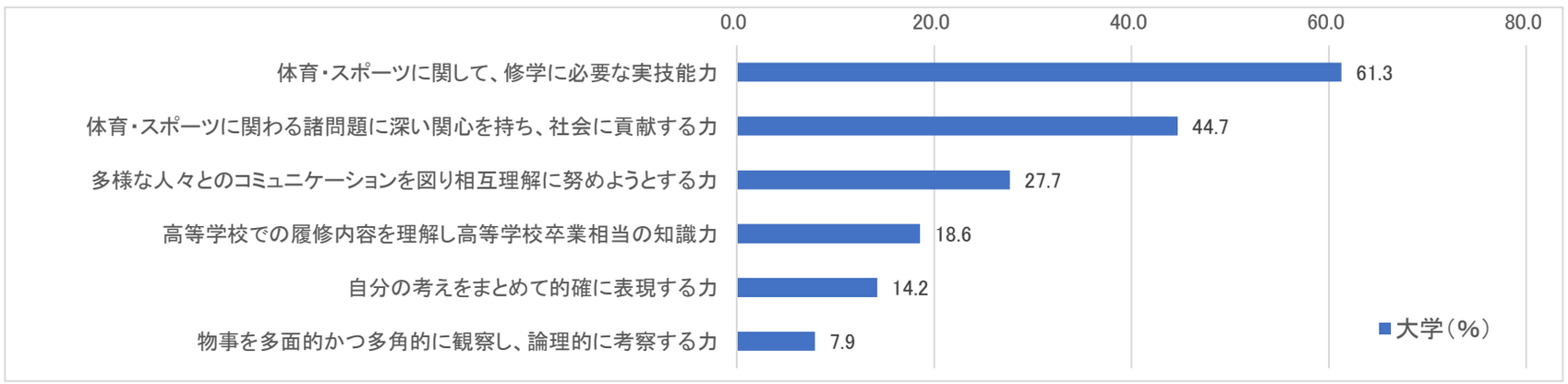


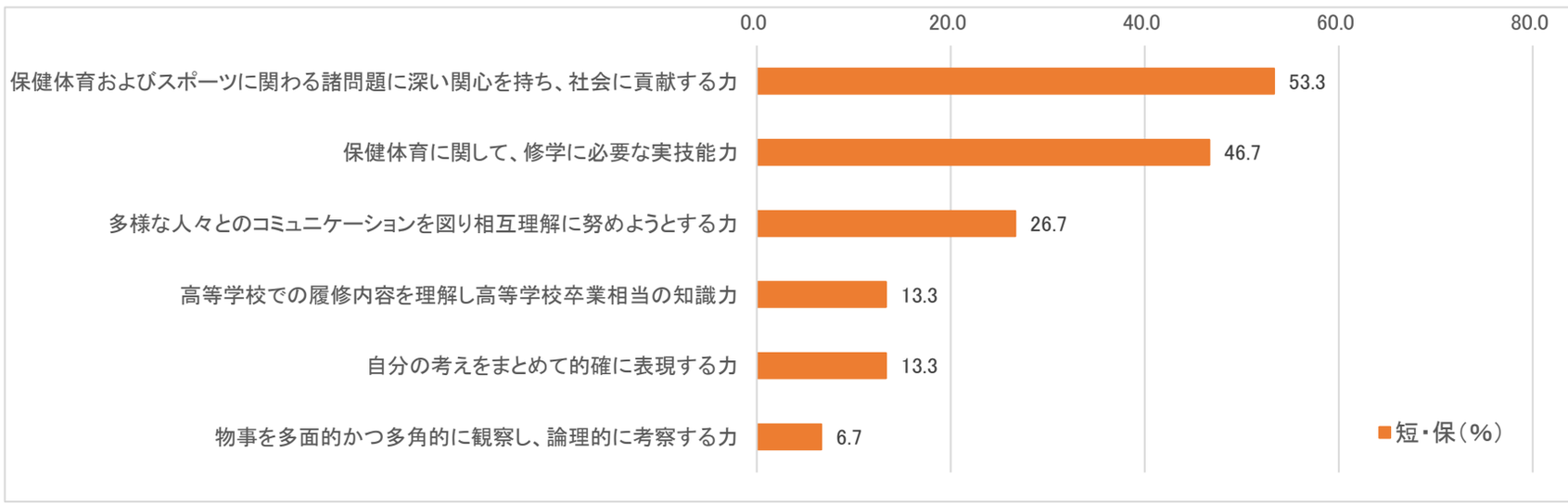
16　入学前に本学の3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）をHPまたは、大学案内等で読んだことがありますか。

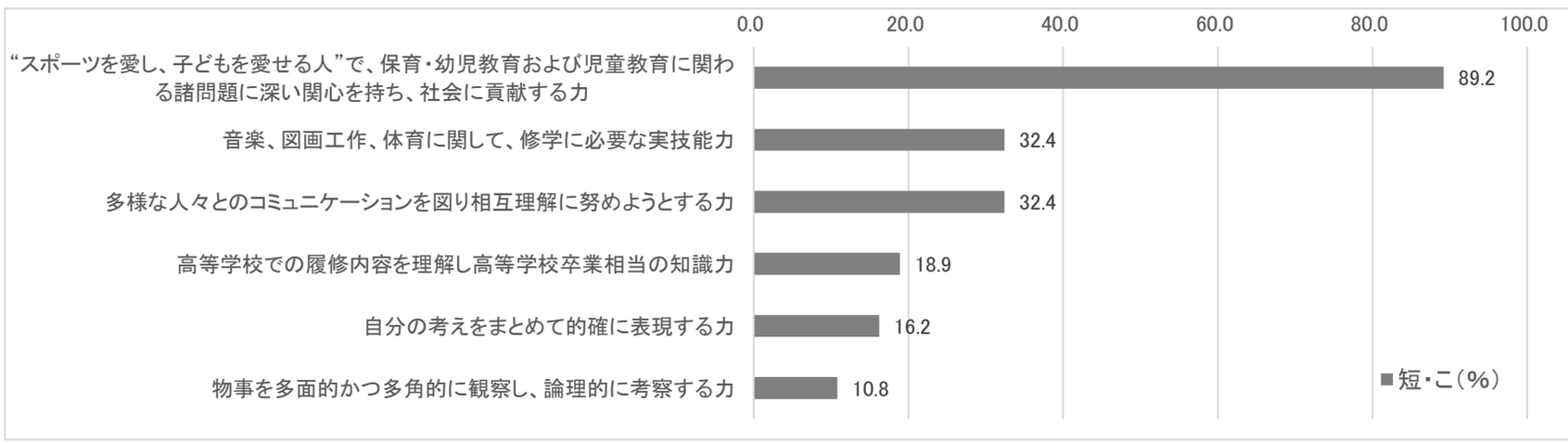


2023年度　新入生アンケートについて

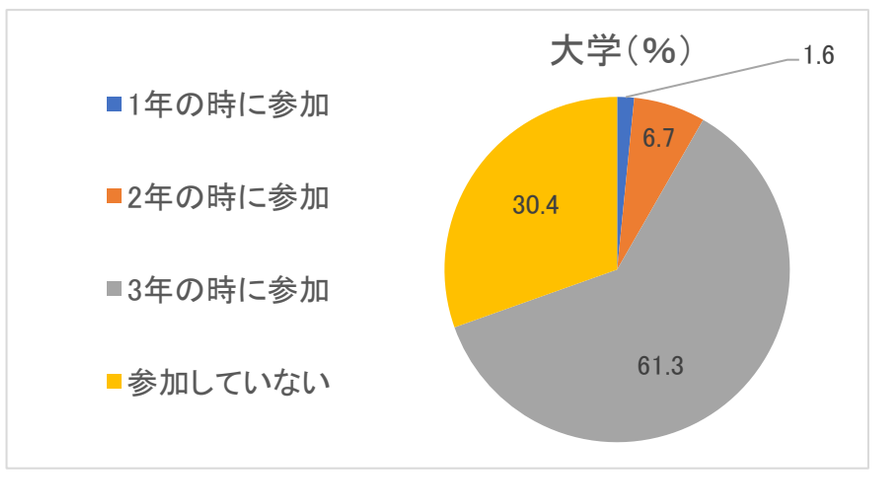
問17　あなたは、どの能力を持って受験したと思いますか。（複数回答あり）

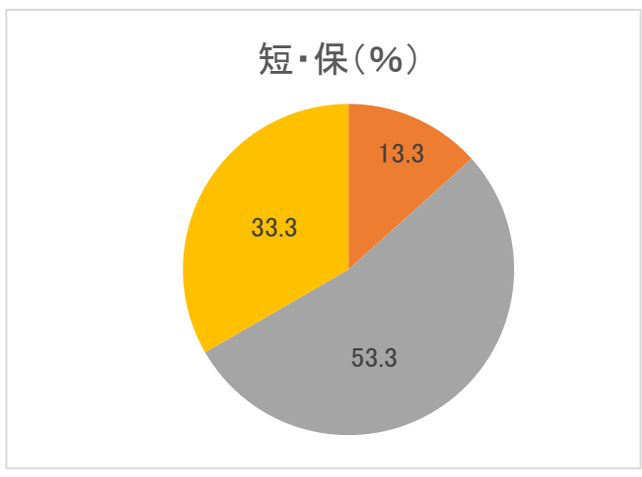


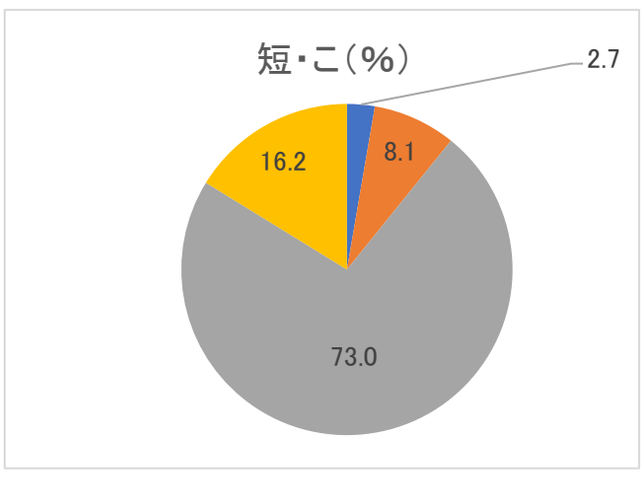




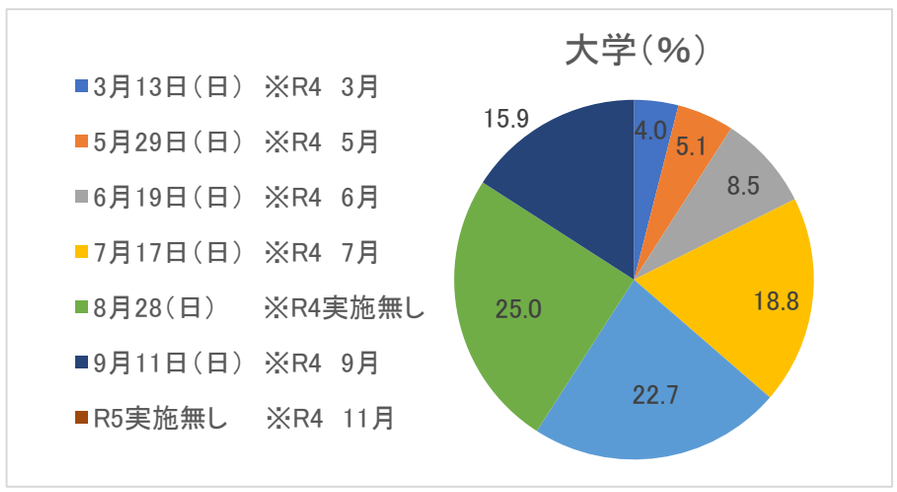
18　あなたは本学を受験にあたり、本学のオープンキャンパスに参加しましたか。

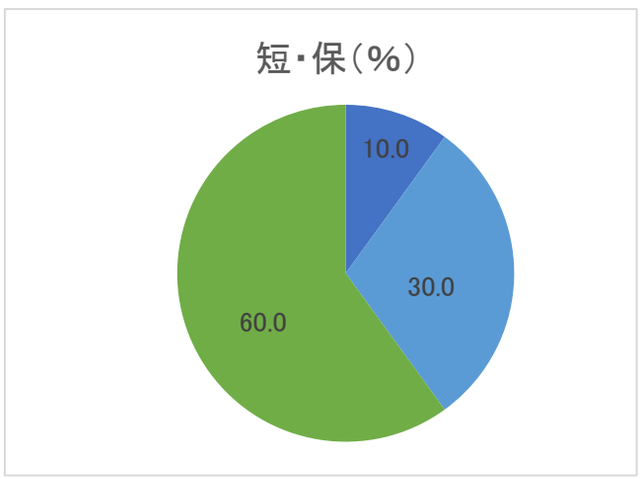


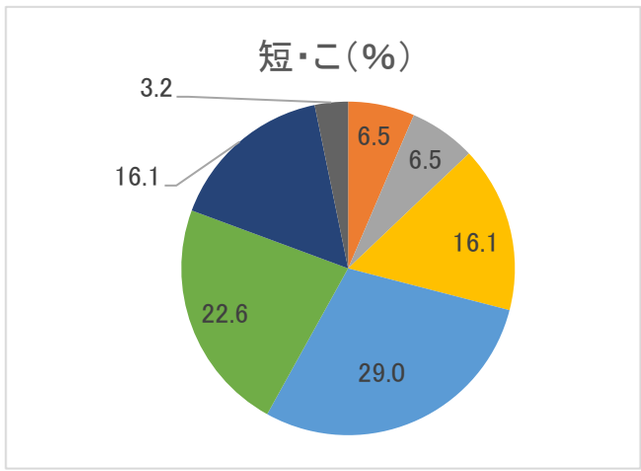




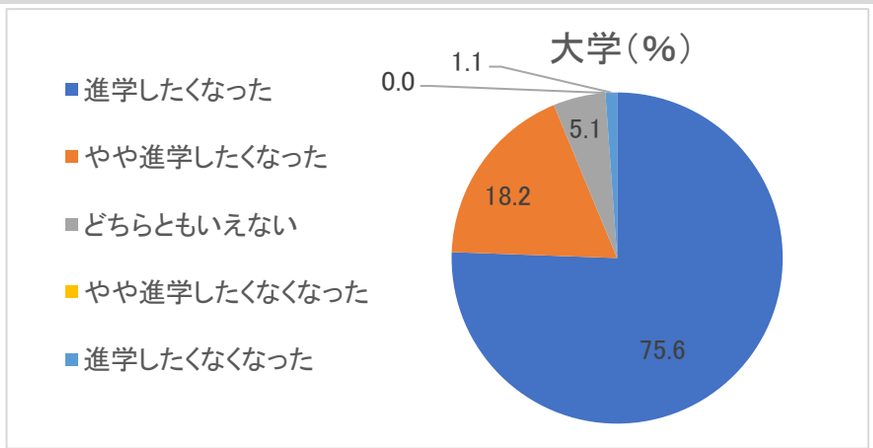
19　いつ開催されたオープンキャンパスに参加しましたか。複数回参加した人は、一番印象に残っている回を選んで下さい。

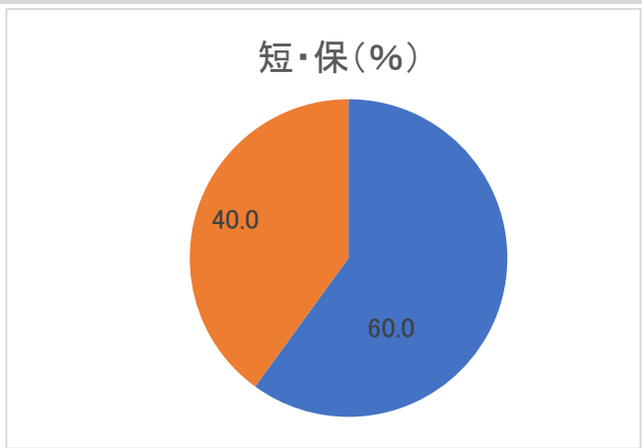


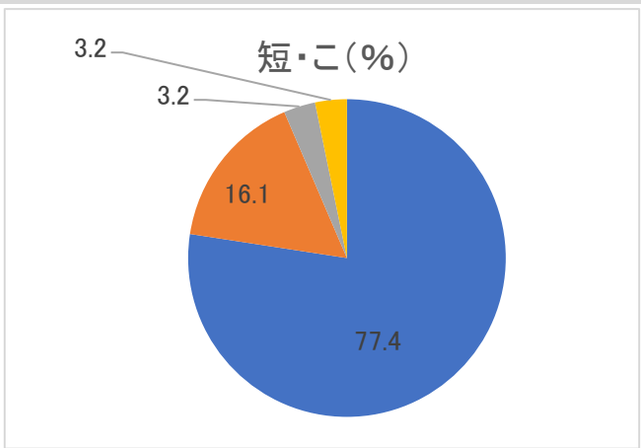




21　オープンキャンパスに参加したことで、本学に進学したくなりましたか。

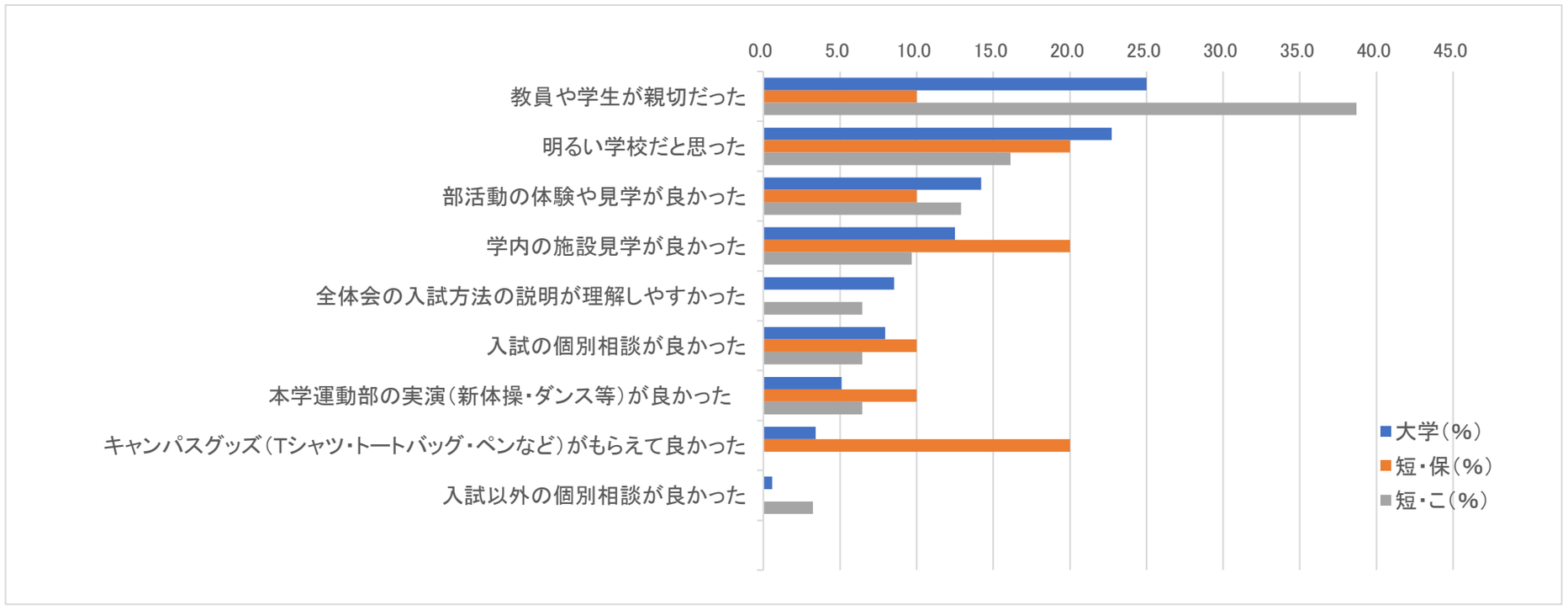




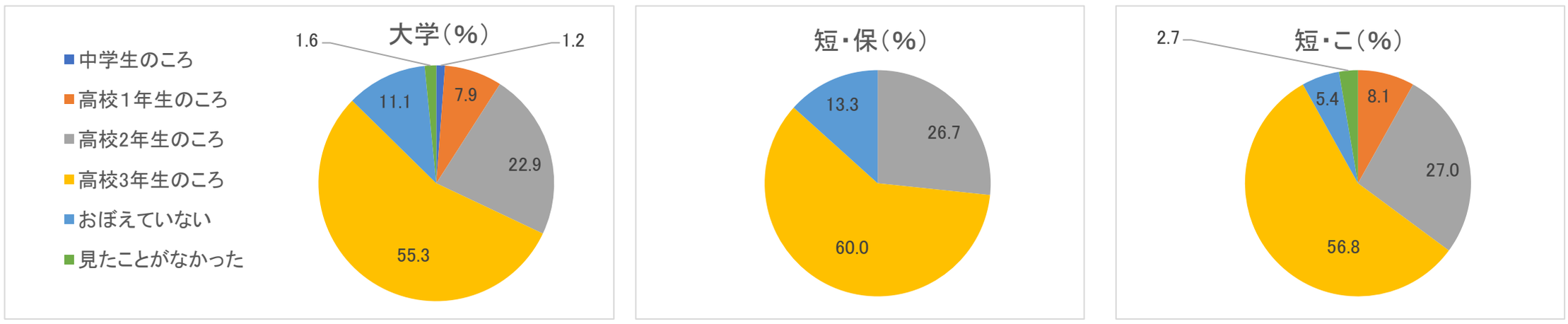


2023年度　新入生アンケートについて

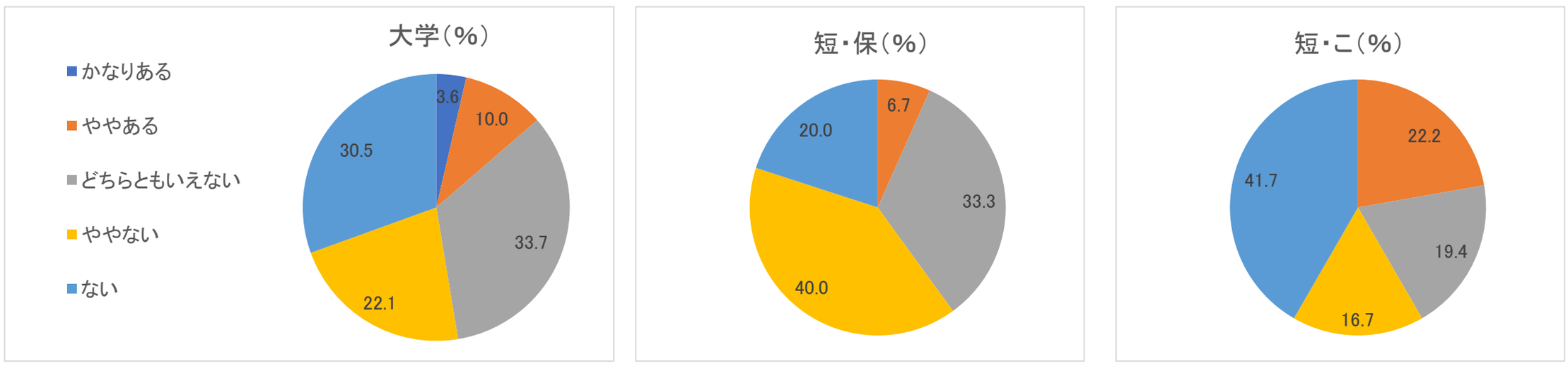
問22　本学のオープンキャンパスに参加して、感じたことを1つ選んで下さい。



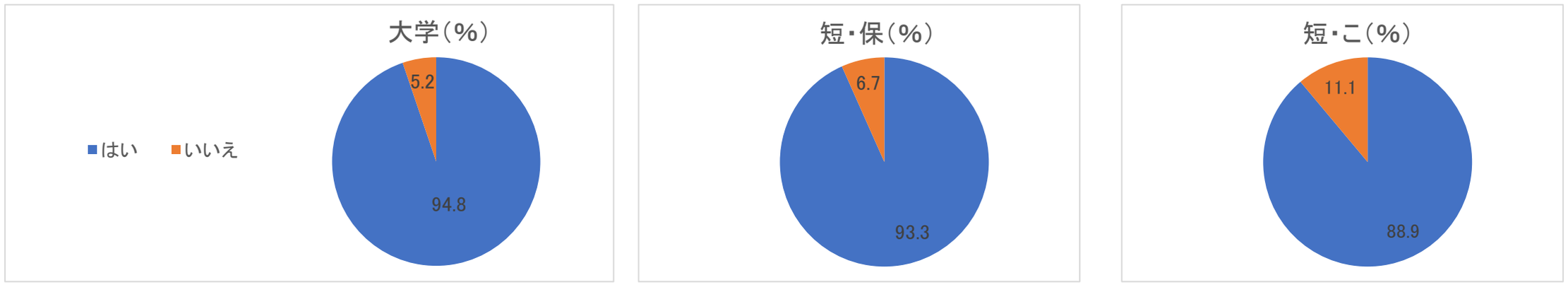
問23　入学前、本学のホームページ（以下HP）を初めて見たのはいつですか。



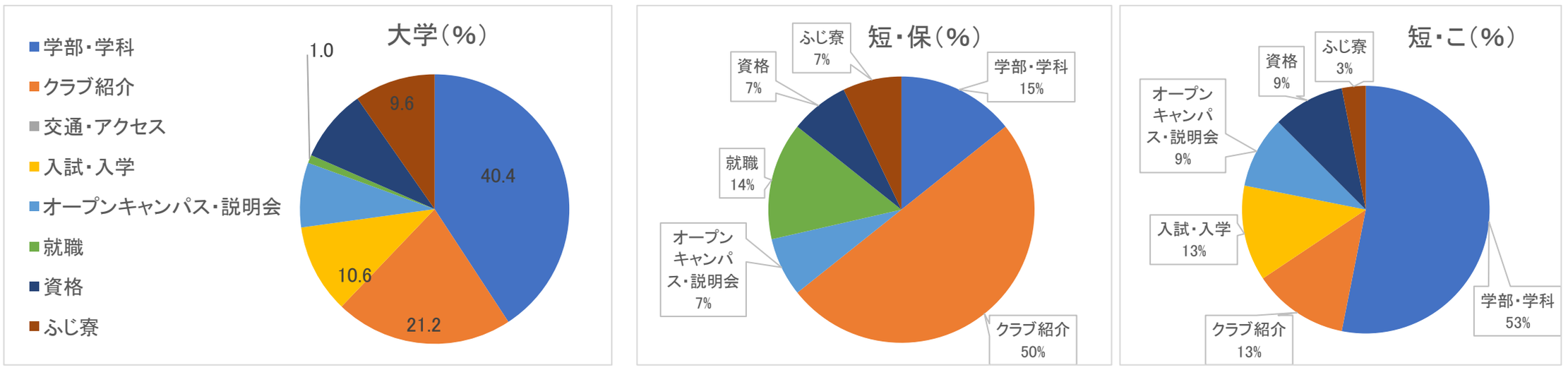
問24　HPと入学後のイメージに違いがありましたか。（問23で「見たことがなかった」以外を回答した学生のみ）



問25　HPで自分の興味のある情報をわかりやすく調べることができましたか。（問23で「見たことがなかった」以外を回答した学生のみ）

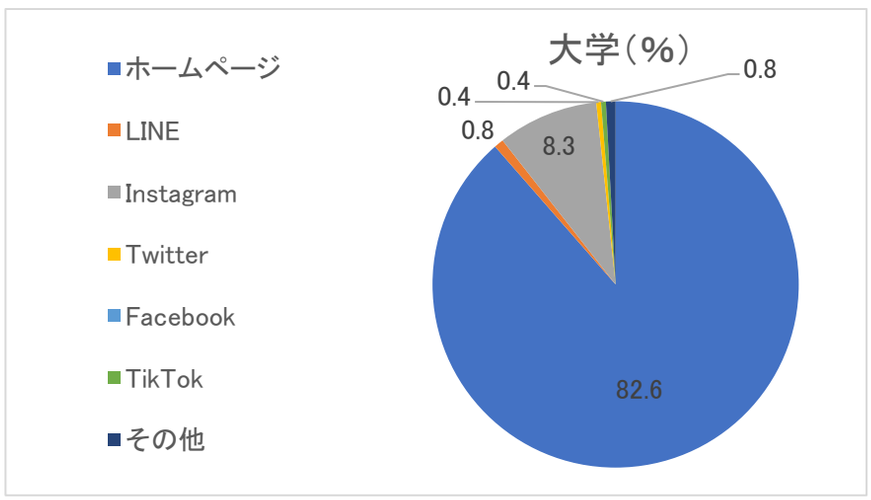


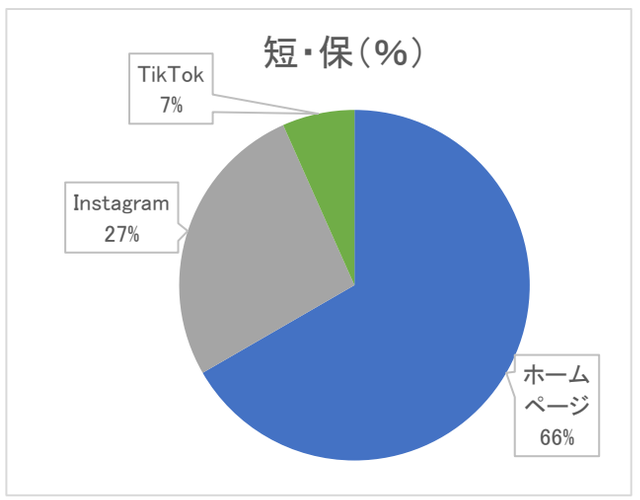
問26　問25で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたの知りたかった情報は何ですか。

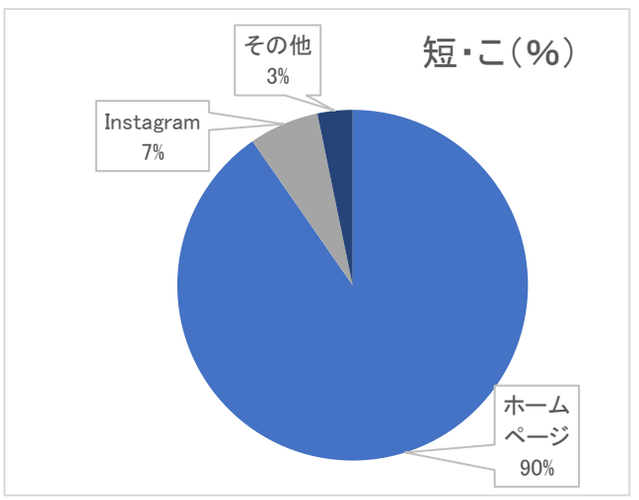


2023年度　新入生アンケートについて

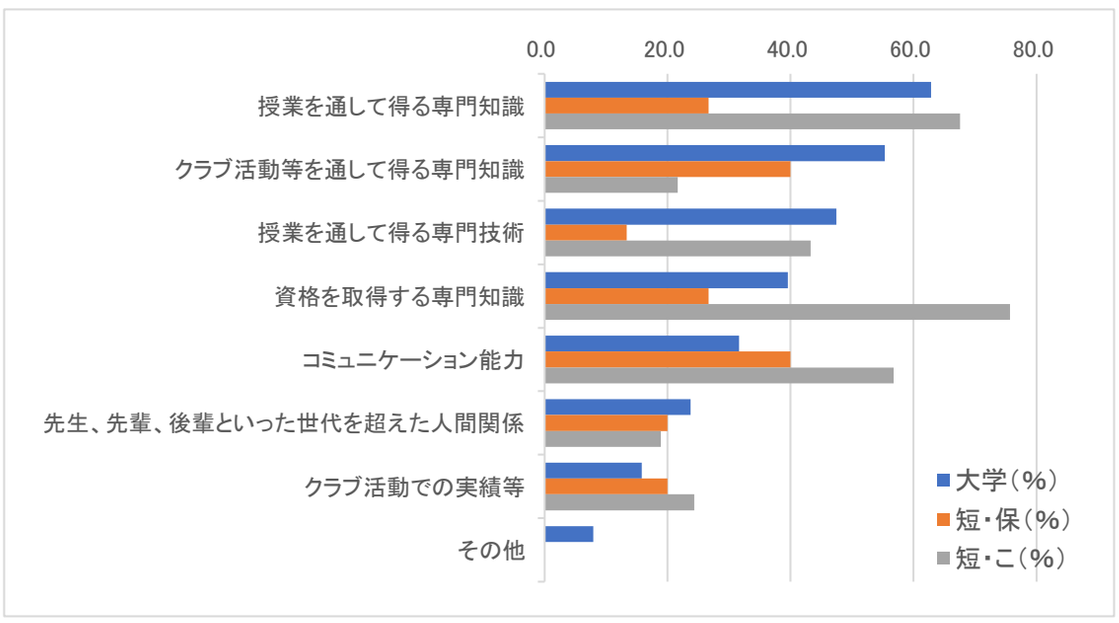
問29　大学等の情報を集める際に、一番使用するものは何ですか。



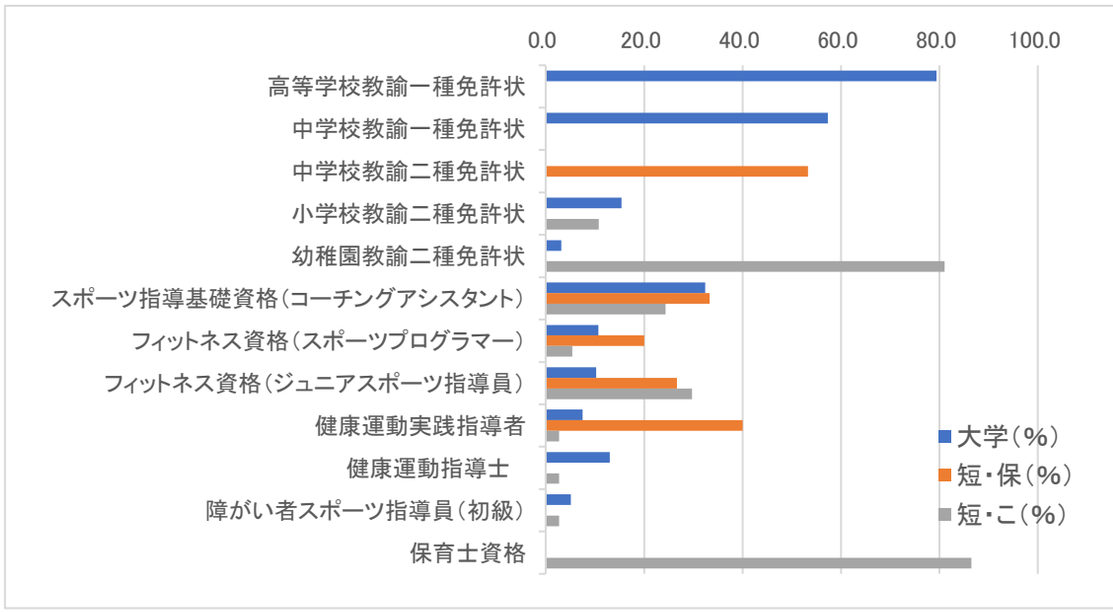




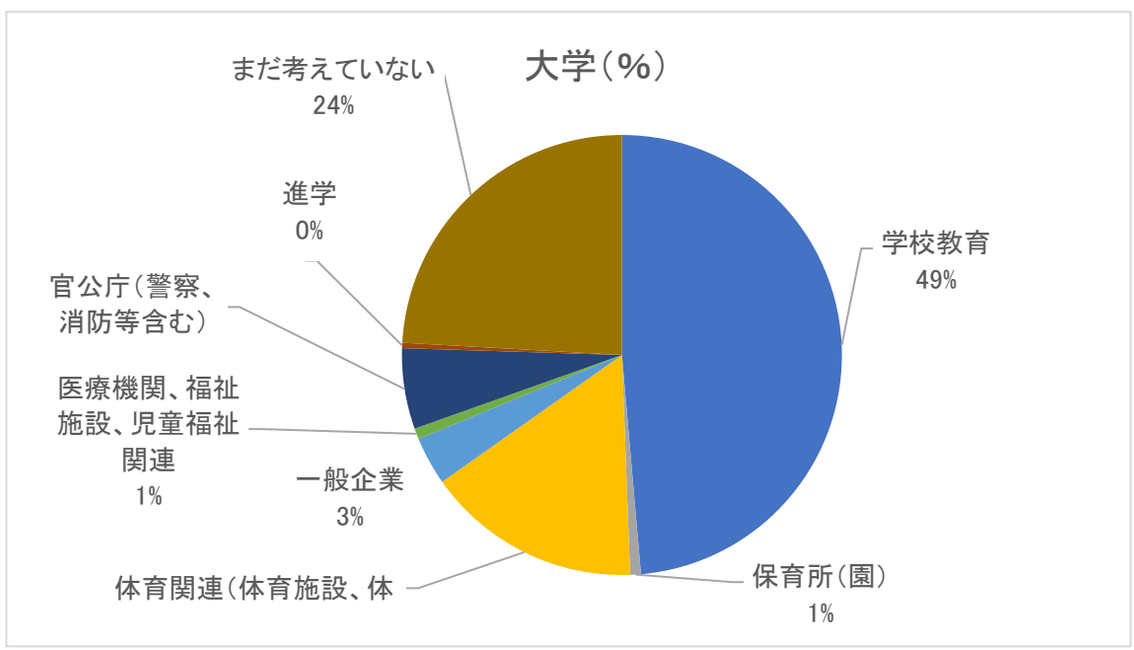
問30　入学後、本学で何を学びたいと思いますか。（複数回答あり）

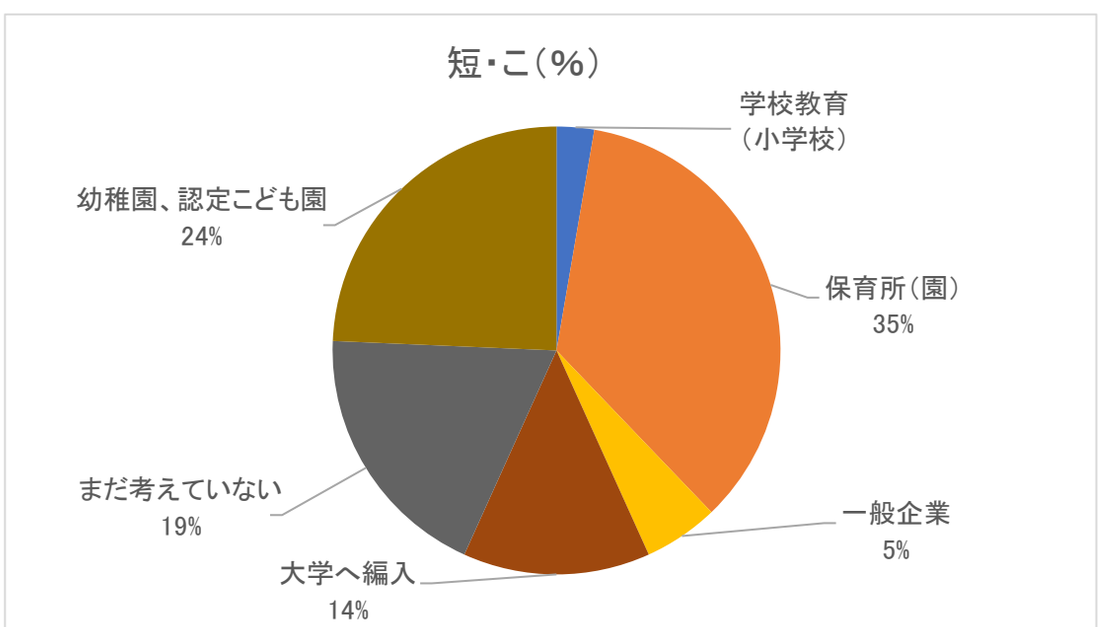


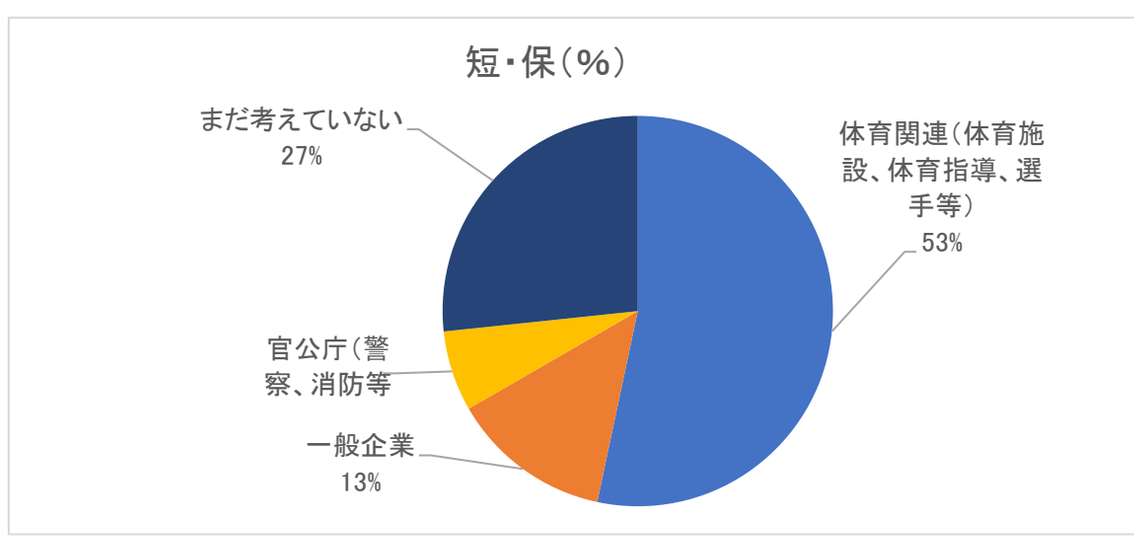
問31　本学で取得したい資格は何ですか。（複数回答あり）



問32　卒業後の希望の進路を教えてください。







問33　あなたにとって、東京女子体育大学・東京女子短期大学の魅力は何ですか。（以下詳細）

No	大学
大学の雰囲気（明るい・元気・楽しそう）	
1	かっこいい
2	とても明るい
3	とても明るくて礼儀がある
4	とても明るく元気のあるところ
5	みんなが笑顔で明るい
6	みんなが明るい（2名）
7	みんな元気いっぱいで楽しそう
8	みんな明るくて友達ができやすい
9	学校全体が常に明るく、先生とも接しやすいところ
10	学生が元気
11	学生全員が体育大学ならではの明るさや気配りなどできる。
12	楽しく大学生活を送れる
13	楽しそうなところ（4名）
14	元気（2名）
15	元気いっぱい
16	元気がいい施設が綺麗
17	元気がいい優しい
18	元気はつらつ
19	上下関係があまりなく全員明るい
20	生徒がとても明るく楽しそう。
21	生徒全員が明るくて元気なところ
22	先輩方が明るく大学内のいい雰囲気を作ってくれているところ
23	全員が活発で明るいところ
24	体育大で明るい
25	体育大生ならではの元気と明るさがとても魅力的だと思います。
26	明るいところ（14名）
27	明るいところ、みんな親切
28	明るい人が多い
29	明るい人が多い。人数少ないから先生がよく見てくれる。
30	明るい先輩方
31	明るい爽やかなイメージ
32	明るい雰囲気（2名）
33	明るく、活気に溢れている
34	明るく、礼儀正しいところ
35	明るくて、一人一人の得意なものが生かされる場所
36	明るくて楽しいところ。
37	明るくて仲がいい（2名）
38	明るく元気なところ（3名）
39	明るく自分に合ったことを学べる
大学の雰囲気（人間関係が良い）	
1	みんな仲が良い（4名）
2	みんな優しい
3	学年関係なく仲が良い。施設が綺麗
4	親切で優しい人が沢山いること。女子大だからいい意味で気を使わなくていいこと。
5	人柄が良い人が多い
6	生徒と先生の距離が近く、気軽に相談できて、友達同士の仲が良いこと
7	先輩、同級生みんな優しくて、話しやすい所
8	先輩が優しい学校の雰囲気がいい
9	先輩や同級生、先生がやさしい
10	先輩後輩という嫌な関係性がなく、良い関係性が築き上げられている
11	先輩方が優しい
12	他の体育大学とは違い雰囲気がとてもよく先輩方もとても凛としていると思ったため
13	誰とでも仲良くなれる
14	同じような志を持った人が多くいるから高め合いやすい
15	同じような目標を持つ人とお互いに切磋琢磨して学び合える点。
16	話しやすい先輩がたくさんいる。

問33　あなたにとって、東京女子体育大学・東京女子短期大学の魅力は何ですか。（以下詳細）

No	大学
大学の雰囲気	
1	すごい
2	みんな体育女子
3	学生たちの活気ある雰囲気
4	活気がある（3名）
5	女子しかいない
6	体育が得意で集まってるということ
7	雰囲気が良かった
8	優しい
9	様々なことを自分で考えて責任を持って行動することで、自立などを身につけられる学校だと思います。
クラブ・スポーツ・部活関係	
1	アイスホッケー部がある
2	クラブ活動（2名）
3	クラブが盛ん（5名）
4	クラブ活動が盛んで明るいところです。
5	クラブ活動が盛んで寮や学内で歩いているときの元気の良い挨拶を誰にでもしているところや元気な笑い声だったり雰囲気を感じ活気のある大学でスポーツをするには最適な環境だと感じます。
6	クラブ活動に熱心なところ
7	スポーツ
8	スポーツが盛んで、色々な競技のレベルの高い選手と関わることができ、そのような人からの刺激を受けることができる。
9	スポーツについて専門的に学ぶことができるところ
10	スポーツに関することを深く学べる
11	スポーツに取り組める環境が整っていること。
12	スポーツに打ち込める
13	スポーツに対し熱心であり、仲間と切磋琢磨しながら取り組む姿勢がある点。
14	スポーツに特化している
15	スポーツや運動、体育に関して専門的なことがたくさん学べること。
16	スポーツや体育について幅広く学ぶことができる。
17	スポーツや体育を幅広く学べる所が魅力
18	スポーツをするための施設が充実している所
19	スポーツをする女性として輝ける
20	ソフトボールが強い
21	ソフトボール部のチーム力と成績施設の充実さ
22	どのクラブも全力で取り組んでいて明るい人が多いところです。
23	どの部活もいい成績を残していること。
24	どの部活もほとんど多くの実績を残しているところ
25	どの部活も良い成績を残している。
26	どの部活動もトップを目指しており、学校全体で切磋琢磨できる環境
27	活気があり、クラブ活動が活発
28	色んなクラブが活発に活動してるところ
29	新体操部
30	先輩や先生が親切でまた、部活動にとても力を入れている活気が溢れていて魅力のある学校です。
31	専門に特化した先生方がたくさんいらっしゃること。クラブ活動が活発で、やりがいを感じられること。
32	部活が楽しい（2名）
33	部活が強い
34	部活が盛ん、楽しめる
35	部活が盛んで自分の夢である教員になる為のサポートや色んな経験ができる施設が充実していることです。
36	部活が盛んなこと（8名）
37	部活に力を入れている
38	部活動が強い
39	部活動が強い。教師になれる
40	部活動が全国、世界レベル
41	部活動にとても取り組みやすい環境であると思います。
42	部活動に真剣に取り組んでいるところ。
43	部活動の実績

問33　あなたにとって、東京女子体育大学・東京女子短期大学の魅力は何ですか。（以下詳細）

No	大学
施設・環境が良い	
1	とても明るく、自分の持っている能力を伸ばせる環境であり、新たな能力を発見できる場だと思っています。
2	学校が広くてきれい
3	環境が整っていることです
4	環境の整った場所で部活動ができる。
5	教職ラーニングステーションがある
6	近い
7	施設がしっかりしている
8	施設がとてもしっかりしていて細かな技術や知識が学べること
9	施設が一つ一つ綺麗で学びやすい環境
10	施設が広く、先生方が挨拶毎度してくれていい。
11	施設が充実していた、様々なスポーツに取り組むことが出来る。
12	施設が充実している（5名）
13	施設が整っていて綺麗で過ごしやすい。
14	施設が多い
15	施設が良い（2名）
16	施設が綺麗
17	施設等が優れていること。
18	自分が好きなことに熱中でき、得意なことを伸ばせる環境があること
19	質のいい施設、設備
20	種目やその球技にあった施設があること
21	充実したスポーツができる設備が整っている
22	女子大学と言う事と先輩、先生方等知り合いが居てとてもいやすい環境
23	整った競技専用の環境で実技の授業を受けられる所。
24	生徒・教授共にパワフルで元気な事。充実した体育施設があること
25	設備が整ってる
26	先生との距離が近くとても充実した環境だと思います
27	先生や先輩方が優しい。環境が整っている。
28	体育館が綺麗
29	大学内の施設が良い事。部活動が盛んな事。
30	部活に打ち込める設備や指導者など環境が整っていること、 体育教師に必要な知識などその他にも幅広く学べるところ。
31	明るい印象です。設備が充実してる所
32	様々なスポーツを専門的に学べて、部活動や勉強に打ち込みやすい環境が整っていること
33	寮を含め設備等や施設がしっかり揃っており、自分の進路実現のための対策をしっかりしているところ。
カリキュラム・教員・専門知識関係	
1	3年次で選択できるカリキュラム
2	3年生からコース別で学習するところ
3	レベルの高い仲間がと高め合えること。様々なスポーツの専門性を持った人が周りにいること。
4	教員と学生が親しい関係にある。
5	教師との距離が近く、相談や質問がしやすいところ。
6	教職などの専門知識が得られると共に部活動にもしっかりと取り組める環境があること
7	好きなことをより深く専門的に学べるところ。
8	好きなスポーツについて深く学べること
9	高校の東京女子体育大学に行っていた先生がいてその先生が非常に良かったこと
10	私の夢である体育教師になるためのカリキュラムがとても充実しているから
11	自分の学びたいことができる
12	自分の学びたいことを専門的的に学べる
13	自分の好きなスポーツを深く学べる
14	自分の目指している目標に近づかせてくれる所です。
15	実技が多い
16	実技を実施する種目がとても多く今までやったことがないスポーツも体験・取得出来ることが魅力だと思います。
17	実習
18	実践を重視した授業
19	女性のスポーツに対する取り組み方や考え方がいいと思った
20	将来に向けての教養が学べ、充実した日々が送れること。
21	少人数クラスで、理解しやすい
22	少人数制で先生との距離が近そう

問33　あなたにとって、東京女子体育大学・東京女子短期大学の魅力は何ですか。（以下詳細）

23	詳しく学べるところ
24	先生方のサポートが手厚い
25	専門的なことを詳しく学ぶことが出来る。
26	体育のスペシャリストが多く、専門的なことを教えていただけそう。また、いろいろな部活が活躍することで、切磋琢磨しあいながら練習に励むことができそう。
27	体育の専門的なところ
28	体育を深く学ぶ事ができる体育教師を目指すことができる
29	体育教師になるための専門知識や技術が学べる
30	様々な種類のスポーツをやっている人が集まっているので、色々なスポーツをより深く学ぶことが出来る。
免許・資格関係	
1	4大でも小学校の免許が取れる。
2	みんなが明るくて、元気いっぱいであること。そして、教員免許を取るためにたくさんのサポートをしてくれるところ
3	学校全体の印象がとても明るく元気なところ、たくさんの資格が取れる
4	教員になるための知識がたくさん学べる事です
5	教員になる為の知識が得られるから
6	教員を目指す人が多いこと、
7	教員免許が取りやすくその為に学ぶ環境が整っていること。
8	教員免許が取れて、部活に積極的なところ
9	教員免許が取れる（6名）
10	教員免許取得率の高さ
12	高校教師の免許が取れる所、部活が盛んな所
13	施設が綺麗で明るい人が多く集まり教職に力を入れてる
14	施設や免許が取れる等
15	女子だけなので自分に合っている教員免許取得率の高さ
16	女性体育教員の育成が素晴らしいこと
17	体育の教員の免許がとれる。体育のレベルが高い。
18	体育の教員免許が取得できる
19	体育全般が強化でき、教員免許が取れること
20	大半の授業で運動ができるから。教職が取得できるから
21	中学校高等学校教諭だけでなく、小学校教諭の免許も取れるところ。部活動が充実してるところ。
22	幼稚園から高校までの資格を取れる。選択肢が多い。
就職率の高さ	
1	教員の就職率が高い
2	就職先が幅広いところ
3	就職率が高い（3名）
4	就職率が高く、かつ社会に出る上で必要な知識や能力を鍛えることが出来るところ。
その他	
1	新しい自分を見つけることができまた新たに挑戦出来る大学
2	説明がわかりやすい。
3	憧れの場所
4	歴史があるところ
5	回答なし

問33　あなたにとって、東京女子体育大学・東京女子短期大学の魅力は何ですか。（以下詳細）

No	短期大学　保健体育
大学の雰囲気（明るい・元気・楽しそう）	
1	明るい
2	楽しい
3	元気がよく明るい学校
4	明るくて社会面で必要なことを学べる
5	明るく元気な学校です。
クラブ・スポーツ・部活関係	
1	スポーツに打ち込める
2	スポーツに真剣に打ち込める
3	部活動が盛んで学業以外にもたくさんのことを学べる学校。
4	スポーツができる
施設・環境が良い	
1	部活動の雰囲気施設の充実さ
カリキュラム・教員・専門知識関係	
1	楽しく専門的な知識を学べる
免許・資格関係	
1	色んな資格がとれる
2	教員免許を取得できて女子だけの学校
その他	
1	短期間で自分のやりたいことが詰め込める
2	コミュニケーション能力をあげられること

No	短期大学　こどもスポーツ教育
大学の雰囲気（明るい・元気・楽しそう）	
1	明るい（2名）
2	みんなが明るく元気で接してくれるところ。
3	学生や先生方が優しい元気がある
4	自分の志を持った人が集まった、明るい学校だと思います。
5	部活が盛んですごく楽しそうに部活をしている姿勢
6	明るい感じがひしひしと伝わってくる
7	明るくて雰囲気がいい所。
大学の雰囲気（人間関係が良い）	
1	スポーツをしている人が多いので学年問わず仲がいいイメージがある
2	生徒だけではなく、教員の方たちも明るく優しい雰囲気でオープンキャンパスの際も、入学後も安心した気持ちで居られました。
3	先輩方が明るく話しかけてくれる。
大学の雰囲気	
1	生徒が明るく体育がメインな所
2	体育を好きな人がほとんどで、全員がやる気があるところ
クラブ・スポーツ・部活関係	
1	スポーツが活発的で意欲的に授業に参加してる
2	スポーツが盛んであり、音楽にも力を入れている。
3	部活動が盛んであること
4	部活動のレベルが高い
施設・環境が良い	
1	女子大学だから気軽に色んなことを相談できる
2	生徒が明るく、施設が充実している
カリキュラム・教員・専門知識関係	
1	スポーツも子ども教育も両方学べるところ
2	スポーツを通してこどもに教えることもできるところ。
3	スポーツを通して保育に関する知識を学べる
4	学年問わず生徒みんなが仲がいいとこ、そして全力で生徒に向き合ってくれる先生達が魅力だと感じました
5	少人数制のため先生との距離が近いように感じるところ
6	生徒と教員の距離が近く、進路に対して熱があると思う。
7	先生や先輩方が明るくて優しく関わりやすい。勉強する場所や技能を磨く施設がしっかりしていて、学びやすい。
8	編入ができる
9	両立ができてる

問33　あなたにとって、東京女子体育大学・東京女子短期大学の魅力は何ですか。（以下詳細）

免許・資格関係	
1	たくさんの資格が取れる
2	どちらの資格もとれるということ。先生方と生徒が仲良いところ。
3	完全な自分の意見になっちゃうけど、運動・スポーツをしながら資格も取れるところです
4	取りたい資格と部活の両立ができるから
5	柔道をやりながらでも幼保の資格が取れることです。
6	部活しながら資格を取得できる
7	明るい、寮がある、保育士資格をとれる
その他	
1	可愛い人が多い
2	色々と体験を通して個性を活かせるところ

6）スターターズプログラム

教育の質保証委員会　令和 5 年 6 月 28 日
FD 委員会　令和 5 年 5 月 10 日

スターターズプログラム（令和 5 年度入学生）
実施・分析結果

１．スターターズプログラムの本学の目的

入学予定者が 4 月から始まる大学での学びを有意義なものとし、準備学習として入学前教育のプログラムを実施。これまで高等学校で学んできた内容を復習することで、今後の大学での学びに活かし、本学入学後のカリキュラム（教養科目や専門科目）の土台となることや、学びについての理解を深めることを目的とする。

２．対象者

令和 5 年度入学生（令和 5 年 4 月 1 日現在）：311 名
（体育学科：263 名、保健体育学科：12 名、こどもスポーツ教育学科：36 名）

３．課題内容

課題①

5 教科（国語・数学・理科・社会・英語）　各教科 20 問の問題解答
5 教科（保健体育・家庭・美術・音楽・情報）各教科 10 問の問題解答
解答について、「誤解答の問題については各自で再学習し、全問正解となるまで解答してください。」の文言を強調した。

課題②

「TWCPE ウィメンアスリーツのためのスポーツ指導・健康手帳」から転載した、「スポーツとジェンダーの考え方」、「ウィメンアスリートの医学的理解」、「ウィメンアスリーツの栄養」、「アスリートに役立つ心理学の知識」を読み、感想を提出する。

４．実施結果を利用した考察

(1) 課題①の実施結果を基に入学予定者の課題実施傾向を把握し、入学後の学生サポートが特に重要と想定される学生を抽出する。なお、考察は以下の観点で行う。

1) 解答率
2) 各教科の全問正解率
3) 課題の達成状況（全問正解した教科数の分布）
4) 解答率（対象：1 教科も全問正解していない入学予定者）

(2) 課題②の実施結果を基に入学予定者の課題実施傾向を把握するとともに、プログラムの目的を踏まえ、課題内容が学生にとって有意義であったかを確認する。なお、考察は以下の観点で行う。

1) 解答率
2) 感想の内容確認

５．検証結果

(1) 課題①

1) 解答率

311 人中

教　科	国　語	数　学	理　科	社　会	英　語	音　楽	家　庭	情　報	保健体育	美　術	合　計
解答人数	307	302	296	303	301	301	300	302	298	296	307
解　答　率	98%	97%	95%	97%	96%	96%	96%	97%	95%	95%	98%

教科によって解答率は異なるが、全科目の平均解答率は 98%となり、最も低い科目でも 95%あり、大学前の準備学習としての目的を果たしたと考える。また、昨年度(解答率 90.8%) と同様、今年度 (解答率 98%) も高い水準で事前学習に取り組むことができており、WEB 学習という手段で問題ないと考える。

2) 各教科の全問正解率

311 人中

教　科	国　語	数　学	理　科	社　会	英　語	音　楽	家　庭	情　報	保健体育	美　術	合　計
解答人数	271	272	262	267	266	274	272	273	274	270	2701
解　答　率	87%	87%	84%	86%	86%	88%	87%	88%	88%	87%	87%

各教科の全問正解率は 87%となり、昨年度(48%) と比較すると大幅に改善された。この結果は、今年度の課題内容では「全問正解となるまで解答してください。」という文言を強調していることに起因しているものと考えており、プログラムの目的を踏まえると来年度以降も上記文言は強調して課題提示することが望ましいと考える。

3) 課題の達成状況 (全問正解した教科数の分布)

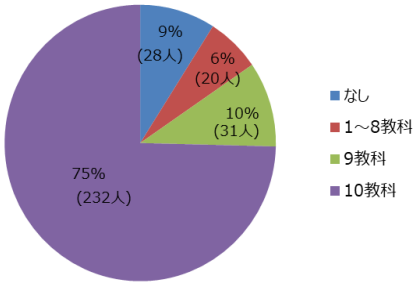


図 1：全問正解した教科数の分布

課題内容に記載の「全問正解となるまで解答」した教科数の分布を確認すると、75%の入学予定者がすべての教科で全問正解となるまで課題を実施していたが、9% (28 名) の学生はすべての教科で全問正解することができていない状況であった。9 教科は全問正解できた学生を合わせると、85%の学生が課題に取り組んでおり、大学への学びに対する学習意欲も高いと考える。一方で、1 教科も全問正解となるまで解答できなかった学生が 9%いたことの原因を考えるため、課題への取り組み状況 (解答率) を 5) で確認する。

4)解答率（対象：1 教科も全問正解していない入学予定者）

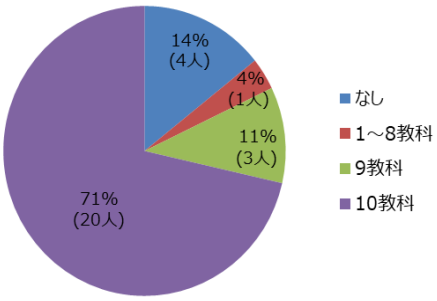


図 2：各教科の課題解答数の分布

1 教科も全問正解していない 9%(28 名)の学生を対象に、各教科の課題の解答率を確認すると 71%(20 名)の学生は、すべての教科に解答していた。ただし、全入学予定者の課題取り組み回数の平均が 2.49 回/教科に対して、1 教科も全問正解していない学生は 1.03 回/教科となっており、誤解答後の再実施ができていないことがわかった。全問正解していない学生が 2 回目以降の解答につながらなかった理由については、今後確認していくことが必要と考える。

また、14%(4 名)の学生は 1 教科も解答していないため、重点的なサポートを実施することが必要と考える。

(2)課題②

1)解答率

311 人中

	スポーツとジェンダーの考え方	ウィメンアスリートの医学的理解	ウィメンアスリーツの栄養	アスリートに役立つ心理学の知識
解答人数	282	279	262	271
解 答 率	91%	90%	84%	87%

解答率を確認すると、91%の学生が課題に取り組んでいることがわかった。課題によって取り組み率は異なるが、比較的高い解答率だと考える。一方で、課題①と比較すると解答率は低い傾向にあるため、来年度の実施に向けては施策を検討すべきだと考える。

2)感想の内容確認

各課題内容に対して、自分の経験に照らし合わせて感想を記載している入学予定者が多く見受けられ、本学入学後の学びに対する興味関心を高める一助になったと考える。

令和 5 年度スターターズプログラムテスト実施報告

1）実施概要

①目的

基礎学力を計測し、アドミッションポリシーの点検・評価および今後の学習支援に活用すること。

②対象 / 実施日程

大学 1 年生・短大 1 年生 / 4 月フレッシュウィーク期間

④実施内容

・office365「Forms」により実施

・試験科目（3 科目）

国語（20 問：各 2 点）/数学（5 問：各 4 点）/英語（10 問：各 4 点）

問題数/35 問：合計 100 点

・受験方法　：スマートフォン　試験時間/60 分、解答は選択方式

⑤フィードバック方法

・回答終了と同時に回答結果オープン ➡ 後日別途成績を配付予定

⑥アセスメントの実施

成績データの分析・検証を実施し、全学へフィードバックする。

➡入試部：アドミッションポリシーとの整合性や入試制度の適切性を点検・評価。

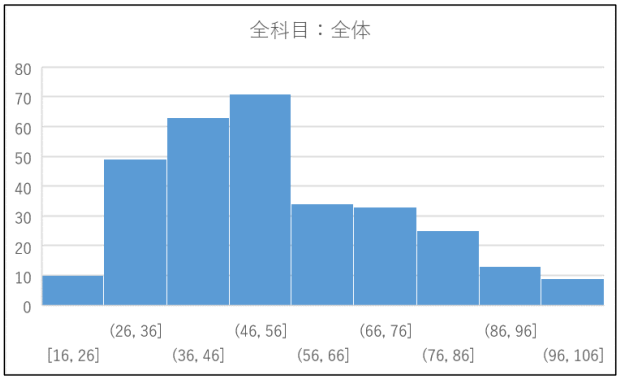
➡関係部署/グループ担任：支援が必要な学生の早期発見・対応。

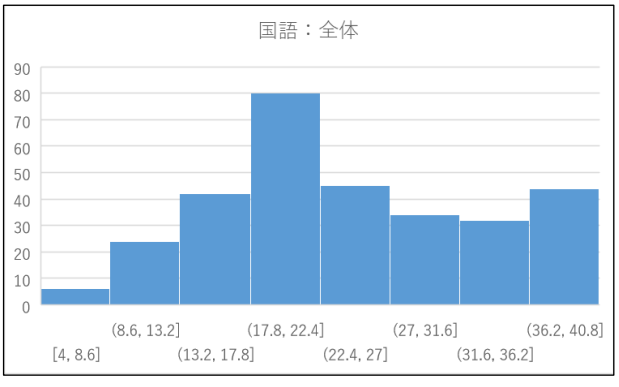
2）実施結果

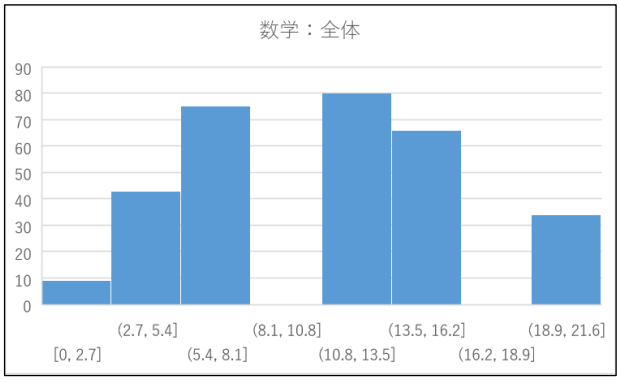
①平均点・標準偏差

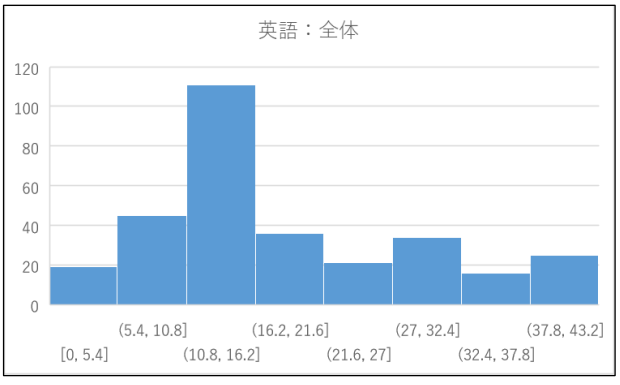
		全体		大学		短大	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
全科目	100点	54.6	19.5	54.3	19.3	56.1	20.5
国語	40点	24.3	8.9	24.2	9.0	25.2	8.6
数学	20点	11.3	5.2	11.0	5.2	12.7	4.8
英語	40点	18.9	10.5	19.1	10.5	18.3	10.5

②点数ヒストグラム









②成績上位下位者一覧

合計80点以上

	国語 40点	数学 20点	英語 40点	合計点 100点	学籍番号	氏名	入試区分	出身校
1	40	16	40	96			指定校	広尾学園小石川
2	38	16	36	90			スポーツ	新島学園
3	38	12	36	86			指定校	松原
4	38	12	36	86			総合型Ⅰ期一般	文華女子
5	38	8	40	86			一般選抜Ⅰ期(一般)	品川翔英
6	24	20	40	84			スポーツ	水海道第二
7	40	12	32	84			指定校	秦野総合
8	40	8	36	84			指定校	富士市立
9	34	8	40	82			指定校	日野
10	30	12	40	82			スポーツ	函館大妻
11	38	8	36	82			総合型Ⅲ期一般	共栄学園
12	34	8	40	82			指定校	相原
13	30	16	36	82			共通テスト利用選抜(Ⅰ期)	富士宮西
14	28	12	40	80			指定校	松が谷
15	34	20	32	86			指定校	小平
16	28	12	40	80			指定校	武蔵村山

合計30点未満

	国語 40点	数学 20点	英語 40点	合計点 100点	学籍番号	氏名	入試区分	出身校
1	12	0	4	16				
2	4	8	4	16				
3	14	4	0	18				
4	12	0	8	20				
5	8	4	8	20				
6	8	12	0	20				
7	10	4	8	22				
8	6	4	12	22				
9	16	8	0	24				
10	14	8	4	26				
11	22	0	4	26				
12	10	8	8	26				
13	14	12	0	26				
14	14	4	8	26				
15	16	8	4	28				
16	12	8	8	28				
17	16	0	12	28				
18	20	4	4	28				
19	16	8	4	28				
20	12	4	12	28				
21	12	4	12	28				
22	12	8	8	28				
23	16	8	4	28				

3）フィードバック

①学生：「スターターズプログラム成績表」配付

②グループ担任：担当学生の成績情報を共有

③関係部署：実施結果、成績上位・下位学生の情報共有

スターターズプログラム成績表

学籍番号　«学籍番号»

氏名　«氏名»

入学おめでとうございます。スターターズプログラムは、これからの大学生活をより良くしていくためのものです。まずは、自分の位置を確認し、これからの学びに向けて準備を進めていきましょう。

	国語	数学	英語	合計
平均点	23点	11点	17点	51点
満点	40点	20点	40点	100点
あなたの点数	«国語»点	«数学»点	«英語»点	«合計»点
偏差値	«偏差値（国語）»	«偏差値（数学）»	«偏差値（英語）»	«偏差値（全体）»

成績目安

	よくできています。このまま頑張りましょう。	あと一歩です。高校での学びをもう一度見直してみましょう。	今後の大学での学びのためにも、基礎的な学力を身に着けるために、頑張りましょう
偏差値	60以上	50以上	50未満

担当：1号館3階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

令和 5 年度スターターズプログラムテストアセスメント報告

1.スターターズプログラムおよびテスト概要

1）スターターズプログラム

課題①

10 教科（国語・数学・理科・社会・英語・保健体育・家庭・美術・音楽・情報）各教科の問題解答全問正解となるまで繰り返し学習する。

課題②

「TWCPE ウィメンアスリーツのためのスポーツ指導・健康手帳」を読み感想を提出。

2）スターターズプログラムテスト

●スターターズプログラムの中から国語・数学・英語の 3 科目においてテストを実施。

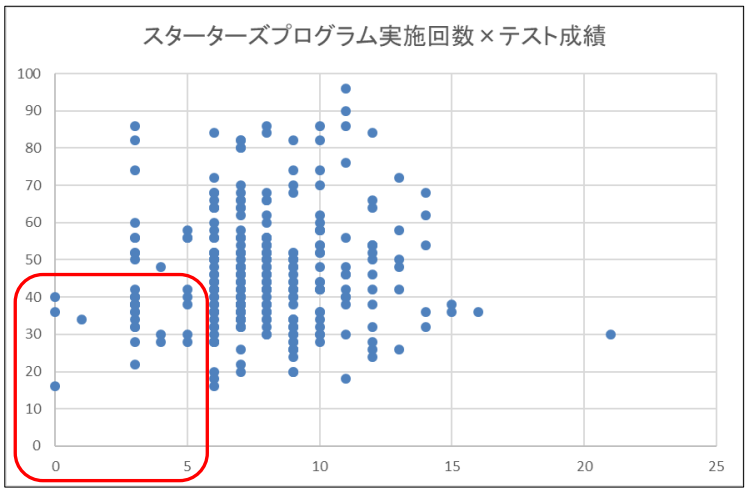
2.入学前教育のデータ検証

1) スターターズプログラム×スターターズプログラムテスト

入学前に課題を取り組んだ回数と入学後のテストの成績をグラフに表した。

課題の取り組み回数が多い学生のテスト成績平均点は、47 点に対し、回数が少ない学生の平均点は、44 点と若干の相関がみられた。

前年度(令和 4 年度)のスターターズプログラムの報告にあるように、実施回数が少ない学生については、入学 1 年経過時点で休学または退学する比率が高い傾向にある。



このことから、取り組んだ回数が 5 回以下かつテスト成績が 40 点以下の学生は、大学の学習に問題なく取り組めているか、注意が必要なゾーンと考えられる。

2）実施回数 1 科目 1 回以下およびテスト成績 40 点以下

課題の取り組み回数が 1 科目 1 回以下でかつテスト成績が 40 点以下の学生については、グループ担任および関係部署に情報共有し、休退学予備軍の早期発見・抑制につなげるよう重点的に支援を促したい。

学籍番号	学生漢字氏名	実施回数	テスト	備考
[redacted]	[redacted]	0	-	未実施
		0	16	
		10	22	
		10	28	
		10	32	休学
		10	32	
		1	34	
		10	34	
		0	36	
		13	36	
		10	36	
		3	38	
		10	38	
		10	38	
		10	38	
		10	40	
		0	40	
		10	40	
		10	40	

3.今後について（検討事項）

1）取り組みが悪い、成績が悪い学生への支援

●支援策（案）

グループ担任との個人面談

➡学業への不安の解消

2）サポート体制（プログラム）の構築

➡学生が相談できるシステム（グループ担任以外）

➡成績不振学生へ案内・周知

配慮が必要な学生への支援について
～スターターズプログラム及びテスト結果に基づく個人面談～

1. 趣旨

文部科学省が 2021 年に行った中退に関する調査によると、新型コロナウイルスの影響などから国公私立大学・短大、高等専門学校を中退した学生は 701 人で、前年同時期より 316 人増え、1.8 倍になっています（調査期間 2021 年 4～8 月。2021 年 11 月 19 日公表)。本学においても、2022 年度の中退者は 55 人（前年度 48 人）と 7 人増加しています。

これらの学生の中退理由で最も多いのは「留年したから」、以下「授業内容に興味が持てなかったから」「授業についていけなかったから」「経済的事情・家庭問題」と続きます。

また、大学への進学理由としては「なんとなく・親や先生に言われて・進学するのが当たり前だと思った」という、自発的ではない理由が 1 位になっています。

さらに、奨学金を借りている学生は約半数を占め、本学においても 45%を占めており、授業とアルバイトの両立がうまくいかず体調を崩したり、勉学がおろそかになって留年し、奨学金が止まったりするなど、負のサイクルに陥る学生も多くいます。これらの学生が休退学につながらないように早期発見・早期対応をしていくことが重要です。

そこで、学生の休退学を防止の観点から、スターターズプログラムの実施状況とそのテスト結果において課題のある学生に対して、グループ担任との個人面談を実施することとしました。

2. 個人面談の目的

入学した学生の最初のつまずきを克服し、その後の学園生活に支障をきたさないようにしていくこと。

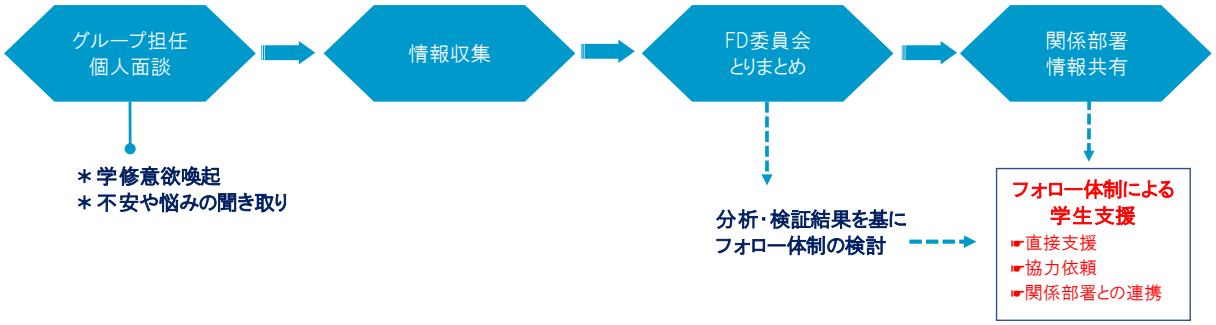
3. グループ担任の役割

(1)　十分に取り組めなかった背景や事情を聞き取る。
(2)　現在の学修状況と学修意欲の喚起を促す。
(3)　現在の学園生活の不安や悩みを聞き取る。
(4)　必要に応じて履修指導やカウンセリングなど支援が受けられる場へつなげる。

4. 想定される質問例

(1)　スターターズプログラムに積極的に取り組まなかったのはなぜか。
(2)　スターターズプログラムテストの結果が芳しくなかったのはなぜか。
(3)　現在の学修や学園生活に不安や悩みなどはないか。
　（健康面、学業面、生活面、家庭面等の課題など）

5. 個人面談後のフロー



教育の質保証委員会 令和 5 年 12 月 20 日
FD 委員会　令和 5 年 12 月 1 日

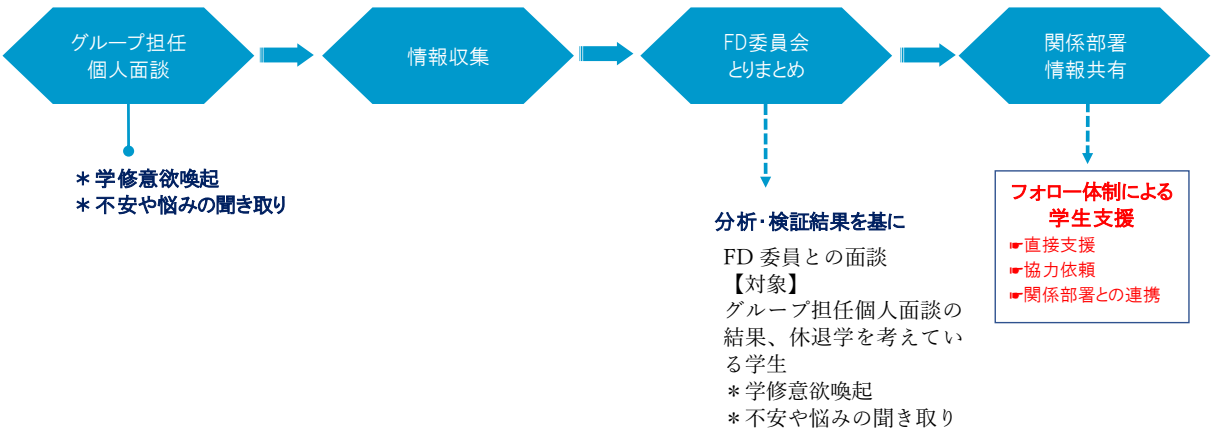
配慮が必要な学生への支援について（アセスメント報告）
～スターターズプログラム及びテスト結果に基づく個人面談～

1. 経緯

令和 5 年度入学生のスターターズプログラム及びテスト結果に基づき、配慮が必要と思われる学生を抽出した結果、１８名の学生が該当し、グループ担任による面談をとおして、スターターズプログラムの取組状況とその結果を伝え、十分に取り組めなかった背景や事情を聞き取り、学修意欲の喚起を行った。

2. フォロー体制

以下のフォロー体制のとおり、結果を関係部署に情報共有することとし、学生支援を行っていく。



3. 結果

個人面談の対象学生は、本学園に合格したにもかかわらず、就学前の学修に何らかの背景や状況で十分に取り組めなかった学生である。これらの学生の中には、現在意欲的に学んでいる学生も多くいたが、一方で学園生活に困難をきたし、3 名（１６％）の学生が、休学や中途退学を検討していることが分かった（令和 5 年 9 月現在）。

そこで、FD 委員会は、3 名中 1 名の学生に対して、学習意欲喚起や不安や悩みの聞き取りを行い、結果、就学の継続に繋がった。また、これらの結果を関係部署に情報共有し、学生支援の一助となるよう努めた。

本学園を希望して入学した学生の最初のつまずきを克服し、その後の学園生活に支障をきたさないようにすること。そして、すべての学生が充実した学園生活を送り、卒業し、社会に貢献できる人材として巣立っていけるように支援していく必要がある。

4. 今後について

次年度からは、フォロー体制のもと入学後の早い次期からの取組みにより、悩みを抱えている学生の早期発見に努め学生支援を充実させる。

以上

令和5年度スターターズプログラムテスト

スターターズプログラムは、みなさんが大学での学びに必要な学力の意識づけと入学後の学習につなげることを目的としています。入学前に取り組んだスターターズプログラムの復習として、国語、数学、英語の問題を解答してみましょう。

※このテストはみなさんの基礎学力を計測し今後の学習指導に活用します。個人の成績、単位修得に関係はありません。

* 必須

1

学籍番号を入力してください。 *

2

氏名を入力してください。 *

国語

次の各問に対する答えとして最も適切なものを後のア～エの中から一つ選びご回答ください。

3

次の文の傍線部の格助詞はどのような意味ですか。
「これ<u>より</u>ほかに道はない。」* (2 点)

◯ ア　時間の起点

◯ イ　場所の起点

◯ ウ　比較の基準

◯ エ　限定

4

次の文の傍線部の接続助詞はどのような意味ですか。
「雨は降っている<u>が</u>、試合は続行しよう。」* (2 点)

◯ ア　確定条件

◯ イ　仮定条件

◯ ウ　対等の関係

◯ エ　逆説条件

5

次の文の傍線部の接続助詞はどのような意味ですか。
「頑張っ<u>ても</u>勝てないだろう。」* (2 点)

◯ ア　確定の逆説

◯ イ　仮定の逆説

◯ ウ　例示

◯ エ　類推

6

次の中で謙譲を表す接頭語にならないものはどれですか。* (2 点)

◯ ア　御

◯ イ　拙

◯ ウ　粗

◯ エ　弊

7

次の文の傍線部の助動詞はどのような意味ですか。
「壁に掛けたポスターを見る。」* (2 点)

◯ ア　過去

◯ イ　完了

◯ ウ　存続

◯ エ　想起

8

次の文中の傍線部の品詞は何ですか。
「大きな犬が走っている。」* (2 点)

◯ ア　形容動詞

◯ イ　形容詞

◯ ウ　連体詞

◯ エ　副詞

9

次の文中の傍線部の助動詞の活用形は何ですか。
「白魚のような美しい指だ。」* (2 点)

◯ ア　未然形

◯ イ　連用形

◯ ウ　連体形

◯ エ　仮定形

10

次の文の傍線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直す場合、それぞれ適切なものはどれですか。
(1) 病気がやっと治癒する。* (2 点)

- ア　ちりょう
- イ　ちゆ
- ウ　ちせつ
- エ　ちしゅく

11

次の文の傍線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直す場合、それぞれ適切なものはどれですか。
(2) 戦没者の霊をシズめる。* (2 点)

- ア 鎮
- イ 清
- ウ 奉
- エ 魂

12

次の文の傍線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直す場合、それぞれ適切なものはどれですか。
(3) 前言をヒルガエして賛成に回る。* (2 点)

- ア 遙
- イ 領
- ウ 翔
- エ 翻

13

次の文の傍線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直す場合、それぞれ適切なものはどれですか。
(4) 道路が込み、車が滞る。* (2 点)

- ア つま
- イ とどこお
- ウ さえぎ
- エ とま

14

次の★の中に漢字一字を入れて四字熟語を作るとして、適切なものをそれぞれ選びなさい。
(1)「山★水明」* (2 点)

◯ ア　碧

◯ イ　蒼

◯ ウ　紅

◯ エ　紫

15

次の★の中に漢字一字を入れて四字熟語を作るとして、適切なものをそれぞれ選びなさい。
(2)「★天動地」* (2 点)

◯ ア　恐

◯ イ　驚

◯ ウ　抜

◯ エ　急

16

次の語は故事成語ですが、意味として適切なものをそれぞれ選びなさい。
(1)「愁眉を開く」* (2 点)

◯ ア　今まで不明だったことが少し分かること。

◯ イ　利欲に迷って道理が分からなくなること。

◯ ウ　心配がなくなって安心すること。

◯ エ　一見弱そうだが実は強い人だと分かること。

17

次の語は故事成語ですが、意味として適切なものをそれぞれ選びなさい。
(2)「尾を途中に曳く」* (2 点)

◯ ア　どんなに困窮していても決して悪事を働かないということ。

◯ イ　互いに心を打ち明けて親しく交わるようになること。

◯ ウ　優れた人につけば、愚者でも力量以上に立派になること。

◯ エ　高い地位にいて束縛されるより、貧しくても自由な生活がよいということ。

18

手紙を書くとき頭語に使わない語は次のうちのどれですか。* (2 点)

◯ ア　謹啓

◯ イ　拝復

◯ ウ　前略

◯ エ　草々

19

「陶」の字は、六書では次のどれになりますか。* (2 点)

◯ ア　象形文字

◯ イ　指事文字

◯ ウ　形声文字

◯ エ　会意文字

20

次の文の中で、間違った仮名遣いが含まれているのは次のうちのどれですか。* (2 点)

◯ ア　英検の３級受験でつまづいた。

◯ イ　こぢんまりとした部屋に通す。

◯ ウ　一人ずつ相談させていただく。

◯ エ　しおりに書いてあるとおりだ。

21

次の熟語で湯桶読みをするのはどれですか。* (2 点)

◯ ア　荷物

◯ イ　青春

◯ ウ　番組

◯ エ　青色

22

次の中から和語を選びなさい。* (2 点)

◯ ア　愛（あい）

◯ イ　肉（にく）

◯ ウ　本（ほん）

◯ エ　心（こころ）

数学

次の各問に対する答えとして最も適切なものを後のア～エの中から一つ選びご回答ください。

23

* (4 点)

(1)　$3-4^2\div 2$　を計算しなさい。

ア　-7.5、　イ　-5、　ウ　-1、　エ　$\frac{1}{2}$

◯ ア

◯ イ

◯ ウ

◯ エ

24

* (4 点)

(2)　$(2\sqrt{3}+\sqrt{5})(2\sqrt{3}-\sqrt{5})$　を計算しなさい。

ア　$17+4\sqrt{15}$　、イ　$2\sqrt{2}$　、ウ　-16、　エ　7

◯ ア

◯ イ

◯ ウ

◯ エ

25

* (4 点)

（3） x の 2 次不等式 $x^2 - 6x + 5 < 0$ を解きなさい。

ア $x < 1$，$5 < x$、 イ $5 < x < 6$、 ウ $1 < x < 5$ エ $x < 5$，$6 < x$

◯ ア

◯ イ

◯ ウ

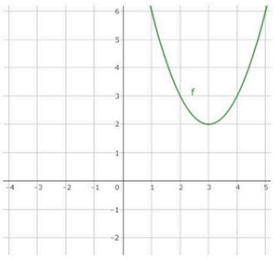
◯ エ

26

* (4 点)

（4） 次のグラフが示す方程式は次のうちどれか。

ア $y = (x + 3)^2 + 2$
イ $y = (x - 3)^2 + 2$
ウ $y = x^2 + 3x + 2$
エ $y = x^2 - 6x + 5$



◯ ア

◯ イ

◯ ウ

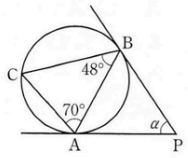
◯ エ

27

* (4 点)

(5) 次の図において，直線 PA，PB は△ABC の外接円の接線である。角 α の大きさを求めよ。

ア　４８°、イ　７０°
ウ　６２°、エ　５６°



◯ ア

◯ イ

◯ ウ

◯ エ

英語

オリンピック・パラリンピックについてのクイズです。正しい答えを一つずつ選んでみましょう。（参考：*The Japan Times*, July 22, 2021; *the japan times alpha*, January 31, 2020）

28

What year did the modern Olympics start? * (4 点)

- ◯ 1868
- ◯ 1886
- ◯ 1892
- ◯ 1896

29

The first modern Olympic Games took place in Athens, Greece, but Japan did not compete. When and where did Japan first participate in the Olympics? * (4 点)

- ◯ The 1900 Summer Games in Paris
- ◯ The 1908 Summer Games in London
- ◯ The 1912 Summer Games in Stockholm
- ◯ The 1920 Summer Games in Antwerp

30

Female athletes first took part in the 1900 Games in Paris. In which Olympic Games did Japanese female athletes first compete? * (4 点)

- ◯ The 1912 Summer Games in Stockholm
- ◯ The 1920 Summer Games in Antwerp
- ◯ The 1928 Summer Games in Amsterdam
- ◯ The 1936 Summer Games in Berlin

31

Japan's first Olympic gold came in 1928 when Mikio Oda won the men's triple jump. When and where did Japan see its first women's gold medal? * (4 点)

- ◯ The 1988 Winter Games in Calgary
- ◯ The 1992 Summer Games in Barcelona
- ◯ The 1996 Summer Games in Atlanta
- ◯ The 2000 Summer Games in Sydney

32

Which Greek goddess has traditionally appeared on Summer Olympic medals in the modern age? * (4 点)

- ◯ Artemis
- ◯ Achilles
- ◯ Iris
- ◯ Nike

33

What does the Olympic motto "Citius, altius, forties" mean? * (4 点)

- ◯ Faster, higher, stronger
- ◯ Quicker, heavier, taller
- ◯ Faster, longer, deeper
- ◯ Quicker, higher, superior

34

Paralympics is said to have originated in which sports competition? * (4 点)

- ◯ Tennis
- ◯ Table tennis
- ◯ Swimming
- ◯ Archery

35

Which Olympic/ Paralympic sport doesn't divide men and women into separate categories? * (4 点)

- ◯ Equestrian
- ◯ Archery
- ◯ Shooting
- ◯ Surfing

36

What is the major way that Paralympic tennis differs from the Olympic version? * (4 点)

- ◯ The size of the court is smaller.
- ◯ The size of the ball is larger.
- ◯ The ball can bounce twice before being hit back.
- ◯ The height of the net is lower.

37

Which group of athletes always marches first at the opening ceremonies? * (4 点)

- ◯ Greece
- ◯ The host country
- ◯ Refugee athletes
- ◯ Younger athletes

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

Microsoft Forms

2023
スターターズプログラムテスト
結 果 報 告

4月のフレッシュウィークで新入生対象に実施した「スターターズプログラムテスト」の実施結果です。
スターターズプログラムはこれからの学びをより良くするためのものです。自分の強み・弱みを確認しておきましょう。

大学＆短大１年生の科目平均点はこちら

全科目 平均点
100点中
54.6点

国語 平均点
40点中
24.3点

数学 平均点
20点中
11.3点

英語 平均点
40点中
18.9点

2023
スターターズプログラムテスト
成績上位者　発表

1　231508番　中山　莉彩さん

2　231208番　小野　寧々さん

3　231238番　小泉　杏織さん

3　231510番　奈良　美穏さん

3　231534番　藤田　璃宥さん

本件担当：企画調査室

7）授業評価アンケート

教育の質保証委員会　令和 5 年 6 月 28 日
FD 委員会　令和 5 年 6 月 14 日
FD 委員会　令和 5 年 5 月 10 日

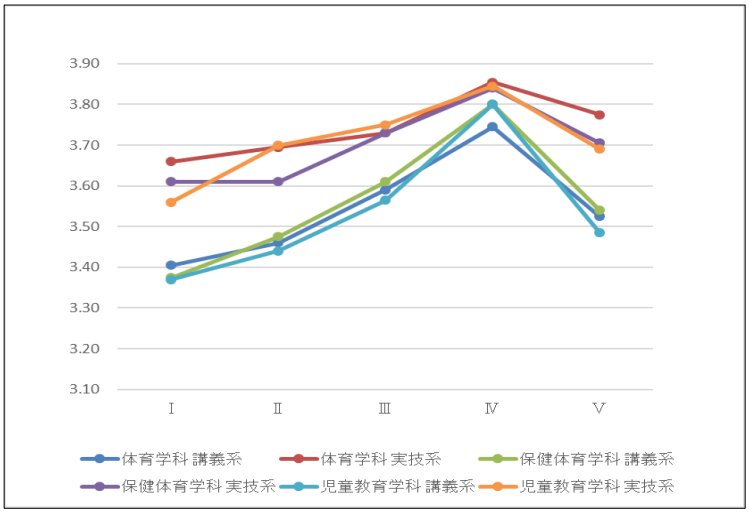
令和 4 年度授業評価アンケートアセスメント報告

1）学科・科目区分別集計結果

区分		体育学科		保健体育学科		児童教育学科	
		講義系	実技系	講義系	実技系	講義系	実技系
Ⅰ	学生の授業に対する取り組み	3.41	3.66	3.38	3.61	3.37	3.56
Ⅱ	学生の授業の理解度・習熟度	3.46	3.70	3.48	3.61	3.44	3.70
Ⅲ	教員の教授法と授業に対する取り組み	3.59	3.73	3.61	3.73	3.57	3.75
Ⅳ	学習環境について	3.75	3.86	3.80	3.84	3.80	3.85
Ⅴ	総合評価	3.53	3.78	3.54	3.71	3.49	3.69

・各区分の平均値は、全学科において実技系の科目が高い傾向にある。

・全体的な傾向として、「Ⅳ学習環境」が高く、教室の環境や授業の実施形態については適切といえる。逆に「Ⅰ学生の授業に対する取り組み」が他の区分に比べ低い傾向にあることから、学生の履修前の興味・関心・期待度や予習・復習などの学習意欲を向上させることが課題と考えられる。



2）科目別集計結果平均 3.9 以上（回答率 50%以上を抽出）

・科目別の平均値については、3.0 以下の科目はなく上位と下位の大きな差はみられない。

学科名	授業科目名		履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	新体操競技コーチング論及び実習Ⅲ		16	8	50.0%	4.00
体育学科	ソフトボールコーチング論及び実習Ⅰ		8	5	62.5%	3.97
体育学科	ソフトボールコーチング論及び実習Ⅲ		22	15	68.2%	3.96
体育学科	ニュースポーツ		38	22	57.9%	3.90
児童教育学科	音楽Ｂⅱ		3	3	100.0%	4.00
体育学科	ハンドボールコーチング論及び実習Ⅰ		10	9	90.0%	4.00
体育学科	ハンドボールコーチング論及び実習Ⅲ		16	13	81.3%	3.93
体育学科	体操競技コーチング論及び実習Ⅱ		9	7	77.8%	3.99
体育学科	体操競技コーチング論及び実習Ⅲ		8	8	100.0%	3.99
児童教育学科	図画工作Ⅱ		2	2	100.0%	3.96
体育学科	武道指導方法及び実習b		18	9	50.0%	3.92
体育学科	新体操競技コーチング論（競技論）		18	12	66.7%	3.96
児童教育学科	レクリエーション演習		19	11	57.9%	3.92
児童教育学科	社会科教育法Ⅱ		14	10	71.4%	3.96
体育学科	スポーツ健康学実習		5	3	60.0%	4.00
保健体育学科	体つくり運動b		12	7	58.3%	3.92
児童教育学科	音楽Ｂⅱ		2	2	100.0%	4.00
児童教育学科	音楽科教育法Ⅱ		4	4	100.0%	4.00
児童教育学科	子どもの身体表現b		7	5	71.4%	3.93
体育学科	球技（バレーボール）		54	32	59.3%	3.90
児童教育学科	家庭科教育法Ⅰ		5	5	100.0%	3.94
保健体育学科	ダンスb		3	2	66.7%	3.96

3）科目・設問別集計結果 2.5 未満（回答率 30%以上を抽出）

・集計結果 2.5 未満の設問の割合は、13、3、5 が多い傾向。

設問 13「遠隔授業に関して、課題の量は適切でしたか」

設問　3「予習・復習は行ないましたか」

設問　5「自分にとって内容の難易度は適切でしたか」

・2.5 未満の学科割合は、体育学科 21%、保健体育学科 43%、児童教育学科 36%であり、保健体育学科が多い傾向。

学科名	授業科目名		履修者数	回答者数	回答率	設問	平均
体育学科	外国語コミュニケーション（英語）Ⅰ		26	25	96.2%	12	2.29
体育学科	外国語コミュニケーション（英語）Ⅰ		26	25	96.2%	13	2.31
保健体育学科	アスレティックコンディショニング		16	10	62.5%	13	1.75
体育学科	教育原理		106	80	75.5%	12	2.44
児童教育学科	教育原理（含学校の制度と経営）		7	6	85.7%	1	2.33
体育学科	スポーツ栄養学Ⅰ		162	90	55.6%	5	2.44
体育学科	スポーツ栄養学Ⅰ		159	110	69.2%	5	2.48
保健体育学科	スポーツ栄養学		20	16	80.0%	5	2.38
児童教育学科	子どもの食と栄養		19	14	73.7%	11	2.36
児童教育学科	音楽A		7	6	85.7%	1	2.33
児童教育学科	音楽A		36	26	72.2%	5	2.42
児童教育学科	音楽A		36	26	72.2%	12	1.00
児童教育学科	音楽A		36	26	72.2%	13	2.00
保健体育学科	体育測定・統計		10	6	60.0%	1	2.33
保健体育学科	体育測定・統計		10	6	60.0%	3	2.33
保健体育学科	体育測定・統計		10	6	60.0%	5	2.33
保健体育学科	体育測定・統計		10	6	60.0%	13	2.00
保健体育学科	道徳の指導法		12	10	83.3%	13	1.00
保健体育学科	スポーツ史		13	11	84.6%	3	2.45
保健体育学科	スポーツ史		13	11	84.6%	13	2.00
保健体育学科	キャリアデザイン		12	10	83.3%	3	2.30
児童教育学科	キャリアデザイン		17	14	82.4%	3	2.36
児童教育学科	キャリアデザイン		18	16	88.9%	3	2.19
保健体育学科	運動処方論		12	6	50.0%	12	1.00
保健体育学科	運動処方論		12	6	50.0%	13	2.00
体育学科	英語表現Ⅰ		13	6	46.2%	10	1.00
児童教育学科	障害児保育Ⅰ（含特別支援教育）		36	30	83.3%	3	2.43
児童教育学科	障害児保育Ⅰ（含特別支援教育）		36	30	83.3%	14	2.40

4）まとめ

・学生の授業への興味・関心、意欲を向上させること、予習・復習などの学習の習慣をつけることが課題といえる。

・科目別に平均値を比較しても科目間に有意な差はみられないがゆえに、相関を分析するのが困難である。このことから、自由記述による学生の意見を重要視し、FD 活動などの改善につなげるよう取り組みを検討していく。

➡アンケート設問の見直し・・・現状に合った設問、DP とリンクした設問の検討

➡授業改善報告書の全学公開の WEB 化・・・UNIVARSAL PASSPORT にて公表

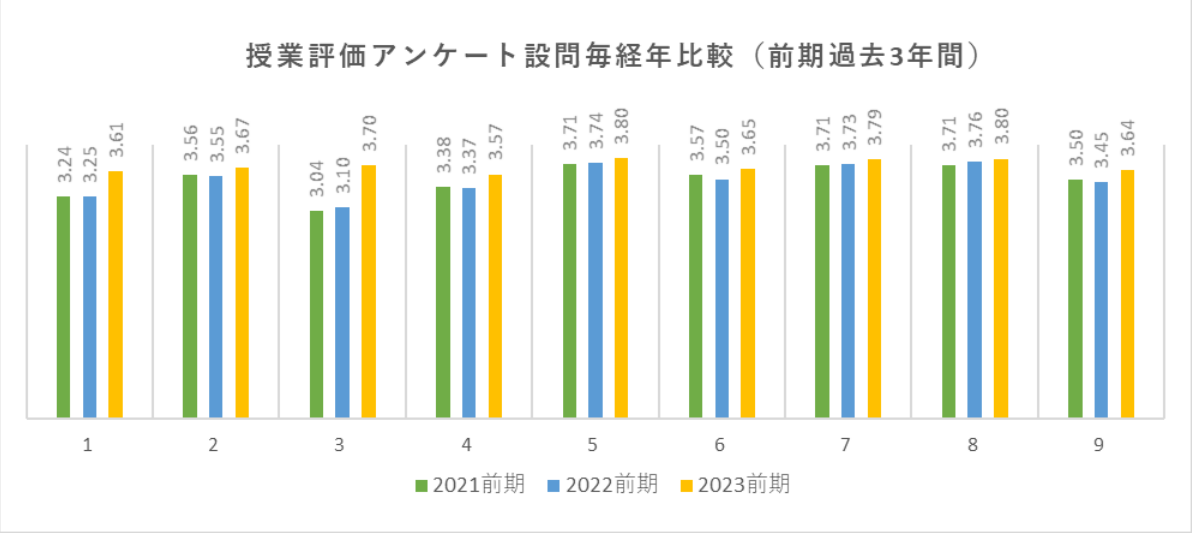
教育の質保証委員会　令和 6 年 2 月 21 日
FD 委員会　令和 6 年 1 月 17 日

令和 5 年度授業評価アンケートについて

1）授業評価アンケート集計結果経年比較（大学・短大）

・2021 年度前期から 2023 年度前期の共通設問について経年比較を行った。

1. 授業で扱われた内容について興味が持てましたか。
2. この授業に自分なりの課題や目標をもって主体的に取り組みましたか。
3. 当該授業において事前事後学習（課題・レポートを含む）に取り組みましたか。
4. 自分にとって内容の難易度は適切でしたか。
5. この授業は、シラバスに示された内容が（順序は別にして）行われていましたか。
6. 授業の時、受講者の理解・習得に役立つための工夫がなされていましたか。
7. 授業の時、教室の学習環境（広さ、明るさ、温度等）は適切でしたか。
8. 授業の時、授業の実施形態(受講生の数、安全性の配慮等)は適切でしたか。
9. 総合的な満足度はどのくらいですか。



2）経年比較の考察

9 問の共通設問のうちすべての設問で 2023 年度前期の平均が高い傾向にあることがわかった。このことから、授業改善が効果的に行われていると言える。

3）ベストティーチャーの抽出

＊授業履修規模と回答率別でそれぞれの平均値が高かった授業を抽出

講義系科目

履修規模　100名以上

回答率　70%以上

学科名	授業コード	授業科目名	担当教員名	開講時期	ｸﾗｽ名	曜日	校時	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	1316001	スポーツ史	藤坂　由美子	前期	ab	金曜日	1	1	104	78	75.0%	3.71
体育学科	1305000	運動学（含運動方法）	金子　一秀	前期		金曜日	3	2	308	218	70.8%	3.70
体育学科	1001000	藤村トヨの教育	藤坂　由美子	前期		水曜日	2	1	262	196	74.8%	3.68
体育学科	1301001・1301002・1301003	スポーツ原理	早瀬　健介	前期	ab・cd・ef	金曜日	2・3・4	1	311	238	76.5%	3.66
体育学科	1501000	運動技術論	渡辺　博之	前期		金曜日	1	3	223	162	72.6%	3.62

履修規模　50名～99名
回答率　70%以上

学科名	授業コード	授業科目名	担当教員名	開講時期	ｸﾗｽ名	曜日	校時	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	1801001	教職論	出張　吉訓	前期	ab	火曜日	3	1	87	65	74.7%	3.88
体育学科	1817002	特別支援教育概論	石坂　光敏	前期	B1	水曜日	2	3	65	55	84.6%	3.77
こどもスポーツ	7819100	特別支援教育概論	石坂　光敏	前期		水曜日	4	2	88	67	76.1%	3.71
体育学科	1812005	教育方法（含情報機器及び教材の活用）	石出　勉	前期	e	金曜日	3	3	54	38	70.4%	3.70
体育学科	1316002	スポーツ史	藤坂　由美子	前期	cd	金曜日	3	1	99	77	77.8%	3.70

履修規模　25名～49名
回答率　70%以上

学科名	授業コード	授業科目名	担当教員名	開講時期	ｸﾗｽ名	曜日	校時	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
こどもスポーツ	7113601	保育原理	堀内　亮輔	前期		金曜日	4	1	30	29	96.7%	3.90
こどもスポーツ	7827801・7827802	子どもと表現	渡邊　洋	前期	A・BC	火曜日	4	1	40	36	90.0%	3.90
こどもスポーツ	7114301・7114302	子どもの健康と安全	藤城　富美子	前期	A・B	火曜日	3・4	2	31	24	77.4%	3.86
こどもスポーツ	7116200	社会的養護Ⅰ	青山　有希	前期		月曜日	1	2	30	24	80.0%	3.83
こどもスポーツ	7807200	算数科教育法Ⅱ	林　誠之介	前期		火曜日	2	2	34	28	82.4%	3.82

履修規模　10名～24名
回答率　70%以上

学科名	授業コード	授業科目名	担当教員名	開講時期	ｸﾗｽ名	曜日	校時	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	1123501	外国語コミュニケーション（フランス語）Ⅰ	石井　咲	前期	A	月曜日	3	1	12	10	83.3%	3.92
体育学科	1119505	外国語コミュニケーション（英語）Ⅰ	松岡　敬明	前期	B-松岡	月曜日	4	1	22	16	72.7%	3.91
こどもスポーツ	7811200	体育科教育法Ⅱ	豊岡　弘敏	前期		月曜日	2	2	24	20	83.3%	3.90
体育学科	1540200	スポーツリハビリテーション演習Ⅰ	覚張　秀樹	前期		水曜日	1	4	12	11	91.7%	3.89
こどもスポーツ	7113300	児童福祉施設研究	青山　有希	前期		水曜日	2	2	10	10	100.0%	3.88

実技系科目

履修規模　100名以上
回答率　50%以上

学科名	授業コード	授業科目名	担当教員名	開講時期	ｸﾗｽ名	曜日	校時	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	1403101・1403102・1403103	陸上競技Ⅰa	丸尾　祐矢	前期	(a・b・cクラス)	月曜日・火曜日	1・2	1	134	75	56.0%	3.94
体育学科	1410102・1410103	球技（ソフトボール）	佐藤　理恵	前期	A2・B1	火曜日・水曜日	1	2	159	51	32.1%	3.90
体育学科	1410201・1410204	球技（ハンドボール）	八尾　泰寛	前期	A1・B2	水曜日	1・2	2	161	127	78.9%	3.87
体育学科	1403104・1403105・1403106	陸上競技Ⅰa	佐々木　大志	前期	(d・e・fクラス)	火曜日・木曜日	3・4	1	132	65	49.2%	3.87
体育学科	1401201・1401204・1401206	新体操Ⅰ	秋山　エリカ	前期	(a・d・fクラス)	火曜日・金曜日	1・2・4	2	164	105	64.0%	3.86

履修規模　50名～99名
回答率　50%以上

学科名	授業コード	授業科目名	担当教員名	開講時期	ｸﾗｽ名	曜日	校時	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	1411101	ダンスⅡa	髙橋　佳子	前期	(aクラス)	火曜日	2	2	51	29	56.9%	3.93
体育学科	1408101	器械運動Ⅱa	渡辺　博之	前期	A1	木曜日	1	2	61	34	55.7%	3.88
体育学科	1538101	ダンス指導方法及び実習a	長谷川　千里	前期	A	月曜日	3	3	60	36	60.0%	3.81
体育学科	1614101	エアロビックダンス	松本　美和子	前期	A1	土曜日	1	2	66	41	62.1%	3.73

履修規模　25名～49名
回答率　50％以上

学科名	授業コード	授業科目名	担当教員名	開講時期	ｸﾗｽ名	曜日	校時	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	1404102	球技（バレーボール）	今丸　好一郎	前期	b	金曜日	2	1	43	40	93.0%	3.95
体育学科	1400104	体つくり運動Ⅰa	佐藤　彩乃	前期	(dクラス)	木曜日	3	1	45	37	82.2%	3.93
体育学科	1404103	球技（バレーボール）	今丸　好一郎	前期	c	金曜日	1	1	47	44	93.6%	3.92
体育学科	1405104	ダンスⅠa	髙橋　佳子	前期	(dクラス)	月曜日	3	1	48	29	60.4%	3.91
体育学科	1406207	武道（柔道）	佐藤　愛子	前期	(㋐クラス)	火曜日	1	1	35	18	51.4%	3.90

履修規模　10名～24名
回答率　50％以上

学科名	授業コード	授業科目名	担当教員名	開講時期	ｸﾗｽ名	曜日	校時	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
保健体育学科	5402100	器械運動a	栁　浩二郎	前期		木曜日	3	1	12	6	50.0%	3.99
保健体育学科	5403100	陸上競技a	佐々木　大志	前期		木曜日	2	1	18	10	55.6%	3.98
体育学科	1539101	健康体力づくり指導方法及び実習Ⅰ	小野田　桂子	前期	B	金曜日	3	4	10	6	60.0%	3.94
体育学科	1534101	器械運動指導方法及び実習a	佐藤　晋也	前期	A	月曜日	4	3	10	5	50.0%	3.88
こどもスポーツ	7858000	子どもの運動a	秋山　エリカ	前期		火曜日	2	1	24	23	95.8%	3.86

4）ベストティーチャーの表彰と授業改善への活用例（案）

＊各区分のベストティーチャーを表彰（賞状~~&副賞~~）

＊高い評価の先生方へのヒアリングをもとに「授業カタログ」のようなものを作成する。

＊ベストティーチャー受賞者の授業を動画配信する。

➡効果的な授業方法の共有を図る。本学の教員が授業で実践している工夫や優れた取り組みの事例を収集し「見える化」することで、授業改善や効果的な履修指導につなげる。

8）体力テストアセスメント報告

教育の質保証委員会　令和 6 年 2 月 21 日
女子体育研究所　令和 6 年 2 月 19 日

体力テスト・アセスメント報告（令和 5 年度・短期大学）

体力テストの概要

『藤村学園創立 110 周年記念東京女子体育大学・東京女子体育短期大学この 10 年のあゆみ』（藤村学園創立百十周年記念記録等作成実行委員会，2012）にあるように、文部省（当時）が東京オリンピックを契機として国民の体力増進のため昭和 39 年（1964）に制定した「体力テスト」を、本学でも全学行事として実施してきており（平成 10 年（1998）からは「新体力テスト」となる）、今日に至っている。児童教育学科（当時）の体力測定結果について文部省（当時）よりデータ提供の依頼があった時期もあり、本学はこれに応じている。

体力テストは本学体育学部（以下、大学）1・2 年生、および短期大学保健体育学科（以下、保体）1・2 年生、同こどもスポーツ教育学科（旧：児童教育学科。以下、こスポ）1・2 年生を測定対象者とし、本学体育学部 3・4 年生を測定者として実施されてきた。学生にとっては、自分自身の体力・運動能力の把握ができる重要な機会である。また、平成 19 年（2007）からは成績優秀者に関しては表彰も行っている。大学 3・4 年生にとっては体力・運動能力の測定技術を学ぶ実践的な機会としても重要視されている。加えて近年では、測定結果の学内・学外で研究目的での利用を促進するべく、平成 20 年（2008）以降の測定結果を本学ホームページで公開している。

令和 5 年（2023）4 月体力テストの実施結果について

体力テストの参加者数と各種目の測定結果の詳細は、『新体力テスト結果報告書・令和 5 年度版』（令和 5 年度体力テスト実行委員会、2023）にある通りである。参加者数については表 1 の通りであった。本年度の体力テスト当日は大雨で、雨天時に関する学生への連絡が不十分であったこともあり、大学 2 年、保体 2 年、こスポ 2 年の参加率が低かった（順に約 54%、約 56%、約 21%）。とりわけこスポ 2 年の参加率の低さが目立った。今後は、雨天時への備えを万全にするとともに、こスポ学生は、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格取得を目指して本学に入学してくるが、他の幼児教育系短期大学とは異なる本学の特色である「体育短期大学」という部分について、より明確に意識を持ってもらうことが重要であるといえた。

表1. 出席状況

	在籍者数	出席者数	出席率	（R4年度）
大学1年	263	239	90.90%	90.20%
大学2年	317	171	53.90%	90.40%
大学3年	312	242	77.60%	88.30%
大学4年	342	233	68.10%	75.50%
保体1年	12	12	100.00%	100.00%
保体2年	16	9	56.30%	67.60%
こスポ1年	36	34	94.40%	88.40%
こスポ2年	43	9	20.90%	65.90%
全 体	1,341	949	70.80%	85.10%

*当日受付での集計結果のため、データ分析におけるデータ数とは一致しない点がある。

令和 5 年（2023）4 月実施の体力テストにおける本学学生の体格・体力測定結果の基礎データは、表 2 の通りであった。

表 2. 本学学生の体格･体力測定結果

		身長(cm)			体重(kg)			体脂肪率(%)		
	母データ数	平均値	標準偏差	データ数	平均値	標準偏差	データ数	平均値	標準偏差	データ数
全学生	526	159.9	5.7	526	57.5	7.1	526	27.3	5.3	511
大学2年	178	160.4	6.1	178	58.0	6.7	178	27.9	5.2	167
大学1年	238	159.5	5.6	238	57.4	7.0	238	26.9	5.2	235
保体2年	11	158.2	3.3	11	54.7	3.6	11	27.3	3.5	11
保体1年	12	158.1	4.2	12	54.6	6.1	12	27.2	4.5	12
こスポ2年	10	162.2	7.6	10	59.4	8.2	10	27.7	3.2	9
こスポ1年	34	159.0	4.6	34	58.7	9.7	34	29.8	7.1	34

		握力･左右平均値(kg)			背筋力(kg)			上体起こし(回)		
	母データ数	平均値	標準偏差	データ数	平均値	標準偏差	データ数	平均値	標準偏差	データ数
全学生	526	30.4	5.3	525	89.0	22.4	523	31.7	5.5	525
大学2年	178	31.4	5.5	178	93.4	26.5	177	32.1	5.1	178
大学1年	238	30.3	5.3	237	87.9	20.5	237	32.5	5.6	237
保体2年	11	28.3	3.9	11	78.1	17.0	11	26.8	3.7	11
保体1年	12	29.1	5.2	12	81.8	18.0	12	30.6	4.4	12
こスポ2年	10	28.8	4.6	10	84.6	22.7	10	29.5	6.4	10
こスポ1年	34	29.5	3.9	34	84.7	13.8	34	29.6	5.9	34

		垂直跳び(cm)			立ち幅跳び(cm)			反復横とび(回)		
	母データ数	平均値	標準偏差	データ数	平均値	標準偏差	データ数	平均値	標準偏差	データ数
全学生	526	44.5	8.9	509	192.2	19.8	510	55.7	6.2	505
大学2年	178	46.9	6.5	170	194.8	20.7	172	55.0	7.0	170
大学1年	238	42.7	10.8	232	193.9	18.6	232	57.4	5.3	229
保体2年	11	45.3	5.8	10	181.7	12.0	9	50.5	4.3	10
保体1年	12	42.7	4.8	12	187.5	17.3	12	56.9	3.6	12
こスポ2年	10	45.5	5.9	10	186.4	17.3	10	55.4	6.4	10
こスポ1年	34	43.5	8.2	33	185.0	21.6	33	54.7	4.4	33

		50m走（sec)			シャトルラン(回)			最大酸素摂取量(ml/kg/min)		
	母データ数	平均値	標準偏差	データ数	平均値	標準偏差	データ数	平均値	標準偏差	データ数
全学生	526	8.2	0.7	427	65.7	23.0	503	40.8	5.2	503
大学2年	178	8.1	0.6	149	64.7	25.0	169	40.6	5.6	169
大学1年	238	8.1	0.6	225	67.4	21.5	228	41.2	4.8	228
保体2年	11	8.1	0.3	2	53.4	19.9	10	38.0	4.5	10
保体1年	12	8.1	0.5	12	80.5	16.2	12	44.1	3.6	12
こスポ2年	10	8.3	0.7	7	58.9	23.9	10	39.3	5.4	10
こスポ1年	34	8.0	0.4	6	59.5	17.8	33	39.4	4.0	33

		ハンドボール投げ(m)			長座体前屈(cm)			偏差値平均		
	母データ数	平均値	標準偏差	データ数	平均値	標準偏差	データ数	平均値	標準偏差	データ数
全学生	526	19.4	5.1	523	52.1	8.9	525	50.4	6.1	425
大学2年	178	20.2	5.1	176	52.0	9.3	177	51.1	6.0	155
大学1年	238	19.6	5.2	238	51.7	8.2	238	50.6	6.0	218
保体2年	11	14.6	4.2	11	52.7	9.3	11	54.1	0.0	1
保体1年	12	20.1	4.4	12	47.8	8.7	12	49.9	3.7	12
こスポ2年	10	17.3	5.8	10	50.8	9.5	10	46.0	5.9	7
こスポ1年	34	17.3	3.9	34	51.3	8.2	34	52.6	4.1	6

図１～３は、大学２年、保体２年、こスポ２年のそれぞれについて、昨年度の測定結果との比較から、体格・体力の変化について検討したものである。各図のグラフの 0 よりも右側に棒グラフが伸びている部分は増加分、0 よりも左側に伸びている部分が減少分である。

大学 2 年生については、シャトルランでの結果の下降が見られるが、概ね昨年より体格・体力の向上がみられることがわかる。保体２年生については、昨年よりも向上した種目よりも下降した種目が多かったことがわかった。大学・保体ともに、2 年生の体力テストへの出席率は 50%台となっており、当日が大雨であったとはいえ、出席率の低さも問題であるといえた。

こスポ 2 年生に関して、握力以外は、昨年度のデータよりも増加しており、とりわけ背筋力、上体起こし、反復横跳び、シャトルラン等の数値が増加しており、体力・運動能力の向上がみられることがわかった。こスポ学生の測定結果については、表 1 をみると大学・保体と比較してそれほど遜色はないが、こスポ 2 年生の体力テストへの出席率は先述のように、他学科の 2 年生と比較して非常に低い（約 21%）。切断効果という意味で、体力テストに出席しなかったこスポ 2 年生の状況が気になるところである。

こスポ学生の状況については、あくまで推測の範囲ではあるが、以下のことが考えられる。保育士・幼稚園教諭の資格を取得するには、保育園での実習、児童養護施設等での実習、幼稚園での実習というように、2 年間という短い間に学外に長期間実習に行く必要が何度もある。そのため、本学において運動部活動の日ごろの練習参加や試合出場等と、それらの実習や学科での学びの両立は、学生の生活時間のやりくりの上で困難な点がある。今回の体力テストデータから深読みしすぎることは控えるが、せっかくの体育短期大学こどもスポーツ教育学科であるのに、スポーツ活動への参加の機会が限られてしまったり、もとより短大でスポーツ活動を行うことを想定していない入学者が増えるなどという状況があるのではないか。本学こどもスポーツ教育学科が獲得したい「スポーツが好きで、子どもが好き」という高校生が本学を選択しやすくなるよう、入学後のスポーツ環境を整えることが重要かもしれない。

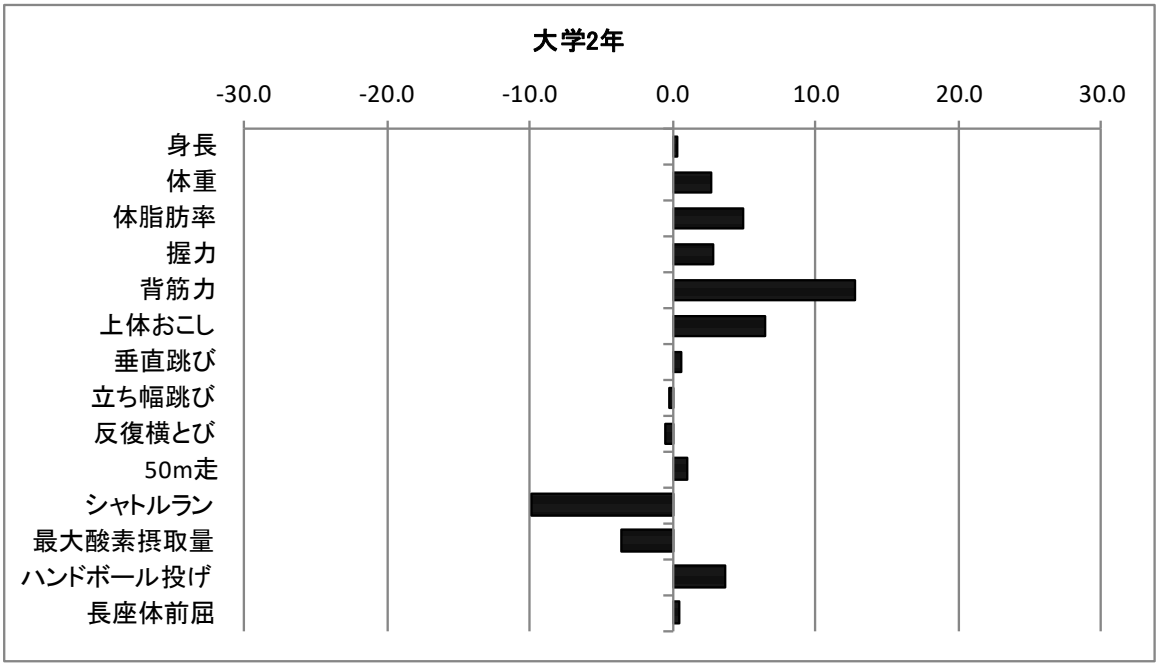


図1. 大学 2 年生における昨年の測定結果との比較

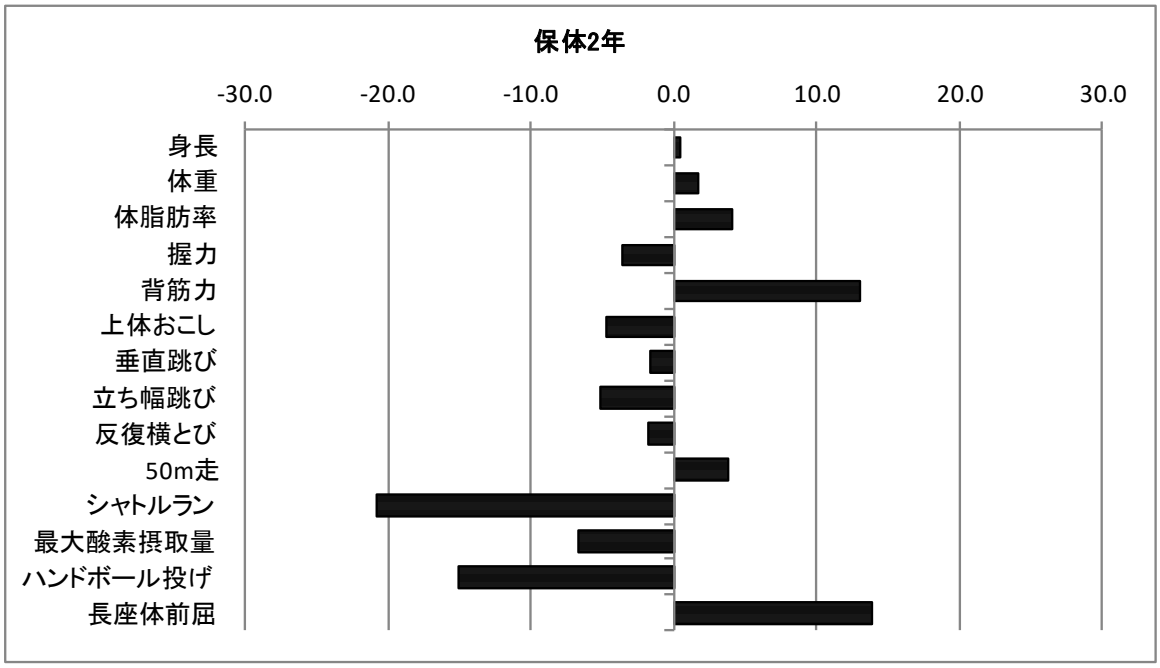


図2. 保体 2 年生における昨年の測定結果との比較

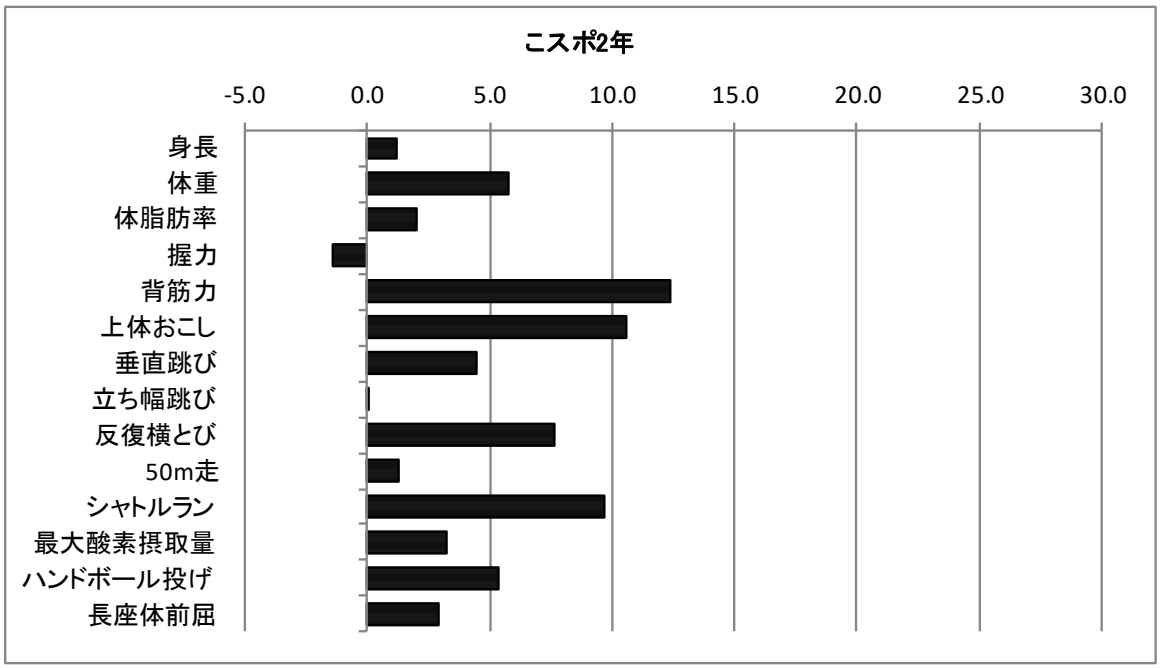


図 3. こスポ 2 年生における昨年の測定結果との比較

次項の表 3 は、大学、保体、こスポにおける、体力テストの成績優秀者の測定結果である（プライバシーにかかわる情報を除いて掲載)。大学、保体、こスポを合わせた全体から、偏差値平均（様々な種目の測定結果から算出される偏差値を、個人内で平均したもの）を算出した。先掲の表 2 をみると、大学の成績優秀学生の偏差値平均は 70 台から 60 台であり、優秀さが際立っている。しかし保体の最優秀学生の偏差値平均は 57.7、こスポの最優秀学生の偏差値平均は 58.3 と健闘していることがわかる。

表 3. 体力テスト成績上位者の測定結果

大学・体育学部体育学科

順位	全体順位	所属	学年	背筋力		握力平均		上体起こし		垂直跳び		反復横とび		長座体前屈		20mシャトルラン		最大酸素摂取量		立ち幅跳び		ハンドボール投げ		50m走		偏差値
				測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	
1	1	大学	1	141	17	42.5	9	43	10	51	101	75	1	66	31	100	37	48.5	37	229	16	34	5	7.0	9	70.5
2	2	大学	1	131	27	37.5	46	39	45	65	3	75	1	59	107	116	6	52.1	6	245	1	34	5	6.8	3	70.4
3	3	大学	1	161	5	51.5	1	45	3	55	36	61	78	59	107	92	66	46.7	66	218	44	38	1	7.0	9	69.2
4	4	大学	2	150	11	38.5	35	41	19	56	26	70	6	52	245	123	2	53.7	2	232	11	21	150	7.0	9	65.3
5	5	大学	1	126	33	36.0	63	43	10	54	49	69	7	47	356	115	7	51.9	7	225	22	25	60	7.1	15	63.9
6	6	大学	2	177	3	49.0	2	31	274	49	146	65	15	60	91	75	163	42.9	163	220	32	31	11	7.6	73	63.04
7	7	大学	2	94	175	36.0	63	36	92	64	4	58	171	71	7	83	119	44.7	119	235	6	31	11	7.3	28	62.99
8	8	大学	2	159	6	39.5	19	41	19	56	26	56	250	73	5	65	239	40.6	239	235	6	25	60	7.5	54	62.9
9	9	大学	1	144	15	45.5	5	39	45	47	190	65	15	50	302	103	28	49.2	28	200	169	30	14	7.5	54	62.8
10	10	大学	2	110	67	46.0	4	33	185	64	4	65	15	63	55	81	129	44.2	129	235	6	25	60	–	–	62.6
11	11	大学	2	130	29	30.5	237	37	75	55	36	59	131	69	14	100	37	48.5	37	206	120	31	11	7.5	54	62.49
12	12	大学	2	110	67	38.5	35	33	185	60	11	59	131	51	275	126	1	54.4	1	215	58	35	3	7.5	54	62.47
13	13	大学	1	115	49	33.0	134	40	28	67	2	69	7	63	55	75	163	42.9	163	237	4	23	104	7.8	118	62.2
14	14	大学	2	110	67	35.0	82	39	45	52	75	63	36	50	302	109	17	50.5	17	199	189	36	2	7.7	96	62.0
15	15	大学	2	105	96	43.5	8	40	28	54	49	65	15	58	129	97	58	47.8	58	195	218	30	14	8.1	189	61.7

短大・保健体育学科

順位	全体順位	所属	学年	背筋力		握力平均		上体起こし		垂直跳び		反復横とび		長座体前屈		20mシャトルラン		最大酸素摂取量		立ち幅跳び		ハンドボール投げ		50m走		偏差値
				測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	
1	51	保体	1	70	420	33.5	120	40	28	43	302	59	131	49	325	100	37	48.5	37	220	32	27	38	7.5	54	57.7
2	137	保体	1	110	67	31.0	218	31	274	47	190	56	250	63	55	62	265	40.0	265	209	99	17	318	7.6	73	53.0
3	159	保体	1	80	317	31.5	195	36	92	42	333	62	62	51	275	70	209	41.8	209	180	370	20	189	7.9	139	52.3
4	181	保体	1	84	284	26.5	411	34	151	45	250	56	250	45	400	100	37	48.5	37	188	303	20	189	8.0	165	51.19
5	182	保体	1	76	359	35.0	82	31	274	41	354	60	101	43	434	69	216	41.5	216	176	413	27	38	8.0	165	51.18

短大・こどもスポーツ教育学科

順位	全体順位	所属	学年	背筋力		握力平均		上体起こし		垂直跳び		反復横とび		長座体前屈		20mシャトルラン		最大酸素摂取量		立ち幅跳び		ハンドボール投げ		50m走		偏差値
				測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	
1	39	こスポ	1	118	43	37.0	52	36	92	52	75	57	210	52	245	86	103	45.4	103	215	58	28	28	7.6	73	58.3
2	135	こスポ	1	74	380	33.5	120	37	75	51	101	60	101	44	417	78	143	43.6	143	207	110	20	189	7.9	139	53.1
3	144	こスポ	2	108	84	34.0	104	30	318	50	116	62	62	62	62	62	265	40.0	265	191	262	19	243	8.4	280	52.8
4	154	こスポ	1	109	81	29.5	285	29	379	41	354	60	101	68	18	86	103	45.4	103	193	240	17	318	8.6	329	52.4
5	256	こスポ	1	85	264	27.5	377	33	185	46	224	57	210	49	325	82	123	44.5	123	180	370	15	401	8.4	280	48.7

次項の図 4 は、体力テスト個人票のフォーマット見本である。測定結果とその詳細な分析を、個々の学生にフィードバックするための用紙である。学生は自分の結果を見て、自分の体格・体力・運動能力について振り返り、自分の専門とする競技に生かしたり、本学での授業への取り組みに生かすことができる。1 年生の場合は当該年度分の結果を提示し、2 年生の場合は昨年度の結果も併せて提示し、昨年度の自分と比較しての変化や向上の様子を把握することができる。数値の意味についても説明があり、学生にとって理解しやすい形で結果の提供がなされている。当該学年の必修科目の授業中に返却を行っている。

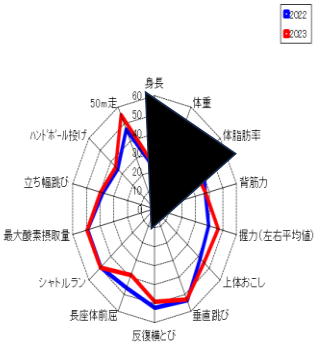
教育の質保証委員会　令和 6 年 2 月 21 日
女子体育研究所　令和 6 年 2 月 19 日

2023年度　東京女子体育大学・短期大学　新体力テスト結果個人票

測定年月日　2023年4月26日

学籍番号 [redacted]　氏名 [redacted]　所属クラブ [redacted]

	単位	2022 測定値	2022 T-score	2022 学内順位	2023 測定値	2023 T-score	2023 学内順位	学内平均値	所属平均値
年齢	歳	[redacted]	[redacted]	-	[redacted]	[redacted]	-	[redacted]	[redacted]
身長	cm	[redacted]	[redacted]	-	[redacted]	[redacted]	-	[redacted]	[redacted]
体重	kg	[redacted]	[redacted]	-	[redacted]	[redacted]	-	[redacted]	[redacted]
体脂肪率	%	[redacted]	[redacted]	-	[redacted]	[redacted]	-	[redacted]	[redacted]
背筋力	kg	57	37	636 / 693	61	38	482 / 523	89	61
握力(左右平均値)	kg	24.5	39	587 / 698	28.5	46	334 / 525	30.4	28.5
上体おこし	回	25	42	537 / 693	29	45	380 / 525	32	29
垂直跳び	cm	49	54	216 / 678	47	53	190 / 509	44	47
反復横とび	回	55	52	246 / 677	55	49	272 / 505	56	55
長座体前屈	cm	47	46	431 / 698	42	39	457 / 525	52	42
シャトルラン	回	62	49	333 / 675	65	50	241 / 503	66	65
最大酸素摂取量	ml/kg/分	40.0	49		40.6	50		40.8	40.6
立ち幅跳び	cm	167	38	593 / 676	172	40	432 / 510	192	172
ﾊﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ投げ	m	11	34	665 / 695	12	36	488 / 523	19	12
50m走	秒	8.5	47	430 / 676	7.8	55	119 / 427	8.2	7.8
T-score　平均値			44	563 / 670		45	347 / 425	50	45



T-score（偏差値）は平均値を50として，25から75程度の点数に換算した評価と考えて下さい（それを越えることもあります）．T-score 45～55が5段階評価の【3】に相当し，総人数の約40%を含みます．35～45が【2】，55～65が【4】に相当し，それぞれ約25%を含みます．35以下は【1】，65以上は【5】に相当し，それぞれ5%強になります．レーダーチャートは，体力バランスを見やすくしたものです．T-score平均値は，体格を除いたデータについて，体力要素の重複を避けるため関連項目を合わて計算しています．つまり，「筋力T-score」として握力最高値のT-scoreと背筋力T-scoreの平均値を，「跳躍力T-score」として立ち幅とびT-scoreと垂直とびT-scoreの平均値を代表値として，T-score平均値＝（筋力+跳躍力+上体起こし+長座体前屈+反復横とび+20mシャトルラン+ 50m走+ハンドボール投げ）÷8となります．欠落項目があると算出されません．

東京女子体育大学　女子体育研究所

図 4. 体力テスト結果個人票

体力テストの教育的・学術的・広報的な意義：測定方法の更新の重要性

本稿冒頭で述べたように、体力テストは、本学においては学生への教育的意義と、体力・運動能力の測定に関する研究面での意義の両方を有している。教育的な意義は「教育の質保証」という今般のアセスメントの主眼といえるが、加えて体力テストにおける測定データが「学術研究面でも重要である」という認識を今一度確認し、本稿にて今後に向けて強調していきたい。

女子体育研究所では、本年度の研究所予算を、体力・運動能力の測定方法の刷新に向けた第一歩を歩むために活用した。また、科学研究費補助金の間接経費を用いての体力・運動能力測定のための環境整備も行った。本学の研究・教育のための機材等を他大学と比較して遜色のないものに整えることも、女子体育研究所の重要な役割であると考えている。

令和 5 年度は、科学研究費補助金の間接経費にて、ジャンプ-MD（デジタル垂直とび測定器）3 台、デジタル長座体前屈計 2 台を購入した。また、女子体育研究所予算からは、Witty 基本セット（光電管によるワイヤレスタイム計測デバイス）2 セット、S-300 ワイヤレスレーザータイマー1 台を新たに導入した。令和 6 年度は、これらの機材を使用してのトライアル等の準備を進め、さらに必要な機材等を拡充し、今後の正式導入を目指す。

本学では長年 50m 走を実施しタイム計測を積み重ねているが、近年はストップウォッチでなく、レーザーを利用した光電管による測定を行うことが一般的で、他の体育系大学はすべてこの方式とのことで

ある。本学でも他の体育系大学に遅れをとらないよう、時代に即したデータ測定の方法に刷新する必要がある。よって今年度は、先述の光電管による Witty 基本セットの購入を行った。また垂直跳びの測定方法も、現在主流であるジャンプメーターによる測定とするべく購入を進めている。その他、長座体前屈計の更新も行い、体力テストの今後の継続的な実施が可能となるようにした。

測定方法の刷新を行わないと、体力テストデータも、研究成果を論文投稿する際に査読を通らないなどの問題が生じ、使用が困難になる。よって 2023 年から 2024 年にかけて、測定方法の刷新を進め、測定データの科学研究的な価値をより高いものとすることを目指す。最新の測定方法による体力・運動能力のデータの測定を全学行事として行っているということを広報することにより、本学でスポーツ科学を学びたい高校生への効果的なアピールともなる。広報的な意義も、今日の本学が置かれている状況を鑑みれば大変重要なものといえる。

引用参考文献

藤村学園創立百十周年記念記録等作成実行委員会(2012) 藤村学園創立 110 周年記念東京女子体育大学・東京女子体育短期大学この 10 年のあゆみ　学校法人藤村学園

令和 5 年度体力テスト実行委員会（2023）新体力テスト結果報告書・令和 5 年度版　東京女子体育大学・東京女子体育短期大学女子体育研究所

9）学習成果測定アンケート

令和 4 年度学習成果測定アンケートアセスメント報告（卒業時・在学生アンケート）

1.　学修成果測定アンケート概要

本アンケートは、大学生活での満足度やディプロマポリシーで掲げた身につく能力を測り、教育改善を行うため令和元年度から全学生を対象に実施している。

2.　基礎情報（**卒業時アンケート**）

①実施期間：令和 5 年 3 月 20 日（卒業式当日ガイダンス）
②対象：大学 4 年生、短大 2 年生
③総回答率：71.8%
（総回答者数＝294 名　内訳：大学 234 名/保健体育学科 23 名/児童教育学科 37 名）
※令和 3 年度総回答率 91.3%
④実施方法：Web 回答（Office365 Forms 使用）
QR コードを印字した紙を配付し、卒業ガイダンス内に実施した。
※アンケート名称：「大学の学びに関するアンケート」、「短期大学の学びに関するアンケート」

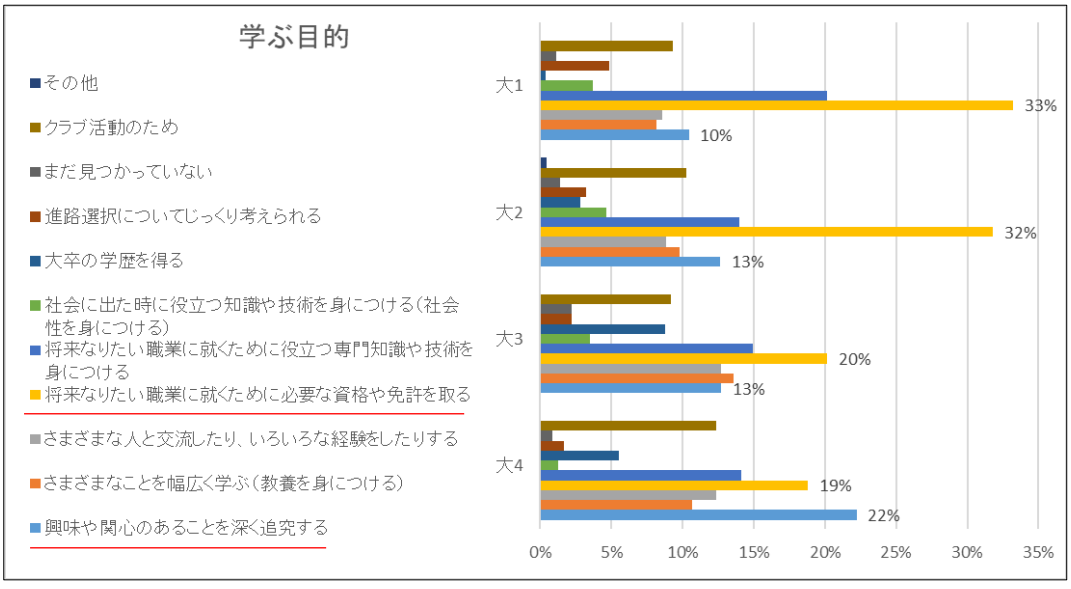
3.　基礎情報（**在学生アンケート**）

①実施期間：令和 5 年 4 月 5 日・6 日（フレッシュウィーク期間中）
②対象：大学 2 年～4 年生、短大 2 年生
③総回答率：73.8%
（総回答者数＝757 名　内訳：大学 710 名/保健体育学科 11 名/こどもスポーツ教育学科 36 名）
※令和 2 年度総回答率 75%
④実施方法：Web 回答（Office365 Forms 使用）

4.　集計結果（大学）

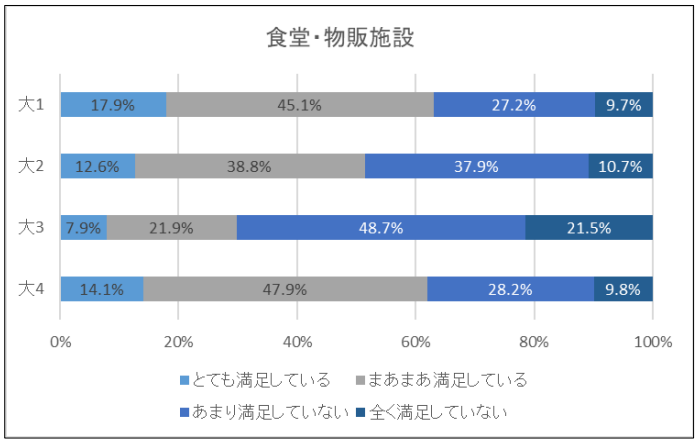
1）大学で学ぶ目的

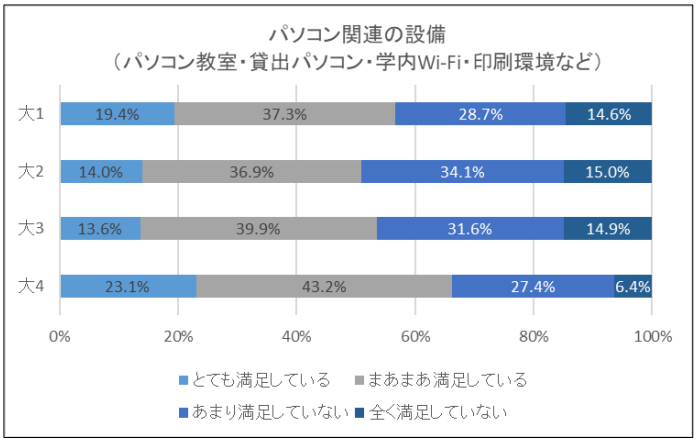
学年別でグラフに表した。大学 1 年次では資格や免許を取ることを目的としている学生が多いが、学年が進むにつれて低下、相対して興味や関心のあることを深く追及する目的が上昇傾向にあり変化している。



2）教育環境の満足度

教育環境の満足度を学年毎に比較した。教育環境の中で満足度の低かった 2 項目を示す。「食堂・物販施設」は、どの学年の層でも満足度が低い傾向にあり、特に大学 3 年生においては不満に感じている学生が約 70%と喫緊の課題であると捉えられる。昨年度学生部より食堂・物販施設の改善策が示されたが、それによる変化など今後の状況を注視していく必要がある。





3）DP 毎の成長実感【令和 4 年度卒業学年の学年推移（大学 2 年次から卒業時）】

≪学習成果測定アンケート DP 関連設問≫

アンケートでは 1 年間の学びから DP 毎の成長の実感を回答してもらった。

DP1➡教養を広く身につけることができましたか。

DP2➡体育学の内容を理解し実践できるようになりましたか。

DP3➡専門分野に限らず、色々なことに柔軟に対応し、指導することができるようになりましたか。

DP4➡自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか。

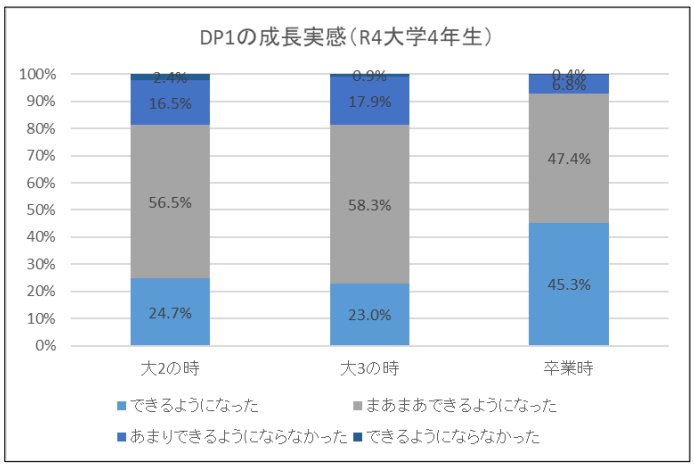
DP5➡多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか。

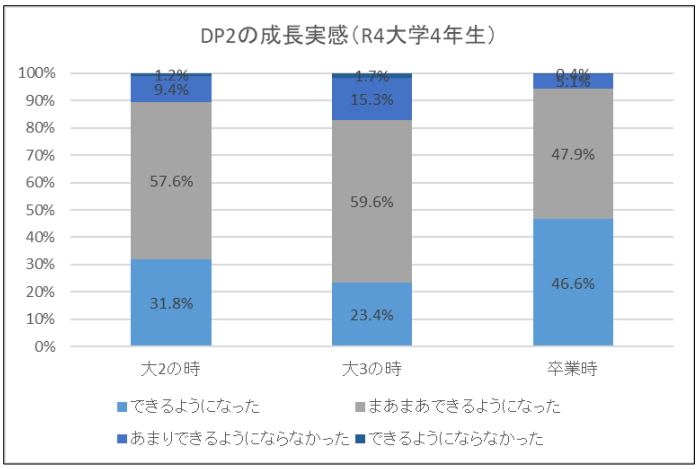
DP6➡社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決できるようになったと思いますか。

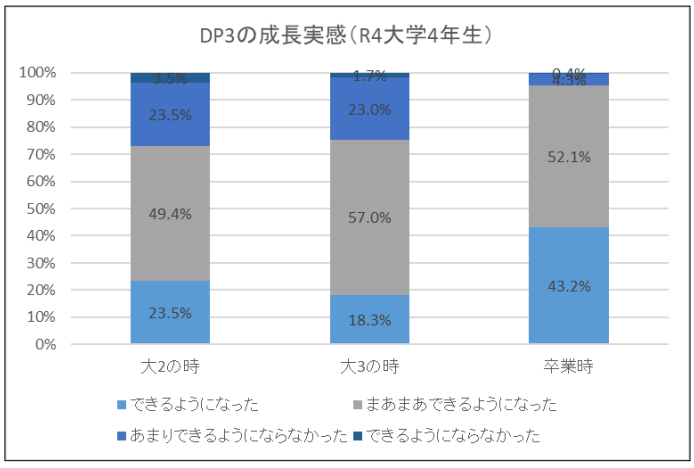
DP7➡体育・スポーツの知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか。

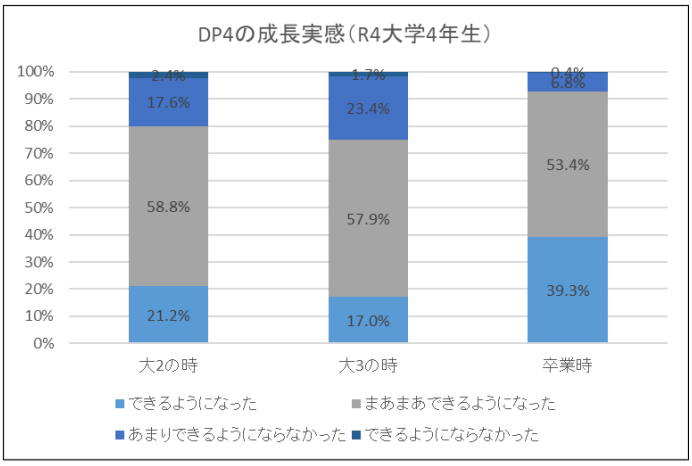
令和 4 年度卒業学年におけるアンケートが始まった 2 年次から卒業時までの DP 毎の成長実感の推移を比較した。

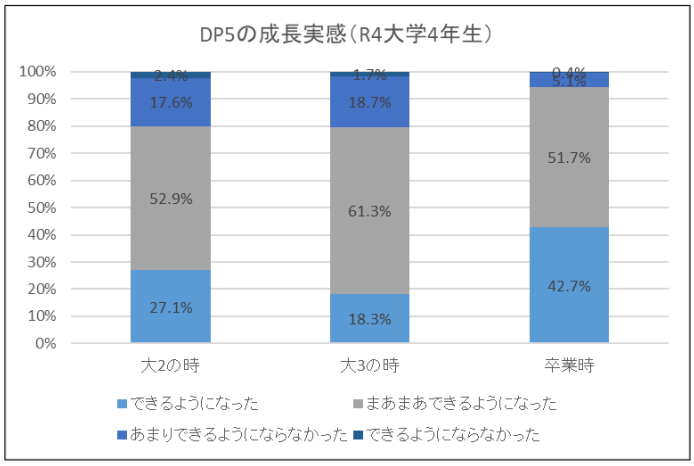
すべての DP において卒業時が「できるようになった」と回答している割合が高い。また、大学 2 年次に比べ大学 3 年次は「できるようになった」と回答している割合が低下することがわかった。これは、大学 3 年次にコース選択やゼミナールなどの専門性が深まり環境が変化したことにも関係していると考えられる。

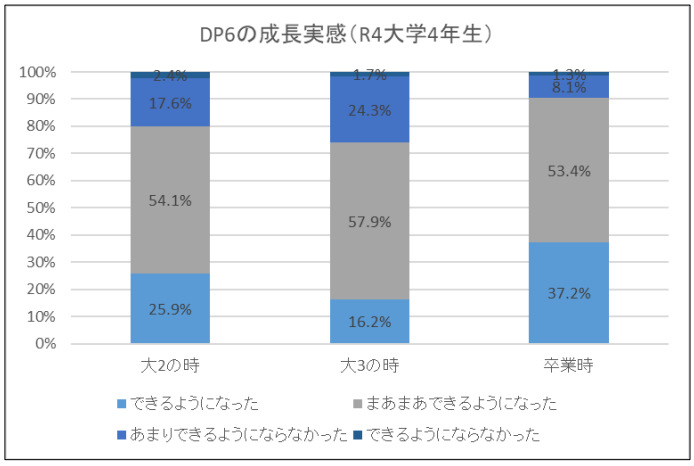


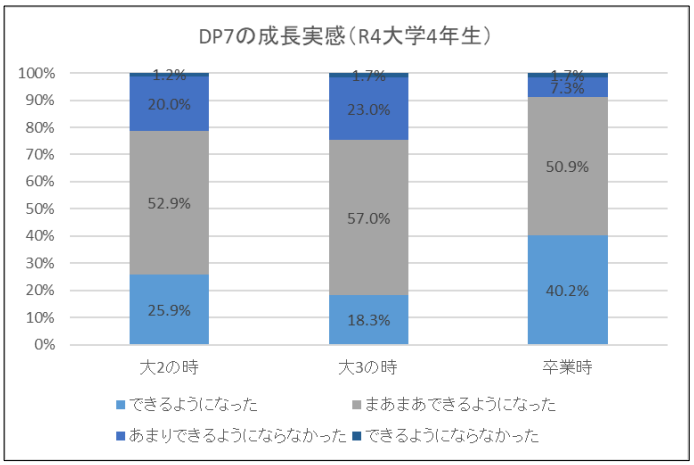






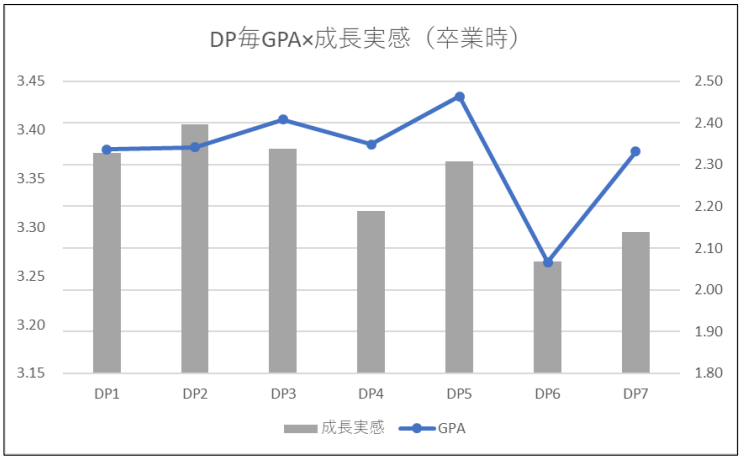






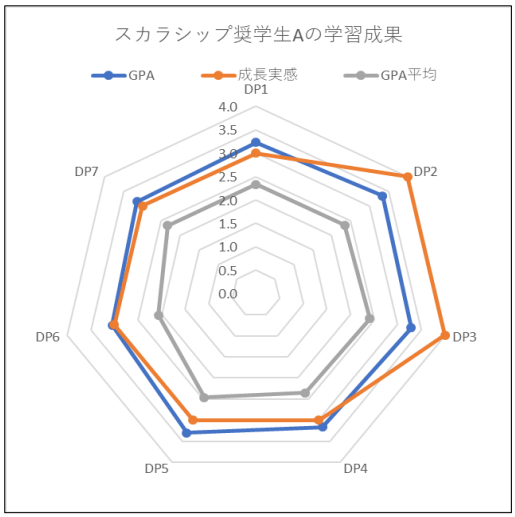
4）DP 毎の GPA 平均と成長実感【令和 4 年度大学卒業時】

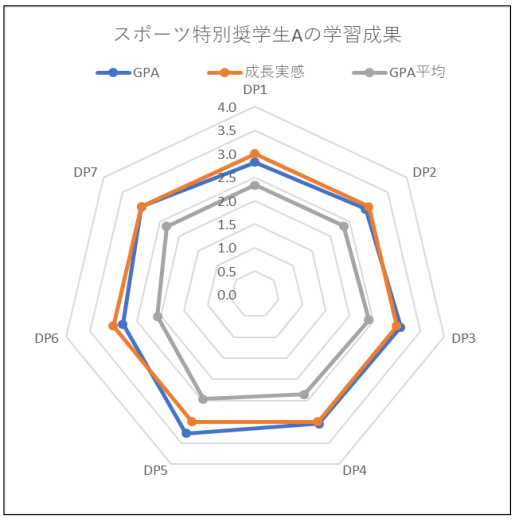
令和 4 年度卒業学年の成長実感と DP 毎の GPA 平均をグラフ化した。DP6 においては、成長実感が他の DP と比べ低く、GPA 平均も低いことがわかり相関性がみられた。DP4 と DP7 においては成長実感と GPA とのギャップがみられた。これは学習成果の可視化が不十分であることが要因としてあげられる。学生が自分の成長と成績評価を適切に認知できるようにすることが課題となる。

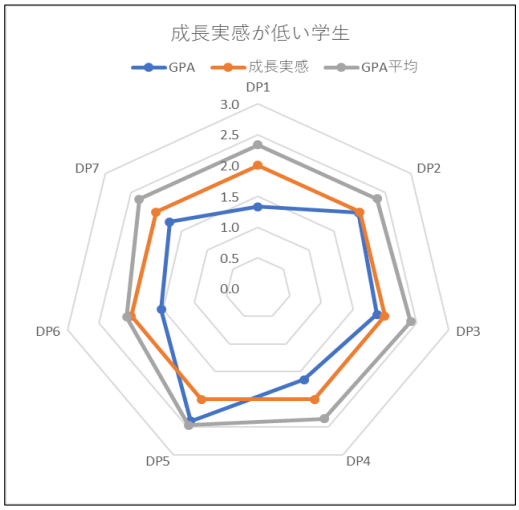


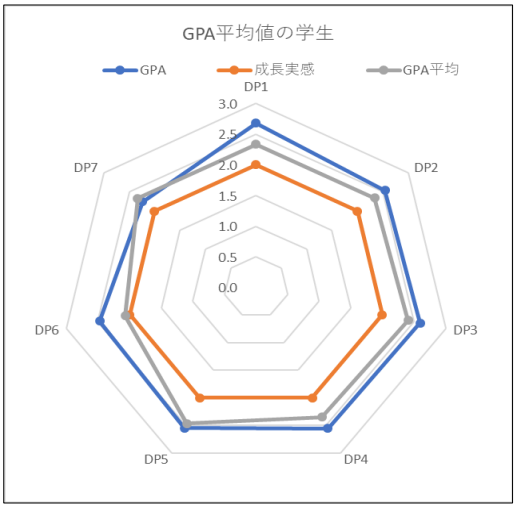
5）個人結果分析【令和 4 年度大学卒業学年抽出】

令和 4 年度卒業学年から数名を抽出し、個人の DP 毎の GPA、成長実感、学年 GPA 平均をレーダーチャートで表した。スカラシップ奨学生やスポーツ特別奨学生は、DP 毎の GPA もバランスが良く平均値を上回っている。成長実感が低い学生においては GPA も低い値を示していた。学習成果の可視化に向けて、個人がカリキュラムと DP を紐づけて認識できること、それにより DP 毎にどれだけ達成できたかを可視化することが必要となる。このようなレーダーチャートをモデルとして今後 LMS を導入した際に検討していきたい。









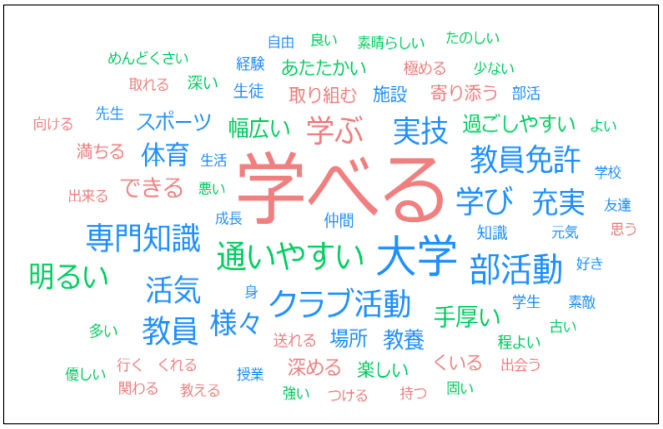
6）自由記述【令和 4 年度大学卒業時】

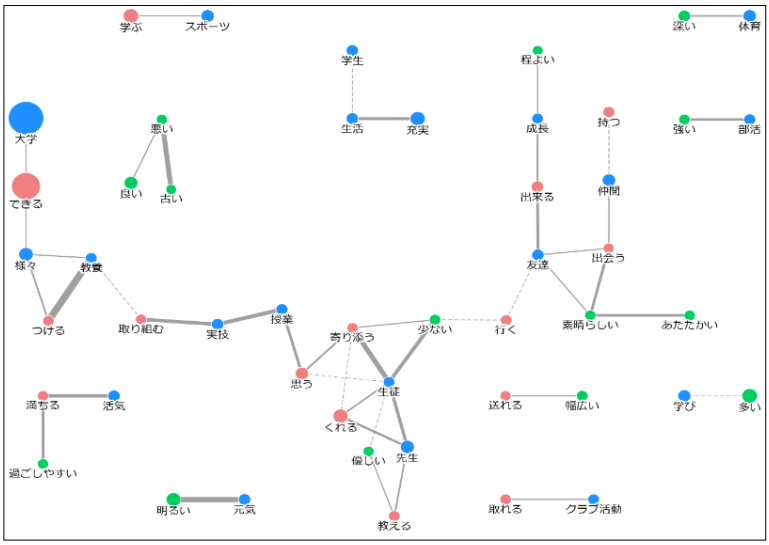
自由記述をワードクラウド分析などで傾向を確認した。

スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示している。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。

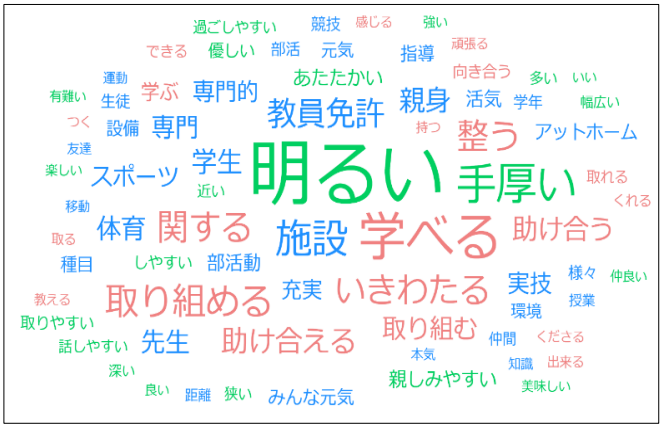
右図は自由記述に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んでいる。出現数が多い単語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で表している。

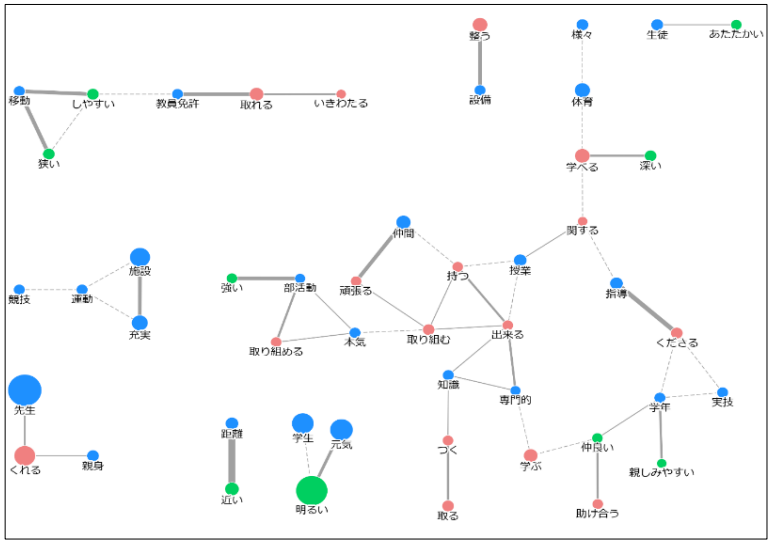
Q あなたにとって本学はどんな大学でしたか。



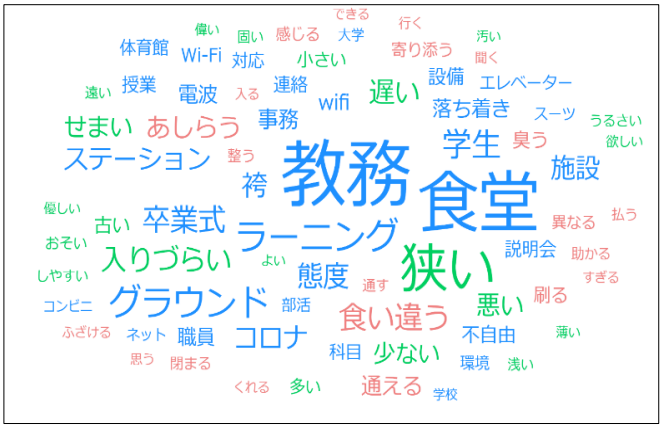


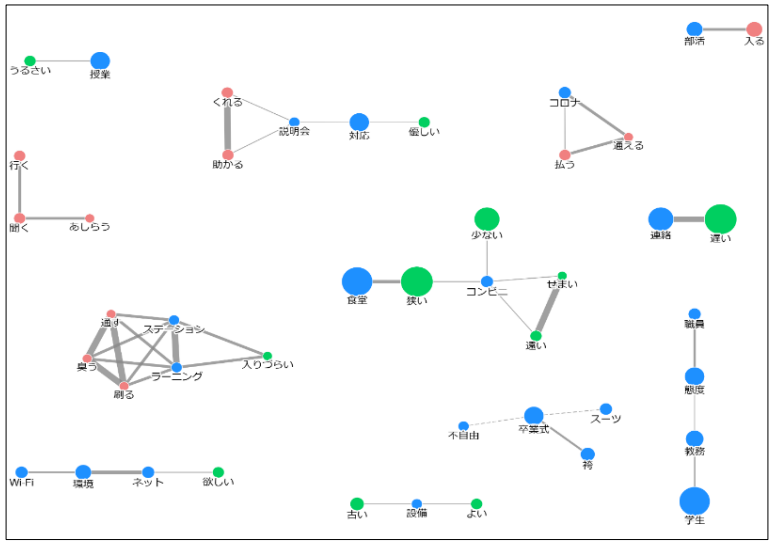
Q あなたにとって本学の良いところはどこですか。





Q あなたにとって本学の悪いところはどこですか。





7）今後に向けて

・食堂・物販施設の改善については、昨年度の学生部からの改善案を基に継続して取り組みを進め、状況を把握していく。

・学習成果の可視化を目的として、DP ルーブリック、カリキュラムマトリクス、カリキュラムマップ等をホームページに公開したが、アンケートでは個人毎の学習成果や DP の達成度を見ることができない。LMS 導入までには学生へ DP とカリキュラムの関係性を認知させることが課題であり、LMS 導入とともに身につく能力を可視化して体系的に確認ができるようなシステムを検討する。

➡「学習の振り返り」や「DP とカリキュラムの関係」など学生用にパンフレットのようなものを作成しサイネージ掲示や UNIPA などで配信する。

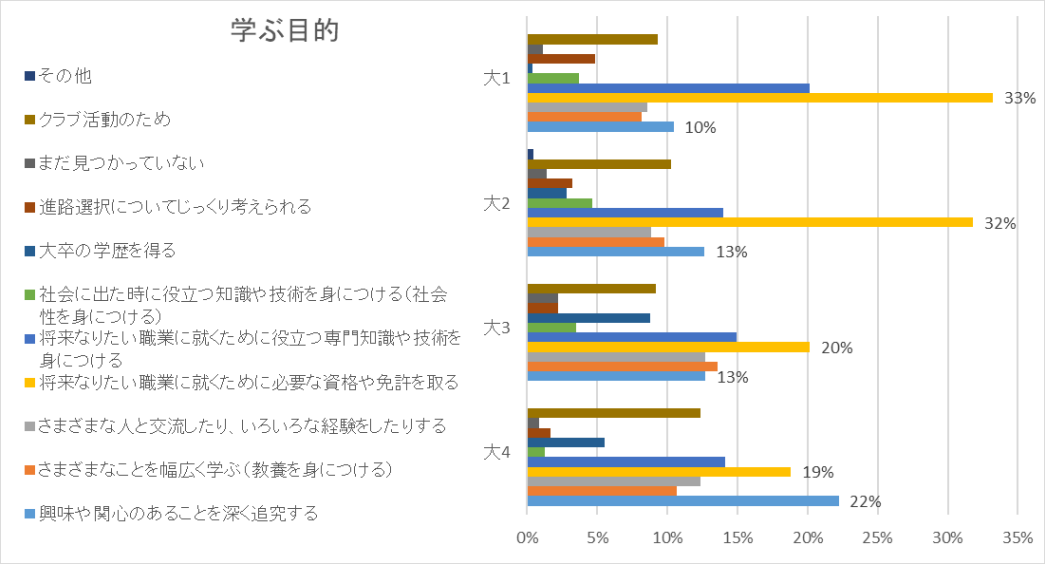
・自由記述については、検証結果およびデータを関係部署に情報共有し、特徴と良いところは広報に活用し、悪いところについては改善を検討する資料とする。

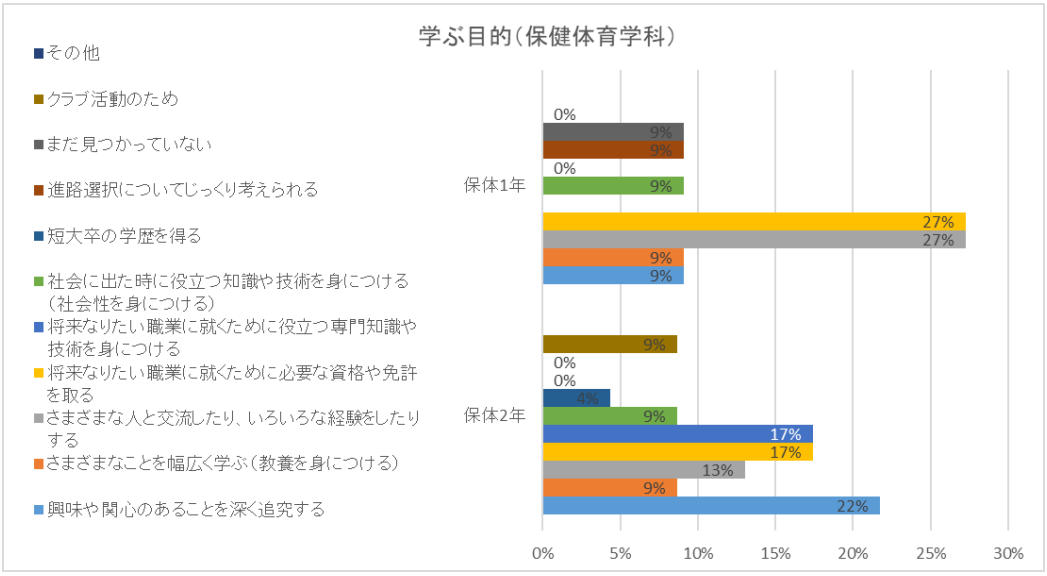
【Ⅱ】各種調査・アンケート集計結果

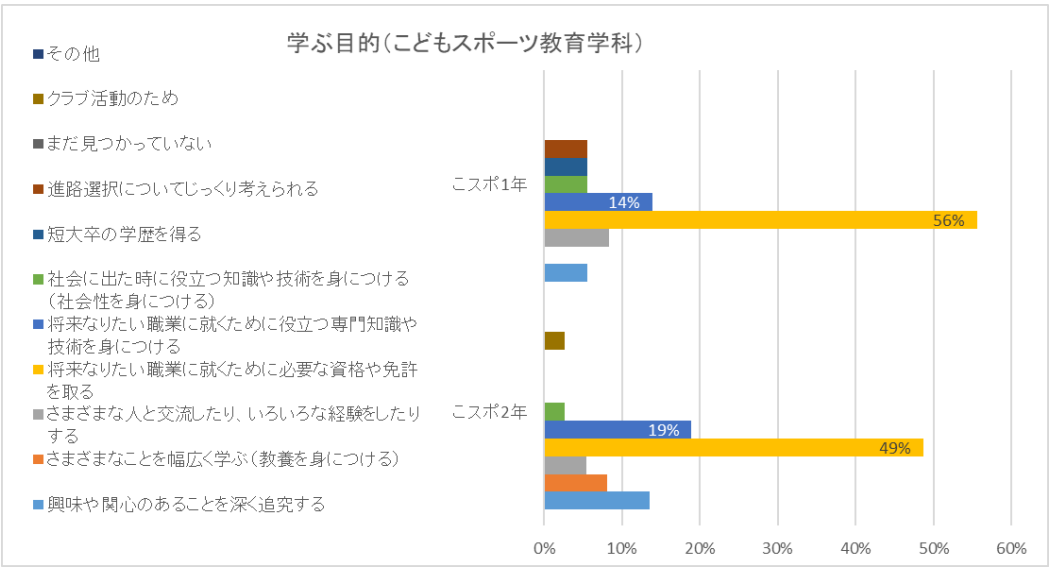
1. 学習成果測定アンケート

令和 4 年度学習成果測定アンケート集計結果（卒業時・在学生アンケート）

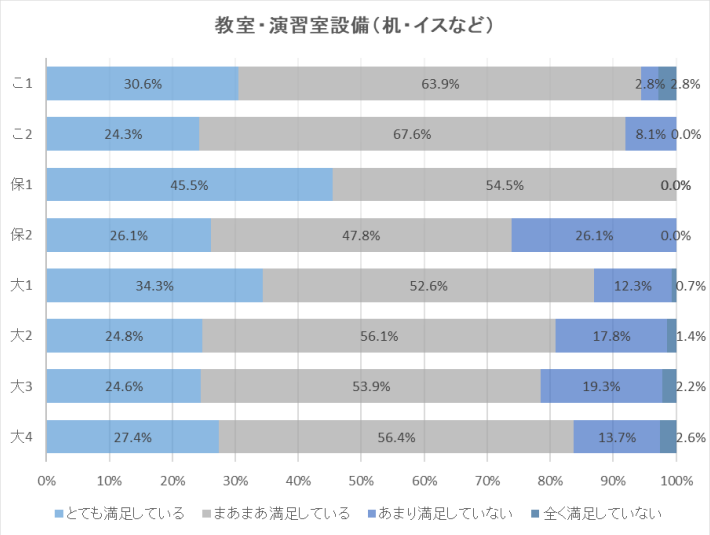
1. あなたにとって大学・短大で学ぶ目的は何ですか。

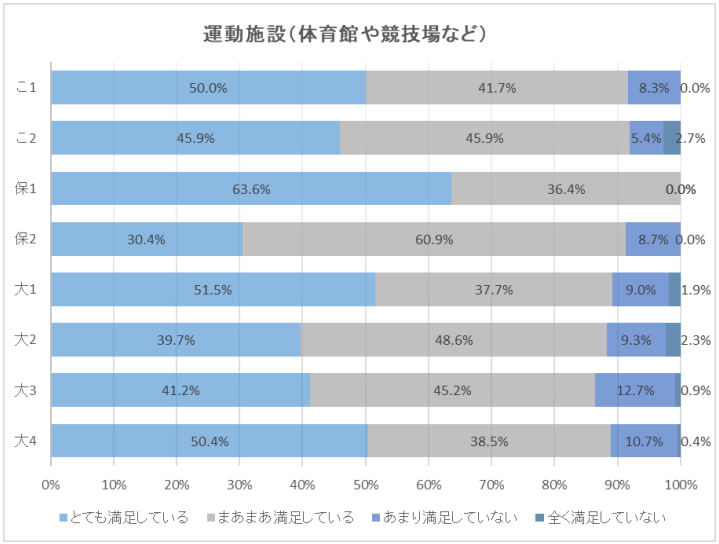


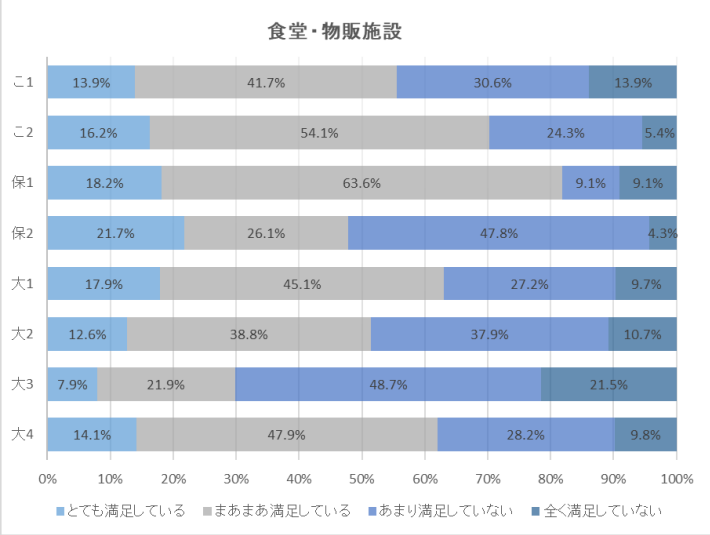


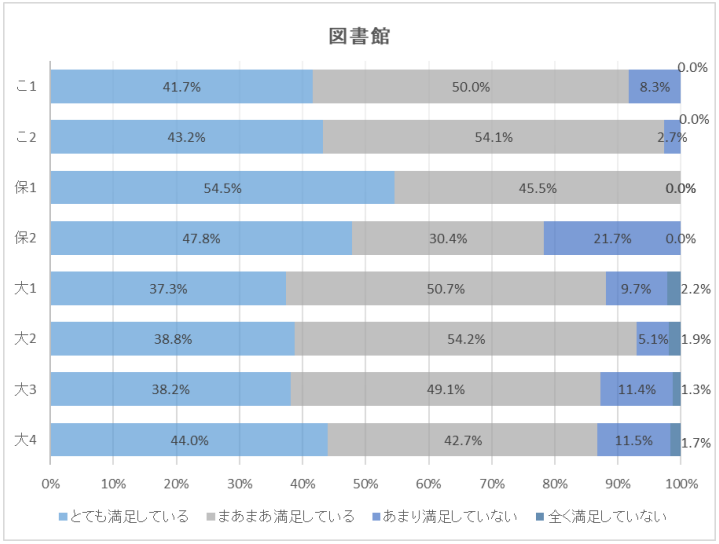


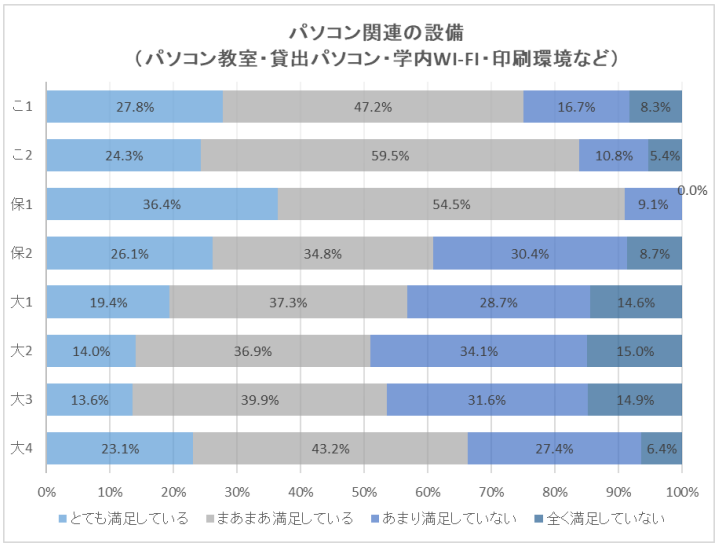
2. 本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。



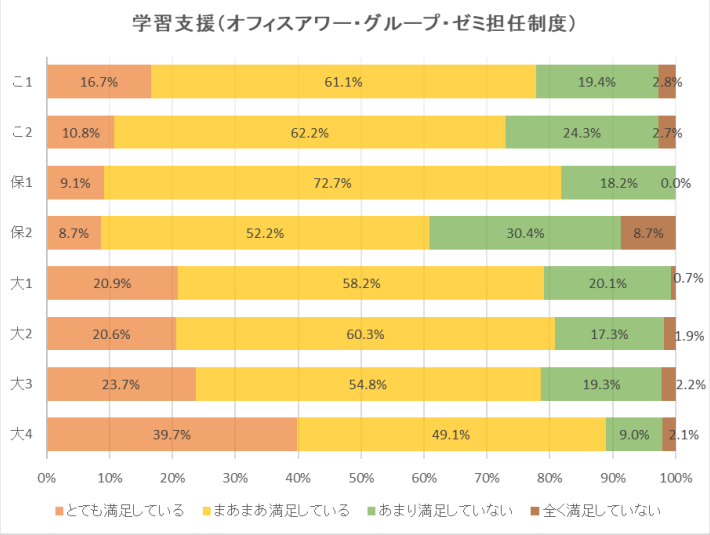


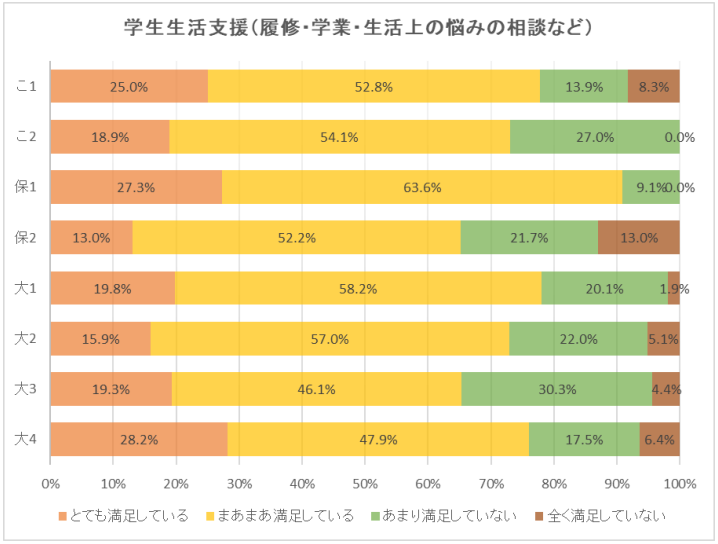


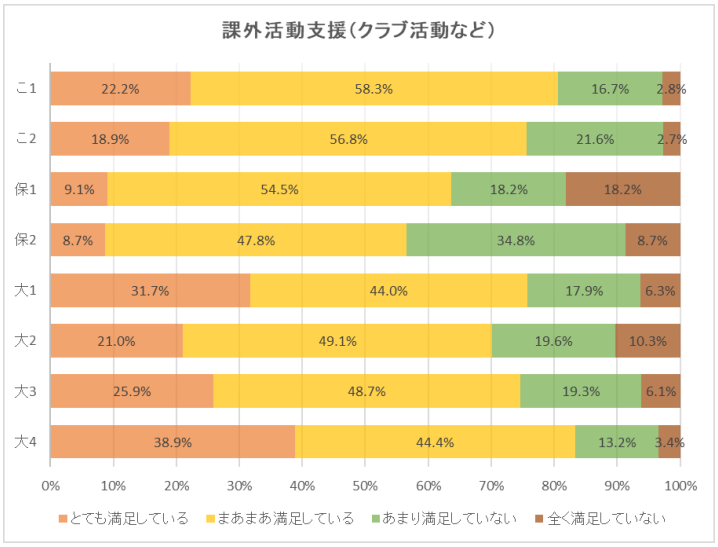


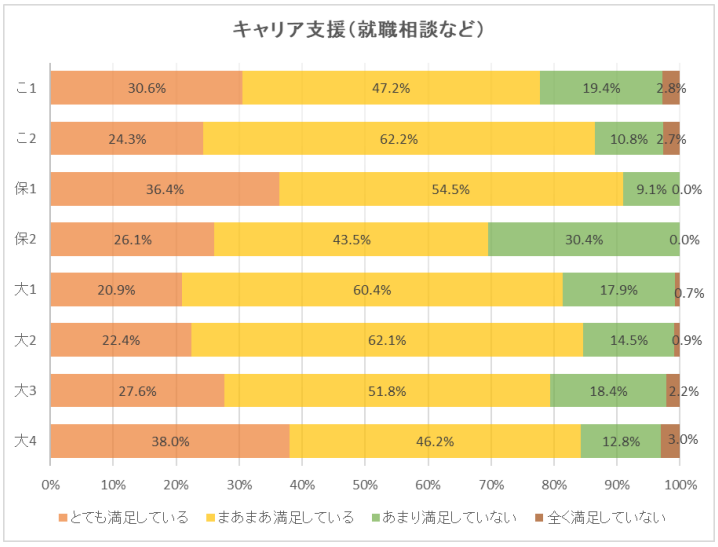


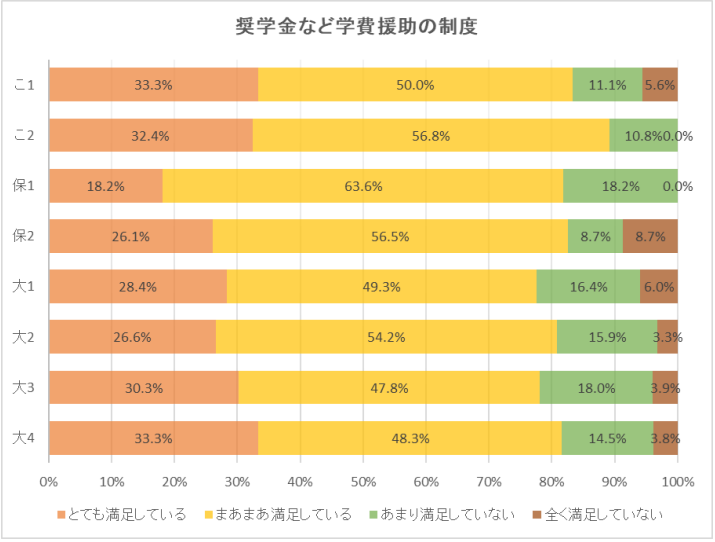
3. 本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。



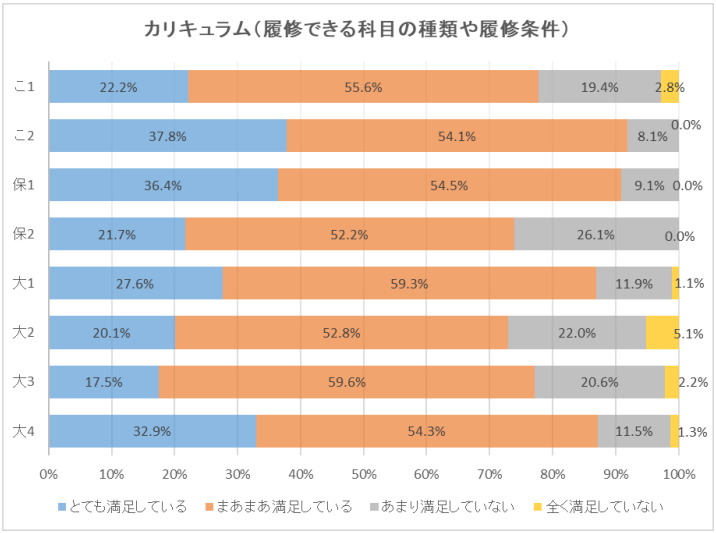


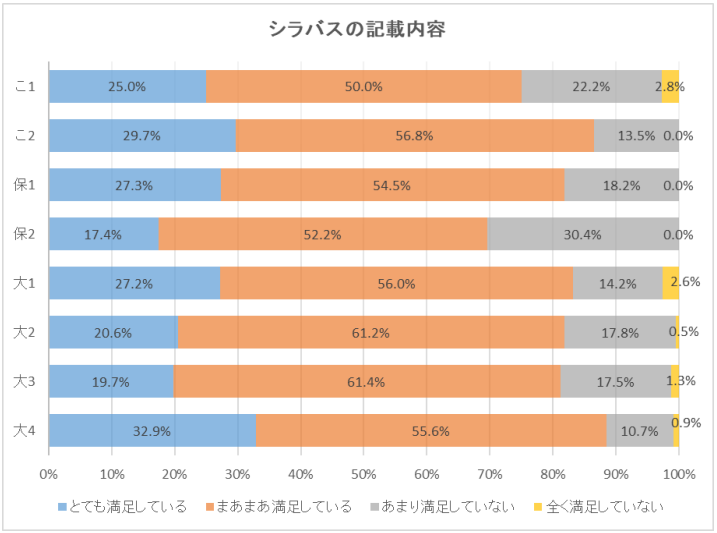


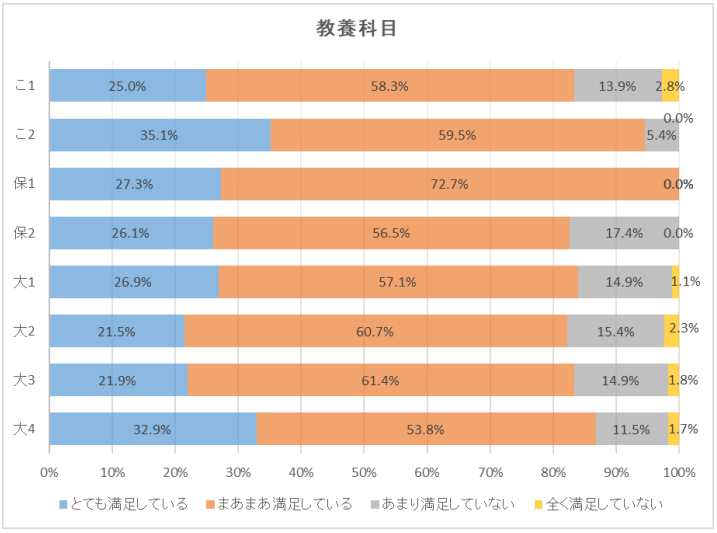


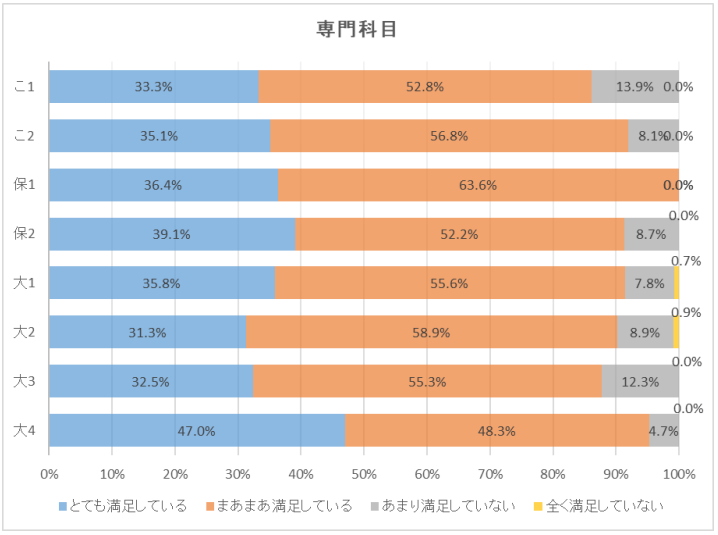


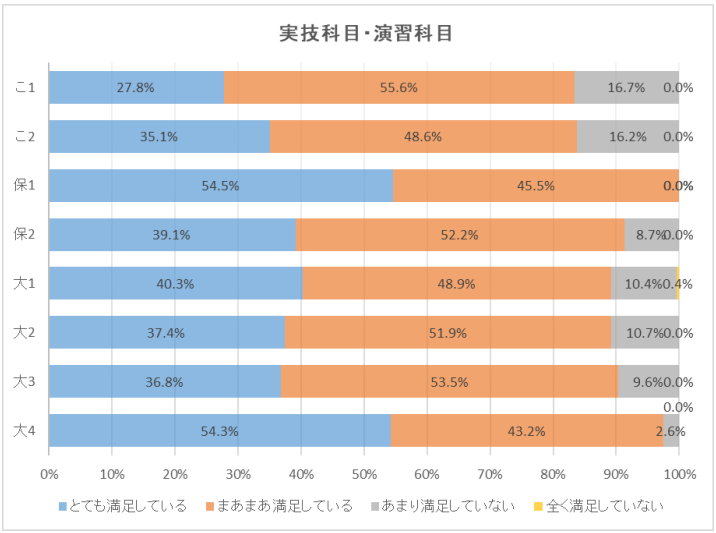
4. 本学での学びについて、あなたの満足度を教えてください。

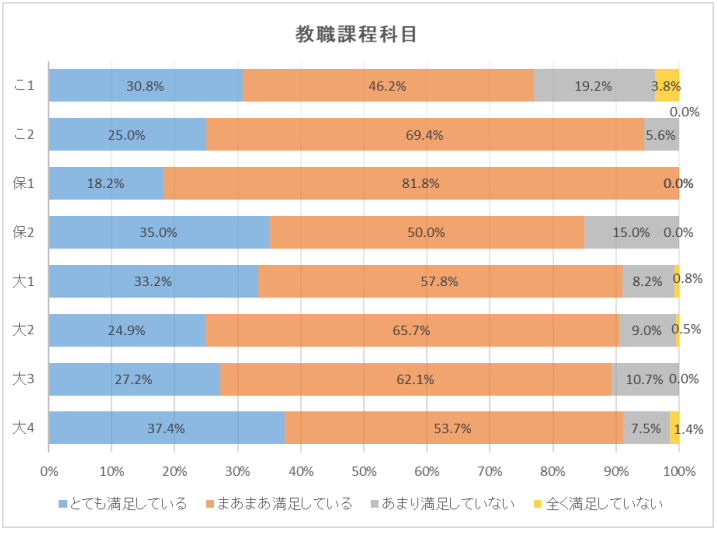


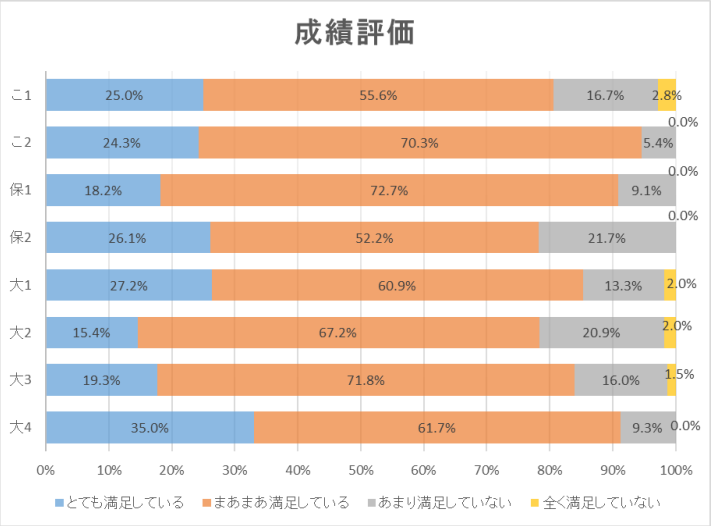




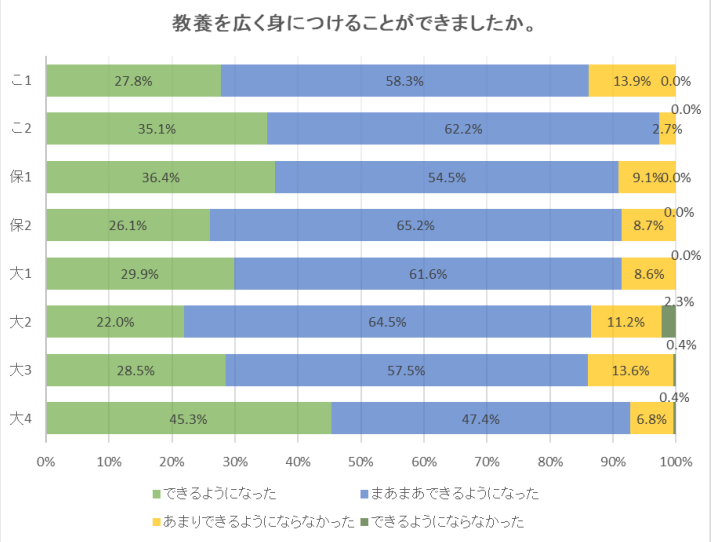


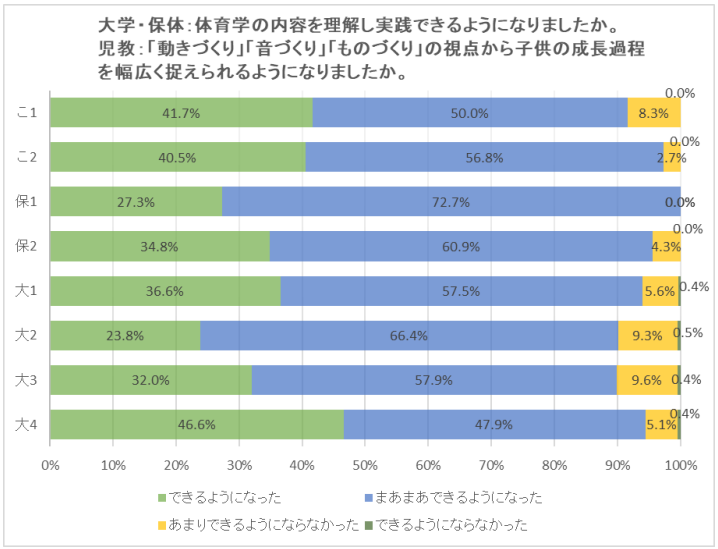


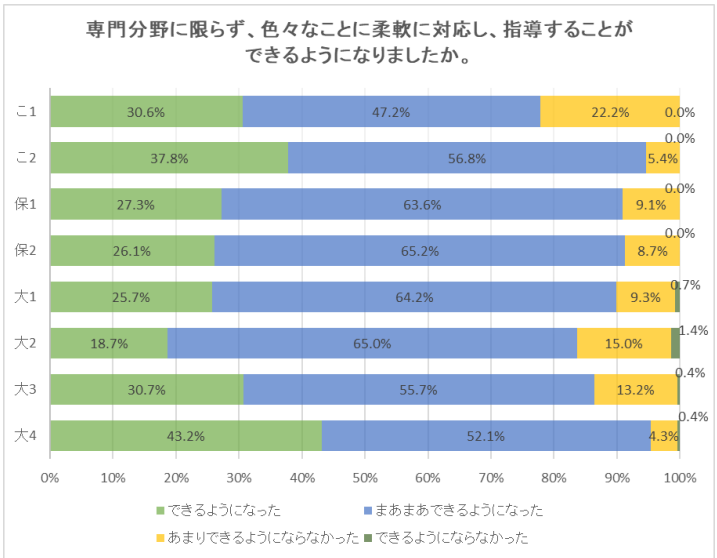


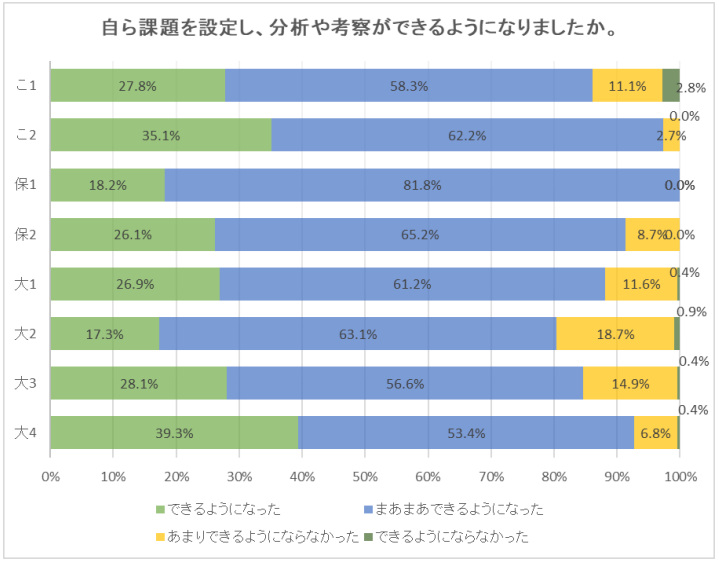


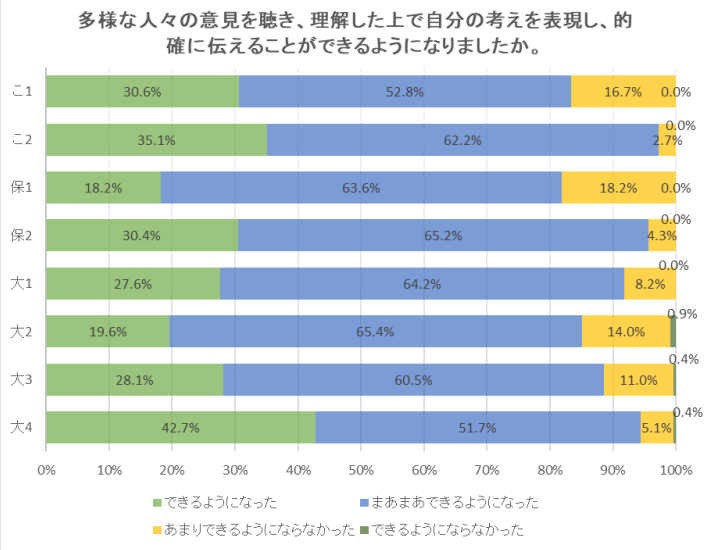
5. 本学であなたが学び、身につけたことについてお聞きします。

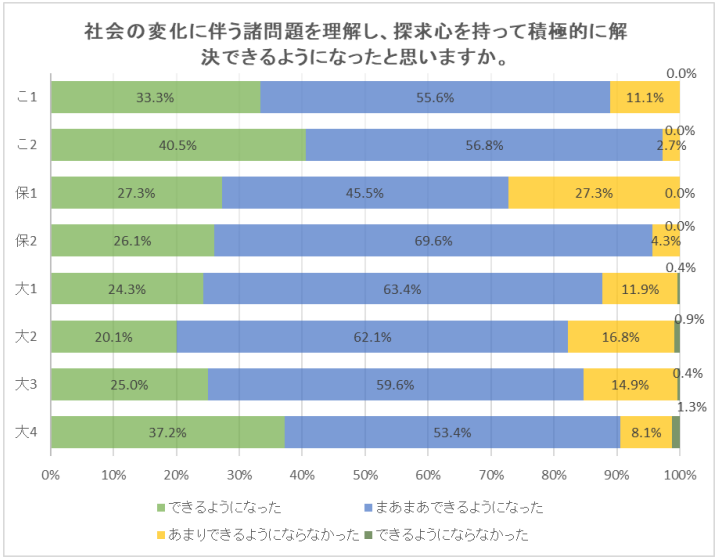


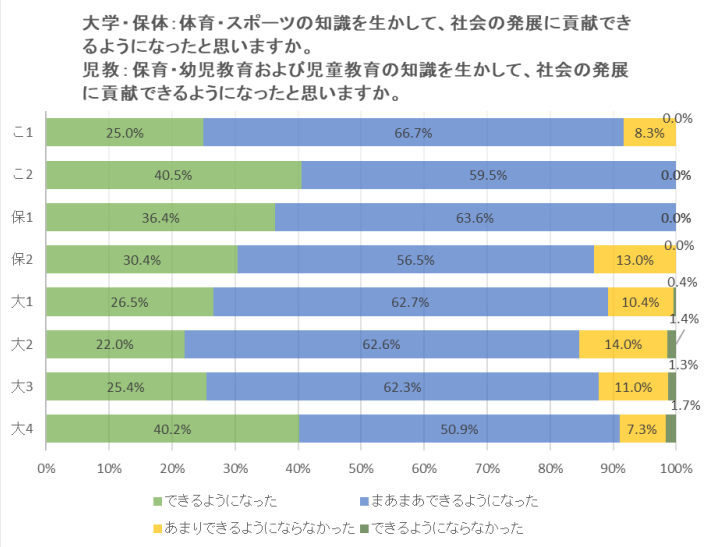







多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか。
こ1 30.6% 52.8% 16.7% 0.0%
こ2 35.1% 62.2% 2.7% 0.0%
保1 18.2% 63.6% 18.2% 0.0%
保2 30.4% 65.2% 4.3% 0.0%
大1 27.6% 64.2% 8.2% 0.0%
大2 19.6% 65.4% 14.0% 0.9%
大3 28.1% 60.5% 11.0% 0.4%
大4 42.7% 51.7% 5.1% 0.4%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
できるようになった
まあまあできるようになった
あまりできるようにならなかった
できるようにならなかった


社会の変化に伴う諸問題を理解し、探求心を持って積極的に解決できるようになったと思いますか。
こ1 33.3% 55.6% 11.1% 0.0%
こ2 40.5% 56.8% 2.7% 0.0%
保1 27.3% 45.5% 27.3% 0.0%
保2 26.1% 69.6% 4.3% 0.0%
大1 24.3% 63.4% 11.9% 0.4%
大2 20.1% 62.1% 16.8% 0.9%
大3 25.0% 59.6% 14.9% 0.4%
大4 37.2% 53.4% 8.1% 1.3%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
できるようになった
まあまあできるようになった
あまりできるようにならなかった
できるようにならなかった


大学・保体：体育・スポーツの知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか。
児教：保育・幼児教育および児童教育の知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか。
こ1 25.0% 66.7% 8.3% 0.0%
こ2 40.5% 59.5% 0.0%
保1 36.4% 63.6% 0.0%
保2 30.4% 56.5% 13.0% 0.0%
大1 26.5% 62.7% 10.4% 0.4%
大2 22.0% 62.6% 14.0% 1.4%
大3 25.4% 62.3% 11.0% 1.3%
大4 40.2% 50.9% 7.3% 1.7%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
できるようになった
まあまあできるようになった
あまりできるようにならなかった
できるようにならなかった

大学・体育学科

＜学習成果測定アンケート＞

1　あなたにとって大学で学ぶ目的は何ですか。最もあてはまるものを 1 つだけ選んでください。
1、興味や関心のあることを深く追究する
2、さまざまなことを幅広く学ぶ（教養を身につける）
3、さまざまな人と交流したり、いろいろな経験をしたりする
4、将来なりたい職業に就くために必要な資格や免許を取る
5、将来なりたい職業に就くために役立つ専門知識や技術を身につける
6、社会に出た時に役立つ知識や技術を身につける（社会性を身につける）
7、大卒の学歴を得る
8、進路選択についてじっくり考えられる
9、まだ見つかっていない
10、クラブ活動のため
11、その他

本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。
【2～6 選択肢（共通）】：
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

2　教室・演習室設備（机・イスなど）

3　運動施設（体育館や競技場など）

4　食堂・物販施設

5　図書館

6　パソコン関連の設備（パソコン教室・貸出パソコン・学内 Wi-Fi・印刷環境など）

本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。
【7～11、13 選択肢（共通）】：
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

7　学習支援（オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度）

8　学生生活支援（履修・学業・生活上の悩みの相談など）

9　課外活動支援（クラブ活動など）

10　キャリア支援（就職相談など）

11　奨学金など学費援助の制度

12　教職ラーニングステーションを今までに活用しましたか。
1.　活用した
2.　活用しなかった

⇒分岐する

教職ラーニングステーションを 1.活用したと回答した方のみにお聞きします。
13　教職ラーニングステーションの満足度を教えてください。

本学での学びについて、あなたの満足度を教えてください。
【14～20 選択肢（共通）】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

⇒カリキュラム表のリンクを貼る

14　カリキュラム（履修できる科目の種類や履修条件）

15　シラバスの記載内容

16　教養科目（語学など、スポーツに関係しない科目）

17　専門科目（スポーツに関する講義科目）

18　実技科目

教職課程を履修している方のみにお聞きします。
19　教職課程科目

20　成績評価

本学であなたが学び、身につけたことについてお聞きします。
【21～27 選択肢（共通）】：
1、できるようにならなかった 2、あまりできるようにならなかった、
3、まあまあできるようになった、4、できるようになった

21　1 年前のあなたに比べて、教養を広く身につけることができましたか。

22　あなたは、1 年前のあなたに比べて、体育学の内容を理解し実践できるようになりましたか。

23　1 年前のあなたに比べて、専門分野に限らず、色々なことに柔軟に対応し、指導することができるようになりましたか。

24　1 年前のあなたに比べて、自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか。

25　1 年前のあなたに比べて、多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか。

26　1 年前のあなたに比べて、社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決できるようになったと思いますか。

27　1 年前のあなたに比べて、体育・スポーツの知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか。

最後に、本学について教えてください。
【28～30 自由記述】

28　あなたにとって本学はどんな大学でしたか。

29　あなたにとって本学の良いところはどこですか。

30　あなたにとって本学の悪いところはどこですか。

⇒28～30 は卒業学年のみの設問

短大・保健体育学科

＜学習成果測定アンケート＞

1　あなたにとって短期大学で学ぶ目的は何ですか。最もあてはまるものを 1 つだけ選んでください。

1、興味や関心のあることを深く追究する
2、さまざまなことを幅広く学ぶ（教養を身につける）
3、さまざまな人と交流したり、いろいろな経験をしたりする
4、将来なりたい職業に就くために必要な資格や免許を取る
5、将来なりたい職業に就くために役立つ専門知識や技術を身につける
6、社会に出た時に役立つ知識や技術を身につける（社会性を身につける）
7、短大卒の学歴を得る
8、進路選択についてじっくり考えられる
9、まだ見つかっていない
10、クラブ活動のため
11、その他

本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。
【2～6 選択肢（共通）】：
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

2　教室・演習室設備（机・イスなど）

3　運動施設（体育館や競技場など）

4　食堂・物販施設

5　図書館

6　パソコン関連の設備（パソコン教室・貸出パソコン・学内 Wi-Fi・印刷環境など）

本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。
【7～11、13 選択肢（共通）】：
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

7　学習支援（オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度）

8　学生生活支援（履修・学業・生活上の悩みの相談など）

9　課外活動支援（クラブ活動など）

10　キャリア支援（就職相談など）

11　奨学金など学費援助の制度

12　教職ラーニングステーションを今までに活用しましたか。
1. 活用した
2. 活用しなかった

⇒分岐する

教職ラーニングステーションを 1.活用したと回答した方のみにお聞きします。
13　教職ラーニングステーションの満足度を教えてください。

本学での学びについて、あなたの満足度を教えてください。
【14～20 選択肢（共通)】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

⇒カリキュラム表のリンクを貼る

14　カリキュラム（履修できる科目の種類や履修条件）

15　シラバスの記載内容

16　教養科目（語学など、スポーツに関係しない科目）

17　専門科目（スポーツに関する講義科目）

18　実技科目

教職課程を履修している方にみにお聞きします。
19　教職課程科目

20　成績評価

本学であなたが学び、身につけたことについてお聞きします。
【21～27 選択肢（共通)】:
1、できるようにならなかった 2、あまりできるようにならなかった、
3、まあまあできるようになった、4、できるようになった

21　1 年前のあなたに比べて、教養を広く身につけることができましたか。

22　1 年前のあなたに比べて、保健体育の内容を理解し実践できるようになりましたか。

23　1 年前のあなたに比べて、専門分野に限らず、色々なことに柔軟に対応し、指導することができるようになりましたか。

24　1 年前のあなたに比べて、多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか。

25　1 年前のあなたに比べて、自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか。

26　1 年前のあなたに比べて、社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決できるようになったと思いますか。

27　1 年前のあなたに比べて、体育・スポーツの知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか。

最後に、本学について教えてください。
【28～30 自由記述】:

28　あなたにとって本学はどんな大学でしたか。

29　あなたにとって本学の良いところはどこですか。

30　あなたにとって本学の悪いところはどこですか。

⇒28～30 は卒業学年のみの設問

短大・児童教育学科

＜学習成果測定アンケート＞

1　あなたにとって短期大学で学ぶ目的は何ですか。最もあてはまるものを 1 つだけ選んでください。

1、興味や関心のあることを深く追究する
2、さまざまなことを幅広く学ぶ（教養を身につける）
3、さまざまな人と交流したり、いろいろな経験をしたりする
4、将来なりたい職業に就くために必要な資格や免許を取る
5、将来なりたい職業に就くために役立つ専門知識や技術を身につける
6、社会に出た時に役立つ知識や技術を身につける（社会性を身につける）
7、短大卒の学歴を得る
8、進路選択についてじっくり考えられる
9、まだ見つかっていない
10、クラブ活動のため
11、その他

本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。
【2～6 選択肢（共通）】：
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

2　教室・演習室設備（机・イスなど）

3　運動施設（体育館や競技場など）

4　食堂・物販施設

5　図書館

6　パソコン関連の設備（パソコン教室・貸出パソコン・学内 Wi-Fi・印刷環境など）

本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。
【7～11、13 選択肢（共通）】：
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

7　学習支援（オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度）

8　学生生活支援（履修・学業・生活上の悩みの相談など）

9　課外活動支援（クラブ活動など）

10　キャリア支援（就職相談など）

11　奨学金など学費援助の制度

12　教職ラーニングステーションを今までに活用しましたか。
1. 活用した
2. 活用しなかった

⇒分岐する

教職ラーニングステーションを 1.活用したと回答した方のみにお聞きします。
13　教職ラーニングステーションの満足度を教えてください。

本学での学びについて、あなたの満足度を教えてください。
【14～20 選択肢（共通）】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

⇒カリキュラム表のリンクを貼る

14　カリキュラム（履修できる科目の種類や履修条件）

15　シラバスの記載内容

16　教養科目（語学など、保育・幼児・児童教育に関係しない科目）

17　専門科目（保育・幼児・児童教育に関する講義科目）

18　実技・演習科目

教職課程を履修している方のみにお聞きします。
19　教職課程科目

20　成績評価

本学であなたが学び、身につけたことについてお聞きします。
【21～27 選択肢（共通）】：
1、できるようにならなかった 2、あまりできるようにならなかった、
3、まあまあできるようになった、4、できるようになった

21　1 年前のあなたに比べて、教養を広く身につけることができましたか。

22　1 年前のあなたに比べて、「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から子供の成長過程を幅広く捉えられるようになりましたか。

23　1 年前のあなたに比べて、専門分野に限らず、色々なことに柔軟に対応し、指導することができるようになりましたか。

24　1 年前のあなたに比べて、自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか。

25　1 年前のあなたに比べて、多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか。

26　1 年前のあなたに比べて、社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決できるようになったと思いますか。

27　1 年前のあなたに比べて、保育・幼児教育および児童教育の知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか。

最後に、本学について教えてください。
【28～30 自由記述】

28　あなたにとって本学はどんな大学でしたか。

29　あなたにとって本学の良いところはどこですか。

30　あなたにとって本学の悪いところはどこですか。

⇒28～30 は卒業学年のみの設問

【資料 1】

【卒業生向け】
令和 4 年度・東京女子体育大学・体育学科
「大学の学びに関するアンケート」の実施について

このアンケートは、大学生活での満足度やこの１年間での学習成果を教えて頂くものになります。設問は全 30 問で、回答所要時間は 10 分程度です。調査への協力はすべて任意です。個人を特定できない形で集計されるので、回答内容によってあなたが不利益を受けることはありません。集計した結果は、本学の教育内容の改善のためのみに利用されます。重要なアンケートですので、ぜひご協力お願いします。

＜回答方法＞

１．スマートフォンで右の QR コードを読み込んで
　　アンケート回答フォームを表示してください。

２．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：１号館３階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

【資料２】

【卒業生向け】
令和4年度・東京女子体育短期大学・保健体育学科
「短期大学の学びに関するアンケート」の実施について

このアンケートは、短期大学生活での満足度やこの１年間での学習成果を教えて頂くものになります。設問は全 30 問で、回答所要時間は 10 分程度です。調査への協力はすべて任意です。個人を特定できない形で集計されるので、回答内容によってあなたが不利益を受けることはありません。集計した結果は、本学の教育内容の改善のためのみに利用されます。重要なアンケートですので、ぜひご協力お願いします。

＜回答方法＞

１．スマートフォンで右の QR コードを読み込んで
　　アンケート回答フォームを表示してください。

２．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：１号館３階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

【資料 3】

【卒業生向け】
令和 4 年度・東京女子体育短期大学・児童教育学科
「短期大学の学びに関するアンケート」の実施について

このアンケートは、短期大学生活での満足度やこの 1 年間での学習成果を教えて頂くものになります。設問は全 30 問で、回答所要時間は 10 分程度です。調査への協力はすべて任意です。個人を特定できない形で集計されるので、回答内容によってあなたが不利益を受けることはありません。集計した結果は、本学の教育内容の改善のためのみに利用されます。重要なアンケートですので、ぜひご協力お願いします。

＜回答方法＞

1．スマートフォンで右の QR コードを読み込んで
　アンケート回答フォームを表示してください。

2．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：1 号館 3 階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

【資料 4】

体育学部体育学科

令和 4 年度・東京女子体育大学・体育学科
「大学の学びに関するアンケート」の実施について

このアンケートは、大学生活での満足度やこの１年間での学習成果を教えて頂くものになります。設問は全 27 問で、回答所要時間は 10 分程度です。調査への協力はすべて任意です。個人を特定できない形で集計されるので、回答内容によってあなたが不利益を受けることはありません。集計した結果は、本学の教育内容の改善のためのみに利用されます。重要なアンケートですので、ぜひご協力お願いします。

＜回答方法＞

１．スマートフォンで右の QR コードを読み込んで
　　アンケート回答フォームを表示してください。

２．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：１号館３階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

【資料 5】

保健体育学科

令和 4 年度・東京女子体育短期大学・保健体育学科
「短期大学の学びに関するアンケート」の実施について

このアンケートは、大学生活での満足度やこの１年間での学習成果を教えて頂くものになります。設問は全 27 問で、回答所要時間は 10 分程度です。調査への協力はすべて任意です。個人を特定できない形で集計されるので、回答内容によってあなたが不利益を受けることはありません。集計した結果は、本学の教育内容の改善のためのみに利用されます。重要なアンケートですので、ぜひご協力お願いします。

＜回答方法＞

１．スマートフォンで右の QR コードを読み込んで
　　アンケート回答フォームを表示してください。

２．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：１号館３階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

【資料 6】

こどもスポーツ教育学科

令和 4 年度・東京女子体育短期大学・こどもスポーツ教育学科
「短期大学の学びに関するアンケート」の実施について

このアンケートは、大学生活での満足度やこの１年間での学習成果を教えて頂くものになります。設問は全 27 問で、回答所要時間は 10 分程度です。調査への協力はすべて任意です。個人を特定できない形で集計されるので、回答内容によってあなたが不利益を受けることはありません。集計した結果は、本学の教育内容の改善のためのみに利用されます。重要なアンケートですので、ぜひご協力お願いします。

＜回答方法＞

１．スマートフォンで右の QR コードを読み込んで
　　アンケート回答フォームを表示してください。

２．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

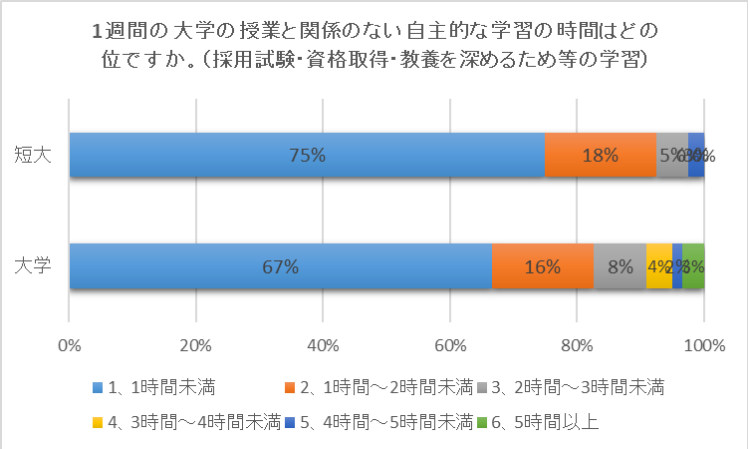
・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：１号館３階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

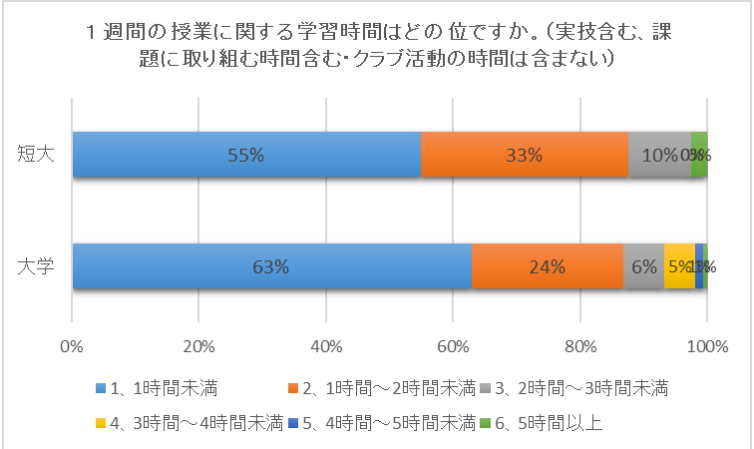
2. 大学の生活と学びに関するアンケート

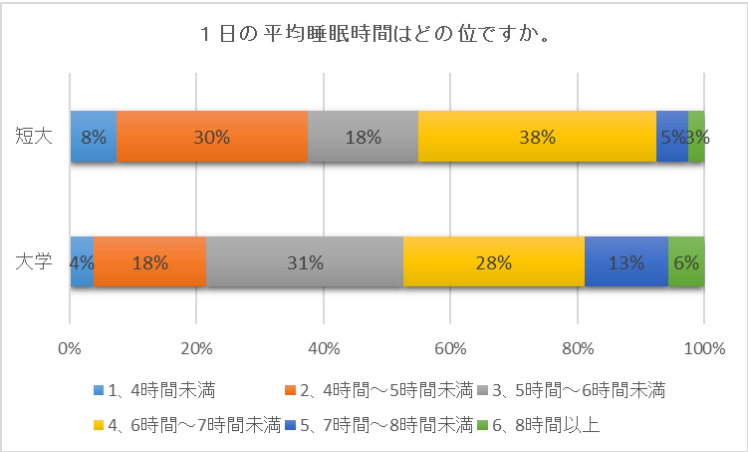
大学の生活と学びに関するアンケート（卒業年次）集計結果

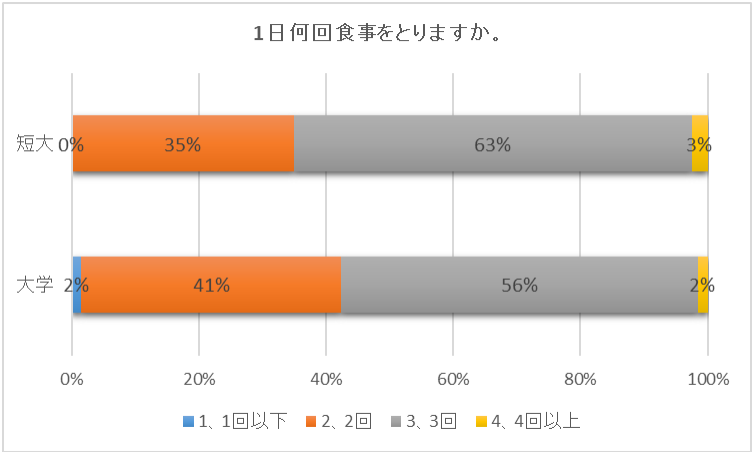
調査実施日：令和 6 年 3 月 19 日（卒業式ガイダンス）
大学卒業年次：309 名／回答数 264 名／回答率 85.4%
短大卒業年次：51 名／回答数 40 名／80.5%

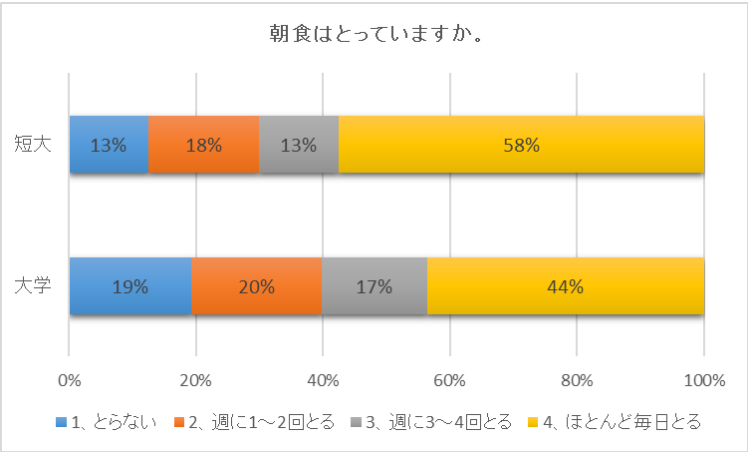
■学生生活

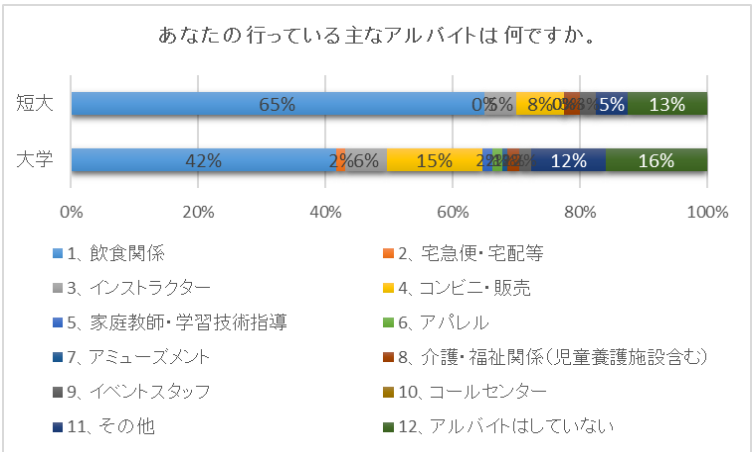


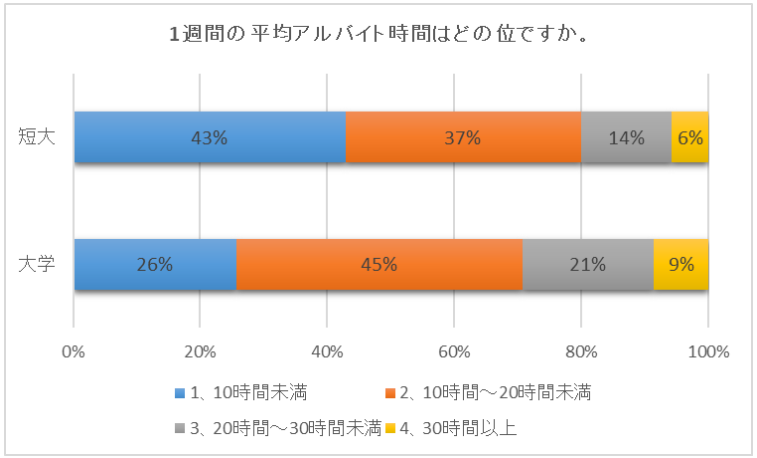


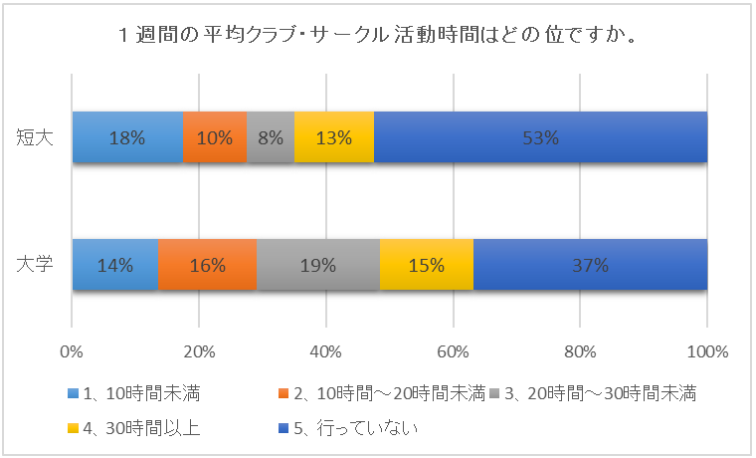




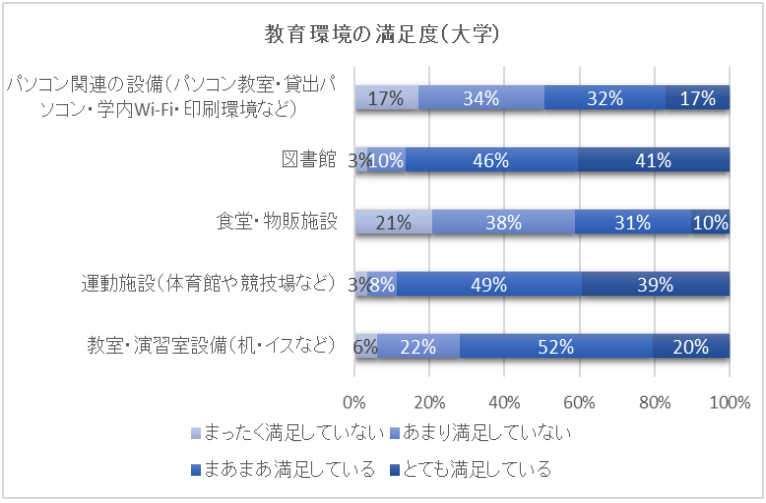


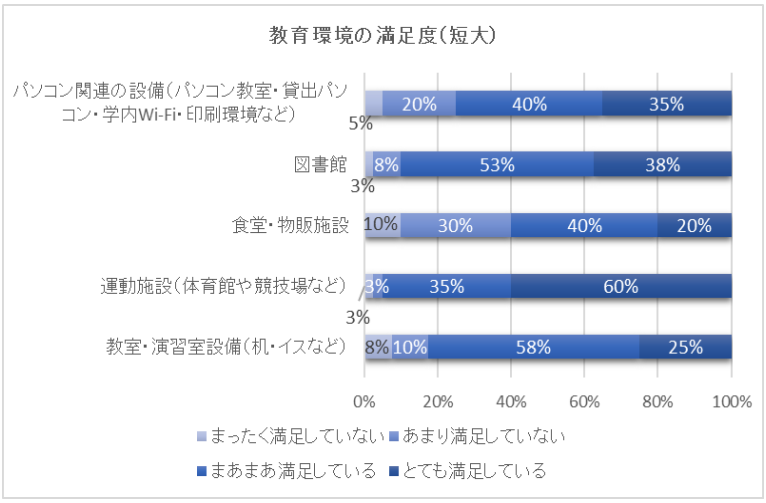


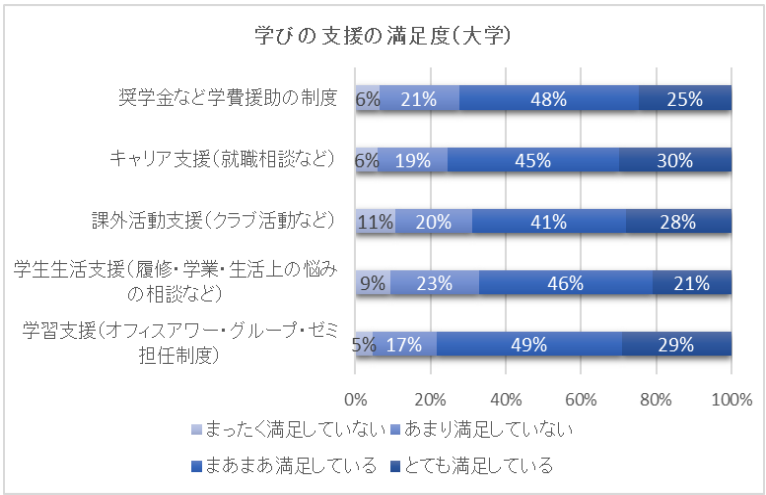

1週間の平均アルバイト時間はどの位ですか。
短大
43%
37%
14%
6%
大学
26%
45%
21%
9%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1、10時間未満
2、10時間～20時間未満
3、20時間～30時間未満
4、30時間以上

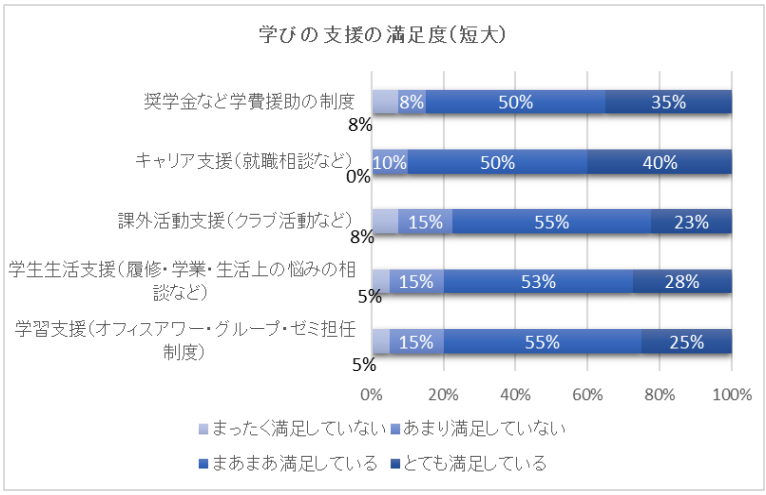

1週間の平均クラブ・サークル活動時間はどの位ですか。
短大
18%
10%
8%
13%
53%
大学
14%
16%
19%
15%
37%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1、10時間未満
2、10時間～20時間未満
3、20時間～30時間未満
4、30時間以上
5、行っていない

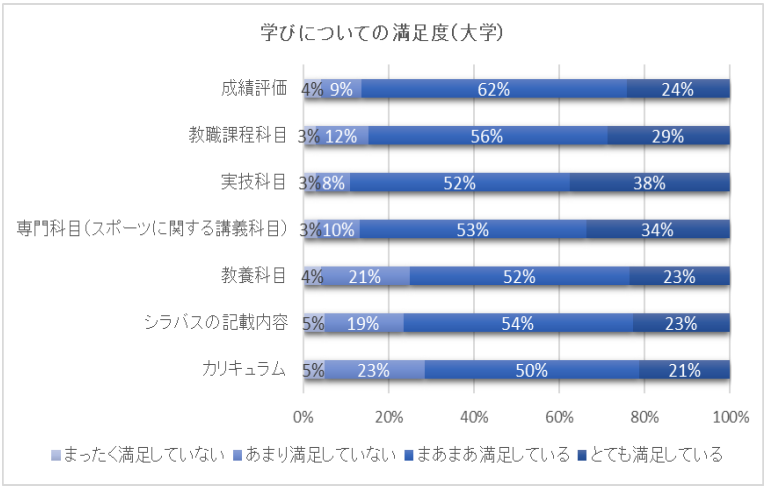
■満足度

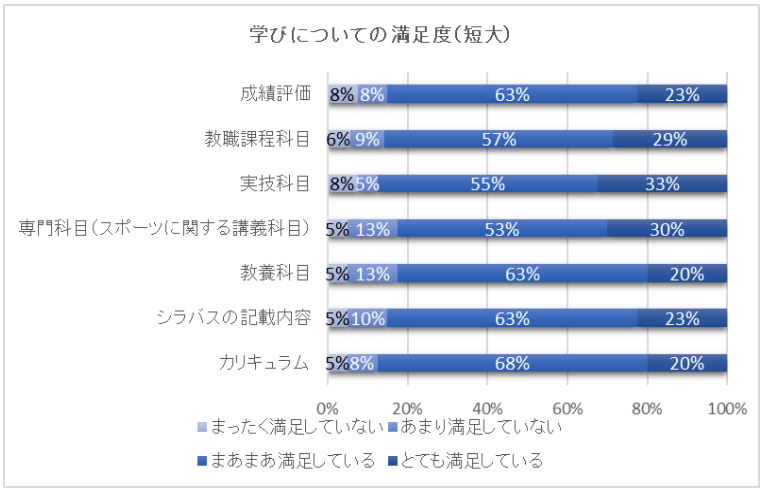

教育環境の満足度(大学)
パソコン関連の設備(パソコン教室・貸出パソコン・学内Wi-Fi・印刷環境など)
17%
34%
32%
17%
図書館
3%
10%
46%
41%
食堂・物販施設
21%
38%
31%
10%
運動施設(体育館や競技場など)
3%
8%
49%
39%
教室・演習室設備(机・イスなど)
6%
22%
52%
20%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
まったく満足していない
あまり満足していない
まあまあ満足している
とても満足している


教育環境の満足度(短大)
パソコン関連の設備(パソコン教室・貸出パソコン・学内Wi-Fi・印刷環境など)
5%
20%
40%
35%
図書館
3%
8%
53%
38%
食堂・物販施設
10%
30%
40%
20%
運動施設(体育館や競技場など)
3%
3%
35%
60%
教室・演習室設備(机・イスなど)
8%
10%
58%
25%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
まったく満足していない
あまり満足していない
まあまあ満足している
とても満足している

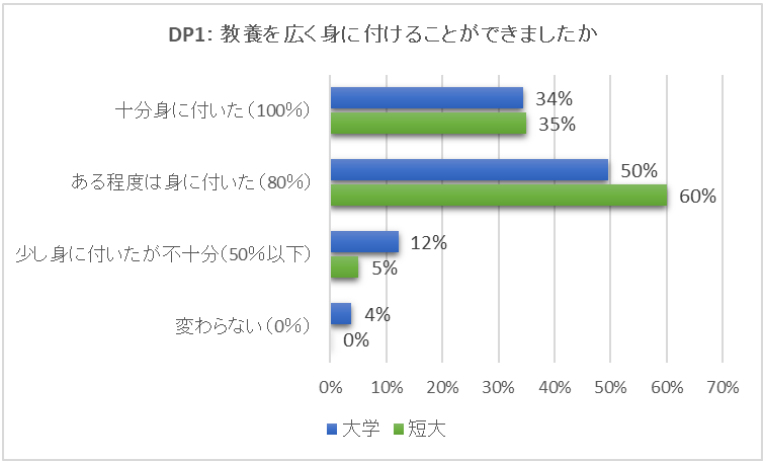

学びの支援の満足度(大学)
奨学金など学費援助の制度
6%
21%
48%
25%
キャリア支援(就職相談など)
6%
19%
45%
30%
課外活動支援(クラブ活動など)
11%
20%
41%
28%
学生生活支援(履修・学業・生活上の悩みの相談など)
9%
23%
46%
21%
学習支援(オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度)
5%
17%
49%
29%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
まったく満足していない
あまり満足していない
まあまあ満足している
とても満足している

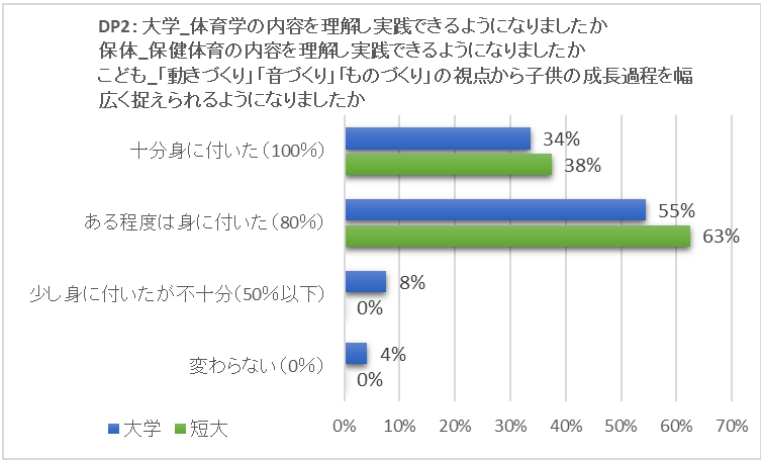

学びの支援の満足度(短大)
奨学金など学費援助の制度
8%
8%
50%
35%
キャリア支援(就職相談など)
0%
10%
50%
40%
課外活動支援(クラブ活動など)
8%
15%
55%
23%
学生生活支援(履修・学業・生活上の悩みの相談など)
5%
15%
53%
28%
学習支援(オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度)
5%
15%
55%
25%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
まったく満足していない
あまり満足していない
まあまあ満足している
とても満足している

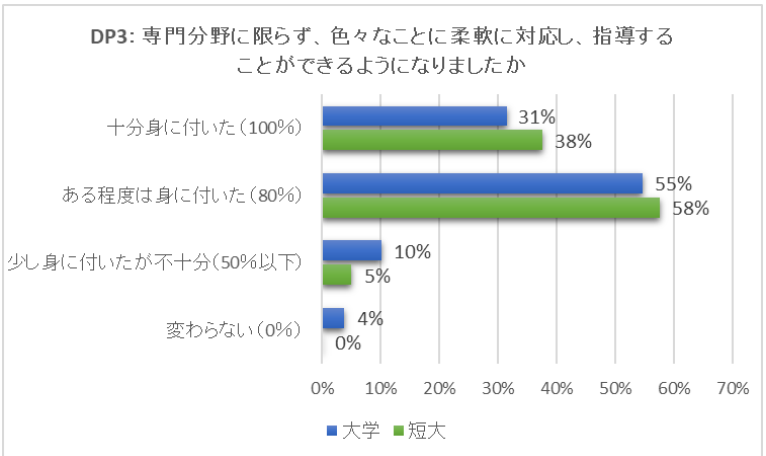

学びについての満足度(大学)
成績評価 4% 9% 62% 24%
教職課程科目 3% 12% 56% 29%
実技科目 3% 8% 52% 38%
専門科目(スポーツに関する講義科目) 3% 10% 53% 34%
教養科目 4% 21% 52% 23%
シラバスの記載内容 5% 19% 54% 23%
カリキュラム 5% 23% 50% 21%
0% 20% 40% 60% 80% 100%
まったく満足していない あまり満足していない まあまあ満足している とても満足している

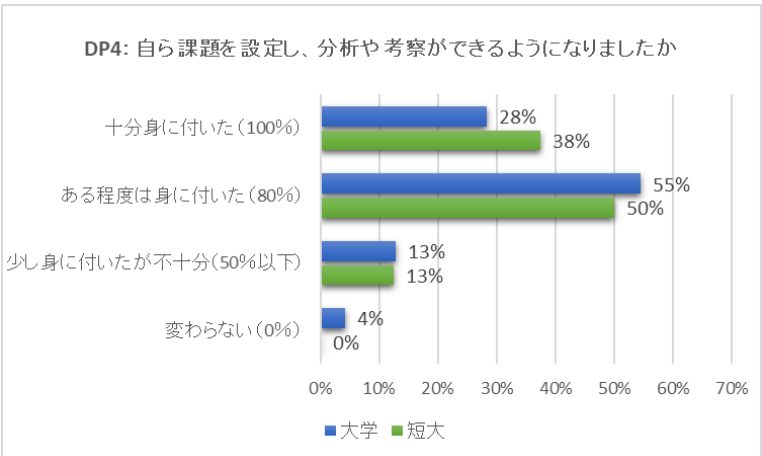

学びについての満足度(短大)
成績評価 8% 8% 63% 23%
教職課程科目 6% 9% 57% 29%
実技科目 8% 5% 55% 33%
専門科目(スポーツに関する講義科目) 5% 13% 53% 30%
教養科目 5% 13% 63% 20%
シラバスの記載内容 5% 10% 63% 23%
カリキュラム 5% 8% 68% 20%
0% 20% 40% 60% 80% 100%
まったく満足していない あまり満足していない
まあまあ満足している とても満足している

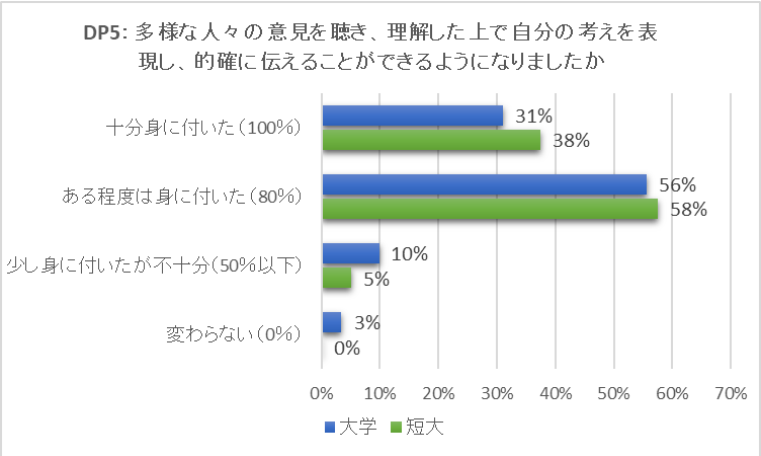
■成長実感

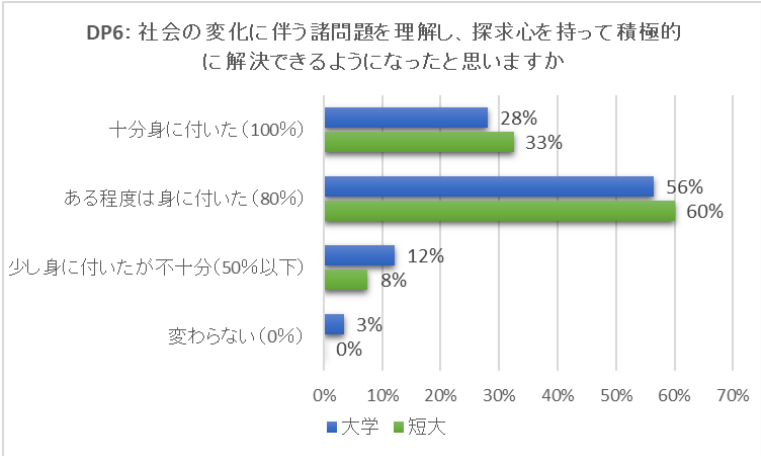

DP1: 教養を広く身に付けることができましたか
十分身に付いた(100%) 34% 35%
ある程度は身に付いた(80%) 50% 60%
少し身に付いたが不十分(50%以下) 12% 5%
変わらない(0%) 4% 0%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%
大学 短大

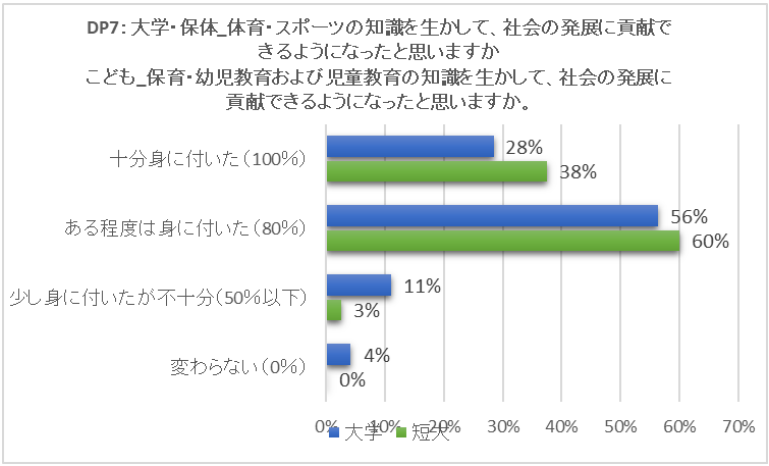

DP2: 大学_体育学の内容を理解し実践できるようになりましたか
保体_保健体育の内容を理解し実践できるようになりましたか
こども_「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から子供の成長過程を幅広く捉えられるようになりましたか
十分身に付いた(100%) 34% 38%
ある程度は身に付いた(80%) 55% 63%
少し身に付いたが不十分(50%以下) 8% 0%
変わらない(0%) 4% 0%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%
大学 短大


DP3: 専門分野に限らず、色々なことに柔軟に対応し、指導することができるようになりましたか
十分身に付いた(100%) 31% 38%
ある程度は身に付いた(80%) 55% 58%
少し身に付いたが不十分(50%以下) 10% 5%
変わらない(0%) 4% 0%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%
大学 短大


DP4: 自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか
十分身に付いた(100%) 28% 38%
ある程度は身に付いた(80%) 55% 50%
少し身に付いたが不十分(50%以下) 13% 13%
変わらない(0%) 4% 0%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%
大学 短大

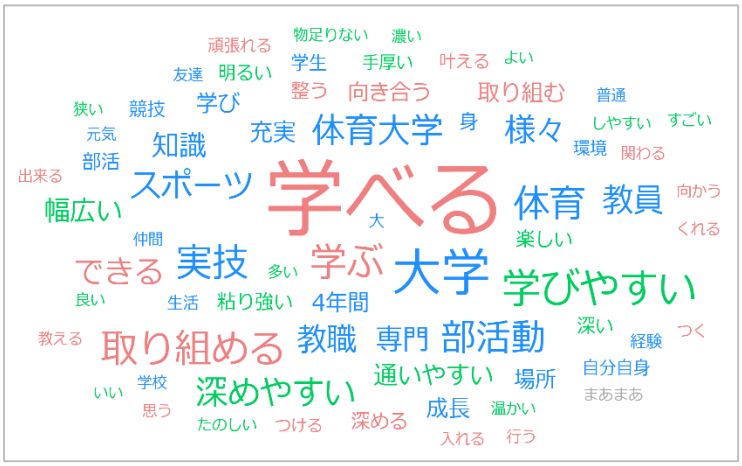




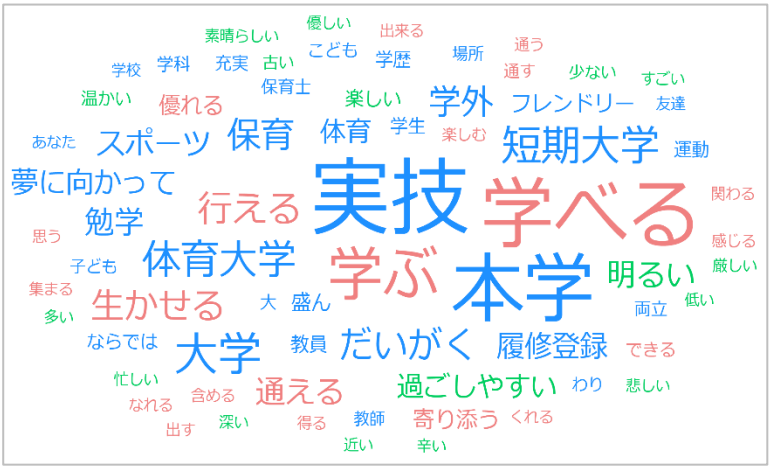


■どんな大学・短大

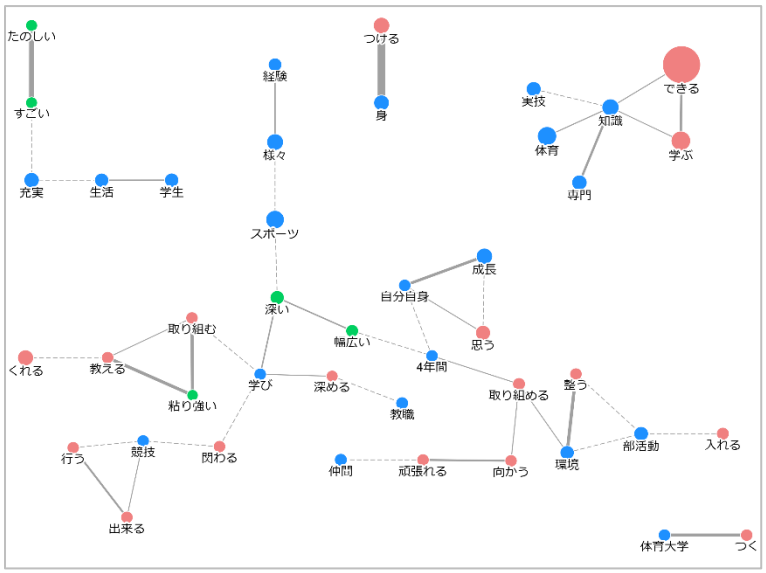
【大学】



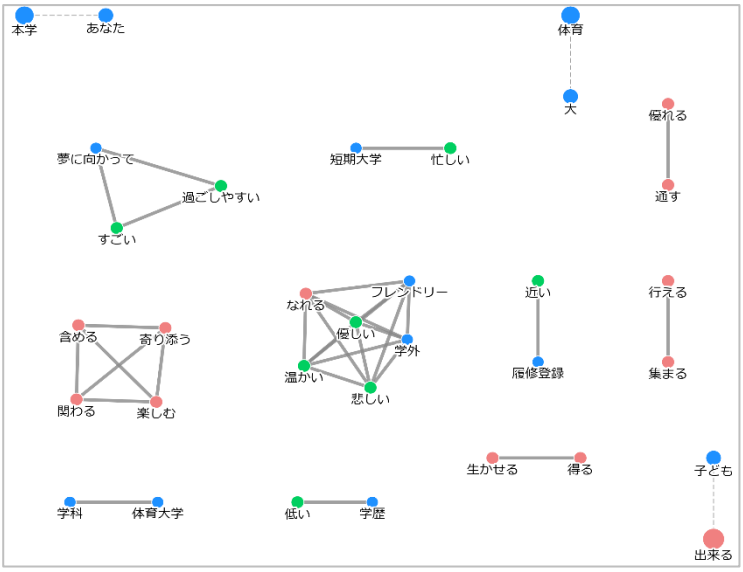
【短大】



【大学】

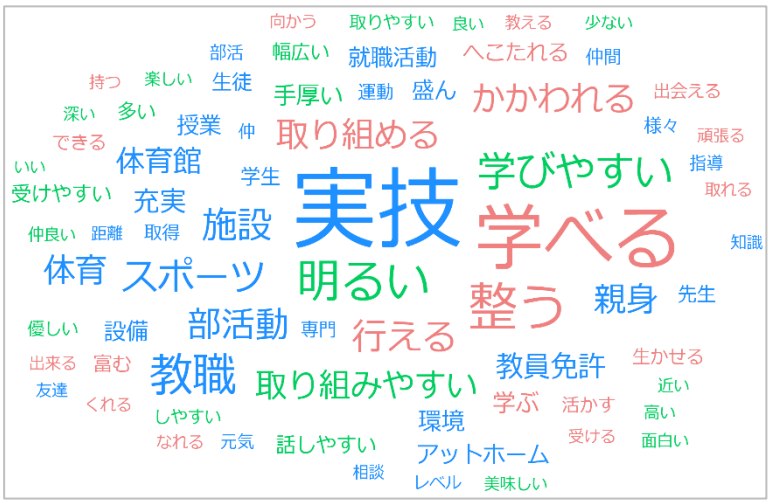


【短大】

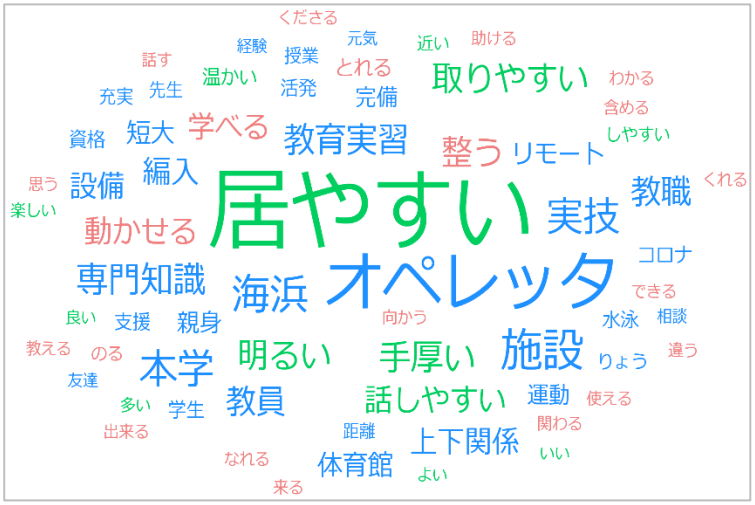


■大学・短大の良いところ

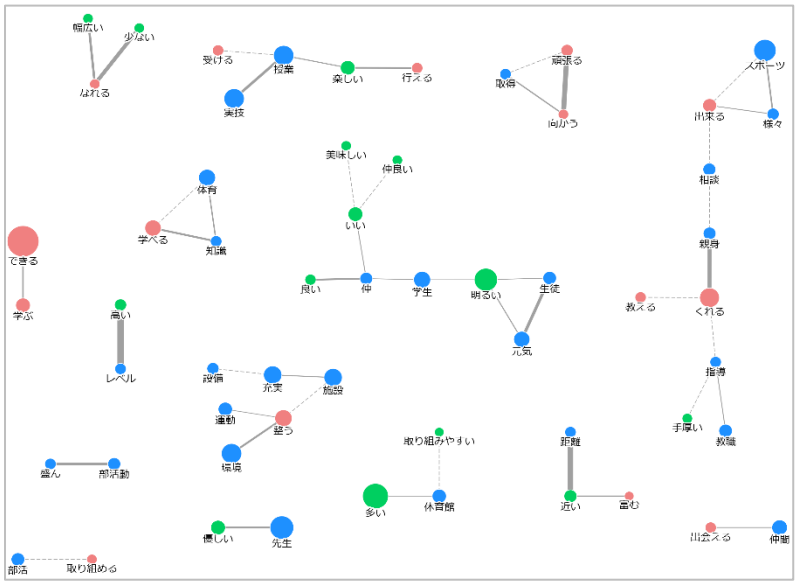
【大学】



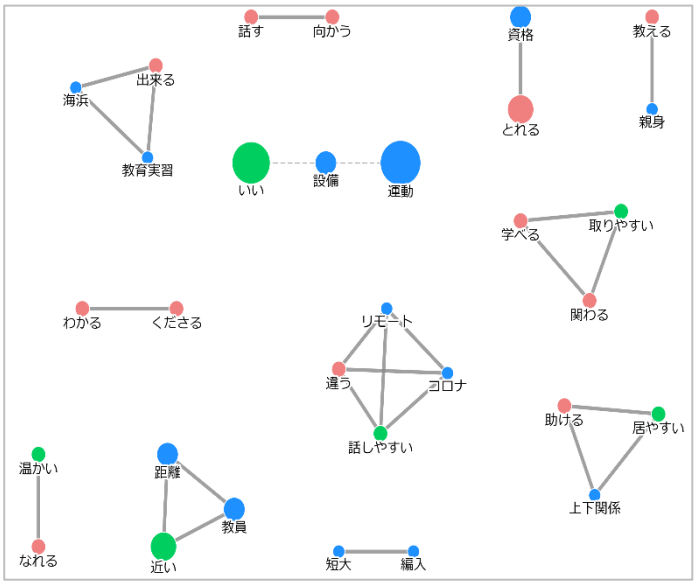
【短大】



【大学】

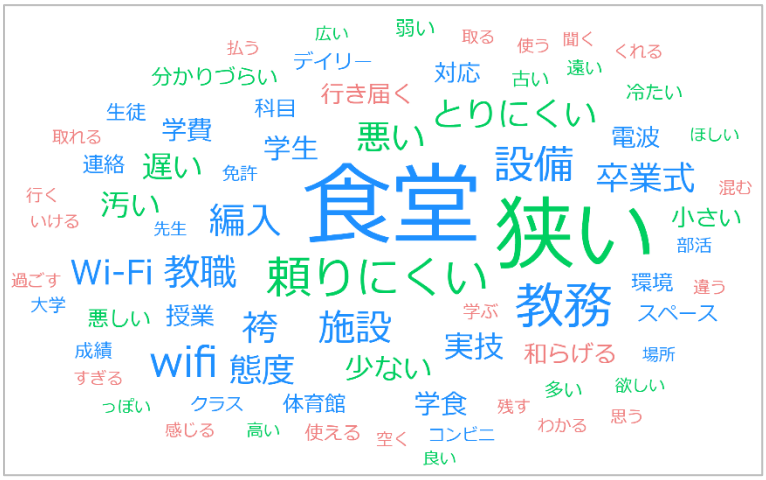


【短大】

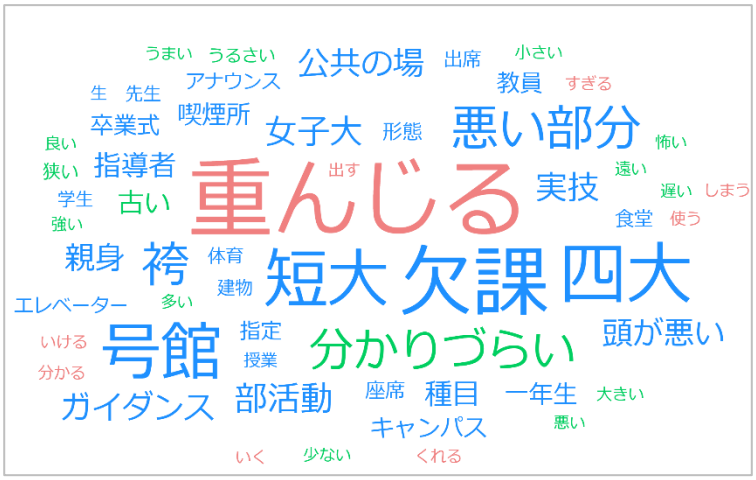


■大学・短大の悪いところ

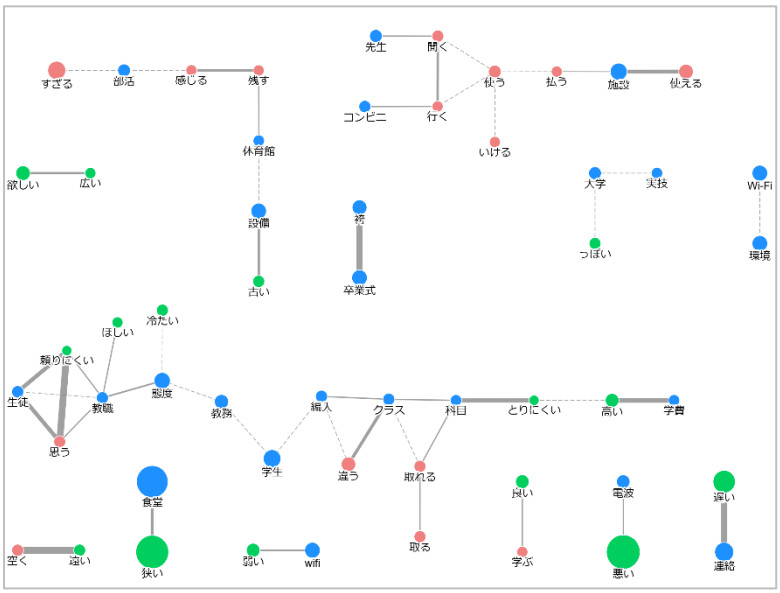
【大学】



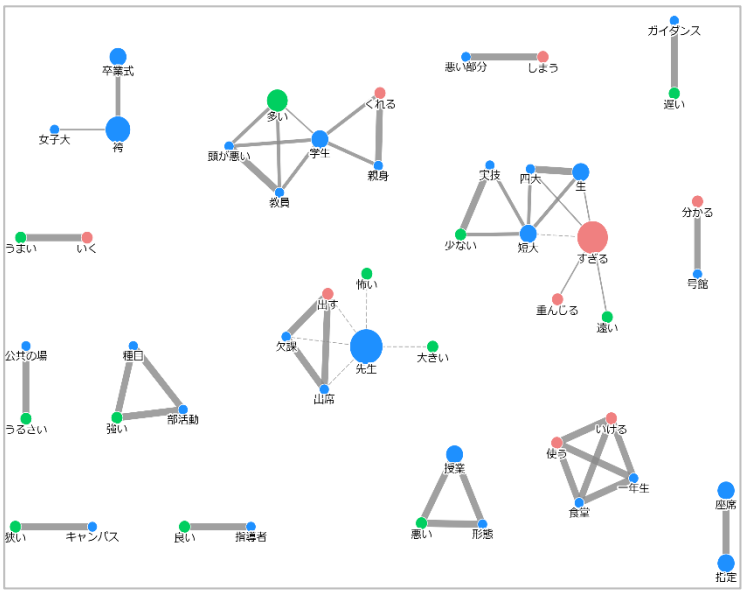
【短大】



【大学】



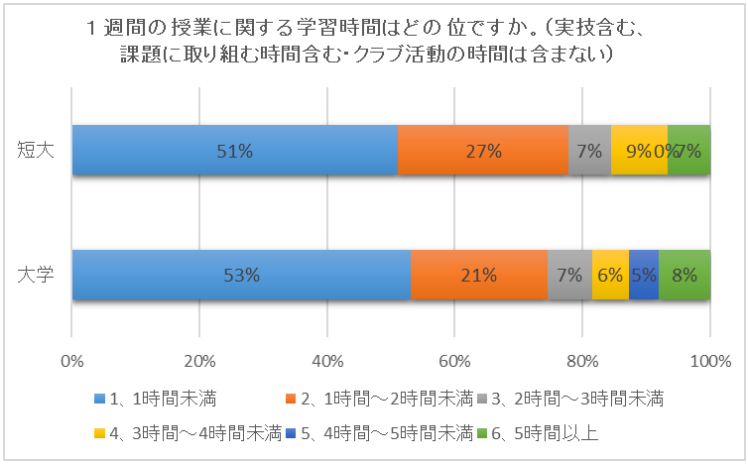
【短大】

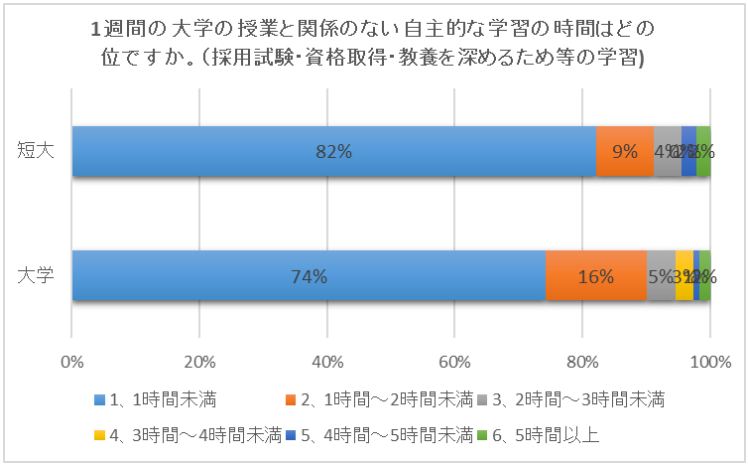


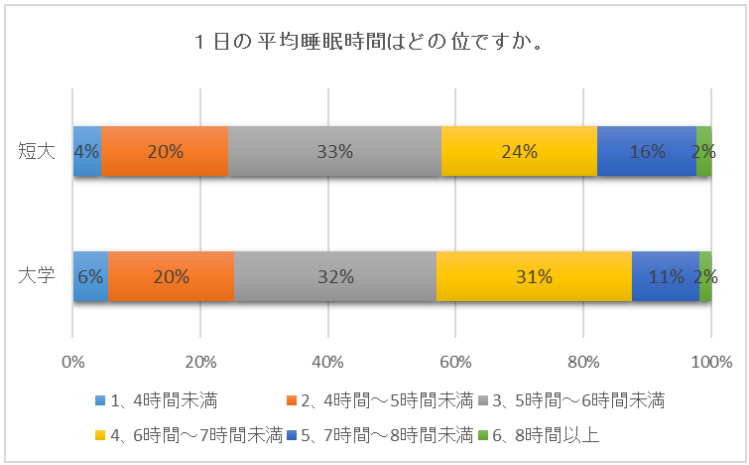
大学の生活と学びに関するアンケート（在学生）集計結果

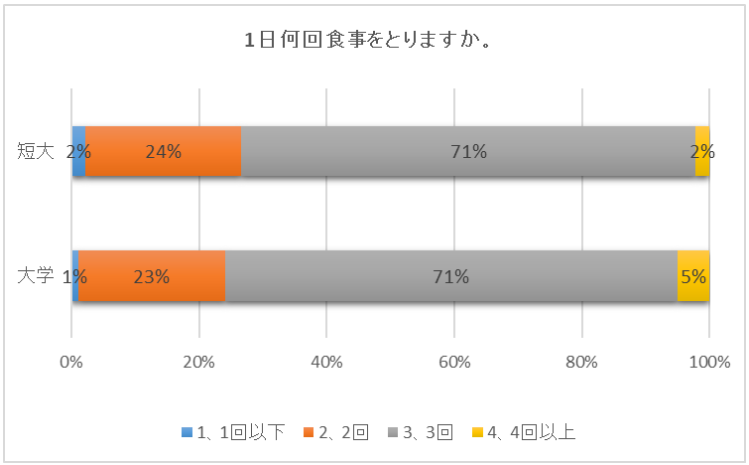
調査実施日：令和６年２月下旬～4 月上旬（メール配信）
大学在学生数：863 名／回答数 573 名／回答率 66.4%
短大在学生数：47 名／回答数 45 名／97.1%

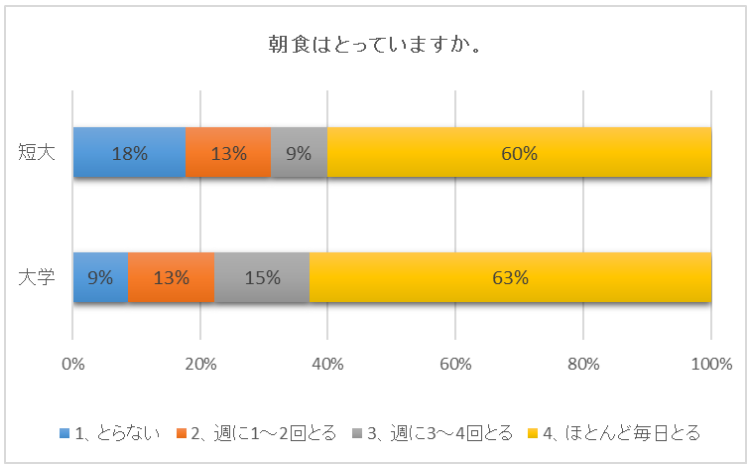
■学生生活

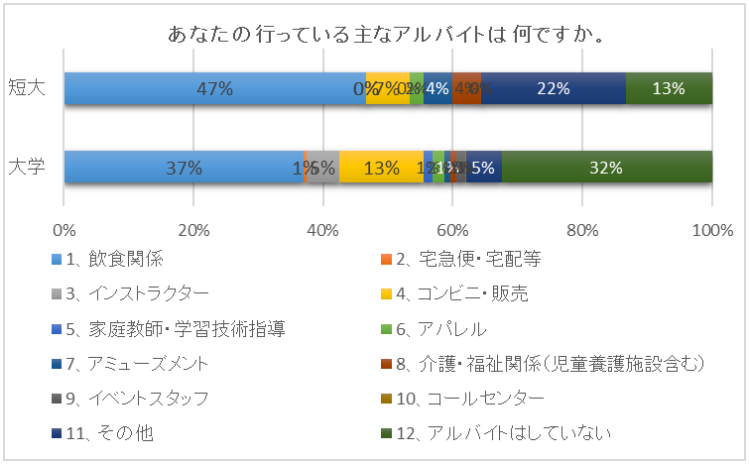


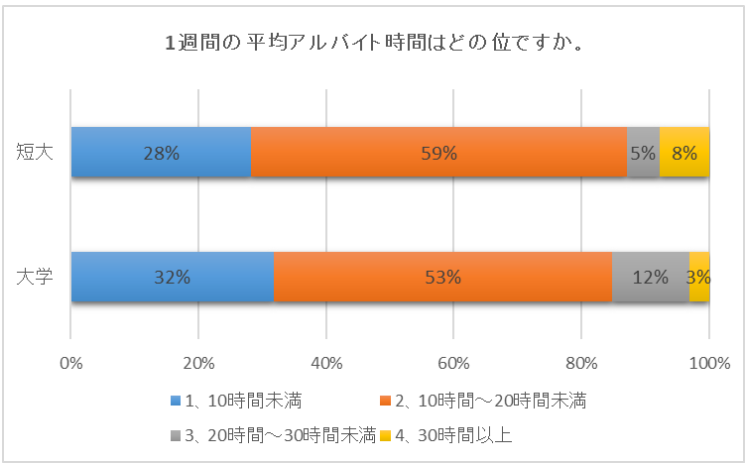


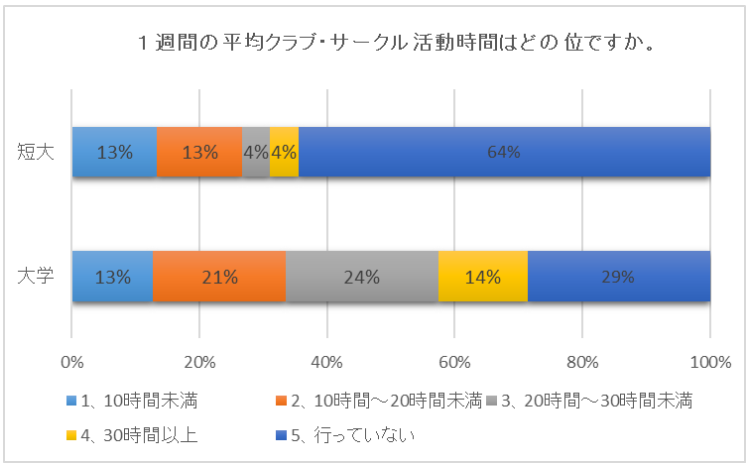




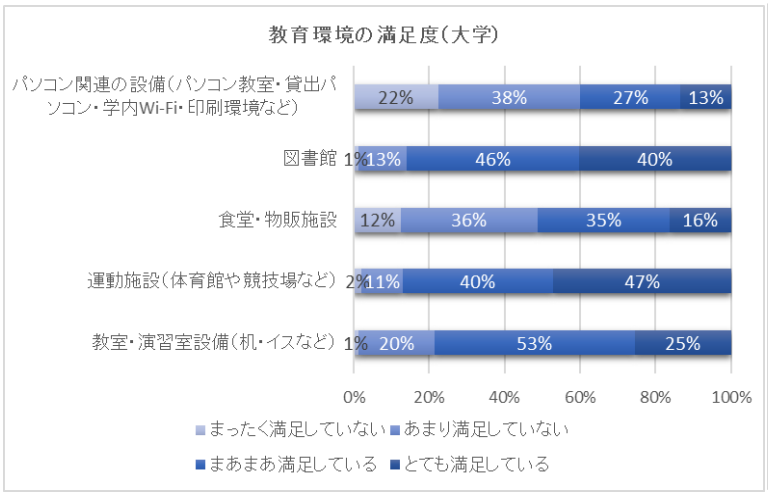


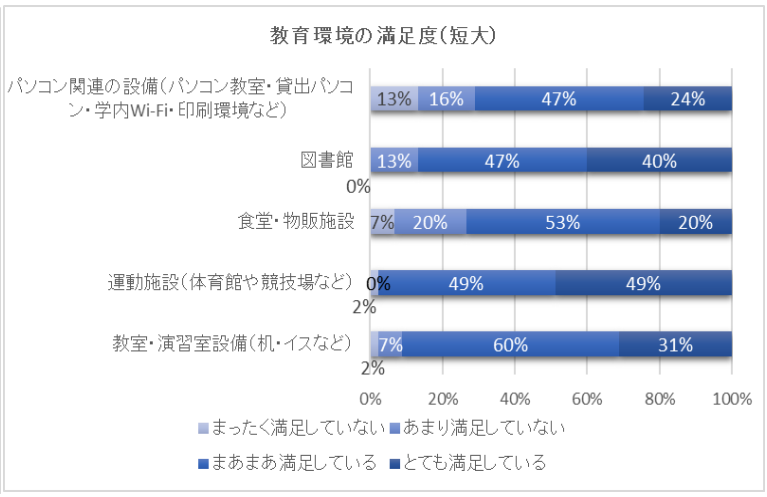


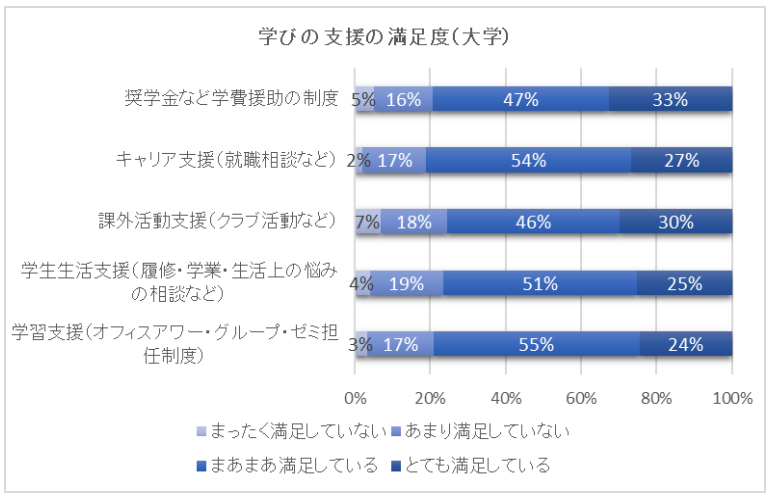

1週間の平均アルバイト時間はどの位ですか。
短大
28%
59%
5%
8%
大学
32%
53%
12%
3%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1、10時間未満
2、10時間～20時間未満
3、20時間～30時間未満
4、30時間以上

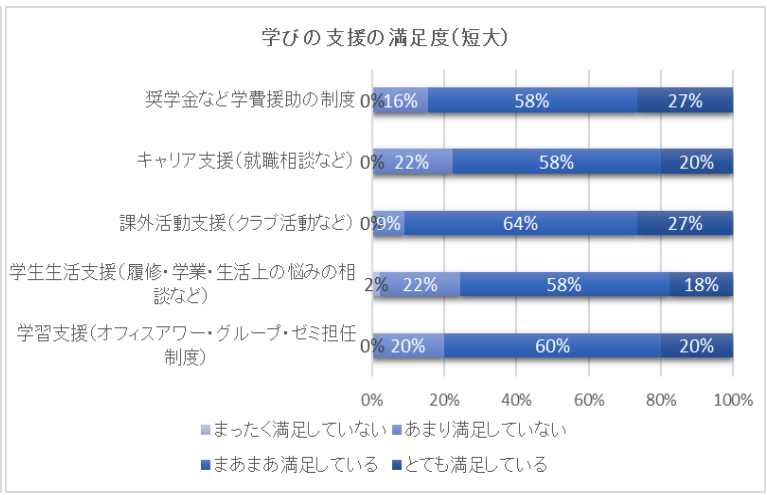

1週間の平均クラブ・サークル活動時間はどの位ですか。
短大
13%
13%
4%
4%
64%
大学
13%
21%
24%
14%
29%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1、10時間未満
2、10時間～20時間未満
3、20時間～30時間未満
4、30時間以上
5、行っていない

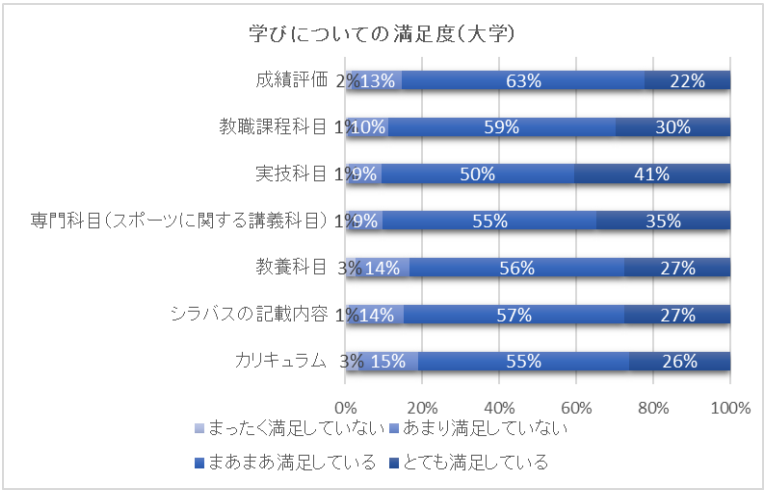
■満足度

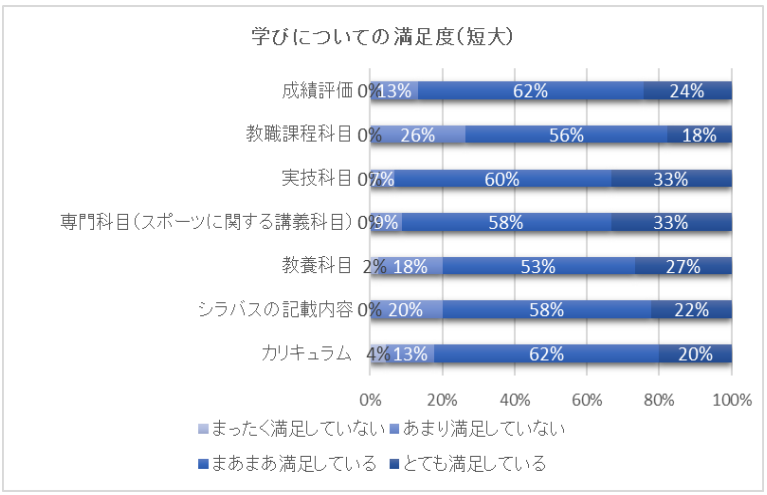

教育環境の満足度(大学)
パソコン関連の設備(パソコン教室・貸出パソコン・学内Wi-Fi・印刷環境など)
22%
38%
27%
13%
図書館
1%
13%
46%
40%
食堂・物販施設
12%
36%
35%
16%
運動施設(体育館や競技場など)
2%
11%
40%
47%
教室・演習室設備(机・イスなど)
1%
20%
53%
25%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
まったく満足していない
あまり満足していない
まあまあ満足している
とても満足している


教育環境の満足度(短大)
パソコン関連の設備(パソコン教室・貸出パソコン・学内Wi-Fi・印刷環境など)
13%
16%
47%
24%
図書館
13%
47%
40%
食堂・物販施設
7%
20%
53%
20%
運動施設(体育館や競技場など)
0%
49%
49%
教室・演習室設備(机・イスなど)
2%
7%
60%
31%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
まったく満足していない
あまり満足していない
まあまあ満足している
とても満足している

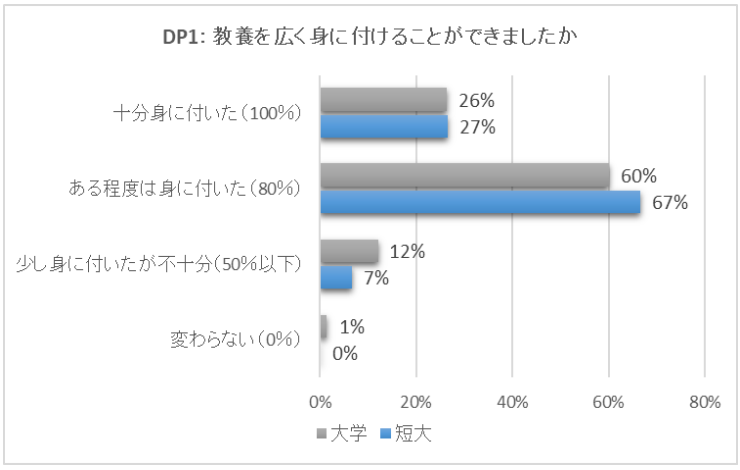

学びの支援の満足度(大学)
奨学金など学費援助の制度
5%
16%
47%
33%
キャリア支援(就職相談など)
2%
17%
54%
27%
課外活動支援(クラブ活動など)
7%
18%
46%
30%
学生生活支援(履修・学業・生活上の悩みの相談など)
4%
19%
51%
25%
学習支援(オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度)
3%
17%
55%
24%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
まったく満足していない
あまり満足していない
まあまあ満足している
とても満足している

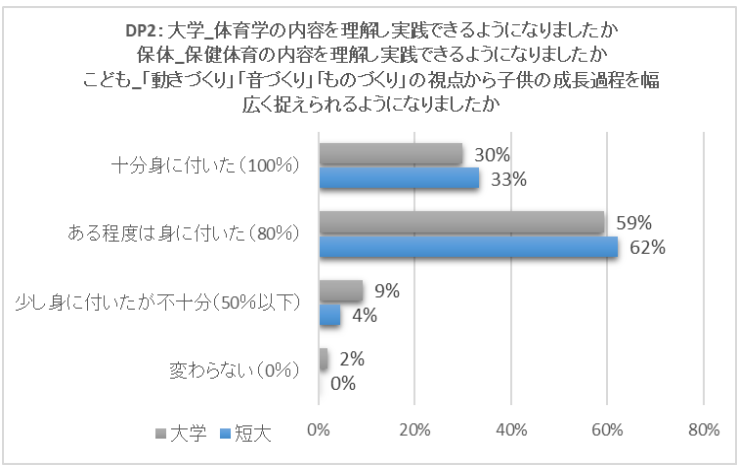

学びの支援の満足度(短大)
奨学金など学費援助の制度
0%
16%
58%
27%
キャリア支援(就職相談など)
0%
22%
58%
20%
課外活動支援(クラブ活動など)
9%
64%
27%
学生生活支援(履修・学業・生活上の悩みの相談など)
2%
22%
58%
18%
学習支援(オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度)
0%
20%
60%
20%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
まったく満足していない
あまり満足していない
まあまあ満足している
とても満足している

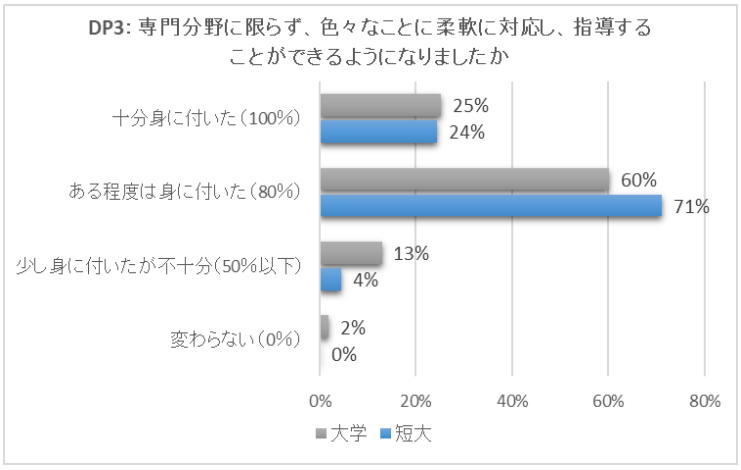

学びについての満足度(大学)
成績評価 2% 13% 63% 22%
教職課程科目 1% 10% 59% 30%
実技科目 1% 9% 50% 41%
専門科目(スポーツに関する講義科目) 1% 9% 55% 35%
教養科目 3% 14% 56% 27%
シラバスの記載内容 1% 14% 57% 27%
カリキュラム 3% 15% 55% 26%
0% 20% 40% 60% 80% 100%
まったく満足していない あまり満足していない
まあまあ満足している とても満足している

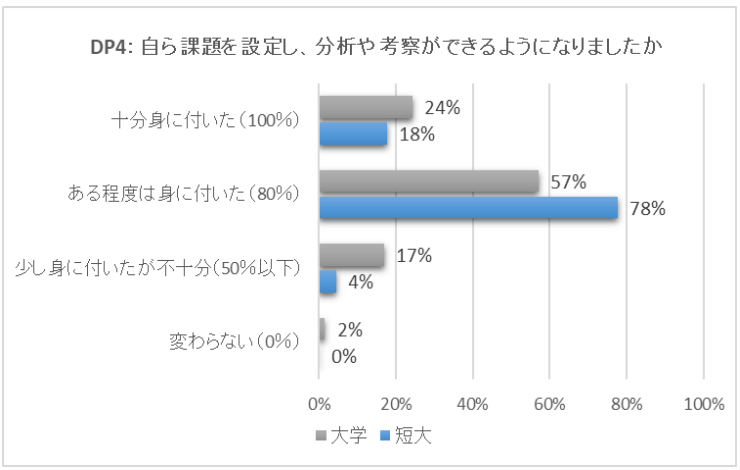

学びについての満足度(短大)
成績評価 0% 13% 62% 24%
教職課程科目 0% 26% 56% 18%
実技科目 0% 7% 60% 33%
専門科目(スポーツに関する講義科目) 0% 9% 58% 33%
教養科目 2% 18% 53% 27%
シラバスの記載内容 0% 20% 58% 22%
カリキュラム 4% 13% 62% 20%
0% 20% 40% 60% 80% 100%
まったく満足していない あまり満足していない
まあまあ満足している とても満足している

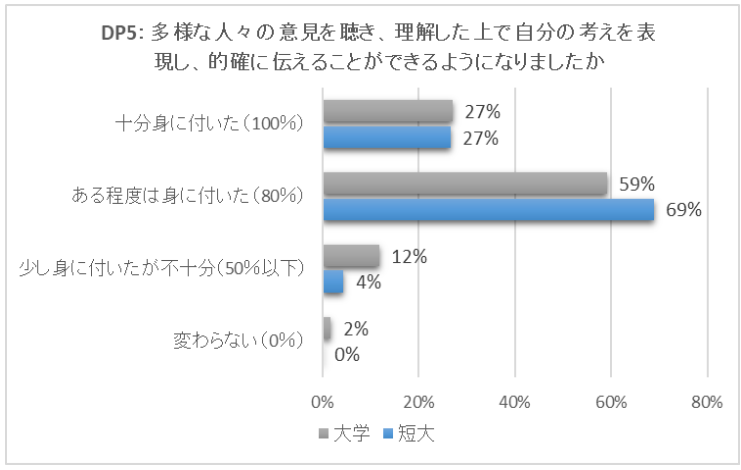
■成長実感

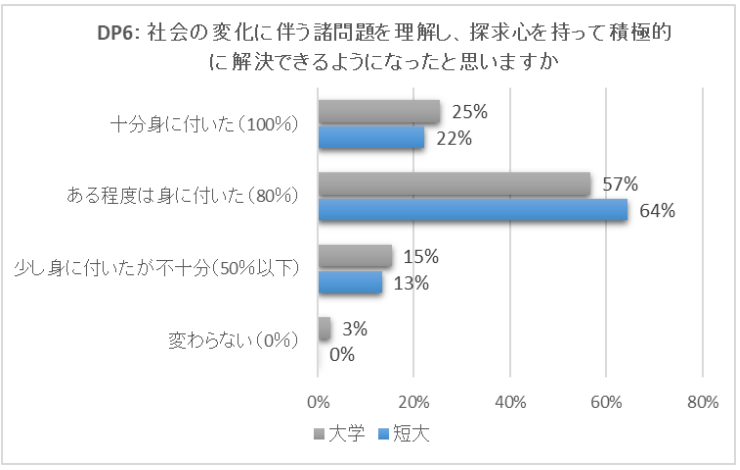

DP1: 教養を広く身に付けることができましたか
十分身に付いた(100%) 26% 27%
ある程度は身に付いた(80%) 60% 67%
少し身に付いたが不十分(50%以下) 12% 7%
変わらない(0%) 1% 0%
0% 20% 40% 60% 80%
大学 短大

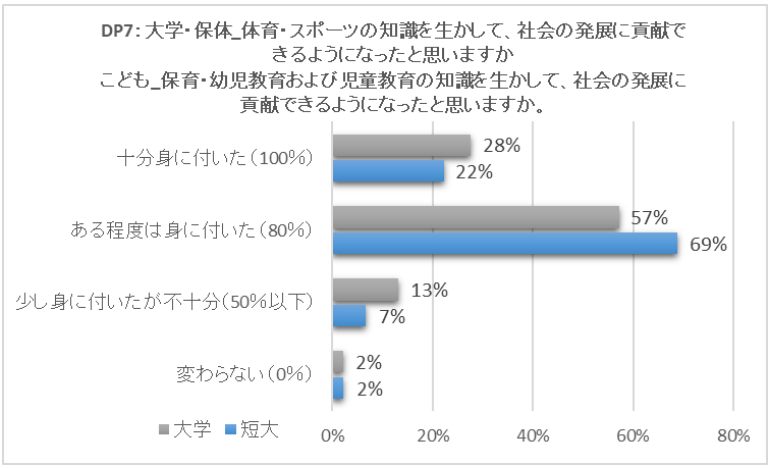

DP2: 大学_体育学の内容を理解し実践できるようになりましたか
保体_保健体育の内容を理解し実践できるようになりましたか
こども_「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から子供の成長過程を幅広く捉えられるようになりましたか
十分身に付いた(100%) 30% 33%
ある程度は身に付いた(80%) 59% 62%
少し身に付いたが不十分(50%以下) 9% 4%
変わらない(0%) 2% 0%
0% 20% 40% 60% 80%
大学 短大


DP3: 専門分野に限らず、色々なことに柔軟に対応し、指導することができるようになりましたか
十分身に付いた(100%) 25% 24%
ある程度は身に付いた(80%) 60% 71%
少し身に付いたが不十分(50%以下) 13% 4%
変わらない(0%) 2% 0%
0% 20% 40% 60% 80%
大学 短大

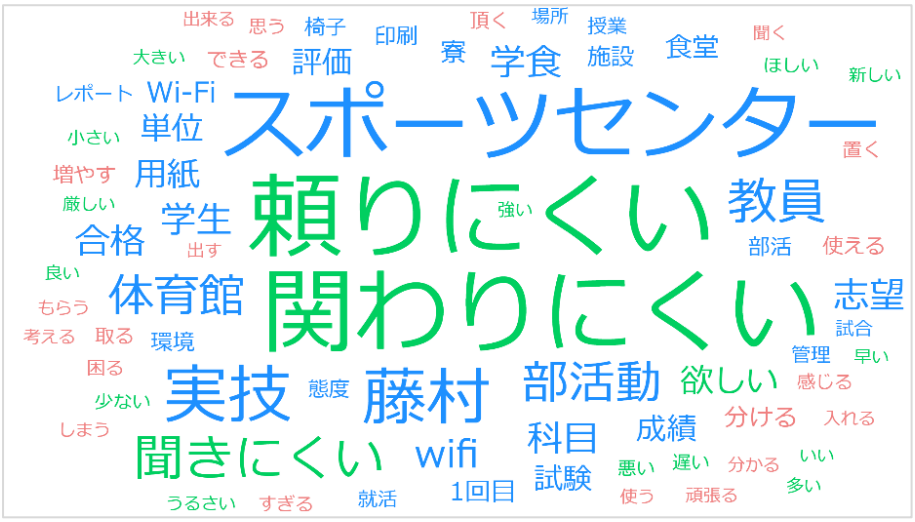

DP4: 自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか
十分身に付いた(100%) 24% 18%
ある程度は身に付いた(80%) 57% 78%
少し身に付いたが不十分(50%以下) 17% 4%
変わらない(0%) 2% 0%
0% 20% 40% 60% 80% 100%
大学 短大

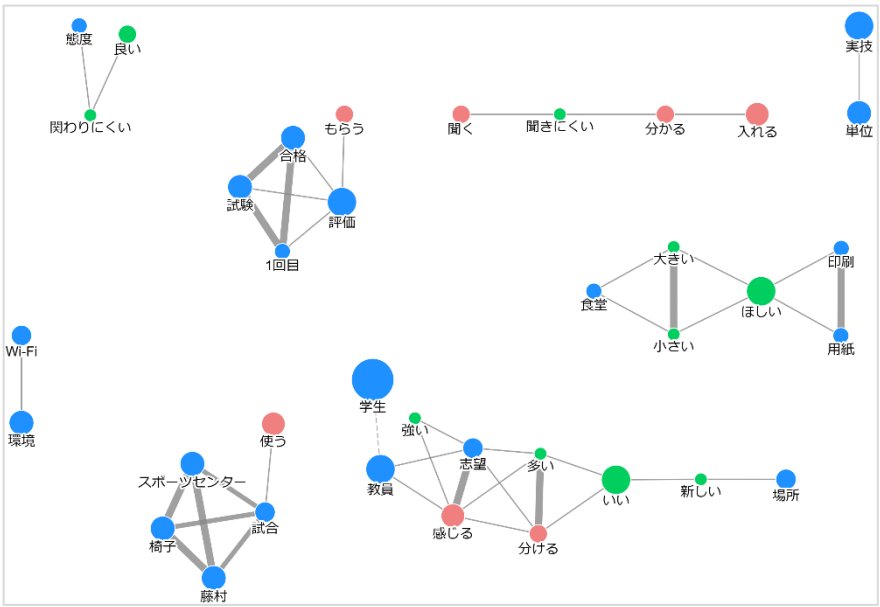

DP5: 多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか
十分身に付いた(100%) 27% 27%
ある程度は身に付いた(80%) 59% 69%
少し身に付いたが不十分(50%以下) 12% 4%
変わらない(0%) 2% 0%
0% 20% 40% 60% 80%
大学 短大


DP6: 社会の変化に伴う諸問題を理解し、探求心を持って積極的に解決できるようになったと思いますか
十分身に付いた(100%) 25% 22%
ある程度は身に付いた(80%) 57% 64%
少し身に付いたが不十分(50%以下) 15% 13%
変わらない(0%) 3% 0%
0% 20% 40% 60% 80%
大学 短大


DP7: 大学・保体_体育・スポーツの知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか
こども_保育・幼児教育および児童教育の知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか。
十分身に付いた（100%）
ある程度は身に付いた（80%）
少し身に付いたが不十分（50%以下）
変わらない（0%）
28%
22%
57%
69%
13%
7%
2%
2%
大学
短大
0%
20%
40%
60%
80%

■意見・要望（自由記述）


出来る
思う
椅子
印刷
頂く
場所
授業
聞く
大きい
できる
評価
寮
学食
施設
食堂
ほしい
新しい
レポート
Wi-Fi
スポーツセンター
小さい
単位
置く
増やす
用紙
厳しい
学生
頼りにくい
強い
教員
合格
出す
部活
使える
良い
体育館
関わりにくい
志望
もらう
考える
取る
環境
試合
困る
管理
早い
実技
態度
藤村
部活動
欲しい
感じる
少ない
分ける
入れる
しまう
聞きにくい
wifi
科目
成績
悪い
遅い
分かる
いい
試験
多い
うるさい
すぎる
就活
1回目
使う
頑張る


態度
良い
関わりにくい
もらう
合格
試験
評価
1回目
聞く
聞きにくい
分かる
入れる
実技
単位
大きい
食堂
ほしい
印刷
小さい
用紙
Wi-Fi
環境
学生
強い
志望
多い
教員
いい
新しい
場所
感じる
分ける
使う
スポーツセンター
試合
椅子
藤村

＜令和 5 年度大学の生活と学びに関するアンケート＞

カテゴリー：学修実態

1. 1 週間の授業に関する学習時間はどの位ですか
（実技含む、課題に取り組む時間含む・クラブ活動の時間は含まない）
1、1 時間未満
2、1 時間～2 時間未満
3、2 時間～3 時間未満
4、3 時間～4 時間未満
5、4 時間～5 時間未満
6、5 時間以上

2. 1 週間の大学の授業と関係のない自主的な学習の時間はどの位ですか
（採用試験・資格取得・教養を深めるため等の学習）
1、1 時間未満
2、1 時間～2 時間未満
3、2 時間～3 時間未満
4、3 時間～4 時間未満
5、4 時間～5 時間未満
6、5 時間以上

カテゴリー：学生生活

3. 1 日の平均睡眠時間はどの位ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
1、4 時間未満
2、4 時間～5 時間未満
3、5 時間～6 時間未満
4、6 時間～7 時間未満
5、7 時間～8 時間未満
6、8 時間以上

4. 1 日何回食事をとりますか。最も多いものを選んでください。
1、1 回以下
2、2 回
3、3 回
4、4 回以上

5. 朝食はとっていますか
1、とらない
2、週に 1～2 回とる
3、週に 3～4 回とる
4、ほとんど毎日とる

6. あなたの行っている主なアルバイトは何ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
   1、飲食関係
   2、宅急便・宅配等
   3、インストラクター
   4、コンビニ・販売
   5、家庭教師・学習技術指導
   6、アパレル
   7、アミューズメント
   8、介護・福祉関係（児童養護施設含む）
   9、イベントスタッフ
   10、コールセンター
   11、その他
   12、アルバイトはしていない

7. 【6 の質問で 1～11 に回答した方への限定質問】
   1 週間の平均アルバイト時間はどの位ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
   1、10 時間未満
   2、10 時間～20 時間
   3、20 時間～30 時間
   4、30 時間以上

8. 1 週間の平均クラブ・サークル活動時間はどの位ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
   1、10 時間未満
   2、10 時間～20 時間
   3、20 時間～30 時間
   4、30 時間以上
   5、行っていない

本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。
【9~13 選択肢（共通)】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

9. 教室・演習室設備（机・イスなど）

10. 運動施設（体育館や競技場など）

11. 食堂・物販施設

12. 図書館

13. パソコン関連の設備（パソコン教室・貸出パソコン・学内 Wi-Fi・印刷環境など）

本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。
【14～18、20 選択肢（共通)】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

14. 学習支援（オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度）

15. 学生生活支援（履修・学業・生活上の悩みの相談など）

16. 課外活動支援（クラブ活動など）

17. キャリア支援（就職相談など）

18. 奨学金など学費援助の制度

19. 教職ラーニングステーションを今まで活用しましたか。
    1. 活用した
    2. 活用しなかった

20. 【1.活用した　に回答した方への限定質問】
    教職ラーニングステーションの満足度を教えてください。

本学での学びについて、あなたの満足度を教えてください。
【21～27 選択肢（共通)】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

21. カリキュラム（履修できる科目の種類や履修条件）

22. シラバスの記載内容

23. 教養科目（語学など、スポーツに関係しない科目）

24. 専門科目（スポーツに関する講義科目）

25. 実技科目

【教職課程を履修している方のみの限定質問】

26. 教職課程科目

27. 成績評価

本学であなたが学び、身に付けたことについてお聞きします。
【28～34 選択肢（共通)】:
1、変わらない（0%）　　2、少し身に付いたが不十分（50%以下）
3、ある程度は身に付いた（80%）　4、十分身に付いた（100%）

28. 1 年前のあなたに比べて、教養を広く身に付けることができましたか。

29. 1 年前のあなたに比べて、体育学の内容を理解し実践できるようになりましたか。

30. 1 年前のあなたに比べて、専門分野に限らず、色々なことに柔軟に対応し、指導することができるようになりましたか。

31. 1 年前のあなたに比べて、自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか。

32. 1 年前のあなたに比べて、多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか。

33. 1 年前のあなたに比べて、社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決できるようになったと思いますか。

34. 1 年前のあなたに比べて、体育・スポーツの知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか。

最後に、本学について教えてください。
【35～37 自由記述】

35. あなたにとって本学はどんな大学でしたか。

36. あなたにとって本学の良いところはどこですか。

37. あなたにとって本学の悪いところはどこですか。

⇒35～37 は卒業学年のみの設問

最後に、気になることや意見・要望があれば記入してください。
【自由記述】

35. 自由記述

＜令和 5 年度大学の生活と学びに関するアンケート＞

カテゴリー：学修実態

1. 1 週間の授業に関する予習・復習時間はどの位ですか
（実技含む、課題に取り組む時間含む・クラブ活動の時間は含まない）
1、1 時間未満
2、1 時間～2 時間未満
3、2 時間～3 時間未満
4、3 時間～4 時間未満
5、4 時間～5 時間未満
6、5 時間以上

2. 1 週間の大学の授業と関係のない自主的な学習の時間はどの位ですか
（採用試験・資格取得・教養を深めるため等の学習）
1、1 時間未満
2、1 時間～2 時間未満
3、2 時間～3 時間未満
4、3 時間～4 時間未満
5、4 時間～5 時間未満
6、5 時間以上

カテゴリー：学生生活

3. 1 日の平均睡眠時間はどの位ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
1、4 時間未満
2、4 時間～5 時間未満
3、5 時間～6 時間未満
4、6 時間～7 時間未満
5、7 時間～8 時間未満
6、8 時間以上

4. 1 日何回食事をとりますか。最も多いものを選んでください。
1、1 回以下
2、2 回
3、3 回
4、4 回以上

5. 朝食はとっていますか
1、とらない
2、週に 1～2 回とる
3、週に 3～4 回とる
4、ほとんど毎日とる

6. あなたの行っている主なアルバイトは何ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
   1、飲食関係
   2、宅急便・宅配等
   3、インストラクター
   4、コンビニ・販売
   5、家庭教師・学習技術指導
   6、アパレル
   7、アミューズメント
   8、介護・福祉関係（児童養護施設含む）
   9、イベントスタッフ
   10、コールセンター
   11、その他
   12、アルバイトはしていない

7. 【6 の質問で 1～11 に回答した方への限定質問】
   1 週間の平均アルバイト時間はどの位ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
   1、10 時間未満
   2、10 時間～20 時間
   3、20 時間～30 時間
   4、30 時間以上

8. 1 週間の平均クラブ・サークル活動時間はどの位ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
   1、10 時間未満
   2、10 時間～20 時間
   3、20 時間～30 時間
   4、30 時間以上
   5、行っていない

本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。
【9~13 選択肢（共通)】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

9. 教室・演習室設備（机・イスなど）

10. 運動施設（体育館や競技場など）

11. 食堂・物販施設

12. 図書館

13. パソコン関連の設備（パソコン教室・貸出パソコン・学内 Wi-Fi・印刷環境など）

本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。
【14～18、20 選択肢（共通)】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

14. 学習支援（オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度）

15. 学生生活支援（履修・学業・生活上の悩みの相談など）

16. 課外活動支援（クラブ活動など）

17. キャリア支援（就職相談など）

18. 奨学金など学費援助の制度

19. 教職ラーニングステーションを今まで活用しましたか。
    1. 活用した
    2. 活用しなかった

20. 【1.活用した　に回答した方への限定質問】
    教職ラーニングステーションの満足度を教えてください。

本学での学びについて、あなたの満足度を教えてください。
【21～27 選択肢（共通)】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

21. カリキュラム（履修できる科目の種類や履修条件）

22. シラバスの記載内容

23. 教養科目（語学など、スポーツに関係しない科目）

24. 専門科目（スポーツに関する講義科目）

25. 実技科目

【教職課程を履修している方のみの限定質問】

26. 教職課程科目

27. 成績評価

本学であなたが学び、身につけたことについてお聞きします。
【28～34 選択肢（共通)】:
1、変わらない（０％）　　2、少し身に付いたが不十分（50％以下）
3、ある程度は身に付いた（80％）　4、十分身に付いた（100％）

28. 1 年前のあなたに比べて、教養を広く身につけることができましたか。

29. 1 年前のあなたに比べて、保健体育の内容を理解し実践できるようになりましたか。

30. 1 年前のあなたに比べて、専門分野に限らず、色々なことに柔軟に対応し、指導することができるようになりましたか。

31. 1 年前のあなたに比べて、自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか。

32. 1 年前のあなたに比べて、多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか。

33. 1 年前のあなたに比べて、社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決できるようになったと思いますか。

34. 1 年前のあなたに比べて、体育・スポーツの知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか。

最後に、本学について教えてください。
【35～37 自由記述】

35. あなたにとって本学はどんな大学でしたか。

36. あなたにとって本学の良いところはどこですか。

37. あなたにとって本学の悪いところはどこですか。

⇒35～37 は卒業学年のみの設問

最後に、気になることや意見・要望があれば記入してください。
【自由記述】

35. 自由記述

＜令和 5 年度大学の生活と学びに関するアンケート＞

カテゴリー：学修実態

1. 1 週間の授業に関する予習・復習時間はどの位ですか
（実技含む、課題に取り組む時間含む・クラブ活動の時間は含まない）
1、1 時間未満
2、1 時間～2 時間未満
3、2 時間～3 時間未満
4、3 時間～4 時間未満
5、4 時間～5 時間未満
6、5 時間以上

2. 1 週間の大学の授業と関係のない自主的な学習の時間はどの位ですか
（採用試験・資格取得・教養を深めるため等の学習）
1、1 時間未満
2、1 時間～2 時間未満
3、2 時間～3 時間未満
4、3 時間～4 時間未満
5、4 時間～5 時間未満
6、5 時間以上

カテゴリー：学生生活

3. 1 日の平均睡眠時間はどの位ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
1、4 時間未満
2、4 時間～5 時間未満
3、5 時間～6 時間未満
4、6 時間～7 時間未満
5、7 時間～8 時間未満
6、8 時間以上

4. 1 日何回食事を摂りますか。最も多いものを選んでください。
1、1 回以下
2、2 回
3、3 回
4、4 回以上

5. 朝食はとっていますか
1、とらない
2、週に 1～2 回とる
3、週に 3～4 回とる
4、ほとんど毎日とる

6. あなたの行っている主なアルバイトは何ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
   1、飲食関係
   2、宅急便・宅配等
   3、インストラクター
   4、コンビニ・販売
   5、家庭教師・学習技術指導
   6、アパレル
   7、アミューズメント
   8、介護・福祉関係（児童養護施設含む）
   9、イベントスタッフ
   10、コールセンター
   11、その他
   12、アルバイトはしていない

7. 【6 の質問で 1～11 に回答した方への限定質問】
   1 週間の平均アルバイト時間はどの位ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
   1、10 時間未満
   2、10 時間～20 時間
   3、20 時間～30 時間
   4、30 時間以上

8. 1 週間の平均クラブ・サークル活動時間はどの位ですか （当てはまるものを 1 つ選んでください）
   1、10 時間未満
   2、10 時間～20 時間
   3、20 時間～30 時間
   4、30 時間以上
   5、行っていない

本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。
【9~13 選択肢（共通)】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

9. 教室・演習室設備（机・イスなど）

10. 運動施設（体育館や競技場など）

11. 食堂・物販施設

12. 図書館

13. パソコン関連の設備（パソコン教室・貸出パソコン・学内 Wi-Fi・印刷環境など）

本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。
【14～18、20 選択肢（共通)】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

14. 学習支援（オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度）

15. 学生生活支援（履修・学業・生活上の悩みの相談など）

16. 課外活動支援（クラブ活動など）

17. キャリア支援（就職相談など）

18. 奨学金など学費援助の制度

19. 教職ラーニングステーションを今まで活用しましたか。
    1. 活用した
    2. 活用しなかった

20. 【1.活用した　に回答した方への限定質問】
    教職ラーニングステーションの満足度を教えてください。

本学での学びについて、あなたの満足度を教えてください。
【21～27 選択肢（共通)】:
1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

21. カリキュラム（履修できる科目の種類や履修条件）

22. シラバスの記載内容

23. 教養科目（語学など、スポーツに関係しない科目）

24. 専門科目（スポーツに関する講義科目）

25. 実技科目

【教職課程を履修している方のみの限定質問】

26. 教職課程科目

27. 成績評価

本学であなたが学び、身につけたことについてお聞きします。
【28～34 選択肢（共通)】:
1、変わらない（０％）　　2、少し身に付いたが不十分（50％）
3、ある程度は身に付いた（80％）　4、十分身に付いた（100％）

28. 1 年前のあなたに比べて、教養を広く身につけることができましたか。

29. 1 年前のあなたに比べて「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から子供の成長過程を幅広く捉えられるようになりましたか。

30. 1 年前のあなたに比べて、専門分野に限らず、色々なことに柔軟に対応し、指導することができるようになりましたか。

31. 1 年前のあなたに比べて、自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか。

32. 1 年前のあなたに比べて、多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか。

33. 1 年前のあなたに比べて、社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決できるようになったと思いますか。

34. 1 年前のあなたに比べて、保育・幼児教育および児童教育の知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになったと思いますか。

最後に、本学について教えてください。
【35～37 自由記述】

35. あなたにとって本学はどんな大学でしたか。

36. あなたにとって本学の良いところはどこですか。

37. あなたにとって本学の悪いところはどこですか。

⇒35～37 は卒業学年のみの設問

最後に、気になることや意見・要望があれば記入してください。
【自由記述】

35. 自由記述

【資料１】

【卒業生向け】
令和５年度　東京女子体育大学・体育学科
「学生生活および学びに関するアンケート」
実施について

このアンケートは、学生の皆さんの生活・環境の把握、また大学生活での満足度とこの１年間での成長実感を教えていただくものになります。
集計した結果は、皆さんにフィードバックするとともに、教育活動や学生支援、施設・設備等の改善に活用されます。
重要なアンケートですのでぜひご協力をお願いいたします。

＜回答方法＞

１．スマートフォンで右の QR コードを読み込んで
　　アンケート回答フォームを表示してください。

２．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：１号館３階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

【資料２】

【卒業生向け】
令和５年度　東京女子体育短期大学・保健体育学科
「学生生活および学びに関するアンケート」
実施について

このアンケートは、学生の皆さんの生活・環境の把握、また大学生活での満足度とこの１年間での成長実感を教えていただくものになります。
集計した結果は、皆さんにフィードバックするとともに、教育活動や学生支援、施設・設備等の改善に活用されます。
重要なアンケートですのでぜひご協力をお願いいたします。

＜回答方法＞

１．スマートフォンで右のQRコードを読み込んで
　　アンケート回答フォームを表示してください。

２．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：１号館３階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

【資料３】

【卒業生向け】

令和５年度　東京女子体育短期大学・こどもスポーツ教育学科

「学生生活および学びに関するアンケート」実施について

このアンケートは、学生の皆さんの生活・環境の把握、また大学生活での満足度とこの１年間での成長実感を教えていただくものになります。
集計した結果は、皆さんにフィードバックするとともに、教育活動や学生支援、施設・設備等の改善に活用されます。
重要なアンケートですのでぜひご協力をお願いいたします。

＜回答方法＞

１．スマートフォンで右のQRコードを読み込んで
　　アンケート回答フォームを表示してください。

２．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：１号館３階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

【資料 4】

体育学部体育学科

令和 5 年度　東京女子体育大学・体育学科
「学生生活および学びに関するアンケート」
実施について

このアンケートは、学生の皆さんの生活・環境の把握、また大学生活での満足度とこの 1 年間での成長実感を教えていただくものになります。
集計した結果は、皆さんにフィードバックするとともに、教育活動や学生支援、施設・設備等の改善に活用されます。
重要なアンケートですのでぜひご協力をお願いいたします。

＜回答方法＞

1．スマートフォンで右の QR コードを読み込んで
　アンケート回答フォームを表示してください。

2．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：1 号館 3 階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

【資料 5】

保健体育学科

令和 5 年度　東京女子体育短期大学・保健体育学科
「学生生活および学びに関するアンケート」
実施について

このアンケートは、学生の皆さんの生活・環境の把握、また大学生活での満足度とこの 1 年間での成長実感を教えていただくものになります。
集計した結果は、皆さんにフィードバックするとともに、教育活動や学生支援、施設・設備等の改善に活用されます。
重要なアンケートですのでぜひご協力をお願いいたします。

＜回答方法＞

1．スマートフォンで右の QR コードを読み込んで
　アンケート回答フォームを表示してください。

2．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：1 号館 3 階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp

【資料 6】

こどもスポーツ教育学科

令和 5 年度　東京女子体育短期大学・こどもスポーツ教育学科
「学生生活および学びに関するアンケート」
実施について

このアンケートは、学生の皆さんの生活・環境の把握、また大学生活での満足度とこの 1 年間での成長実感を教えていただくものになります。
集計した結果は、皆さんにフィードバックするとともに、教育活動や学生支援、施設・設備等の改善に活用されます。
重要なアンケートですのでぜひご協力をお願いいたします。

＜回答方法＞

1．スマートフォンで右の QR コードを読み込んで
　アンケート回答フォームを表示してください。

2．アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞　ガイダンス終了まで

・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外の目的には使用しません。
・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。
　担当：1 号館 3 階　企画調査室　kikaku@twcpe.ac.jp